



Document Solutions

> PRINT > COPY > SCAN > FAX

ECOSYS M2540dw

使用説明書



**使用説明書**   **メニュー**

本説明書は、次の章で構成されています。下記のボタンを選択すると該当する章のトップページにジャンプします。  
章のトップページには目次がありますので、目的の項目を選択して参照してください。

[▶ 目次](#)[▶ 索引](#)[▶ 1 正しくお使いいただくために](#)[▶ 7 ジョブ / 消耗品 / デバイスを管理する](#)[▶ 2 設置と機械のセットアップ](#)[▶ 8 システムメニュー](#)[▶ 3 本機を使用する前に](#)[▶ 9 ユーザー認証、集計管理 \(ユーザー管理、部門管理\)](#)[▶ 4 パソコンからの印刷](#)[▶ 10 こんなときには](#)[▶ 5 本体側の操作](#)[▶ 11 付録](#)[▶ 6 さまざまな機能を使う](#)

## はじめに

本製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、および簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

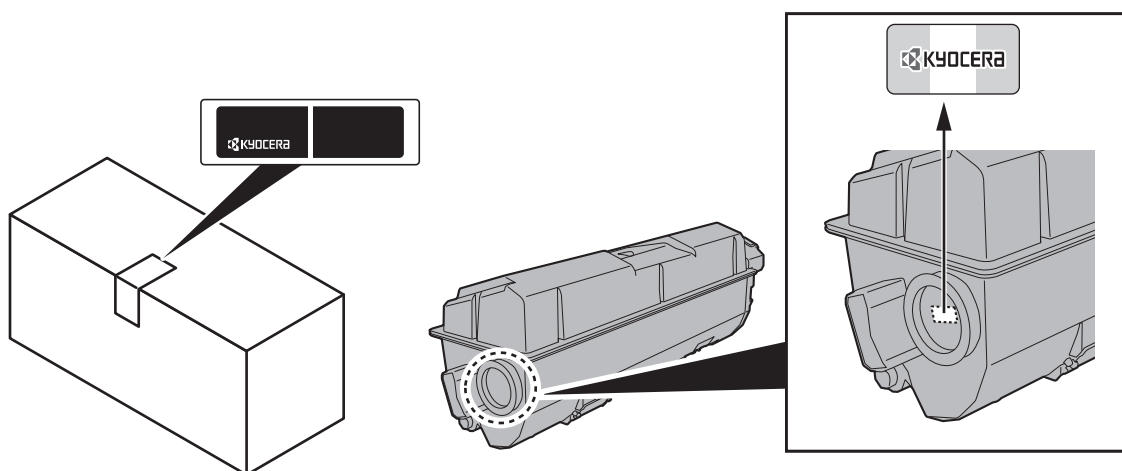
ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

**品質維持のため、トナーコンテナは数々の品質検査に合格した弊社純正品の使用をお勧めします。**

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

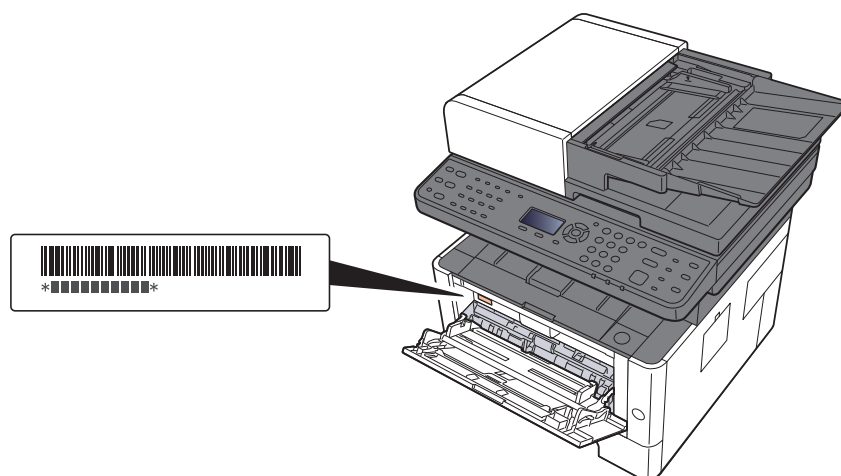
純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

弊社純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼り付いています。



### シリアル番号の記載位置について

本体のシリアル番号は、図の位置に記載しています。



本機のシリアル番号はお問い合わせの際に必要な場合があります。お問い合わせの際は、シリアル番号の確認を行ってからご連絡をお願いいたします。

# 目次

はじめに .....	i
目次 .....	ii
こんなことができます .....	ix
本機の特長 .....	x
カラーや画質の機能について .....	xiv
基本的なカラーモード .....	xiv
画質やカラーを調整する .....	xv
付属マニュアルの紹介 .....	xvi
使用説明書（本書）について .....	xviii
本書の構成について .....	xviii
本書の読みかた .....	xix
オプションの表記について .....	xxi
メニューマップ .....	xxii

## 1 正しくお使いいただくために ..... 1-1

注意事項 .....	1-2
本書中の注意表示について .....	1-2
設置環境について .....	1-3
取り扱い上のご注意 .....	1-4
コピー/スキャン禁止事項 .....	1-5
法律上のご注意 .....	1-6
本製品の省エネ制御機能について .....	1-12
自動両面機能について .....	1-12
印刷用紙 .....	1-12
電力管理 .....	1-12
国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム .....	1-12
無線LAN使用時のご注意 .....	1-13
電波の種類と干渉距離 .....	1-13
無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意 .....	1-13
本製品の使用限定 .....	1-14

## 2 設置と機械のセットアップ ..... 2-1

各部の名称(本体外観) .....	2-2
各部の名称(コネクター・内部) .....	2-4
各部の名称(オプション装着時) .....	2-6
本機とその他デバイスを接続する .....	2-7
ケーブルを接続する .....	2-8
ネットワークケーブルを接続する .....	2-8
USBケーブルを接続する .....	2-9
電源コードを接続する .....	2-9
電源を入/切する .....	2-10
電源を入れる .....	2-10
電源を切る .....	2-10
操作パネルの使いかた .....	2-11
操作パネルキー .....	2-11
操作方法 .....	2-13
原稿と用紙の設定を確認する .....	2-14
ヘルプ画面の使いかた .....	2-14
本機にログイン・ログアウトする .....	2-15
ログインする .....	2-15
ログアウトする .....	2-16



機械の初期設定をする	2-17
日付と時刻を設定する	2-17
ネットワークを設定する	2-18
有線でネットワークを設定する	2-18
ワイヤレスネットワークを設定する	2-20
Wi-Fiダイレクトを設定する	2-25
省エネ機能を使う	2-27
スリープとは	2-27
オートスリープとは	2-28
スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)	2-28
静音モードを使う	2-29
ソフトウェアをインストールする	2-30
収録ソフトウェア(Windows)	2-30
Windowsにソフトウェアをインストールする	2-31
ソフトウェアをアンインストールする	2-37
Macintoshにソフトウェアをインストールする	2-38
TWAINドライバーを設定する	2-40
WIAドライバーを設定する	2-42
カウンターを確認する	2-43
管理者に準備していただきたいこと	2-44
パソコンに文書を送信するためには	2-44
セキュリティーを強化する	2-44
Command Center RXとは	2-45
Command Center RX へアクセスする	2-46
セキュリティー設定を変更する	2-47
デバイス情報を変更する	2-49
SMTPおよびメール送信の設定をする	2-51
宛先を登録する	2-55
弊社の他製品からデータを移行する	2-56
アドレス帳を移行する	2-56

### **3 本機を使用する前に ..... 3-1**

用紙をセットする	3-2
用紙の取り扱い上の注意	3-2
給紙段の選択	3-3
カセットに用紙をセットする	3-4
用紙を排出するときの留意点	3-7
排紙ストッパー	3-7
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備	3-8
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする	3-8
ユーザー名とドメイン名をメモする	3-9
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする	3-10
Windowsファイアウォールの確認	3-13
アドレス帳の登録	3-18
アドレス帳に宛先を登録する	3-18
ワンタッチキーを登録する	3-26

### **4 パソコンからの印刷 ..... 4-1**

プリンタードライバーのプロパティ画面	4-2
プリンタードライバーのヘルプを表示する	4-3
プリンタードライバーの初期設定値を変更する(Windows 8.1の場合)	4-3
パソコンから印刷する	4-4
定形サイズの内紙に印刷する	4-4
不定形サイズの内紙に印刷する	4-6

パソコンで印刷を中止する .....	4-8
携帯端末から印刷する .....	4-9
AirPrintで印刷 .....	4-9
Google Cloud Printで印刷 .....	4-9
Mopriaで印刷 .....	4-9
Wi-Fiダイレクトで印刷 .....	4-9
本体に保存したデータを印刷する .....	4-10
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する .....	4-10
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する .....	4-11
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する .....	4-11
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する .....	4-12
ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する .....	4-13
クイックコピーボックスからジョブを印刷する .....	4-13
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する .....	4-14
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する .....	4-15
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する .....	4-15
本機の状態をパソコンから確認するには(ステータスマニター) .....	4-16
ステータスマニターを起動する .....	4-16
ステータスマニターを終了する .....	4-16
Quick View State .....	4-16
印刷情報アイコンタブ .....	4-17
用紙情報アイコンタブ .....	4-17
トナー情報アイコンタブ .....	4-17
アラート情報アイコンタブ .....	4-18
ステータスマニターコンテキストメニュー .....	4-18
ステータスマニターの通知機能を設定する .....	4-19
Configuration Tool .....	4-20
Configuration Toolを起動する .....	4-20
Configuration Toolを終了する .....	4-21
Configuration Toolの設定画面 .....	4-22

## 5 本体側の操作 ..... 5-1

原稿をセットするには .....	5-2
原稿ガラスにセットする .....	5-2
原稿送り装置にセットする .....	5-3
手差しトレイに用紙をセットする .....	5-5
よく使う機能呼び出す(プログラム) .....	5-8
プログラムを登録する .....	5-8
プログラム呼び出す .....	5-9
プログラムを上書きする .....	5-10
プログラムを削除する .....	5-10
選択キー設定 .....	5-11
コピーのしかた .....	5-12
コピーする .....	5-12
印刷ジョブをキャンセルする .....	5-13
基本的なスキャン(送信)のしかた .....	5-14
メールで送信する .....	5-15
送信前の設定をする .....	5-15
スキャンした文書をメールで送信する .....	5-15
パソコンの共有フォルダーに送信する(SMB送信) .....	5-16
送信前の設定をする .....	5-16
パソコンの共有フォルダーに送信する .....	5-16
FTPのフォルダーに送信する(FTP送信) .....	5-18
送信前の設定をする .....	5-18

FTPサーバーのフォルダーに送信する	5-18
TWAINまたはWIAを使って読み込む	5-20
送信前の設定をする	5-20
アプリケーションで画像を読み込む	5-20
便利なスキャン(送信)のしかた	5-21
WSDスキャン	5-22
ドライバーをインストールする	5-22
WSDスキャンを実行する	5-24
ファクスサーバーを使って送信する (ファクスサーバー送信)	5-25
送信前の設定をする	5-25
ファクスサーバーを使って送信する	5-25
種類の異なる相手への送信(複合送信)	5-27
ログインユーザーのメールアドレスに送信する	5-28
ログインしているユーザーのメールアドレスに送信する	5-28
スキャン(送信)をキャンセルする	5-29
宛先を操作する	5-30
宛先の選びかた	5-30
アドレス帳から宛先を選ぶ	5-30
拡張アドレス帳から宛先を選ぶ	5-31
ワンタッチキーから宛先を選ぶ	5-32
宛先を確認または変更する	5-33
送信前に宛先を確認する	5-34
再宛先を呼び出す	5-34
ファクスのしかた	5-35
文書ボックスを使用する	5-36
ジョブボックスとは	5-36
外部メモリーボックスとは	5-36
Fコードボックス/ポーリングボックスとは	5-36
USBメモリーの操作	5-37
USBメモリー内のデータを印刷する	5-37
USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB)	5-39
USBメモリー情報を確認する	5-40
USBメモリーを取り外す	5-40

## 6 さまざまな機能を使う ..... 6-1

さまざまな機能を使う	6-2
本機に用意されている機能について	6-2
操作方法	6-2
コピー	6-2
送信	6-4
外部メモリー(文書保存、印刷)	6-5
各種機能	6-7
用紙選択	6-8
ソート	6-9
両面	6-9
縮小/拡大	6-12
ページ集約	6-14
原稿サイズ	6-16
原稿セット向き	6-16
原稿サイズ混載	6-17
原稿の画質	6-17
濃度	6-18
エコプリント	6-18

連続読み込み .....	6-18
文書名入力 .....	6-19
ジョブ終了通知 .....	6-19
優先印刷 .....	6-19
カラー選択 .....	6-20
シャープネス .....	6-20
コントラスト .....	6-21
地色調整 .....	6-21
白紙ページスキップ .....	6-21
読み込み解像度 .....	6-22
送信サイズ .....	6-22
ファイル形式 .....	6-23
件名/本文 .....	6-27
両面(両面原稿) .....	6-27
FTP暗号送信 .....	6-28
ファイル分割 .....	6-28
保存サイズ .....	6-29
暗号化PDF .....	6-29
JPEG/TIFF印刷方法 .....	6-30
XPS印刷サイズ調整 .....	6-30

## **7 ジョブ/消耗品/デバイスを管理する ..... 7-1**

ジョブの状況を確認する .....	7-2
状況確認画面の内容 .....	7-4
ジョブの履歴を確認する .....	7-8
ジョブ履歴を送信する .....	7-12
ジョブの操作 .....	7-13
ジョブの一時停止と再開 .....	7-13
ジョブをキャンセルする .....	7-13
デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する .....	7-14
トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する .....	7-15

## **8 システムメニュー ..... 8-1**

本機の初期設定(システムメニュー) .....	8-2
操作方法 .....	8-2
システムメニューの項目 .....	8-3
レポート .....	8-5
システム/ネットワーク .....	8-7
ユーザー/部門管理 .....	8-17
ユーザー情報 .....	8-18
共通設定 .....	8-18
コピー .....	8-30
プリンター .....	8-31
送信 .....	8-33
ファクス .....	8-34
文書ボックス .....	8-34
宛先編集 .....	8-35
調整/メンテナンス .....	8-36

## **9 ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理) ..... 9-1**

ユーザー管理とは .....	9-2
パソコンからユーザーを管理する .....	9-2

ユーザー管理を有効にする .....	9-3
ユーザー管理を設定する .....	9-5
認証セキュリティを設定する .....	9-5
新しいユーザーを登録する(ローカルユーザーリスト) .....	9-6
ユーザー情報を変更する .....	9-8
印刷のユーザー管理 .....	9-10
TWAINを使ったスキャンのユーザー管理 .....	9-11
WIAを使ったスキャンのユーザー管理 .....	9-12
パソコンから送信するファクスのユーザー管理 .....	9-13
グループ認可を設定する .....	9-14
ゲスト認可を設定する .....	9-15
ネットワークユーザー情報を取得する .....	9-17
ICカード認証方法を設定する .....	9-18
PINコード認証を設定する .....	9-19
ユーザー管理の使いかた .....	9-20
ログイン/ログアウトをする .....	9-20
部門管理とは .....	9-21
パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する .....	9-21
部門管理を有効にする .....	9-22
部門管理方式を設定する .....	9-23
部門管理を設定する .....	9-24
部門を新規に登録する .....	9-24
使用制限を設定する .....	9-26
部門情報を編集する .....	9-27
部門を削除する .....	9-28
印刷の部門管理をする .....	9-29
TWAINを使ったスキャンジョブを管理する .....	9-30
WIAを使ったスキャンジョブを管理する .....	9-31
パソコンから送信したファクスジョブを管理する .....	9-32
部門管理の運用 .....	9-33
初期設定 .....	9-33
使用枚数を集計する .....	9-34
部門管理レポートを印刷する .....	9-35
部門管理の使いかた .....	9-36
ログイン/ログアウトをする .....	9-36
不明ユーザー処理方法を設定する .....	9-37
ID不明ジョブ処理を設定する .....	9-37
ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する .....	9-38

## 10      **こんなときには .....**      **10-1**

日常のお手入れ .....	10-2
清掃について .....	10-2
原稿ガラスを清掃する .....	10-2
スリットガラスを清掃する .....	10-3
本体の内部を清掃する .....	10-4
消耗品の交換と補充 .....	10-8
消耗品の交換と補充について .....	10-8
トナーコンテナを交換する .....	10-8
用紙を補給する .....	10-11
Maintenance Menuを使う .....	10-12
一般的なトラブル .....	10-13
トラブルが発生したら .....	10-13
機械動作のトラブル .....	10-13
画像のトラブル .....	10-16

こんな表示がでたら .....	10-19
メッセージが表示されたら .....	10-19
エラーメッセージ一覧 .....	10-19
送信エラーコード一覧 .....	10-27
紙づまりの解除 .....	10-30
紙づまり表示の見かたと位置の確認 .....	10-30
カセット1の紙づまりを除去する .....	10-31
カセット2の紙づまりを除去する .....	10-33
カセット3の紙づまりを除去する .....	10-35
手差しトレイの紙づまりを除去する .....	10-37
機械内部の紙づまりを除去する .....	10-38
後ろカバーの紙づまりを除去する .....	10-43
原稿送り装置の紙づまりを除去する .....	10-46

## 11 付録 ..... 11-1

オプションについて .....	11-2
オプション構成 .....	11-2
オプションのアプリケーションについて .....	11-6
アプリケーションの使用を開始する .....	11-6
アプリケーションの詳細を確認する .....	11-7
文字の入力 .....	11-8
使用するキー .....	11-8
入力文字の選択 .....	11-9
文字の入力 .....	11-10
用紙について .....	11-14
用紙の基本仕様 .....	11-14
適正な用紙の選択 .....	11-15
特殊な用紙 .....	11-18
仕様 .....	11-22
本体 .....	11-22
コピー機能 .....	11-24
プリンター機能 .....	11-24
スキャナー機能 .....	11-25
原稿送り装置 .....	11-25
ペーパーフィーダー .....	11-25
製品の保守サービスについて .....	11-26
保守契約についてのお問い合わせ .....	11-26
補修用性能部品について .....	11-27
廃棄について .....	11-27
使用済み製品の廃棄 .....	11-27
トナーコンテナの廃棄 .....	11-27
用語集 .....	11-28
索引 .....	索引-1

# こんなことができます

## インプット

原稿



電子データ



USBメモリー



ファクスデータ



## セキュリティ

お客様のニーズに応じたセキュリティレベルで本機をご使用になれます。



➔ [セキュリティを強化したい \(xiiページ\)](#)

## パソコンからの設定機能



Command Center RX

パソコンのWebブラウザ上で本機の状態確認や各種設定の変更などが可能です。

➔ [Command Center RXとは \(2-45ページ\)](#)

Command Center RX操作手順書



## 文書ボックス機能

データを本機内に保存したり、USBメモリーに保存したり、さまざまに活用できる機能です。

➔ [本体に保存したデータを印刷する \(4-10ページ\)](#)  
[文書ボックスを使用する \(5-36ページ\)](#)

## アウトプット

コピー機能



➔ [コピーのしかた \(5-12ページ\)](#)  
[パソコンから印刷する \(4-4ページ\)](#)

プリンター機能



➔ [基本的なスキャン\(送信\)のしかた \(5-14ページ\)](#)

送信機能

USBメモリー



➔ [USBメモリーに文書を保存する \(Scan to USB\) \(5-39ページ\)](#)

ファクス機能



➔ [ファクス使用説明書](#)

## 参考

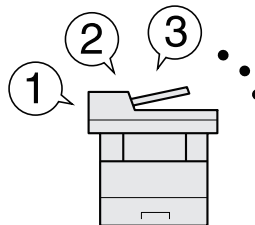
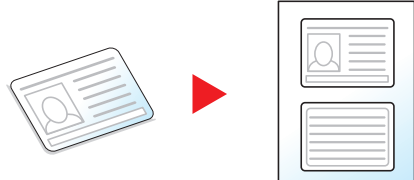
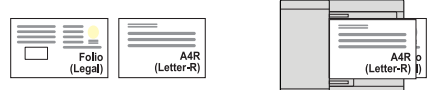
- ご使用になる前に必ずお読みください。  
➔ [正しくお使いいただくために \(1-1ページ\)](#)
- ケーブルの接続やソフトウェアのインストールなど本機を使用するための準備については、次を参照してください。  
➔ [設置と機械のセットアップ \(2-1ページ\)](#)
- 用紙のセット、共有フォルダーやアドレス帳の登録については、次を参照してください。  
➔ [本機を使用する前に \(3-1ページ\)](#)

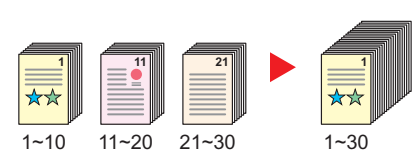
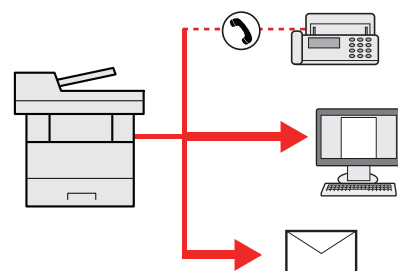
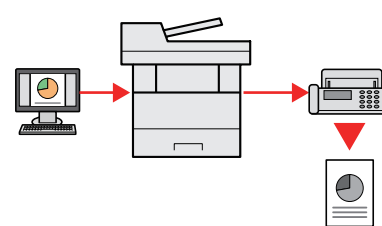
# 本機の特長

本機はさまざまなべんりな機能を搭載しています。

▶ [さまざまな機能を使う \(6-1ページ\)](#)



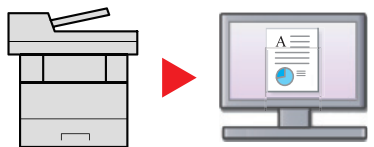
ここでは一例を紹介します。

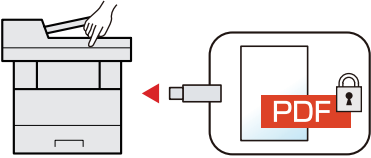
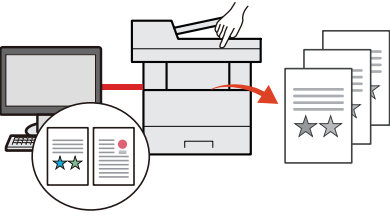
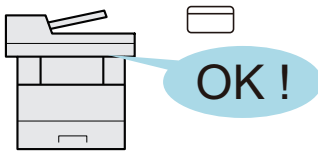
効率よく作業したい		
<p>よく使う機能をワンタッチで呼び出す (プログラム)</p>  <p>よく使う機能を簡単に設定したいときに便利です。</p> <p>よく使う設定をプログラムに登録すると、プログラム番号を押すだけでその設定を呼び出すことができます。ワンタッチで呼び出せるので、別の人が代わりに作業することもできます。</p> <p>▶ <a href="#">よく使う機能を呼び出す(プログラム) (5-8ページ)</a></p>	<p>IDカードのコピーを1枚にまとめる (IDカードコピー)</p>  <p>表裏のあるIDカード等のコピーを1枚にまとめることができます。</p> <p>▶ <a href="#">よく使う機能を呼び出す(プログラム) (5-8ページ)</a></p>	<p>サイズが違う原稿を一度に読み込む (原稿サイズ混載)</p>  <p>会議の資料を作るときなどに便利です。サイズの異なる原稿を一緒にセットすることができるので、原稿サイズが変わるたびに、原稿をセットし直す必要がなくなります。</p> <p>▶ <a href="#">原稿サイズ混載 (6-17ページ)</a></p>

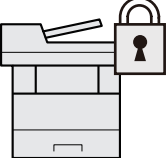
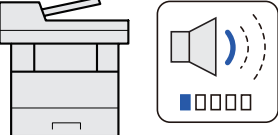
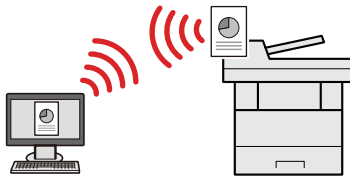
効率よく作業したい		
<p>数回に分けて読み込んだ原稿をまとめて処理する (連続読み込み)</p>  <p>枚数の多い資料を作るときなどに便利です。</p> <p>原稿の量が多くて原稿送り装置に一度にセットできないようなとき、数回に分けて読み込み、一度にまとめて印刷や送信することができます。</p> <p>▶ <a href="#">連続読み込み (6-18ページ)</a></p>	<p>複数の送信方法で同時に送信する (複合送信)</p>  <p>送信方法が違う宛先に、簡単に送りたいときに便利です。</p> <p>メール送信やSMB送信、ファクス送信など、種類の違う宛先を指定して送信できます。</p> <p>1回の操作で送信できるので、作業の効率がアップします。</p> <p>▶ <a href="#">種類の異なる相手への送信(複合送信) (5-27ページ)</a></p>	<p>パソコンからファクスを送信する (Network FAX)</p>  <p>ファクスするときの用紙を節約したいときに便利です。</p> <p>ファクスする文書を印刷することなく、パソコンから送信ができるので、用紙などの削減と共に作業の効率がアップします。</p> <p>▶ <a href="#">ファクス使用説明書</a></p>



経費を節約したい		
<p>使いかたに合わせて節電する (省エネ機能)</p>  <p>本機はスリープ状態になる省エネ機能を備えています。操作に応じて節電復帰レベルを設定できます。</p> <p>➡ <a href="#">省エネ機能を使う (2-27ページ)</a></p>	<p>トナーの消費をおさえて印刷する (エコプリント)</p>  <p>トナーを節約したいときに便利です。試し印刷や社内での確認用資料など、内容が確認できればいい程度の資料を作成するときに使用すると、トナーを節約できます。</p> <p>高品質な印刷が必要でないときに利用できます。</p> <p>➡ <a href="#">エコプリント (6-18ページ)</a></p>	<p>用紙を節約して印刷する (用紙節約印刷)</p>  <p>用紙の両面に印刷したり、2枚以上の複数枚の原稿を1枚の用紙にまとめて印刷したりすることができます。</p> <p>➡ <a href="#">ページ集約 (6-14ページ)</a> <a href="#">両面 (6-9ページ)</a></p>

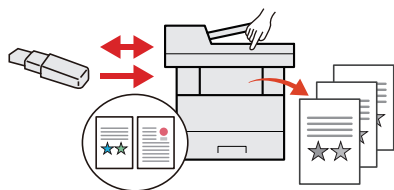
経費を節約したい		資料をきれいに作りたい
<p>白紙ページをスキップして印刷する (白紙ページスキップ)</p>  <p>読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページをスキップし、白紙以外のページだけを印刷します。</p> <p>➡ <a href="#">白紙ページスキップ (6-21ページ)</a></p>	<p>通信費を削減してファクスする (タイマー送信)</p>  <p>通信費を削減したいときに便利です。通信費が安い時間帯にタイマーをセットして、通信費を削減できます。</p> <p>➡ <a href="#">ファクス使用説明書</a></p>	<p>資料をきれいに作りたい</p> <p>カラーでスキャンしてPCへ送る (カラースキャン)</p>  <p>原稿をスキャンしてカラーPDFの電子ファイルにすることができます。</p> <p>➡ <a href="#">基本的なスキャン(送信)のしかた (5-14ページ)</a></p>

セキュリティを強化したい		
<p>PDFにパスワードを設定する (PDF暗号化機能)</p>  <p>ファイル形式がPDFの時に、パスワードによるセキュリティを使って、文書の表示、印刷、編集に制限を追加することができます。</p> <p>➔ <a href="#">PDF暗号化機能 (6-25ページ)</a></p>	<p>印刷した原稿の持ち去りを防ぐ (プライベートプリント)</p>  <p>プリンターから印刷するデータを一時的に本体のボックスに保存し、本体側で印刷を実行することで、印刷した用紙の持ち去りを防ぐことができます。</p> <p>➔ <a href="#">プライベートプリントボックスからジョブを印刷する (4-11ページ)</a></p>	<p>ICカードでログインする (ICカード認証)</p>  <p>ログインユーザー名やパスワードを入力することなく、ICカードをタッチするだけでログインできます。</p> <p>➔ <a href="#">オプションのアプリケーションについて (11-6ページ)</a></p>

セキュリティを強化したい	もっと使いこなしたい	
<p>セキュリティを強化する (管理者向け各種設定)</p>  <p>本機では、セキュリティを強化するために、管理者が設定できる機能をいろいろ用意しています。</p> <p>➔ <a href="#">セキュリティを強化する (2-44ページ)</a></p>	<p>静かに使用する (静音モード)</p>  <p>本機の動作音を抑えて静かに使用することができます。ワンタッチでON/OFFの切り替えが可能です。</p> <p>➔ <a href="#">静音モードを使う (2-29ページ)</a></p>	<p>ネットワークを気にせずに設置したい (ワイヤレスネットワーク)</p>  <p>無線LAN環境があれば、ネットワーク配線を気にせずに本機を設置することができます。また、Wi-Fiダイレクト等にも対応しています。</p> <p>➔ <a href="#">ワイヤレスネットワークを設定する (2-20ページ)</a></p> <p><a href="#">Wi-Fiダイレクトを設定する (2-25ページ)</a></p>

もっと使いこなしたい

USBメモリーを使う  
(USBメモリー)



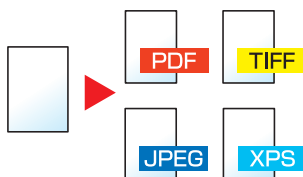
外出先で文書を印刷したり、パソコンが  
使えないときなどに便利です。

USBメモリーを本機に接続し、メモリー  
内に保存されている文書を印刷します。  
また、本機で読み込んだ文書をメモリー  
に保存することもできます。

▶ [USBメモリーの操作 \(5-37ページ\)](#)

[USBメモリーに文書を保存する  
\(Scan to USB\) \(5-39ページ\)](#)

画像のファイル形式を設定する  
(ファイル形式)



画像を送信/保存する際、さまざまなファ  
イル形式に対応しています。

▶ [ファイル形式 \(6-23ページ\)](#)

リモートで本機を操作する  
(Command Center RX)



パソコンからリモートで、本機にアクセ  
スし、データの印刷、送信、ダウンロード  
などの操作ができます。

管理者は、本機の動作設定や管理設定を  
効率的に行うことができます。

▶ [Command Center RXとは \(2-45ペー  
ジ\)](#)

## カラーや画質の機能について

本機はさまざまなカラーや画質の調整機能を搭載しています。読み込んだ原稿をお好みの色合いや画質に調整できます。

### 基本的なカラーモード

基本となるカラーモードは次のとおりです。

カラーモード	説明	参考画像		参照ページ
		設定前	設定後	
自動 (カラー/グレー) 自動 (カラー/白黒)	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別して読み込みます。			6-20ページ
フルカラー	フルカラーで読み込みます。			6-20ページ
グレースケール	グレースケールで読み込みます。			6-20ページ
白黒	白黒で読み込みます。			6-20ページ

詳しくは次を参照してください。

▶ [カラー選択 \(6-20ページ\)](#)

## 画質やカラーを調整する

画質を変更したりカラー原稿の色合いを変更したりしたいときは、次の機能を設定します。

やりたいこと	参考画像		設定する機能	参照ページ
	設定前	設定後		
より細かく色を調整する				
濃度をこくしたい、またはうすくしたい。			濃度	6-18ページ
より細かく画質を調整する				
画像の輪郭を強めたい、または弱めたい。 例: 輪郭を強める			シャープネス	6-20ページ
画像の暗い部分と明るい部分の差を調整したい。			コントラスト	6-21ページ
原稿の地色(文字や画像のない部分)をこくしたい、またはうすくしたい。 例: 地色をうすくする			地色調整	6-21ページ
スキャンする画像を調整する				
ファイルのサイズを小さく、かつ文字をくっきりみせたい。	<b>Copy</b>	<b>Copy</b>	ファイル形式 [高圧縮PDF]	6-23ページ

## 付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルが付属しています。必要に応じて参照してください。  
マニュアルに記載されている内容は、機械性能改善のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

### 印刷物のマニュアル

本機をセットアップするには



#### セットアップガイド

本機で印刷できるまでのセットアップ手順について説明しています。

早く使ってみたい



#### クイックガイド

本機の基本的な使いかたや、便利な使いかた、お手入れのしかた、トラブルで困ったときの対処方法などについて説明しています。

安全に使うためには



#### セーフティーガイド

本機の設置環境や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

#### セーフティーガイド(ECOSYS M2540dw)

本機の設置スペース、注意ラベルなどについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

## DVD (Product Library) 収録のマニュアル(PDF)

本機を 使いこなすには	▶ <b>使用説明書(本書)*1</b> 用紙のセットやコピー、プリント、スキャンの操作方法、各種初期設定などについて説明しています。
ファクス機能 を使いこなすには	▶ <b>ファクス使用説明書*1</b> ファクスの機能について説明しています。
ICカードを 使うには	▶ <b>ICカード認証キット(B)使用説明書</b> ICカードで認証を行うための操作手順について説明しています。
登録・設定を 簡単にしたい	▶ <b>Command Center RX操作手順書</b> パソコンからWeb ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。
パソコンから 印刷したい	▶ <b>プリンタードライバー操作手順書</b> プリンタードライバーをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。
PDFを 直接印刷したい	▶ <b>KYOCERA Net Direct Print操作手順書</b> Adobe Acrobat/Reader を起動せずにPDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。
ネットワーク上の 本機やプリンター の整理をしたい	▶ <b>KYOCERA Net Viewer操作手順書</b> KYOCERA Net Viewerで、ネットワーク上のプリントシステム(本機)を監視する方法について説明しています。
プリンタードライ バーを介さずに印 刷したい	▶ <b>プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル</b> ネイティブプリンター言語(プリスクライブコマンド)について説明しています。 <b>プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス</b> プリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。
印刷またはスキャ ン位置を調整した い	▶ <b>Maintenance Menu 操作手順書</b> Maintenance Menuから、印刷やスキャンなどの設定を行う手順について説明しています。

\*1 弊社のホームページからダウンロードすることができます。  
(<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/manual/>)

DVDのマニュアルをご覧になるためにはAdobe Readerの以下のバージョンをインストールする必要があります。  
バージョン8.0以上

# 使用説明書(本書)について

## 本書の構成について

本説明書は、次の章で構成されています。

章	内容	
1	正しくお使いいただくために	本機の使用に関する注意事項や商標について説明しています。
2	設置と機械のセットアップ	各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストール、ログイン・ログアウトなど、本機の管理者用の情報について説明しています。
3	本機を使用する前に	用紙のセット、アドレス帳の登録など、ご使用前に必要な準備・設定について説明しています。
4	パソコンからの印刷	本機をプリンターとして使用する際に利用できる機能を説明しています。
5	本体側の操作	原稿のセット方法や、コピー、送信、文書ボックスの基本的な使いかたを説明しています。
6	さまざまな機能を使う	本機に用意されている便利な機能を説明しています。
7	ジョブ/消耗品/デバイスを管理する	ジョブの状況確認や履歴の確認、実行中/待機中のジョブをキャンセルする方法について説明しています。また、トナー/用紙の残量やデバイスの状態などの確認や、ファクスの通信を中止する方法についても説明しています。
8	システムメニュー	本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明しています。
9	ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理)	ユーザー管理、部門管理について説明しています。
10	こんなときには	トナーがなくなったときやエラーが表示されたとき、紙づまりなど、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。
11	付録	本製品で使用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語集を収録しています。また、文字の入力方法や本機の仕様などについても説明しています。

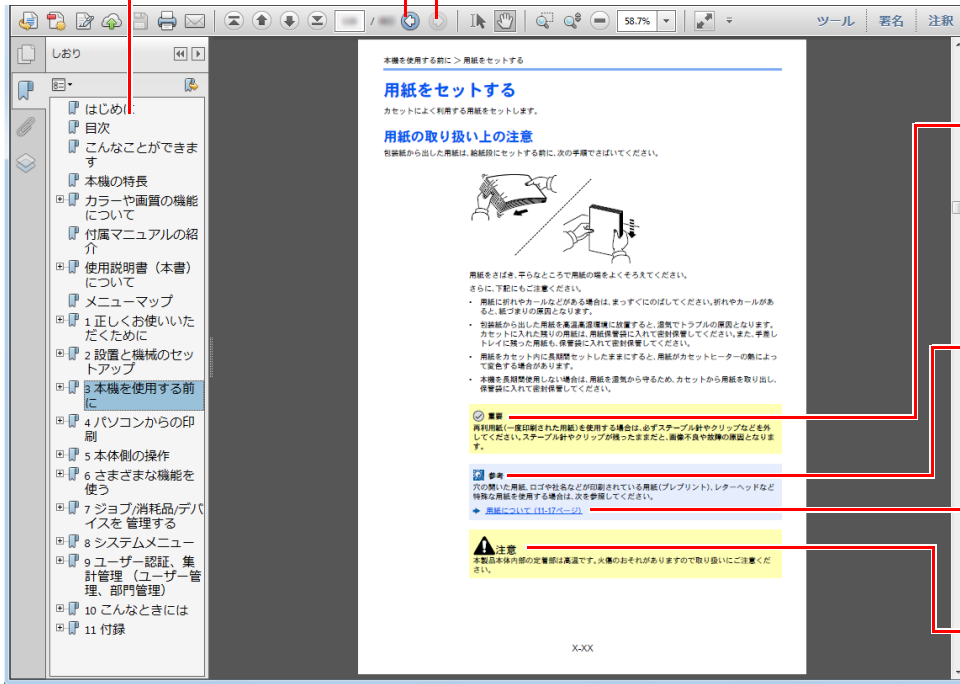


## 本書の読みかた

ここでは、Adobe Reader XIを例に説明しています。

しおり(目次)をクリックすると  
該当ページにジャンプします。

クリックすると、現在の表示内容から、直前に表示していた内容に戻ります。ジャンプ先から元のページに戻るときに便利です。



### 重要

誤った操作によるトラブルを防ぐために、操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項を示しています。

### 参考

補足説明や操作の参考となる情報です。

### 参照

下線のついた文字をクリックすると、参照ページへジャンプします。

### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 参考

Adobe Readerの表示は、お使いの状況によって異なります。しおり(目次)やツールが表示されていない場合は、Adobe Readerのヘルプを参照してください。

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明
[太字]	キーおよびボタンを示します。
「標準」	メッセージおよび設定項目を示します。

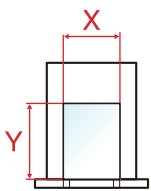

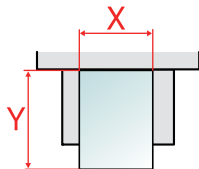

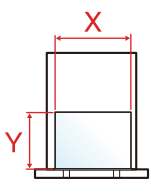

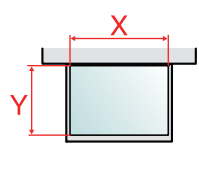

## 操作手順の表記について

本書中では、連続して操作する手順を、次のように>でつないで表記しています。

実際の手順	本書の表記
[システムメニュー/カウンター]キーを選択する ▼ [▲]または[▼]キーを選択して、[共通設定]を選択する ▼ [OK]キーを選択する	[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー

## 用紙サイズについて

本書中で使用する用紙サイズはA5のように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、用紙の向きを区別するために、縦向きのサイズには「R」をつけて表記しています。また、メッセージディスプレイでは、用紙のセット方向を次のアイコンで表示します。

セット向き	セットの仕方	セットの仕方 (X=長さ、Y=幅)	メッセージディスプレイ に表示されるアイコン	本書での表記サイズ*1
縦向き(-R)	カセット			A5-R
	手差しトレイ			A5-R
横向き	カセット			A5
	手差しトレイ			A5

\*1 使用できる用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは次を参照してください。

▶ [仕様 \(11-22ページ\)](#)

## オプションの表記について

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。

オプション品の正式な商品名称は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
PF-1100	ペーパーフィーダー
IC カード認証キット(B)	IC カード認証キット
UG-33	ThinPrint Option

# メニューマップ

メッセージディスプレイに表示されるメニューの一覧です。お客様の設定状況によっては、表示されない場合があります。また、参照先のタイトルはメニューの名称と異なる場合があります。



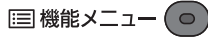
機能メニュー



用紙選択 ( <a href="#">6-8ページ</a> )
ソート ( <a href="#">6-9ページ</a> )
両面 ( <a href="#">6-9ページ</a> )
縮小/拡大 ( <a href="#">6-12ページ</a> )
ページ集約 ( <a href="#">6-14ページ</a> )
原稿サイズ ( <a href="#">6-16ページ</a> )
原稿セット向き ( <a href="#">6-16ページ</a> )
原稿サイズ混載 ( <a href="#">6-17ページ</a> )
原稿の画質 ( <a href="#">6-17ページ</a> )
濃度 ( <a href="#">6-18ページ</a> )
エコプリント ( <a href="#">6-18ページ</a> )
連続読み込み ( <a href="#">6-18ページ</a> )
文書名入力 ( <a href="#">6-19ページ</a> )
ジョブ終了通知 ( <a href="#">6-19ページ</a> )
優先印刷 ( <a href="#">6-19ページ</a> )
シャープネス ( <a href="#">6-20ページ</a> )
コントラスト ( <a href="#">6-21ページ</a> )
地色調整 ( <a href="#">6-21ページ</a> )
白紙ページスキップ ( <a href="#">6-21ページ</a> )



自分(メール) ( <a href="#">5-28ページ</a> )
メール ( <a href="#">5-15ページ</a> )
フォルダー (SMB) ( <a href="#">5-16ページ</a> )
フォルダー (FTP) ( <a href="#">5-18ページ</a> )
WSDスキャン ( <a href="#">5-24ページ</a> )
ファクスサーバー ( <a href="#">5-25ページ</a> )
ファクス(ファクス使用説明書参照)



カラー選択 ( <a href="#">6-20ページ</a> )
原稿サイズ ( <a href="#">6-16ページ</a> )
原稿の画質 ( <a href="#">6-17ページ</a> )
読み込み解像度 ( <a href="#">6-22ページ</a> )
送信サイズ ( <a href="#">6-22ページ</a> )
縮小/拡大 ( <a href="#">6-12ページ</a> )
原稿セット向き ( <a href="#">6-16ページ</a> )
原稿サイズ混載 ( <a href="#">6-17ページ</a> )
連続読み込み ( <a href="#">6-18ページ</a> )
ファイル形式 ( <a href="#">6-23ページ</a> )
文書名入力 ( <a href="#">6-19ページ</a> )
件名/本文 ( <a href="#">6-27ページ</a> )
ジョブ終了通知 ( <a href="#">6-19ページ</a> )
ファクス解像度(ファクス使用説明書参照)
ファクスタイマー送信(ファクス使用説明書参照)
ファクスダイレクト送信(ファクス使用説明書参照)
ファクスポーリング受信(ファクス使用説明書参照)
ファクス送信レポート(ファクス使用説明書参照)
濃度 ( <a href="#">6-18ページ</a> )
両面 ( <a href="#">6-27ページ</a> )
FTP暗号送信 ( <a href="#">6-28ページ</a> )
ファイル分割 ( <a href="#">6-28ページ</a> )
シャープネス ( <a href="#">6-20ページ</a> )
コントラスト ( <a href="#">6-21ページ</a> )
地色調整 ( <a href="#">6-21ページ</a> )
白紙ページスキップ ( <a href="#">6-21ページ</a> )

文書ボックス  
/USB



		Fコードボックス(ファクス使用説明書参照)		
		ポーリングボックス(ファクス使用説明書参照)		
ジョブ ボックス			プライベート(4-11ページ)	
			プライベート/ジョブ保(4-11ページ)	
			試し刷り後保留(4-15ページ)	
			クイック/試し刷り(4-13ページ)	
USB メモリー	文書保存	▶ 機能メニュー ◯ ▶	カラー選択(6-20ページ)	
			原稿サイズ(6-16ページ)	
			原稿の画質(6-17ページ)	
			読み込み解像度(6-22ページ)	
			保存サイズ(6-29ページ)	
			縮小/拡大(6-12ページ)	
			原稿セット向き(6-16ページ)	
			原稿サイズ混載(6-17ページ)	
			連続読み込み(6-18ページ)	
			ファイル形式(6-23ページ)	
			ファイル分割(6-28ページ)	
			文書名入力(6-19ページ)	
			ジョブ終了通知(6-19ページ)	
			濃度(6-18ページ)	
			両面(6-27ページ)	
			シャープネス(6-20ページ)	
			コントラスト(6-21ページ)	
			地色調整(6-21ページ)	
			白紙ページスキップ(6-21ページ)	
			(文書選択)	印刷
				用紙選択(6-8ページ)
				両面(6-9ページ)
				エコプリント(6-18ページ)
			文書名入力(6-19ページ)	
			ジョブ終了通知(6-19ページ)	
			優先印刷(6-19ページ)	
			暗号化PDF(6-29ページ)	
			JPEG/TIFF印刷(6-30ページ)	
			XPS印刷サイズ調整(6-30ページ)	

プログラム



プログラムの呼び出し ([5-8ページ](#))

状況確認 /  
ジョブ中止



印刷ジョブ状況 ([7-4ページ](#))

送信ジョブ状況 ([7-5ページ](#))

保存ジョブ状況 ([7-6ページ](#))

予約ジョブ ([7-7ページ](#))

印刷ジョブ履歴 ([7-10ページ](#))

送信ジョブ履歴 ([7-11ページ](#))

保存ジョブ履歴 ([7-12ページ](#))

ファクスジョブ履歴 (ファクス使用説明書参照)

スキャナー ([7-14ページ](#))

プリンター ([7-14ページ](#))

ファクス (ファクス使用説明書参照)

トナー状況 ([7-15ページ](#))

用紙状況 ([7-15ページ](#))

USBメモリー ([7-14ページ](#))

USBキーボード ([7-14ページ](#))

ネットワーク接続 ([7-14ページ](#))

Wi-Fi ([7-14ページ](#))

システムメニュー/  
カウンター



レポート	レポート印刷	メニューマップ <a href="#">(8-5ページ)</a>		
		ステータスページ <a href="#">(8-5ページ)</a>		
		フォントリスト <a href="#">(8-5ページ)</a>		
	管理レポート設定 (ファクス使用説明書参照)			
	結果通知設定 <a href="#">(8-6ページ)</a>			
	ジョブ履歴	自動送信 <a href="#">(8-6ページ)</a>		
		履歴送信 <a href="#">(8-6ページ)</a>		
		宛先 <a href="#">(8-6ページ)</a>		
		件名 <a href="#">(8-6ページ)</a>		
		個人情報 <a href="#">(8-6ページ)</a>		
カウンター <a href="#">(2-43ページ)</a>				
システム/ネットワーク	ネットワーク設定	ホスト名 <a href="#">(8-7ページ)</a>		
		Wi-Fiダイレクト設定	Wi-Fiダイレクト <a href="#">(8-7ページ)</a>	
			デバイス名 <a href="#">(8-7ページ)</a>	
			IPアドレス <a href="#">(8-7ページ)</a>	
			自動切断設定 <a href="#">(8-7ページ)</a>	
		Wi-Fi設定	Wi-Fi <a href="#">(8-7ページ)</a>	
			セットアップ <a href="#">(8-8ページ)</a>	
			TCP/IP設定 <a href="#">(8-9ページ)</a>	
			ネットワークの再起動 <a href="#">(8-10ページ)</a>	
		有線ネットワーク設定	TCP/IP設定 <a href="#">(8-11ページ)</a>	
			LANインターフェイス <a href="#">(8-11ページ)</a>	
		Bonjour <a href="#">(8-11ページ)</a>		
		IPSec <a href="#">(8-11ページ)</a>		
		プロトコル設定 <a href="#">(8-11ページ)</a>		
		セキュア設定 <a href="#">(8-15ページ)</a>		
		Ping <a href="#">(8-15ページ)</a>		
		ネットワークの再起動 <a href="#">(8-16ページ)</a>		
		優先ネットワーク <a href="#">(8-16ページ)</a>		
		I/Fブロック設定	USBホスト <a href="#">(8-16ページ)</a>	
USBデバイス <a href="#">(8-16ページ)</a>				
USBストレージ <a href="#">(8-16ページ)</a>				
セキュリティレベル <a href="#">(8-16ページ)</a>				



システム/ネットワーク	再起動 ( <a href="#">8-17ページ</a> )		
	オプション機能 ( <a href="#">8-17ページ</a> )		
	ファクスサーバー設定 ( <a href="#">8-17ページ</a> )		
ユーザー/部門管理	ユーザー管理設定	ユーザー管理 ( <a href="#">9-3ページ</a> )	
		ローカルユーザーリスト ( <a href="#">9-6ページ</a> )	
		アカウントロックアウト ( <a href="#">9-5ページ</a> )	
		ICカード設定	テンキーログイン ( <a href="#">9-18ページ</a> )
			追加認証 ( <a href="#">9-18ページ</a> )
		グループ認可 ( <a href="#">9-14ページ</a> )	
		ゲスト認可設定 ( <a href="#">9-15ページ</a> )	
		PINコードログイン ( <a href="#">9-19ページ</a> )	
		ネットワークユーザー情報 ( <a href="#">9-17ページ</a> )	
	部門管理設定	部門管理 ( <a href="#">9-22ページ</a> )	
		部門管理方式 ( <a href="#">9-23ページ</a> )	
		部門レポート ( <a href="#">9-35ページ</a> )	
		全部門集計 ( <a href="#">9-34ページ</a> )	
		部門別集計 ( <a href="#">9-34ページ</a> )	
		部門リスト ( <a href="#">9-24ページ</a> )	
		初期設定	制限超過時設定 ( <a href="#">9-33ページ</a> )
		コピー/プリンターカウント ( <a href="#">9-33ページ</a> )	
		カウンター制限初期値 ( <a href="#">9-33ページ</a> )	
	不明ユーザー設定	ID不明ジョブ処理 ( <a href="#">9-37ページ</a> )	
		ユーザー情報 ( <a href="#">9-38ページ</a> )	
ユーザー情報 ( <a href="#">9-8ページ</a> )			
共通設定	言語選択 ( <a href="#">8-18ページ</a> )		
	初期画面 ( <a href="#">8-18ページ</a> )		
	音設定	ブザー ( <a href="#">8-18ページ</a> )	
		ファクススピーカー音 (ファクス使用説明書参照)	
		ファクスモニター音 (ファクス使用説明書参照)	
画面の明るさ ( <a href="#">8-19ページ</a> )			

共通設定	原稿/用紙設定	カスタム原稿サイズ登録 <a href="#">(8-19ページ)</a>	
		原稿検知 (DP) <a href="#">(8-19ページ)</a>	
		原稿サイズ初期値 <a href="#">(8-19ページ)</a>	
		カスタム用紙サイズ登録 <a href="#">(8-20ページ)</a>	
		カセット1設定	カセット1サイズ <a href="#">(8-22ページ)</a>
			カセット1タイプ <a href="#">(8-22ページ)</a>
		カセット2設定	カセット2サイズ <a href="#">(8-22ページ)</a>
			カセット2タイプ <a href="#">(8-22ページ)</a>
		カセット3設定	カセット3サイズ <a href="#">(8-22ページ)</a>
			カセット3タイプ <a href="#">(8-22ページ)</a>
		手差し設定	手差しサイズ <a href="#">(8-22ページ)</a>
			手差しタイプ <a href="#">(8-22ページ)</a>
		用紙種類の設定 <a href="#">(8-20ページ)</a>	
		自動選択の用紙 <a href="#">(8-20ページ)</a>	
		優先給紙元 <a href="#">(8-21ページ)</a>	
	特定用紙種類動作 <a href="#">(8-21ページ)</a>		
	用紙セット時の確認 <a href="#">(8-21ページ)</a>		
	部数制限 <a href="#">(8-23ページ)</a>		
	入力長さ単位 <a href="#">(8-23ページ)</a>		
	エラー処理設定	両面用紙エラー <a href="#">(8-24ページ)</a>	
		用紙ミスマッチエラー <a href="#">(8-24ページ)</a>	
	日時設定	日付/時刻 <a href="#">(8-24ページ)</a>	
		日付形式 <a href="#">(8-24ページ)</a>	
		時差 <a href="#">(8-24ページ)</a>	
		サマータイム <a href="#">(8-24ページ)</a>	
	タイマー設定	オートパネルリセット <a href="#">(8-25ページ)</a>	
		パネルリセット時間 <a href="#">(8-25ページ)</a>	
		スリープレベル <a href="#">(8-25ページ)</a>	
		スリープ時間 <a href="#">(8-25ページ)</a>	
		エラー後自動継続 <a href="#">(8-25ページ)</a>	
		エラー後継続時間 <a href="#">(8-25ページ)</a>	
		使用禁止時刻設定 (ファクス使用説明書参照)	
Pingタイムアウト時間 <a href="#">(8-25ページ)</a>			

共通設定	機能初期値	カラー選択 ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		読み込み解像度 ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		ファクス解像度(ファクス使用説明書参照)	
		原稿画質(コピー) ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		原稿画質(送信) ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		縮小/拡大 ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		ソート ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		原稿セット向き ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		地色調整(コピー) ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		地色調整(送信) ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		エコプリント ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		白紙スキップ(コピー) ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		白紙スキップ(送信) ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		文書名入力 ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		件名/本文 ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		連続読込-Copy ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		連続読込-FAX ( <a href="#">8-26ページ</a> )	
		連続読込-Other ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		ファイル形式 ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		ファイル分割 ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		JPEG/TIFF印刷 ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		XPS印刷サイズ調整 ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		詳細設定	2 in 1レイアウト ( <a href="#">8-27ページ</a> )
			4 in 1レイアウト ( <a href="#">8-27ページ</a> )
		境界線 ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		原稿とじ方向 ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		仕上がりとし方向 ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		画質 ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		カラーTIFF圧縮方式 ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
		PDF/A ( <a href="#">8-27ページ</a> )	
	高圧縮PDF ( <a href="#">8-27ページ</a> )		
	白紙レベル(コピー) ( <a href="#">8-27ページ</a> )		
	白紙レベル(送信) ( <a href="#">8-27ページ</a> )		
	ログイン操作方法 ( <a href="#">8-28ページ</a> )		
	RAMディスクモード ( <a href="#">8-28ページ</a> )		

共通設定	SDカードフォーマット ( <a href="#">8-28ページ</a> )	
	オプションメモリー使用量 ( <a href="#">8-28ページ</a> )	
	状況/履歴の表示 ( <a href="#">8-29ページ</a> )	
	トナー残量少の通知 ( <a href="#">8-29ページ</a> )	
	電源オフ時の確認 ( <a href="#">8-29ページ</a> )	
	節電設定	復帰レベル ( <a href="#">8-29ページ</a> )
コピー	用紙選択 ( <a href="#">8-30ページ</a> )	
	自動用紙動作設定 ( <a href="#">8-30ページ</a> )	
	自動倍率優先 ( <a href="#">8-30ページ</a> )	
	原稿送り装置動作 ( <a href="#">8-30ページ</a> )	
	選択キー設定 ( <a href="#">8-30ページ</a> )	
プリンター	エミュレーション設定 ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	エコプリント ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	A4/LTR共通使用 ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	両面 ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	部数 ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	印刷向き ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	ワイドA4 ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	改ページ待ち時間 ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	改行 (LF) 動作 ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	復帰 (CR) 動作 ( <a href="#">8-31ページ</a> )	
	ジョブ名 ( <a href="#">8-32ページ</a> )	
	ユーザー名 ( <a href="#">8-32ページ</a> )	
	印刷範囲補正 ( <a href="#">8-32ページ</a> )	
	手差しトレイ優先 ( <a href="#">8-32ページ</a> )	
	給紙指定動作設定 ( <a href="#">8-32ページ</a> )	
	自動カセット切替 ( <a href="#">8-32ページ</a> )	
	解像度 ( <a href="#">8-32ページ</a> )	
	KIR ( <a href="#">8-32ページ</a> )	
	送信	選択キー設定 ( <a href="#">8-33ページ</a> )
宛先確認 ( <a href="#">8-33ページ</a> )		
新規宛先の入力 ( <a href="#">8-33ページ</a> )		
再宛先 ( <a href="#">8-33ページ</a> )		
初期画面 ( <a href="#">8-33ページ</a> )		
送信控え転送 ( <a href="#">8-33ページ</a> )		
ファクス(ファクス使用説明書参照)		

文書ボックス	Fコードボックス(ファクス使用説明書参照)	
	ジョブボックス	クイックコピー保持数 ( <a href="#">8-34ページ</a> )
		一時保存文書消去 ( <a href="#">8-34ページ</a> )
	ポーリングボックス(ファクス使用説明書参照)	
選択キー設定 ( <a href="#">8-34ページ</a> )		
宛先編集	アドレス帳 ( <a href="#">8-35ページ</a> )	
	リスト印刷 ( <a href="#">8-35ページ</a> )	
	アドレス帳初期設定 ( <a href="#">8-35ページ</a> )	
調整/メンテナンス	コピー濃度調整 ( <a href="#">8-36ページ</a> )	
	送信/ボックス濃度 ( <a href="#">8-36ページ</a> )	
	コントラスト(コピー) ( <a href="#">8-36ページ</a> )	
	コントラスト(送信) ( <a href="#">8-36ページ</a> )	
	地色調整 ( <a href="#">8-36ページ</a> )	
	印刷濃度 ( <a href="#">8-36ページ</a> )	
	自動カラー判別基準 ( <a href="#">8-36ページ</a> )	
	黒筋軽減処理 ( <a href="#">8-36ページ</a> )	
サービス設定 ( <a href="#">8-36ページ</a> )		

# 1 正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、最初に必ずお読みください。ここでは次の内容を説明しています。


注意事項 .....	1-2
本書中の注意表示について .....	1-2
設置環境について .....	1-3
取り扱い上のご注意 .....	1-4
コピー/スキャン禁止事項 .....	1-5
法律上のご注意 .....	1-6
本製品の省エネ制御機能について .....	1-12
自動両面機能について .....	1-12
印刷用紙 .....	1-12
電力管理 .....	1-12
国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム .....	1-12
無線LAN使用時のご注意 .....	1-13
電波の種類と干渉距離 .....	1-13
無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意 .....	1-13
本製品の使用限定 .....	1-14


## 注意事項

使用にあたって、注意すべき事項を説明します。

### 本書中の注意表示について


この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


 警告: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


### 絵表示


△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれていません。

 「注意一般」


 「高温注意」


⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれていません。


 「禁止一般」

 「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれていません。

 「強制一般」

 「電源プラグをコンセントから抜け」

 「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取扱店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。(有償)

### おことわり

本機は偽造防止機能を搭載しているため、紙幣に酷似している原稿はまれに正常なコピーがとれない場合があります。

## 設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

温度	10～32.5℃
湿度	10～80%

また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。



## 取り扱い上のご注意

### 消耗品の取り扱いについて



トナーの入った容器およびユニットは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーの入った容器およびユニットは、子供の手に触れることのないように保管してください。

トナーの入った容器およびユニットよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーの入った容器およびユニットは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

### その他の注意事項

使用後、不要となったトナーコンテナは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

## コピー/スキャン禁止事項

複合機を使って何をコピー/スキャンしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有したり、スキャンするだけでも罰せられることがありますので、次の点に十分ご注意ください。

### 法律で禁止されている事項

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピー/スキャンすることを禁止されています。見本の印が押してあっても、コピー/スキャンすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー/スキャンも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、はがき(料額印面付き)の類は、コピー/スキャンすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピー/スキャンもできません。

(関係法律)

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

### 注意を要する事項

- ① 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピー/スキャンしないほうがよいと考えられます。

### 著作物の取り扱いについて

著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピー/スキャンする以外は、禁じられています。

## 法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複製複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

### 商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシス、ECOSYSは、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDLは、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2012、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10およびInternet Explorerは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Timesは、Linotype GmbH.の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporationの登録商標です。
- ThinPrintはCortado AGのドイツ及びその他の国における商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からのUFST<sup>TM</sup> MicroType<sup>®</sup>のフォントを搭載しています。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。  
"Multilingual Advanced Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2005-2012 All Rights Reserved
- iPad、iPhone、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴはApple Inc.の商標です。
- iOSはCiscoの米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- iPhoneはアイホン株式会社の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- GoogleおよびGoogle Cloud Print<sup>TM</sup>はGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- Mopria<sup>TM</sup>は、Mopria<sup>TM</sup>Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にはTMおよび®は明記していません。

### GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL (<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>) もしくは LGPL (<http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html>) が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLの条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソースコードの入手方法については、<http://www.kyoceradocumentsolutions.com/gpl/>にアクセスしてください。

## OpenSSLライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## オリジナルSSLeyライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:  
“This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)”  
The word ‘cryptographic’ can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

### Monotype Imagingライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェイス」）のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。  
当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。  
いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
10. お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。

11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。

さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。

12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

## Knopflerfish ライセンス

以下は英語の原文です。

This product includes software developed by the Knopflerfish Project.

<http://www.knopflerfish.org>

Copyright 2003-2010 The Knopflerfish Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the KNOPLERFISH project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## Apacheライセンス (Version 2.0)

以下は英語の原文です。

Apache License  
Version 2.0, January 2004  
<http://www.apache.org/licenses/>

## TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

### 1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.



“Object” form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

“Work” shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

“Derivative Works” shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

“Contribution” shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, “submitted” means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as “Not a Contribution.”

“Contributor” shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
  - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
  - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
  - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
  - (d) If the Work includes a “NOTICE” text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets “[]” replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same “printed page” as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.



## 本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

➔ [スリープとは \(2-27ページ\)](#)

## 自動両面機能について

本製品は用紙の両面に印刷できる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面に印刷することで、紙の使用量を軽減することができます。

➔ [両面 \(6-9ページ\)](#)

両面印刷することにより用紙の使用量を削減でき、森林資源の節約に貢献できます。さらに、用紙の購入量が減少することで、経費の節約にも繋がります。したがって、両面印刷が可能な製品においては、印刷モードの初期値を両面印刷に設定して使用されることをお勧めします。

## 印刷用紙

森林資源の保護と持続可能な活用のために、EN 12281:2002\* や同等の品質基準を満たしている、環境管理イニシアティブ認定紙やエコラベルの認定を受けたバージン紙および再生紙の使用を推奨します。

また、本製品は64 g/m<sup>2</sup> 用紙への印刷が可能であり、このようなうすい用紙を使用することで、より一層の森林資源の節約に繋がります。

\* :印刷及びビジネス用紙 - 乾式トナー画像形成プロセス用コピー用紙の要件

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

## 電力管理

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に使用してから一定時間経過すると自動的に省電力モードに移行する電力管理を行っています。省電力モードに移行した状態では、すぐに使用可能な状態になるまでに若干の時間が必要ですが、余分な電力を大きく削減することができます。省電力モードへの移行時間は、出荷時の設定値のまま使用されることをお勧めします。

## 国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エネルギースター・プログラムは、地球温暖化防止対策の一環としてエネルギー効率の高い製品の開発と普及を目的とした自主的な省エネルギーラベル制度です。エネルギースター認証製品を購入することで、製品使用時における地球温暖化ガスの排出削減に繋がるとともに、お客様の電力関連コストの削減にも貢献します。

## 無線LAN使用時のご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発信を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:弊社お客様相談窓口

## 電波の種類と干渉距離

**2.4 DS4/OF4**

「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

「DS」:変調方式がDS-SS方式であることを表す。(IEEE802.11bのとき)

「OF」:変調方式がOFDM方式であることを表す。(IEEE802.11g/nのとき)

「4」:想定される与干渉距離が40 m以下であることを表す。

「--」:全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

## 無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

### 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

### 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような不正な行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

## 本製品の使用限定

- 本製品から発信する電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品から発信する電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェイルセーフ設計や冗長性設計の対応をとるなど、システム全体の安全設計を考慮いただいた上で本製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図していませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様ご自身で十分ご確認の上、ご判断ください。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」  
に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

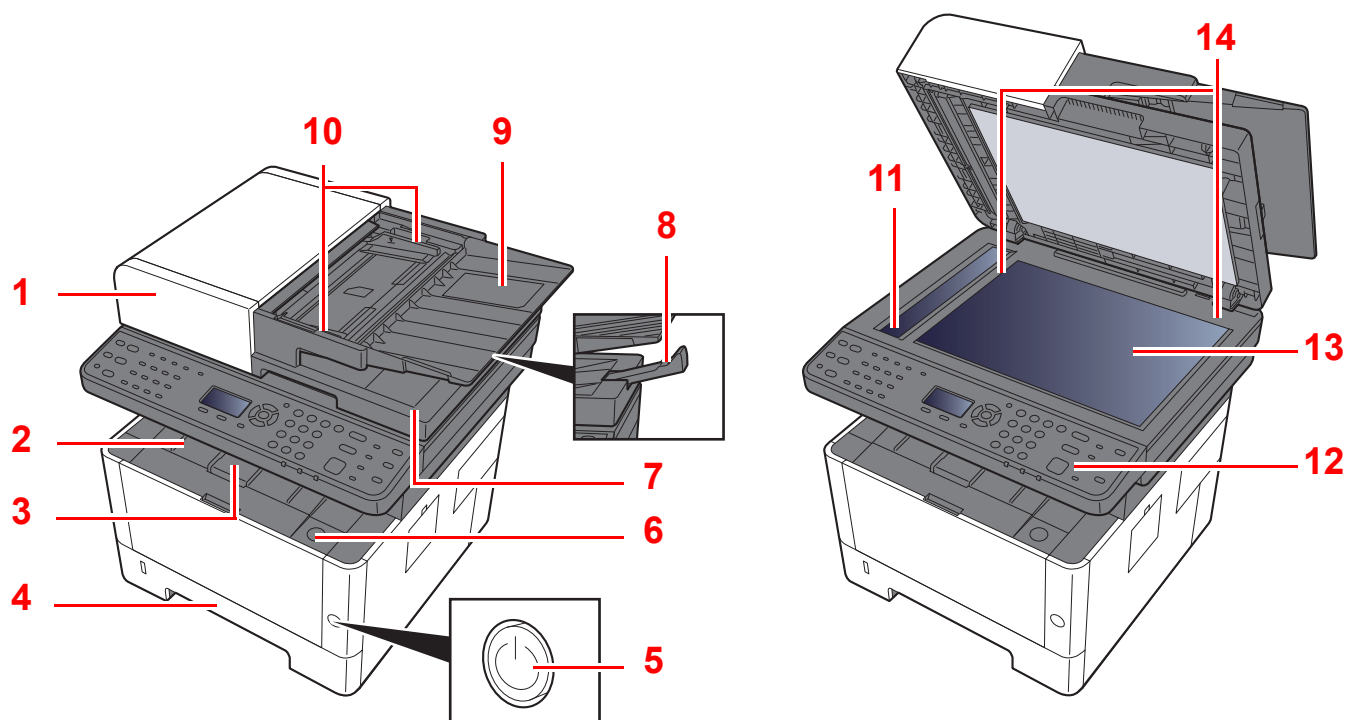
この製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

# 2 設置と機械のセットアップ

この章では、各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストールなど、本機の管理者用の情報について説明しています。

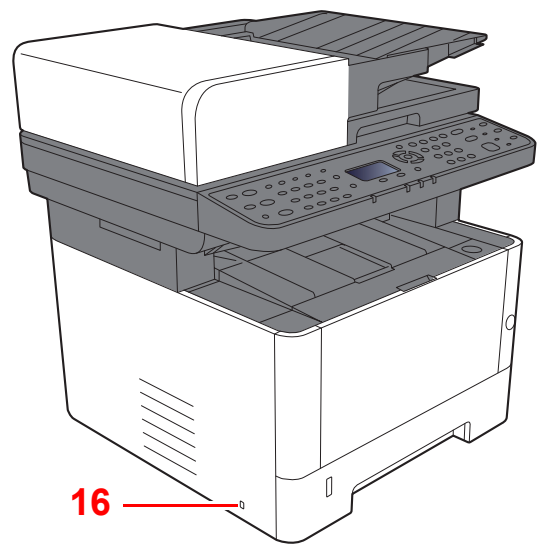
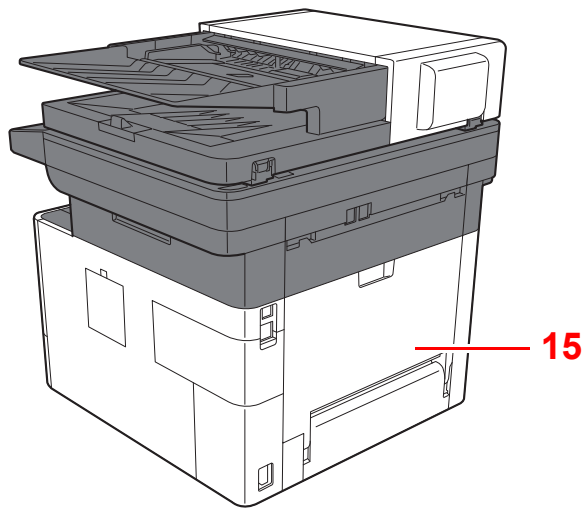
各部の名称(本体外観) .....	2-2	Command Center RXとは .....	2-45
各部の名称(コネクター・内部) .....	2-4	Command Center RX へアクセスする .....	2-46
各部の名称(オプション装着時) .....	2-6	セキュリティー設定を変更する .....	2-47
本機とその他デバイスを接続する .....	2-7	デバイス情報を変更する .....	2-49
ケーブルを接続する .....	2-8	SMTPおよびメール送信の設定をする .....	2-51
ネットワークケーブルを接続する .....	2-8	宛先を登録する .....	2-55
USBケーブルを接続する .....	2-9	弊社の他製品からデータを移行する .....	2-56
電源コードを接続する .....	2-9	アドレス帳を移行する .....	2-56
電源を入/切する .....	2-10		
電源を入れる .....	2-10		
電源を切る .....	2-10		
操作パネルの使いかた .....	2-11		
操作パネルキー .....	2-11		
操作方法 .....	2-13		
原稿と用紙の設定を確認する .....	2-14		
ヘルプ画面の使いかた .....	2-14		
本機にログイン・ログアウトする .....	2-15		
ログインする .....	2-15		
ログアウトする .....	2-16		
機械の初期設定をする .....	2-17		
日付と時刻を設定する .....	2-17		
ネットワークを設定する .....	2-18		
有線でネットワークを設定する .....	2-18		
ワイヤレスネットワークを設定する .....	2-20		
Wi-Fiダイレクトを設定する .....	2-25		
省エネ機能を使う .....	2-27		
スリープとは .....	2-27		
オートスリープとは .....	2-28		
スリープレベルとは(節電優先と復帰優先) .....	2-28		
静音モードを使う .....	2-29		
ソフトウェアをインストールする .....	2-30		
収録ソフトウェア(Windows) .....	2-30		
Windowsにソフトウェアを インストールする .....	2-31		
ソフトウェアをアンインストールする .....	2-37		
Macintoshにソフトウェアを インストールする .....	2-38		
TWAINドライバーを設定する .....	2-40		
WIAドライバーを設定する .....	2-42		
カウンターを確認する .....	2-43		
管理者に準備していただきたいこと .....	2-44		
パソコンに文書を送信するためには .....	2-44		
セキュリティーを強化する .....	2-44		

## 各部の名称(本体外観)



- 1 原稿送り装置
- 2 内部トレイ
- 3 排紙ストッパー
- 4 カセット1
- 5 電源スイッチ
- 6 前カバーオープンボタン
- 7 原稿排紙テーブル

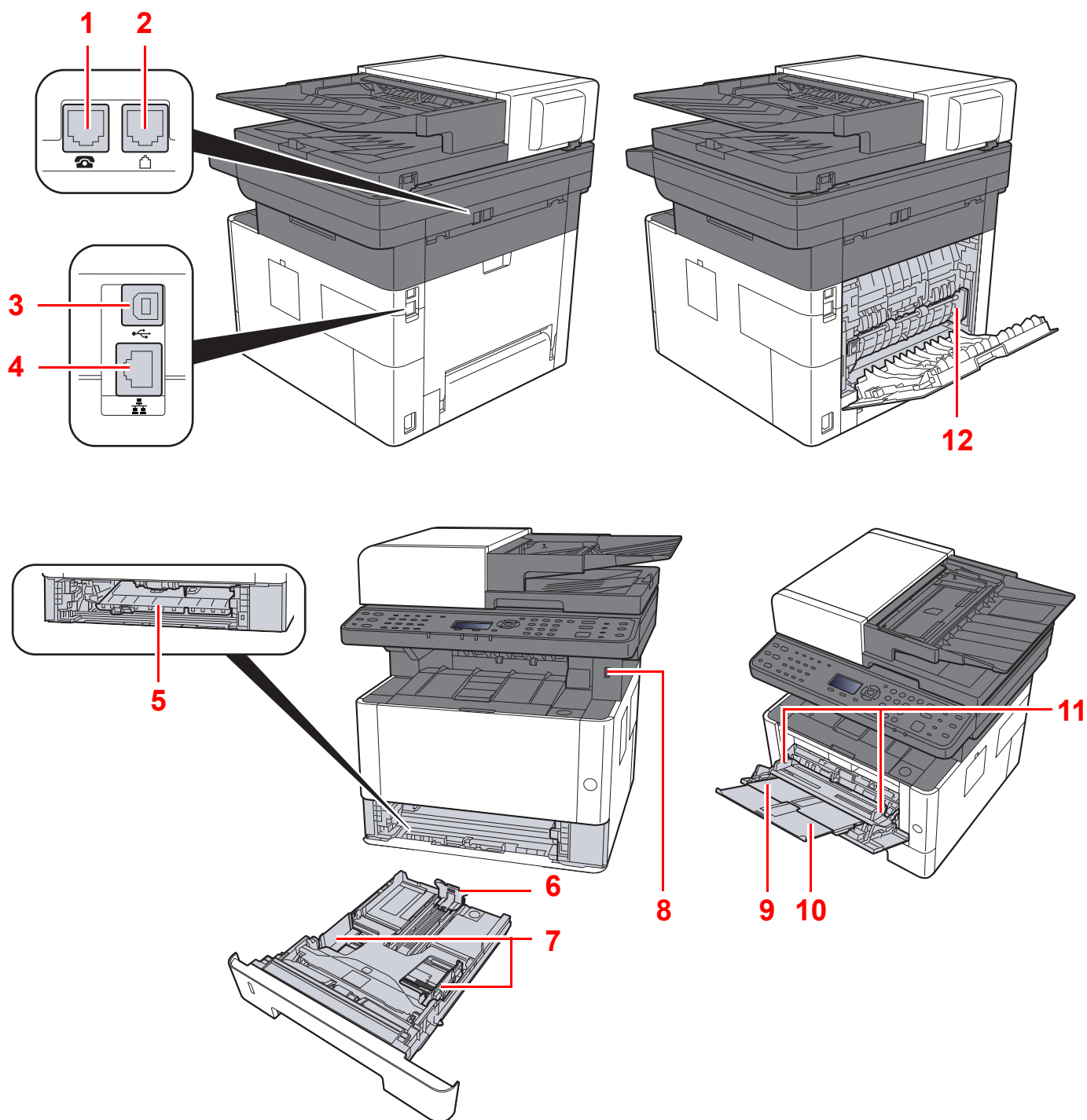
- 8 原稿ストッパー
- 9 原稿トレイ
- 10 原稿幅ガイド
- 11 スリットガラス
- 12 操作パネル
- 13 原稿ガラス
- 14 原稿サイズ指示板



15 後ろカバー

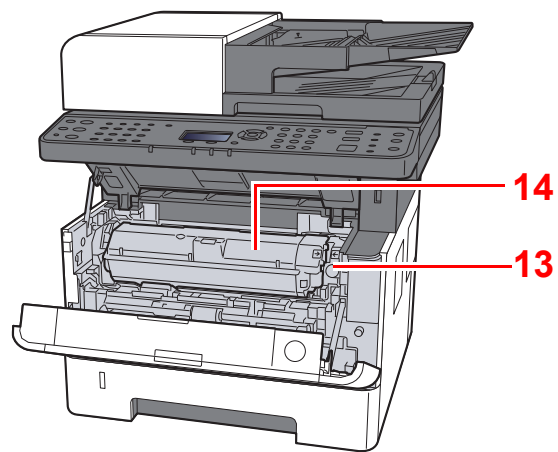
16 盗難防止ロック用スロット

## 各部の名称(コネクター・内部)



- 1 TELコネクター
- 2 LINEコネクター
- 3 USBインターフェイスコネクター
- 4 ネットワークインターフェイスコネクター
- 5 搬送カバー
- 6 用紙長さガイド

- 7 用紙幅ガイド
- 8 USBメモリースロット
- 9 手差しトレイ
- 10 補助トレイ
- 11 用紙ガイド
- 12 定着カバー

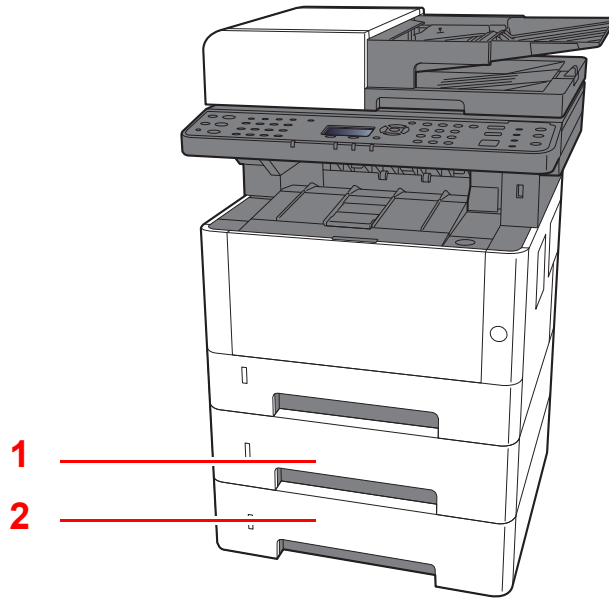


13 トナーコンテナ解除ボタン

14 トナーコンテナ



## 各部の名称(オプション装着時)



1 カセット2

2 カセット3

▶ [オプションについて \(11-2ページ\)](#)

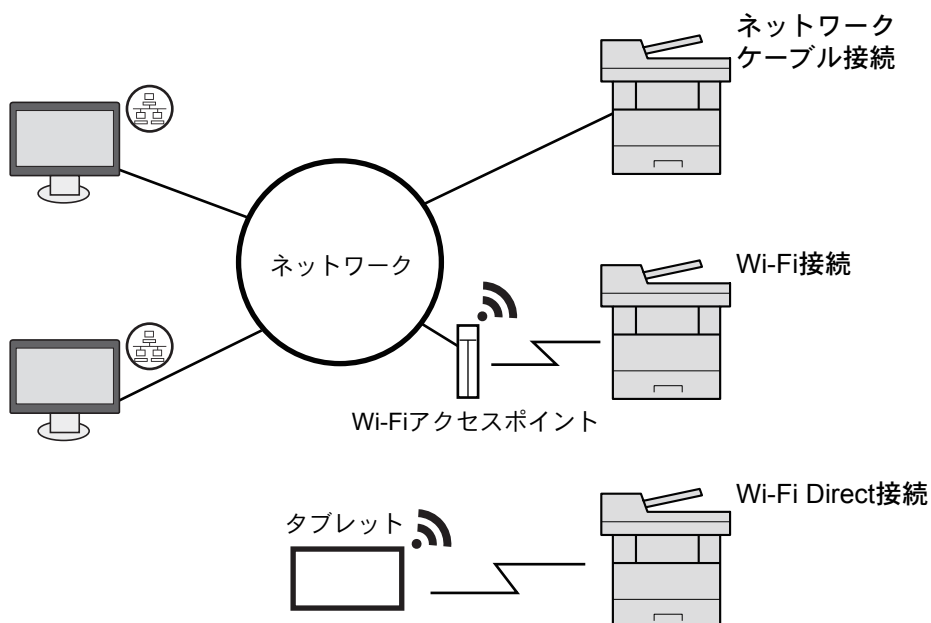
## 本機とその他デバイスを接続する

本機を使用する目的や環境に合わせて必要なケーブルを用意してください。

本機とパソコンをUSBで接続する場合



本機とパソコンやタブレットをネットワークケーブル、Wi-Fi、Wi-Fi Directで接続する場合



### 参考

無線LANをご使用になる場合は、次を参照してください。

▶ [ワイヤレスネットワークを設定する \(2-20ページ\)](#)

使用できるケーブル

接続環境	使用できる機能	必要なケーブル
本機をネットワークケーブルで接続する	プリンター/スキャナー/Network FAX	ネットワークケーブル (10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T)
本機をUSBケーブルで接続する	プリンター/スキャナー (TWAIN/WIA)	USB2.0 適合ケーブル (Hi-Speed USB 準拠5.0 m 以下、シールド付)

### 重要

USB2.0適合ケーブルを使用しない場合、故障の原因となります。

# ケーブルを接続する

## ネットワークケーブルを接続する

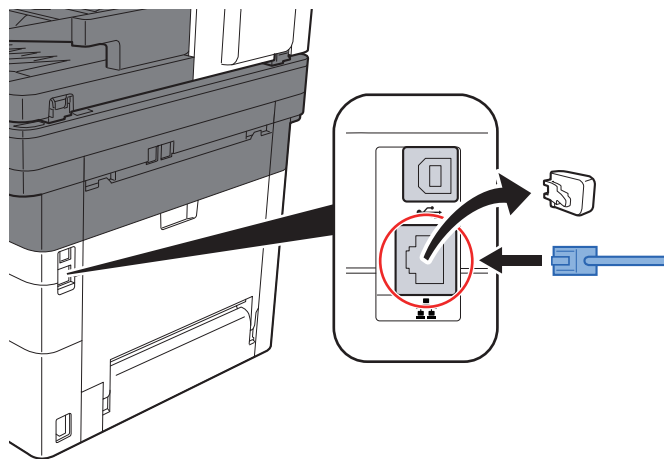
☑ **重要**

本機の電源が入っていないことを確認してください。

➔ [電源を切る \(2-10ページ\)](#)

### 1 接続する

- 1 ネットワークインターフェイスコネクタに、ネットワークケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、HUB(集線装置)またはPCに接続します。

### 2 本機の電源を入れて、ネットワークを設定する

➔ [ネットワークを設定する \(2-18ページ\)](#)

## USBケーブルを接続する

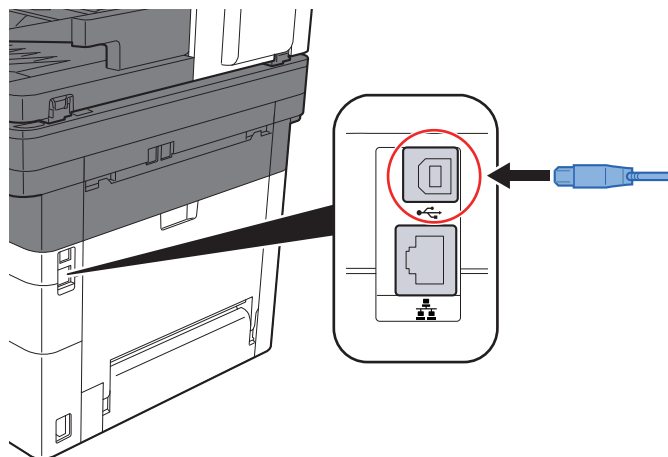
☑ **重要**

本機の電源が入っていないことを確認してください。

➔ [電源を切る \(2-10ページ\)](#)

### 1 接続する

- 1 USBインターフェイスコネクタに、USBケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

### 2 本体の電源を入れる

## 電源コードを接続する

### 1 コードを接続する

付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。

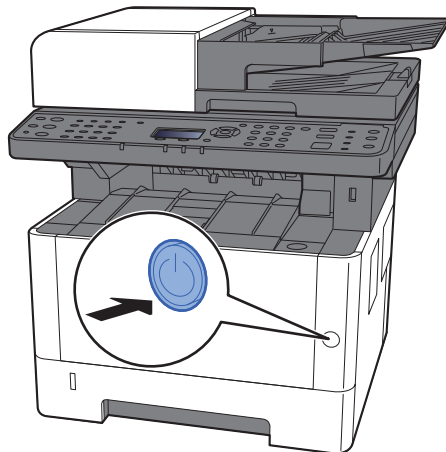
☑ **重要**

電源コードは、必ず本機に付属のものをご使用ください。

# 電源を入/切する

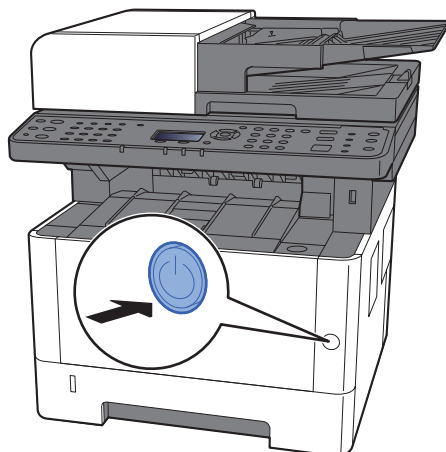
## 電源を入れる

### 1 電源スイッチを入れる



## 電源を切る

### 1 電源スイッチを切る



シャットダウンの確認画面が表示されます。

➔ [電源オフ時の確認 \(8-29ページ\)](#)

電源が切れるまでに約3分かかる場合があります。



### 注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

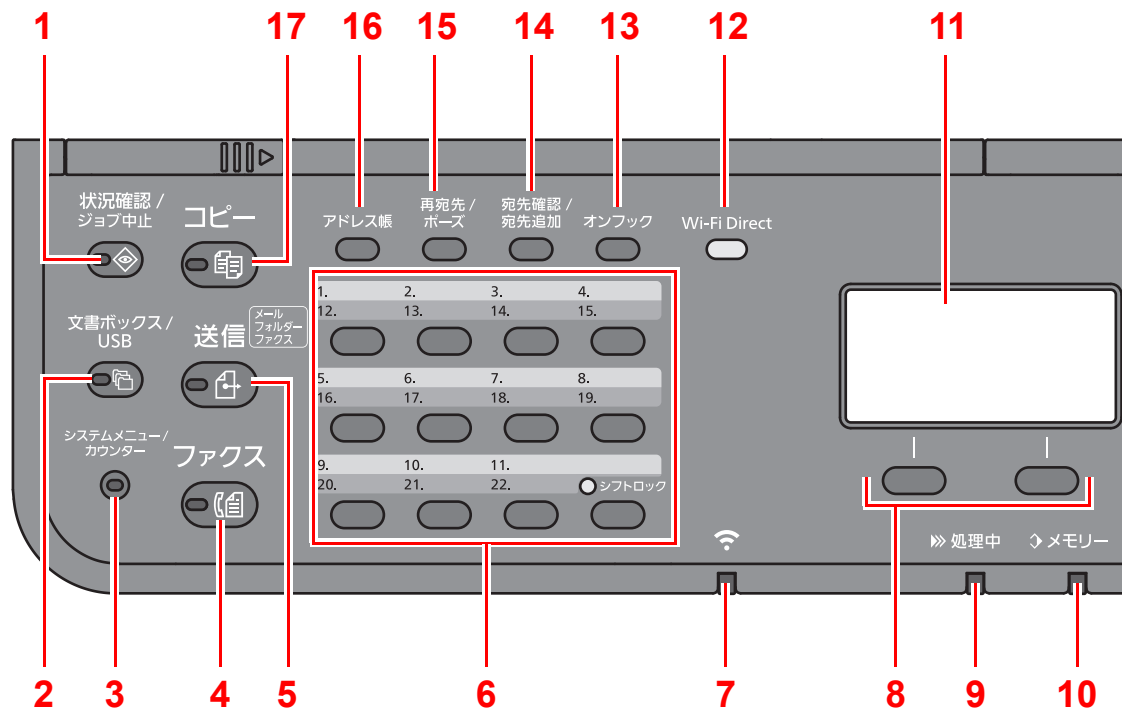


### 重要

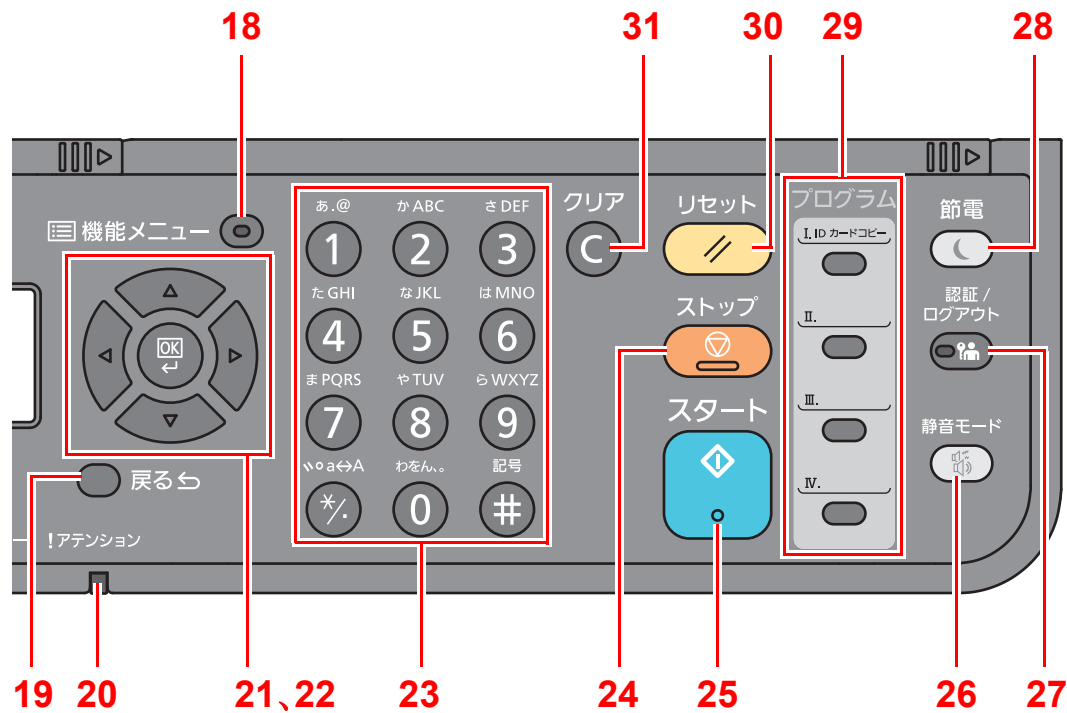
- 電源スイッチが切れているときは、ファクスの送信/受信を行いません。
- 用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して保管袋に入れて密封保管してください。

# 操作パネルの使いかた

## 操作パネルキー



- 1 [状況確認/ジョブ中止]キー:状況確認/ジョブ中止画面を表示します。
- 2 [文書ボックス/USB]キー:文書ボックス/USB画面を表示します。
- 3 [システムメニュー/カウンター]キー:システムメニュー/カウンター画面を表示します。
- 4 [ファクス]キー:ファクス画面を表示します。
- 5 [送信]キー:送信の基本画面が表示されます。アドレス帳の画面を表示するように設定することもできます。
- 6 ワンタッチキー:ワンタッチキーに登録されている宛先を呼び出します。
- 7 Wi-Fiランプ:Wi-Fi接続中に点灯します。
- 8 選択キー:メッセージディスプレイの下部に表示されたメニューを選択します。
- 9 [処理中]ランプ:印刷中や送受信の処理中に点滅します。
- 10 [メモリー]ランプ:本体メモリー、ファクス用メモリーにアクセス中に点滅します。
- 11 メッセージディスプレイ:設定項目や機器の状態、エラーメッセージを表示します。
- 12 [Wi-Fi Direct]キー:Wi-Fiダイレクトを設定したり、接続に必要な情報や接続状況を表示します。
- 13 [オンフック]キー:電話回線のオンフック・オフフックを切り替えます。
- 14 [宛先確認/宛先追加]キー:宛先の確認や宛先を追加するときに使用します。
- 15 [再宛先/ポーズ]キー:1 ジョブ前の送信宛先を呼び出します。また、ファクス番号入力時にポーズ(-)を入力します。
- 16 [アドレス帳]キー:アドレス帳画面を表示します。
- 17 [コピー]キー:コピー画面を表示します。



18 [機能メニュー]キー：機能設定画面を表示します。

19 [戻る]キー：1 つ前の画面に戻ります。

20 [アテンション]ランプ：エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。

21 矢印キー：メッセージディスプレイで数値を増減させたり、メニューを選択します。また、文字を入力するとき、カーソルを移動させます。

22 [OK]キー：入力された機能やメニュー、または数値を確定します。

23 テンキー：数字や記号を入力します。

24 [ストップ]キー：動作中のジョブを中止、または一時停止します。

25 [スタート]キー：コピーやスキャン動作を開始したり、設定動作の処理を開始したりします。

26 [静音モード]キー：本機の動作音を抑えることができます。

27 [認証/ログアウト]キー：ユーザー認証と、各ユーザーの操作を終了(ログアウト)します。

28 [節電]キー：本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープから復帰します。

29 プログラムキー：プログラムの登録および呼び出しをします。

30 [リセット]キー：設定値を初期状態に戻します。

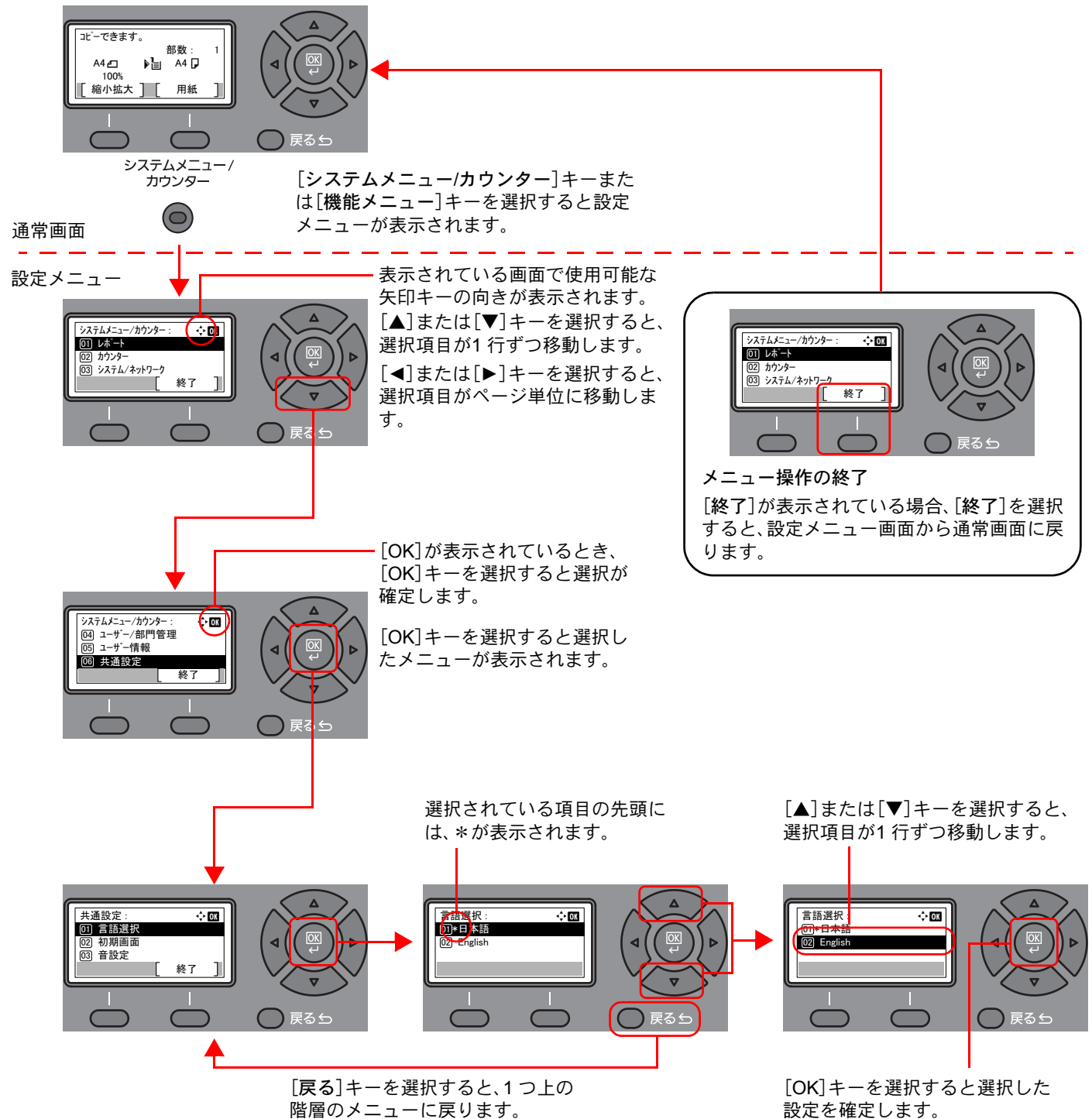
31 [クリア]キー：入力した数値や文字を消去します。

## 操作方法

ここでは、設定メニューの操作方法について説明します。

### メニューの表示と設定のしかた

[システムメニュー/カウンター]キーまたは[機能メニュー]キーを選択すると設定メニューが表示されます。[▲]キー、[▼]キー、[◀]キー、[▶]キー、[OK]キーまたは[戻る]キーを選択してメニューを選択し、設定を実行します。

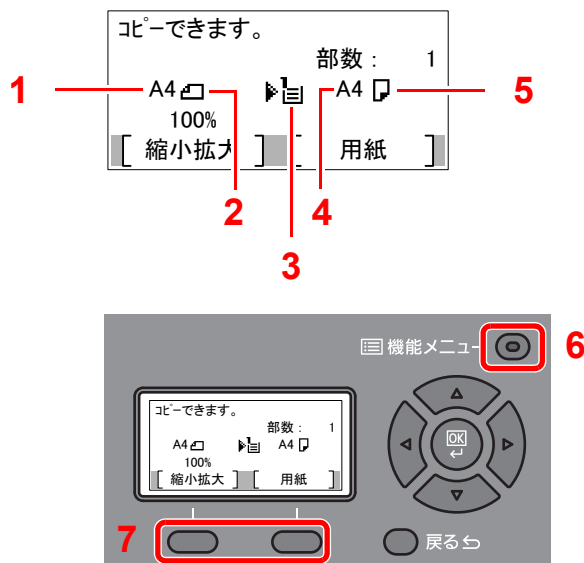




## 原稿と用紙の設定を確認する

原稿と、用紙の現在の設定値が表示されます。

ここでは、コピーの画面を例に説明します。



- 1 原稿サイズ
- 2 原稿セット向き
- 3 給紙元
- 4 用紙サイズ
- 5 用紙のセット向き

- 6 [機能メニュー]キー
- 7 選択キー

### 参考

・ [機能メニュー]キーを選択することで、原稿と用紙の設定を行うことができます。

➔ [用紙選択 \(6-8ページ\)](#)

[原稿サイズ \(6-16ページ\)](#)

[原稿セット向き \(6-16ページ\)](#)

・ 選択キーによく使う機能を登録することができます。

➔ [選択キー設定 \(8-33ページ\)](#)

## ヘルプ画面の使いかた

操作に困ったときは、操作パネルで使いかたを確認できます。

メッセージディスプレイに[ヘルプ]が表示されている場合、[ヘルプ]を選択するとヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では操作方法を確認できます。



[▼]キーを選択すると次の手順が、[▲]キーを選択すると前の手順が表示されます。

[OK]キーを選択するとヘルプ画面は終了します。

# 本機にログイン・ログアウトする

管理者権限が必要な機能を設定する場合またはユーザー管理が有効になっている場合、ログインユーザー名とログインパスワードが必要になります。

## 参考

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

ログインユーザー名またはログインパスワードを忘れた場合はログインできません。管理者の権限でログインし、ログインユーザー名またはログインパスワードを変更してください。

## ログインする

### 1 ログインユーザー名を入力する

- 1 操作中にログイン画面が表示された場合、「ログインユーザー名」を選択して、[OK]キーを選択します。

#### 参考

- ユーザーの認証方法が[ネットワーク認証]に設定されている場合、[メニュー]が表示されます。[メニュー]を選択して、[認証方法]を選択すると、認証先に[ローカル認証]または[ネットワーク認証]を選択することができます。
- [メニュー]を選択して、[ドメイン]を選択すると、登録されているドメインを選択することができます。

- 2 テンキーを使って、ログインユーザー名を入力して、[OK]キーを選択します。

#### 参考

ログイン操作方法の設定で、[文字選択]を選択している場合、画面に表示された文字を選択して、ログインユーザー名を入力します。

➔ [ログイン操作方法 \(8-28ページ\)](#)

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

### 2 ログインパスワードを入力する

- 1 「ログインパスワード」を選択して、[OK]キーを選択します。
- 2 ログインパスワードを入力して、[OK]キーを選択します。

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

### 3 [ログイン]を選択する

## ログアウトする



ログアウトするときは、[認証/ログアウト]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

また、次の状態のときも自動でログアウトします。

- スリープ状態になったとき。
- オートパネルリセットが働いたとき。

## 機械の初期設定をする

本機を使用する前に、日付・時刻、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。

### 参考

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。  
システムメニューで設定できる項目については、次を参照してください。

▶ [システムメニュー \(8-1ページ\)](#)

## 日付と時刻を設定する

本機に、設置場所の日付と時刻を設定します。

本機の送信機能からメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。ご使用の地域での日付、時刻、GMT (世界標準時) からの時差を設定してください。

### 参考

- ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。  
ユーザー管理が無効の場合、ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。
- ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。  
ログインユーザー名: 4000  
ログインパスワード: 4000
- 日付/時刻を設定する前に、必ず時差を設定してください。
- ネットワーク上の時刻サーバーを利用して時刻を取得し、定期的に正確な時刻が設定できます。

▶ [Command Center RX操作手順書](#)

### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日時設定] > [OK]キー

### 2 設定する

[▲][▼]キー > [時差] > [OK]キー > 時差を選択 > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日付/時刻] > [OK]キー > 日付と時刻を設定 > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日付形式] > [OK]キー > 日付形式を選択 > [OK]キー

項目	説明
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 設定値: 年(2000~2037)、月(1~12)、日(1~31)、時(00~23)、分(00~59)、秒(00~59)
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日

### 参考

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。  
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

# ネットワークを設定する

## 有線でネットワークを設定する

本機はネットワークインターフェイスを標準装備しており、TCP/IP (IPv4)、TCP/IP (IPv6)、NetBEUIおよびIPSecをサポートしています。このためWindows、Macintosh、UNIXなどさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

ここでは、TCP/IP (IPv4)でネットワークに接続するときの設定を行います。

設定前に、ネットワークケーブルを確実に接続してください。

➔ [ネットワークケーブルを接続する \(2-8ページ\)](#)

ネットワークのその他の設定については、次を参照してください。

➔ [ネットワーク設定 \(8-7ページ\)](#)

### 参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。  
ユーザー管理が無効の場合、ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。  
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

## TCP/IP (IPv4)を設定する

### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [有線ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [TCP/IP設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [IPv4設定] > [OK]キー

### 2 設定する

固定IPを設定する場合

1 [▲][▼]キー > [DHCP] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定しない] > [OK]キー

2 [▲][▼]キー > [IPアドレス] > [OK]キー

3 IPアドレスを入力します。

### 参考

入力できるIPアドレスは次のとおりです。

IPアドレス: 000~255

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

4 [OK]キーを選択します。

5 [▲][▼]キー > [サブネットマスク] > [OK]キー

6 サブネットマスクを入力します。

 参考

入力できるサブネットマスクは次のとおりです。

サブネットマスク:000~255

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

7 [OK]キーを選択します。

8 [▲][▼]キー > [デフォルトゲートウェイ] > [OK]キー

9 デフォルトゲートウェイを入力します。

 参考

入力できるデフォルトゲートウェイは次のとおりです。

デフォルトゲートウェイ:000~255

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

10 [OK]キーを選択します。

11 [▲][▼]キー > [Auto-IP] > [OK]キー

12 [設定しない] > [OK]キー

 重要

設定変更後にシステムメニューからネットワークの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行います。

➔ [ネットワークの再起動 \(8-16ページ\)](#)

 参考

設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に依頼してあらかじめ準備しておいてください。

以下の場合、Command Center RXでDNSサーバーのIPアドレスを設定してください。

- 「DHCP」設定を [設定しない] でホスト名を使用する場合
- DHCPから自動的に付与されるDNSサーバーのIPアドレス以外のDNSサーバーを使用する場合

DNSサーバーのIPアドレスの設定については、次を参照してください。

➔ [Command Center RX操作手順書](#)

## ワイヤレスネットワークを設定する

接続設定をすると、ワイヤレスネットワーク（無線LAN）環境で印刷および送信ができるようになります。次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから接続設定をする場合は、Wi-Fi設定またはワイヤレスネットワークを使用します。	<a href="#">Wi-Fi設定 (8-7ページ)</a>
Wi-Fiセットアップツールの使用	Product Libraryに収録されているツールです。ウィザードに従って設定できます。	<a href="#">Wi-Fi セットアップ ツールで接続の設定をする (2-20ページ)</a>
ウェブページからの設定	Command Center RXから設定できます。	Command Center RX 操作手順書

### 参考

有線以外のネットワークインターフェイスに切り替えたい場合は、「優先ネットワーク」で適切な設定値に変更してください。

➔ [優先ネットワーク \(8-16ページ\)](#)

### Wi-Fi セットアップ ツールで接続の設定をする

Wi-Fi セットアップツールからのWi-Fi設定情報を本機に送るために、本機とローカル接続をする必要があります。ローカル接続の方法として、有線接続と無線接続 (Wi-Fiダイレクト) の2つがあります。

### 参考

- Wi-Fiダイレクトを使用するには、Wi-Fiダイレクトで本機とコンピューターを接続する前に 操作パネルからWi-Fiダイレクトを有効（[使用する]を選択）にし、ネットワークを再起動していることを確認してください。
- ネットワークケーブルを使って直接本機に接続すると、Auto-IPアドレス（リンクローカルアドレス）が本機とコンピューターに割り当てられます。本機は、初期値としてAuto-IPアドレスを適用します。
- 接続するパソコンがWPSに対応しているか確認してください。対応している場合、本機の操作パネルから設定を行ってください。

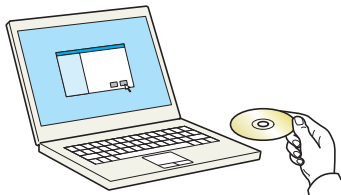
➔ [Wi-Fi設定 \(8-7ページ\)](#)

ネットワークケーブルを使用して有線で接続する

## 1 本機とパソコンを接続する

- 1 本機が起動している状態で、コンピューターと本機を直接ネットワークケーブルで接続します。
- 2 コンピューターの電源をオンにします。  
本機とコンピューターのIPアドレス(リンクローカルアドレス)がそれぞれ自動的に生成されます。

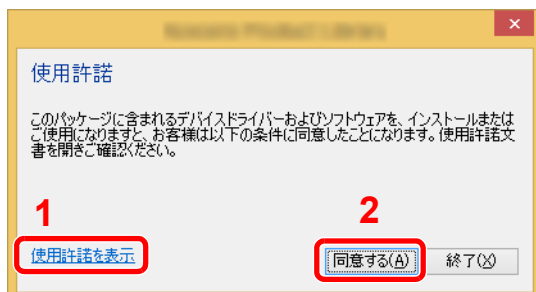
## 2 DVDを挿入する



### 参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

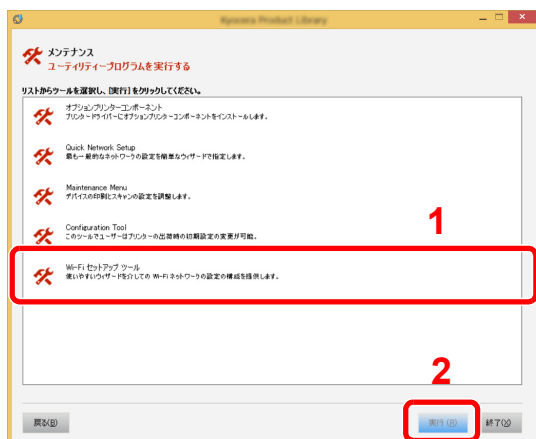
## 3 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

## 4 [メンテナンス]を選択する

## 5 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]





## 6 設定する

1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]

2 [LANケーブル] > [次へ] > [次へ]

3 [簡単設定] > [次へ]

本機が検出されます。



- Wi-Fiセットアップツールで本機を1台だけ検索できます。検索に時間がかかる場合があります。
- 本機が検出されない場合は、[詳細設定] > [次へ]の順に選択します。本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択し、検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。

4 本機を選択 > [次へ]

5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します。]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード](ともにAdmin)を入力 > [次へ]

6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。

7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]

ネットワークが設定されます。

Wi-Fiダイレクトを使用して無線で接続する

### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

### 2 設定する

[▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

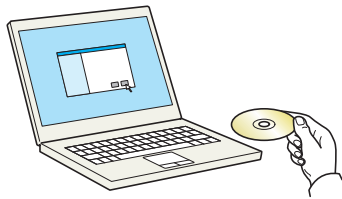
### 3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [はい]

### 4 パソコンまたは携帯端末を本機に接続する

➔ [Wi-Fiダイレクトを設定する \(2-25ページ\)](#)

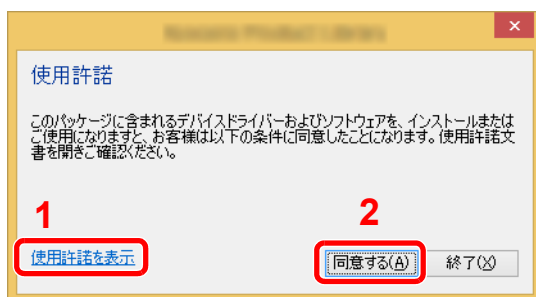
## 5 DVDを挿入する



### 参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

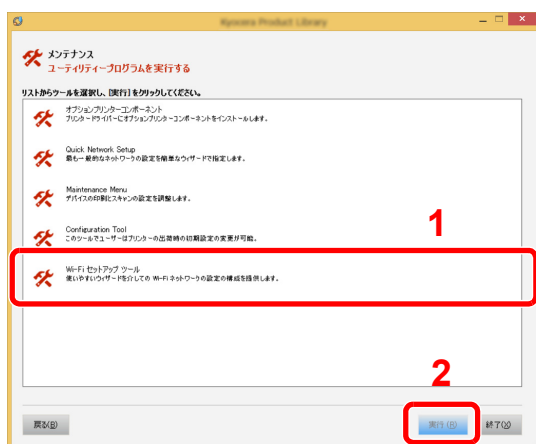
## 6 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

## 7 [メンテナンス]を選択する

## 8 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]



## 9 設定する

1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]

2 [Wi-Fi Direct] > [次へ] > [次へ]

3 [詳細設定] > [次へ]

本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択します。検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。

4 本機を選択 > [次へ]

5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します。]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード](ともにAdmin)を入力 > [次へ]

6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。

7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]  
ネットワークが設定されます。

## Wi-Fiダイレクトを設定する

本機の操作パネルから接続設定をすると、Wi-Fiダイレクト環境で印刷ができるようになります。次の設定方法があります。

### 本機の操作パネルから接続の設定をする

Wi-Fiダイレクト対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

#### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

#### 2 設定する

[▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

#### 3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [はい]

#### 4 コンピューターまたは携帯端末から本機を選択する

操作パネルで確認メッセージが表示された場合は、[はい]を選択してください。

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

Wi-Fiダイレクト未対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

iOSの携帯端末に接続する例で説明します。

#### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

#### 2 設定する

[▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

#### 3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [はい]

#### 4 [Wi-Fi Direct]キー > [▲][▼]キー > [詳細設定] > [OK]キー

#### 5 ネットワーク名(SSID)、IPアドレス、およびパスワードをメモする

#### 6 携帯端末を設定する

1 [設定] > [Wi-Fi]

- 2 リストから、手順5で表示されたネットワーク名 (SSID) を選択します。
- 3 手順5でメモしたパスワードを入力 > [接続]  
本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

## プッシュボタンで設定する

パソコンや携帯端末がWi-Fiダイレクト未対応でWPSに対応している場合、プッシュボタンを操作してネットワークを設定できます。

### 1 画面を表示する

システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

### 2 設定する

[▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

### 3 ネットワークを再起動する

システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [はい]

### 4 [Wi-Fi Direct]キー > [▲][▼]キー > [プッシュボタン接続] > [OK]キー

### 5 接続するパソコンまたは携帯端末のプッシュボタンを押す > [次へ]

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

#### ☑ 重要

Wi-Fiダイレクトで一度に接続できる端末は3台までです。Wi-Fiダイレクト対応のパソコンまたは携帯端末がすでに接続されているときにほかの端末を接続したい場合は、先に接続された端末のネットワークを切断する必要があります。切断する方法は次のとおりです。

- パソコンまたは携帯端末からネットワークを切断する
- 操作パネルですべて切断する

[Wi-Fi Direct]キー > [▲][▼]キー > [接続状況] > [OK]キー > [メニュー] > [▲][▼]キー > [すべて切断] > [OK]キー

- システムメニューから自動切断時間を設定する

➔ [Wi-Fiダイレクト設定 \(8-7ページ\)](#)

- Command Center RXから自動切断時間を設定する

➔ [Command Center RX操作手順書](#)

## 省エネ機能を使う

本機は、最後に使用してから一定時間経過すると、自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行します。

### 参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。  
ユーザー管理が無効の場合、ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。  
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

## スリープとは

[節電]キーを選択すると節電ランプだけが点灯し、メッセージディスプレイや他のランプは消灯して消費電力を最小に抑えます。この状態をスリープと呼びます。



スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。ファクスの受信時にも自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは、次の操作を行ってください。

- [節電]キーを選択する。

スリープからの復帰時間は次のとおりです。

- 10秒以下

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

## オートスリープとは

オートスリープは、一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。スリープ状態への移行時間は次のとおりです。

- 1分(工場出荷時)

切り替わる時間を変更する場合は、次を参照してください。

### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [タイマー設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [スリープ時間] > [OK]キー

### 2 設定する

- 1 スリープ時間を入力します。



#### 参考

入力できる時間は次のとおりです。

スリープ時間: 1~240分

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

- 2 [OK]キーを選択します。

## スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)

スリープは、節電優先と復帰優先の2つのモードに切り替えることができます。初期設定は、節電優先モードです。

節電優先とは、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えた状態で、機能ごとにスリープモードを働かせるかを設定できます。ICカードも認識しません。

操作パネルの[節電]キーを選択するとすぐに復帰します。また、スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。

スリープレベルの設定に関しては、次を参照してください。

➔ [スリープレベル \(8-25ページ\)](#)

### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [タイマー設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [スリープレベル] > [OK]キー

### 2 スリープレベルを選択する

[▲][▼]キー > [復帰優先]または[節電優先] > [OK]キー

[節電優先]を設定した場合は、次の手順に進んで、機能別に節電優先モードに移行させるかどうかを設定してください。

### 3 スリープ条件を設定する

- 1 設定する機能を選択し、[OK]キーを選択します。

[ICカードリーダ接続時]はオプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。

- 2 [▲][▼]キー > [使用しない]または[使用する] > [OK]キー

手順3-1と3-2を繰り返して他の機能についても設定します。

## 静音モードを使う

本機の動作音を抑えることができます。動作音が気になる場合は設定してください。

[静音モード]キーを選択すると、[静音モード]キーが点灯し、静音モードが設定されます。



### 参考

静音モード時は、通常よりも処理スピードが遅くなります。



## ソフトウェアをインストールする

本機でプリンター機能、TWAIN/WIA接続、ネットワークファクス機能を使用する場合、DVD (Product Library) から必要なソフトウェアをインストールします。

### 収録ソフトウェア (Windows)

インストール方法は、[エクスプレスインストール]と[カスタムインストール]の2通りから選ぶことができます。[エクスプレスインストール]が標準のインストール方法になります。[エクスプレスインストール]でインストールされないものは、[カスタムインストール]でインストールしてください。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

➔ [カスタムインストールの場合 \(2-33ページ\)](#)

ソフトウェア	説明	エクスプレスインストール
KXドライバー (KX DRIVER)	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。1つのドライバーで、複数のページ記述言語 (PCL XL、KPD Lなど) をサポートします。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーです。 PDFデータを作成する場合はこのドライバーを使用してください。	○
KX XPSプリンタードライバー (KX XPS DRIVER)	マイクロソフト社が開発したXPS (XML Paper Specification) フォーマットに対応したプリンタードライバーです。	—
Mini プリンタードライバー (PCL/KPD L) (KPD L mini-driver/PCL mini-driver)	PCL、KPD LのそれぞれをサポートしたMicrosoft Mini Driver形式のドライバーです。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバーでは使用できる機能に制限があります。	—
Kyocera Network FAXドライバー (FAX Driver)	パソコン上のアプリケーションソフトで作成した文書を、本機を経由してファクス送信することができます。	—
Kyocera TWAIN ドライバー (Kyocera TWAIN Driver)	TWAIN 対応アプリケーションソフトを使用して本機でスキャンするためのドライバーです。	○
Kyocera WIAドライバー (Kyocera WIA Driver)	WIA (Windows Imaging Acquisition) は、スキャナーなどのイメージングデバイスと画像処理アプリケーションソフトの相互通信を可能にするWindows の機能です。WIA 対応アプリケーションソフトを使って画像を取り込むことができ、TWAIN 対応アプリケーションソフトがパソコンにインストールされていない場合などに便利です。	—
KYOCERA Net Viewer	ネットワーク上の本機をモニターすることのできるユーティリティです。	—
Status Monitor	本機の状態を監視し、報告するユーティリティです。	○
KYOCERA Net Direct Print	Adobe Acrobat/Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	—
フォント (FONTS)	本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。	○

#### 参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- WIAドライバーおよびKX XPSドライバーは、Windows XPにはインストールできません。

## Windowsにソフトウェアをインストールする

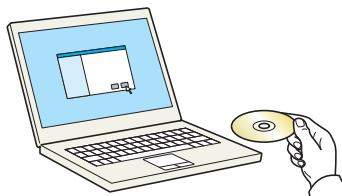
### エクスプレスインストールの場合

ここでは、Windows 8.1に[エクスプレスインストール]でインストールする場合を例に説明します。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

▶ [カスタムインストールの場合 \(2-33ページ\)](#)

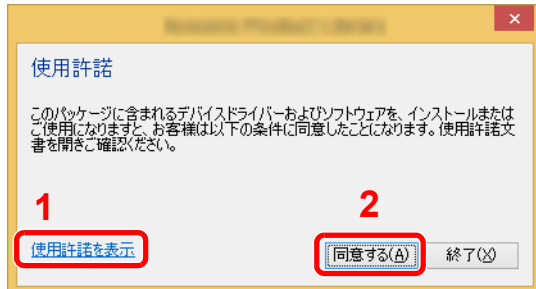
### 1 DVDを挿入する



#### 参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

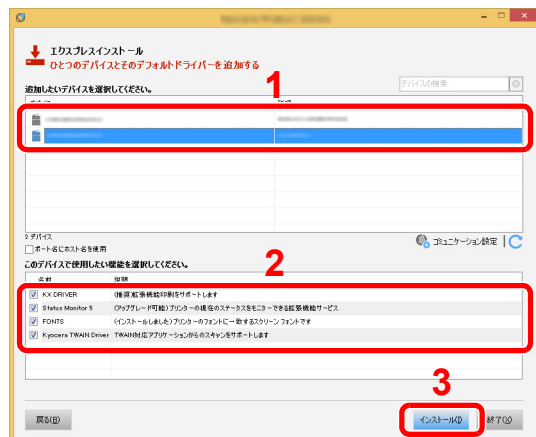
### 2 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

### 3 [エクスプレスインストール]を選択する

## 4 インストールする



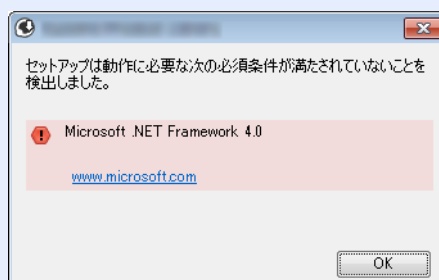
本機のモデル名を選択します。[ポート名にホスト名を使用]を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます。(USB接続は利用できません。)

### 重要

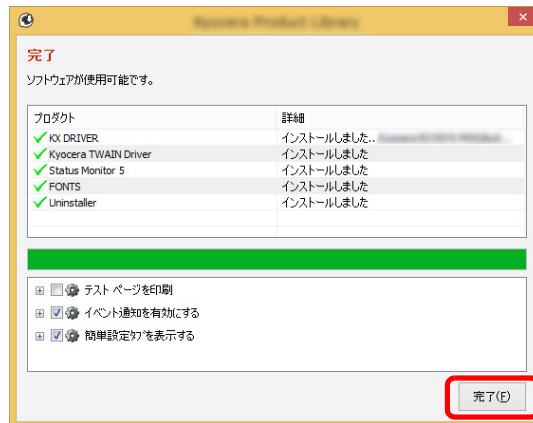
Wi-FiまたはWi-Fiダイレクトが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

### 参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、C(更新)をクリックしてください。
- Windowsセキュリティ画面が表示された場合、[このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。
- Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスマニターをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



## 5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページの印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

### 参考

Windows XPの場合、[デバイス設定]を選択すると、[完了]をクリックした後にデバイス設定のダイアログが表示されます。本機に装着されているオプションなどを設定してください。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。

#### ➔ [プリンタードライバー操作手順書](#)

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

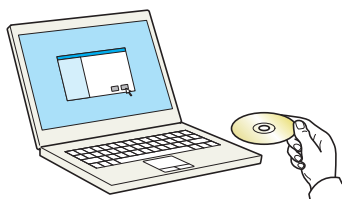
TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて「TWAINドライバーの設定」を行ってください。

#### ➔ [TWAINドライバーを設定する \(2-40ページ\)](#)

## カスタムインストールの場合

ここでは、Windows 8.1に[カスタムインストール]でインストールする場合を例に説明します。

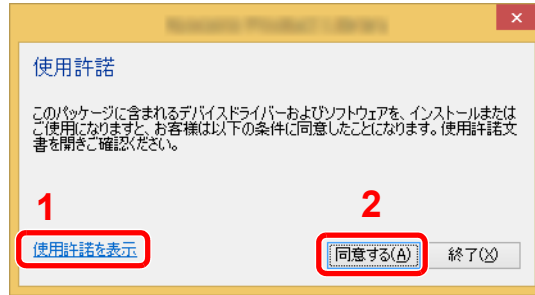
### 1 DVDを挿入する



### 参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

## 2 画面を表示する

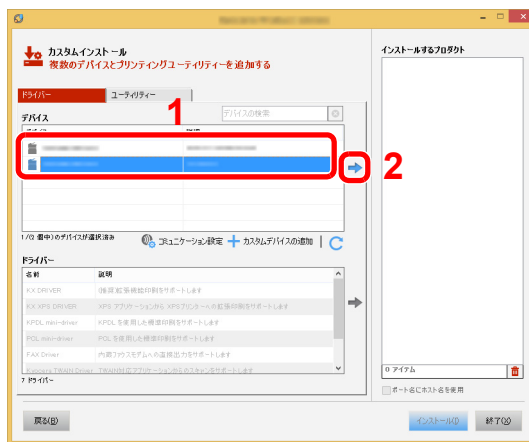


- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

## 3 [カスタムインストール]を選択する

## 4 インストールする

- 1 インストールするデバイスを選択します。



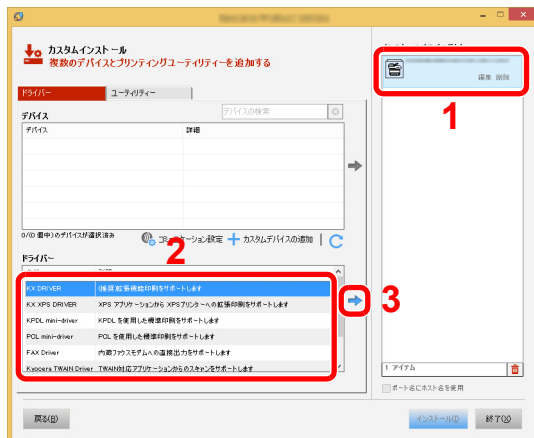
### 重要

Wi-FiまたはWi-Fiダイレクトが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

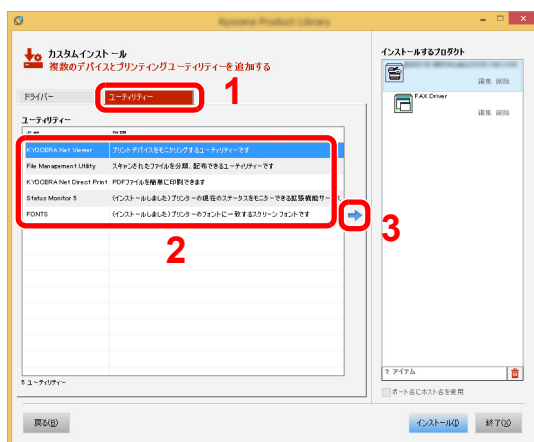
### 参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、C(更新)をクリックしてください。
- 目的のデバイスが表示されないときは、[カスタムデバイスの追加]を選択して使用したいデバイスを直接選びます。

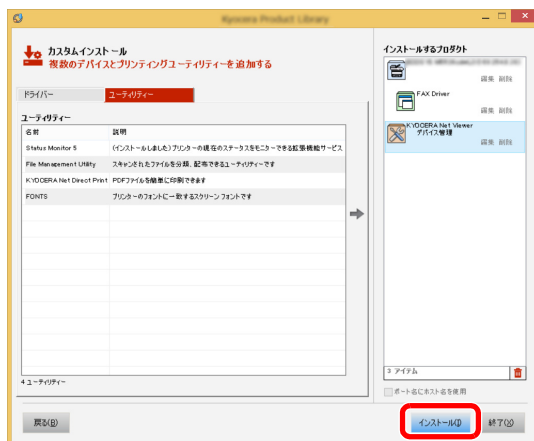
2 インストールするドライバーを選択します。



3 [ユーティリティ]タブをクリックして、インストールするユーティリティを選択します。

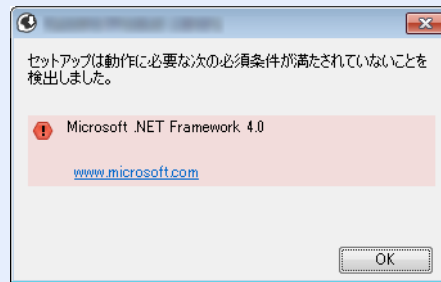


4 [インストール]をクリックします。

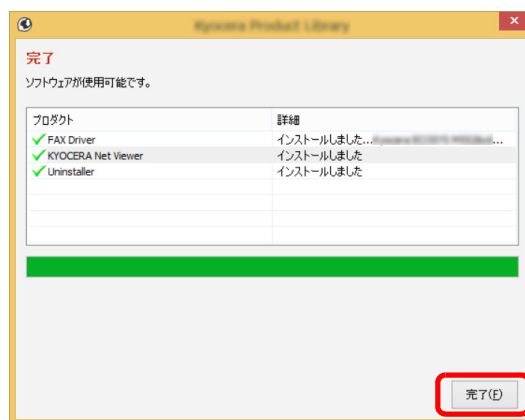


 参考

Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスマニターをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



## 5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページを印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

 参考

Windows XPの場合、[デバイス設定]を選択すると、[完了]をクリックした後にデバイス設定のダイアログが表示されます。本機に装着されているオプションなどを設定してください。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。

➡ [プリンタードライバー操作手順書](#)

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて「TWAINドライバーの設定」を行ってください。

➡ [TWAINドライバーを設定する \(2-40ページ\)](#)

## ソフトウェアをアンインストールする

Product Libraryでインストールしたソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行ってください。

### 参考

ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

### 1 画面を表示する

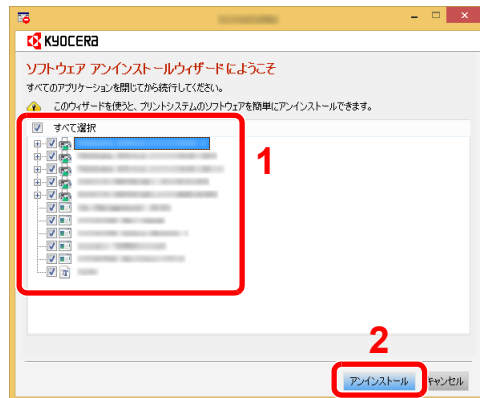
デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「プロダクトライブラリーのアンインストール」と入力します。検索された一覧の中から[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択します。ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。

### 参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択します。

### 2 アンインストールする

削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れます。



### 3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業は終了です。

### 参考

ソフトウェアのアンインストールはProduct Libraryを使って行うことも可能です。

Product Libraryの画面で[アンインストール]を選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。



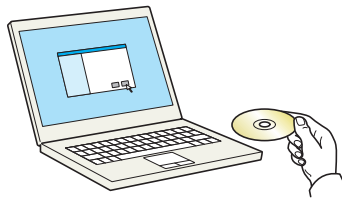
## Macintoshにソフトウェアをインストールする

Macintoshでは、本機のプリンター機能が使用できます。

### 参考

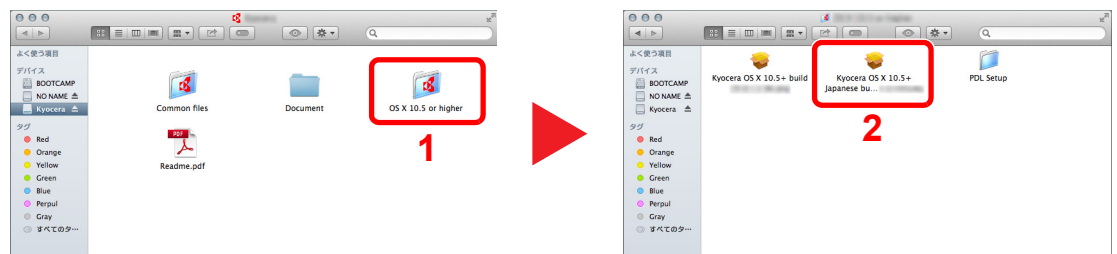
- ソフトウェアをインストールするときは、管理者の権限でログインする必要があります。
- Macintoshでインストールする場合は、本機のエミュレーションを[KPDL]または[KPDL(自動)]に設定してください。
- ▶ [プリンター \(8-31ページ\)](#)
- Bonjourで接続する場合は、本機のネットワーク設定でBonjourを有効にしてください。
- ▶ [Bonjour \(8-11ページ\)](#)
- 名前とパスワードの入力画面が表示された場合は、OSにログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。
- AirPrintを使用して印刷等を行う場合は、ソフトウェアのインストールは不要です。

### 1 DVDを挿入する



[Kyocera]アイコンをダブルクリックしてください。

### 2 画面を表示する



使用しているOSのバージョンのフォルダーを開き、[Kyocera OS X x.x Japanese]をダブルクリックします。

### 3 インストールする

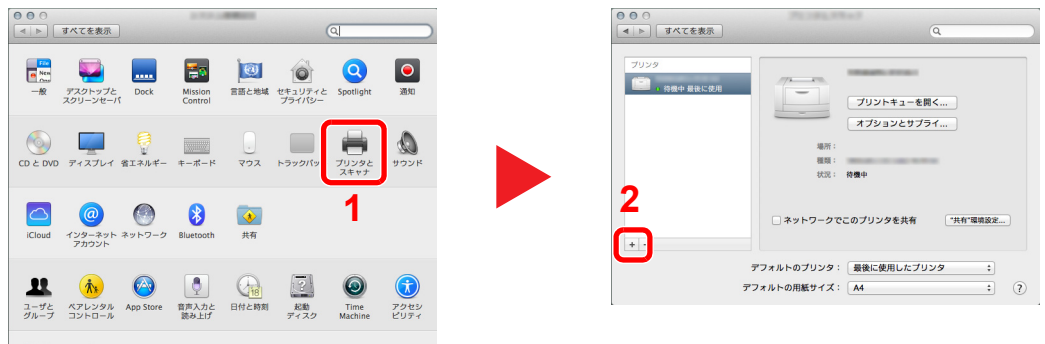


インストールプログラムの表示に従ってプリンタードライバーをインストールします。以上でプリンタードライバーのインストールは完了です。

USB接続の場合は、自動的に本機の認識と接続が行われます。ネットワーク接続の場合は、続けてプリンターの設定を行ってください。

## 4 設定する

- 1 システム環境設定画面を開き、プリンターを追加します。



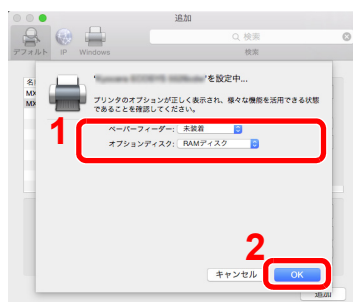
- 2 [デフォルト]を選択し、「名前」に表示された項目をクリックした後、ドライバーを選択します。



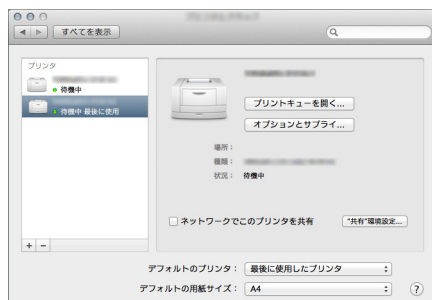
### 参考

IPアドレスを入力する場合は、[IP]を選択し、ホスト名またはIPアドレスを入力してください。「名前」には、「アドレス」に入力した番号が自動的に入ります。必要に応じて変更してください。

- 3 本機に装備されているオプションを選択します。



- 4 設定したプリンターが追加されます。



## TWAINドライバーを設定する

TWAINドライバーをインストールした場合は、次の手順で設定します。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

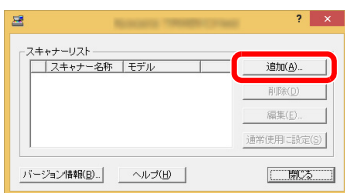
### 1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバー設定画面が表示されます。

#### 参考

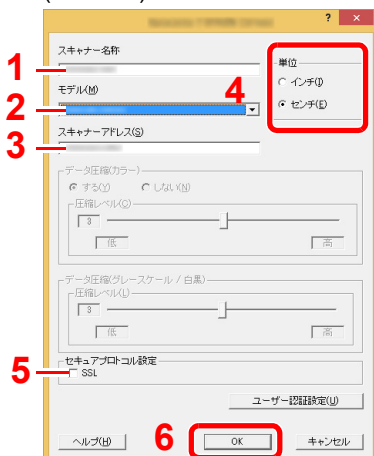
Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[TWAIN Driver Setting]を選択してください。

- 2 [追加]をクリックします。



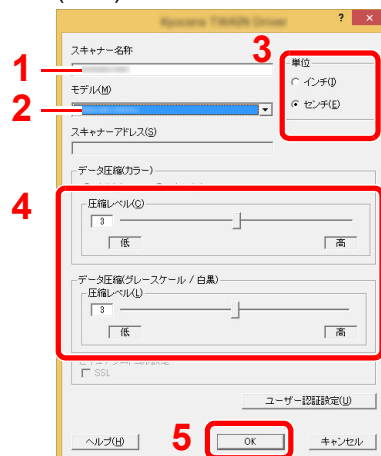
### 2 設定する

(Network)



- 1 本機の名称を入力します。
- 2 リストから本機を選択します。
- 3 本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- 4 使用する単位を選択します。
- 5 SSLを設定する場合は選択します。
- 6 [OK]をクリックします。

(USB)

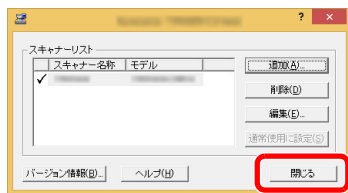


- 1 本機の名称を入力します。
- 2 リストから本機を選択します。
- 3 使用する単位を選択します。
- 4 圧縮レベルを設定します。
- 5 [OK]をクリックします。

#### 参考

本機のIPアドレスまたはホスト名は管理者に確認してください。

### 3 終了する



#### 参考

[削除]をクリックすると、登録されている機器を削除できます。[編集]をクリックすると、名称などの変更ができます。

## WIAドライバーを設定する

WIAドライバーをインストールした場合は、次の手順で設定します。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

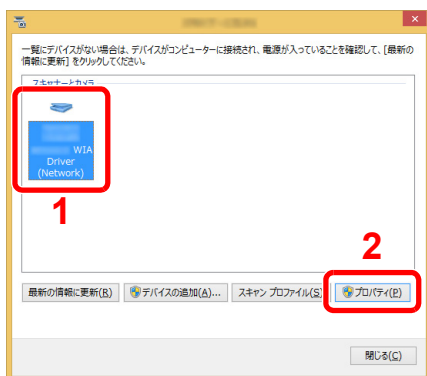
### 1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]を選択すると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

#### 参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に「スキャナー」と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

- 2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



### 2 設定する

(Network)



- 1 [設定]タブをクリックします。
- 2 本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- 3 SSLを利用する場合は選択します。
- 4 使用する単位を選択します。
- 5 [OK]をクリックします。

(USB)



- 1 [設定]タブをクリックします。
- 2 圧縮レベルを設定します。
- 3 使用する単位を選択します。
- 4 [OK]をクリックします。

## カウンターを確認する

印刷枚数および読み込み枚数を参照します。

### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [カウンター] > [OK]キー

### 2 カウンターを確認する

確認したい項目を選択して、[OK]キーを選択します。

## 管理者に準備していただきたいこと

本機の管理者は、この章で説明していること以外に、下記の内容を確認の上必要な設定を行ってください。

### パソコンに文書を送信するためには

#### 共有フォルダーに送信する(SMB送信)

読み込んだ文書をパソコンに送信するには、パソコンに文書を受け取るためのフォルダーを作成する必要があります。

▶ [パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備 \(3-8ページ\)](#)

#### スキャンした画像をメールする(メール送信)

読み取った原稿のイメージをメールの添付ファイルとして送信します。

▶ [SMTPおよびメール送信の設定をする \(2-51ページ\)](#)

### セキュリティを強化する

本機は、機器管理者の権限を持つユーザーと、管理者の権限を持つユーザーがそれぞれ1人工場出荷時に登録されています。このユーザーでログインすると、すべての設定が可能になりますので、ログインユーザー名やログインパスワードを変更してください。

また、本機はユーザー認証機能を搭載しており、設定することで、登録されたログインユーザー名とパスワードを持っている人しか本機を使えないようにすることができます。

▶ [9 ユーザー認証、集計管理\(ユーザー管理、部門管理\) \(9-1ページ\)](#)

強化したいこと	機能名	参照ページ
本機を使用するユーザーを制限したい	ユーザー管理	<a href="#">9-2ページ</a>
	オートパネルリセット	<a href="#">8-25ページ</a>
	ICカード設定 <sup>*1</sup>	<a href="#">9-19ページ</a>
使用できる基本機能を制限したい	グループ認可設定	<a href="#">9-14ページ</a>
本機に保存したデータの流出を防ぎたい	PDF暗号化機能	<a href="#">6-25ページ</a>
傍受、盗聴から、通信内容を保護したい	IPP over SSL	<a href="#">8-13ページ</a>
	HTTPS	<a href="#">8-13ページ</a>
	LDAPセキュリティ	Command Center RX操作手順書参照
	SMTPセキュリティ	Command Center RX操作手順書参照
	POP3セキュリティ	Command Center RX操作手順書参照
	FTP暗号送信	<a href="#">6-28ページ</a>
	IPSec	<a href="#">8-11ページ</a>
	SNMPv3	<a href="#">8-11ページ</a>

\*1 オプションのICカード認証キットが必要です。

# Command Center RXとは

本機をネットワークに接続してご使用の場合、Command Center RXを使用してさまざまな設定を行うことができます。ここでは、Command Center RXへのアクセス手順と、セキュリティ設定、ホスト名の変更方法などについて説明します。

➔ [Command Center RX操作手順書](#)

 **参考**

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

ログインユーザー名: Admin  
 ログインパスワード: Admin

管理者と一般ユーザーがCommand Center RXで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明	管理者	一般ユーザー
デバイス情報	本機の構成を確認できます。	○	○
ジョブ状況	印刷やスキャンジョブ、保存ジョブ、予約ジョブ、およびジョブ履歴を含むすべてのデバイスのジョブ情報が表示されます。	○	○
文書ボックス	ジョブボックスの設定を行います。	○	-
アドレス帳管理	アドレスおよびアドレスグループの新規作成および編集、削除を行います。	○	○ <sup>*1</sup>
デバイス設定	本機の詳細設定を行います。	○	-
機能設定	機能の詳細設定を行います。	○	-
ネットワーク設定	ネットワークの詳細設定を行います。	○	-
セキュリティ設定	セキュリティの詳細設定を行います。	○	-
管理設定	管理の詳細設定を行います。	○	-

\*1 ログインするユーザーの権限により、設定できる項目に制限があります。

 **参考**

ここではファクスの設定に関しては省略しています。

➔ [ファクス使用説明書](#)



# Command Center RX へアクセスする

## 1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。  
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページ] > [OK]キー > [はい]

例) https://192.168.48.21/(IPアドレスの場合)

https://MFP001(ホスト名がMFP001の場合)



本機およびCommand Center RXに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

### 参考

「このWeb サイトのセキュリティ証明書には問題があります」の画面が表示された場合、証明書の設定をしてください。

#### ▶ Command Center RX操作手順書

または、証明書を設定しないでこのまま続行することもできます。

## 2 設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。

### 参考

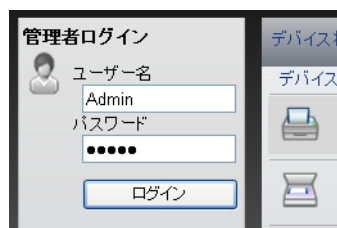
Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されません)。

ログインユーザー名: Admin  
ログインパスワード: Admin

## セキュリティ設定を変更する

### 1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。  
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。  
[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページ] > [OK]キー > [はい]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです (大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin  
ログインパスワード: Admin

- 4 [セキュリティ設定]をクリックします。

## 2 設定する

[セキュリティ設定]メニューから設定したい項目を選択して、設定を行います。



### 参考

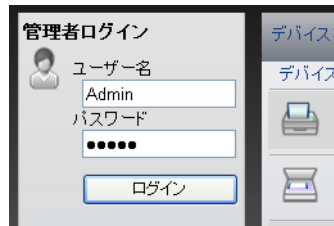
証明書に関する設定については、次を参照してください。

➡ Command Center RX操作手順書

## デバイス情報を変更する

### 1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。  
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。  
[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページ] > [OK]キー > [はい]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin  
ログインパスワード: Admin

- 4 [デバイス設定]メニューの[システム]をクリックします。



## 2 設定する

デバイス情報を入力して、[設定]をクリックします。

### 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

[管理設定]メニューの[リセット]をクリックし、「再起動」の[ネットワークの再起動]をクリックすることで、ネットワークの再起動ができます。

## SMTPおよびメール送信の設定をする

SMTPを設定すると、本機で読み取った画像をメールに添付して送信したり、ジョブが終了したことをメールで通知したりすることができます。

この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。

また、次の項目を設定してください。

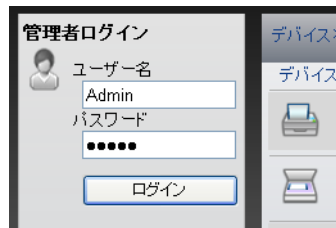
- SMTPの設定  
設定項目:「SMTP」の「SMTPプロトコル」、「SMTPサーバー名」等
- 本機がメールを送信するときの差出人のアドレス  
設定項目:「メール送信設定」の「差出人アドレス」
- メールサイズ制限の設定  
設定項目:「メール送信設定」の「メール送信のサイズ制限」

SMTPを設定する操作手順は次のとおりです。

### 1 画面を表示する

SMTPプロトコルの画面を表示します。

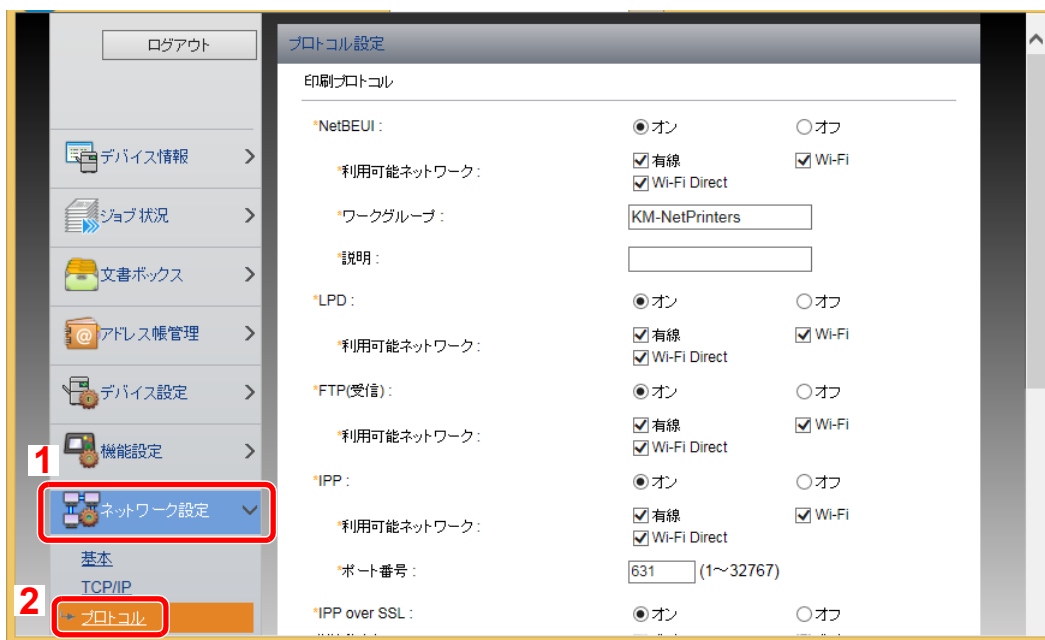
- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。  
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。  
[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページ] > [OK]キー > [はい]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

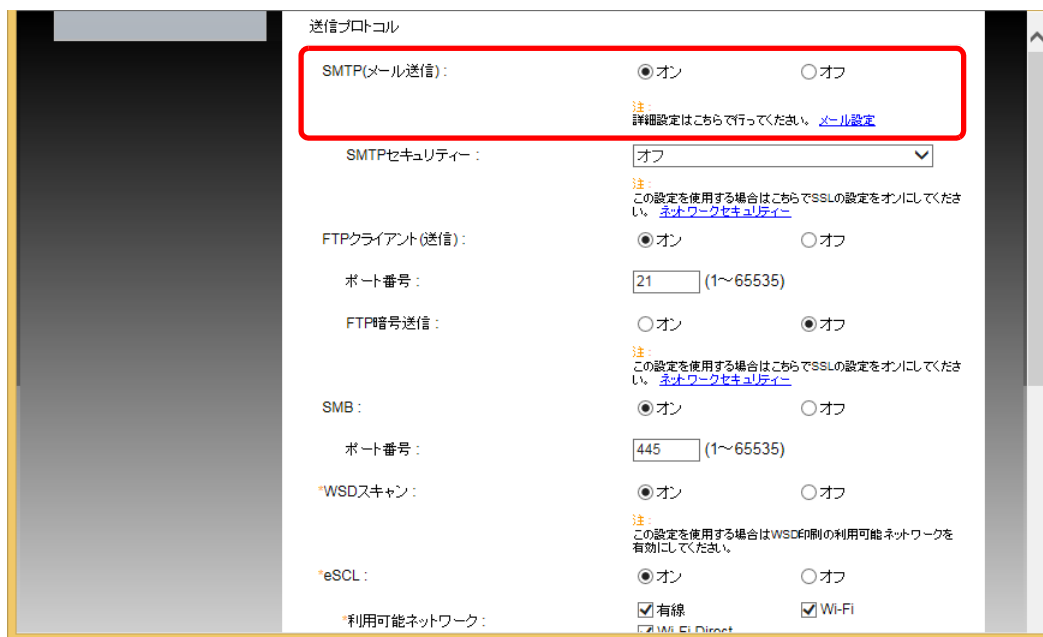
ログインユーザー名: Admin  
ログインパスワード: Admin

4 [ネットワーク設定]メニューの[プロトコル]をクリックします。



2 設定する

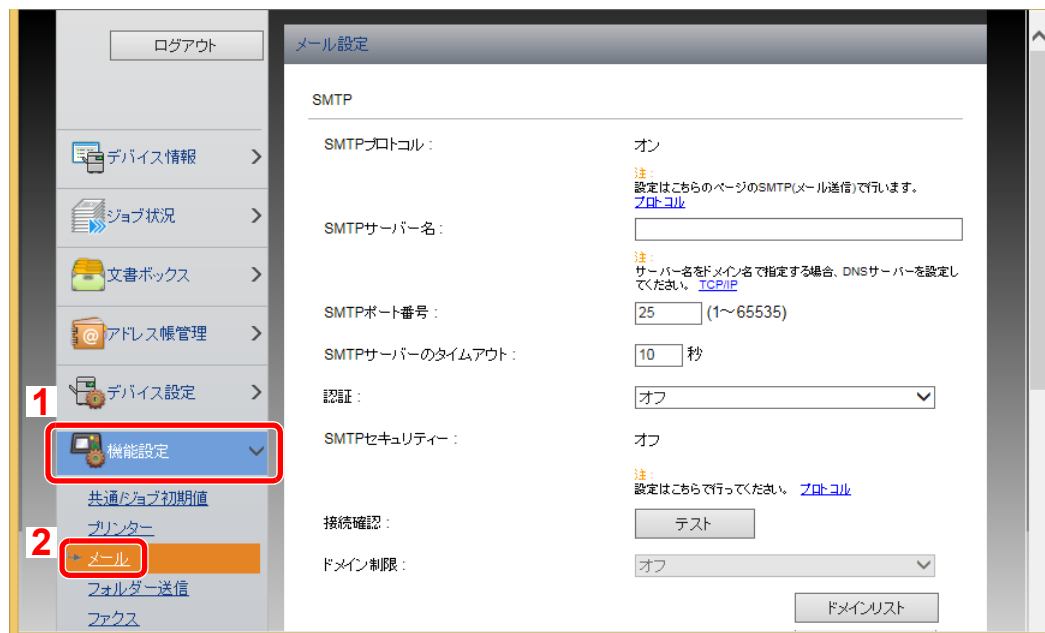
「送信プロトコル」の「SMTP(メール送信)」で設定を[オン]にしてください。



### 3 画面を表示する

メール設定の画面を表示します。

[機能設定]メニューの[メール]をクリックします。





## 4 設定する

「SMTP」および「メール送信設定」の項目を入力します。

項目	説明
SMTP	本体からメールを送信するときに設定します。
SMTPプロトコル	SMTPプロトコルの設定を参照します。「SMTPプロトコル」の設定が[オン]になっているか確認してください。[オフ]の場合は、[プロトコル]をクリックして、SMTPプロトコルの設定を[オン]にしてください。
SMTPサーバー名*1	SMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。通常は25を使用します。
SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
認証	SMTP認証をする場合、認証するユーザー情報を入力します。
SMTPセキュリティ	SMTPセキュリティを設定します。「プロトコル」ページで「SMTP(メール送信)」の「SMTPセキュリティ」を設定してください。
接続確認	メールを送信せずに、設定した内容で正しく動作するかどうかをテストします。
ドメイン制限	ドメイン制限をする場合、[ドメインリスト]をクリックし、許可、または拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスで指定することもできます。
POP3	POP3プロトコル
	着信チェック間隔
	直ちに実行
	ドメイン制限
	POP3ユーザー設定
	<p>本体からメールを送信する機能だけ使用する場合は、設定する必要はありません。本体でメールを受信する機能を使用する場合に設定します。</p> <p>➡ Command Center RX操作手順書</p>
メール送信設定	メール送信のサイズ制限
	<p>送信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。ここで入力したサイズより大きいメールになった場合、エラーを表示し、メール送信しません。SMTPサーバーの送信メールのサイズを制限している場合は、入力してください。SMTPサーバーの送信メールのサイズに制限が無い場合、0を入力してください。0を入力するとメールサイズの制限に関係なくメール送信します。</p>
	差出人アドレス*1
	<p>本機がメールを送信するときの差出人のアドレスを指定します。配信エラーメールなどが、ここで指定した差出人のアドレスに返信される場合がありますので、架空のアドレスではなく、機器管理者などが受け取れるメールアドレスを指定することをお勧めします。また、SMTP認証を設定している場合は、アドレスを正確に入力する必要があります。差出人アドレスは最大128文字まで入力できます。</p>
	署名
	<p>メール本文の最後に挿入される、テキスト形式の署名を入力します。ここで入力した署名を使って、プリントシステムの識別をすることもできます。署名は最大512文字まで入力できます。</p>
	機能初期値
	<p>機能の初期値を変更する場合は、[共通/ジョブ初期値]で行ってください。</p>

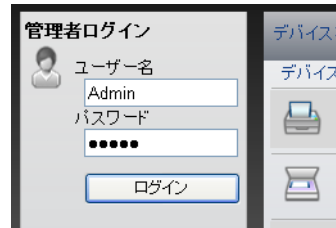
\*1 入力が必要な項目です。

## 5 [設定]をクリックする

## 宛先を登録する

### 1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。  
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。  
[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページ] > [OK]キー > [はい]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin  
ログインパスワード: Admin

- 4 [アドレス帳管理]メニューで[本体アドレス帳]をクリックします。



- 5 [追加]をクリックします。

### 2 設定する

- 1 宛先情報を入力します。  
登録する宛先の情報を入力してください。入力する項目は本機で登録するときと同じです。  
➡ [アドレス帳の登録 \(3-18ページ\)](#)
- 2 [設定]をクリックします。

## 弊社の他製品からデータを移行する

本機のユーティリティを使用すると、機械の置き換えの際に、アドレス帳をスムーズに移行することができます。ここでは弊社の製品間でのデータ移行方法について説明しています。

### アドレス帳を移行する

機械に登録されているアドレス帳は、付属のDVDに収録されているKYOCERA Net Viewerを使用することでバックアップや移行ができます。

KYOCERA Net Viewerの操作方法については、次を参照してください。

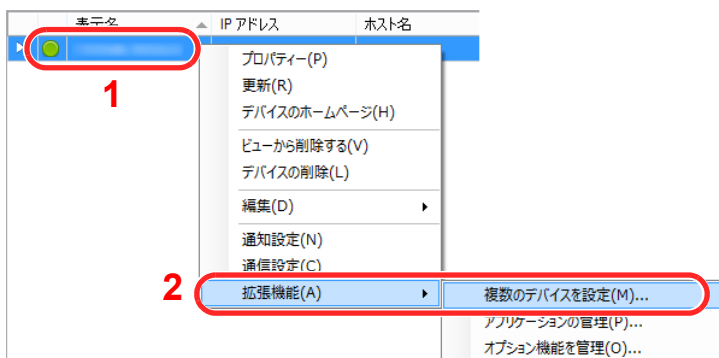
➔ KYOCERA Net Viewer操作手順書

アドレス帳データをパソコンにバックアップする

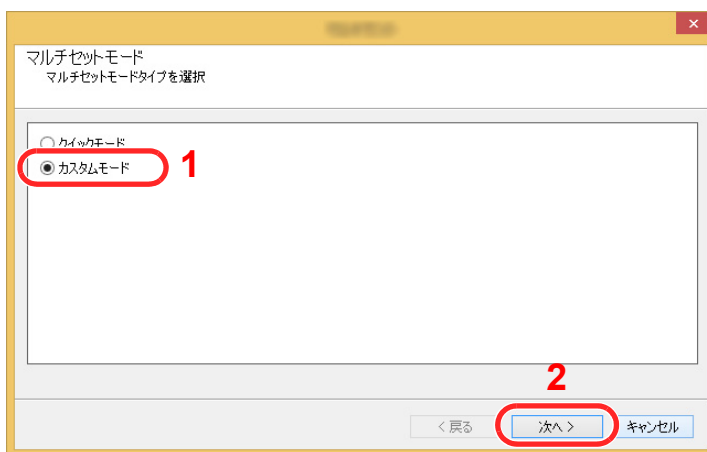
#### 1 KYOCERA Net Viewerを起動する

#### 2 バックアップを行う

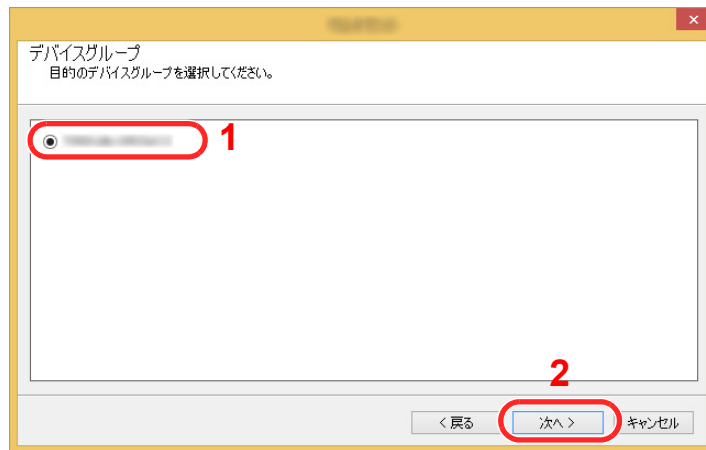
- 1 アドレス帳をバックアップしたいモデル名を右クリックし、[拡張機能] > [複数のデバイスを設定]を選択します。



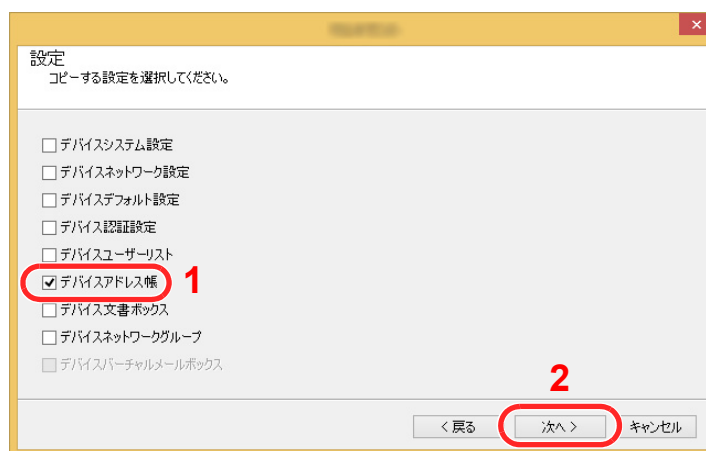
- 2 [カスタムモード]を選択し、[次へ]をクリックします。



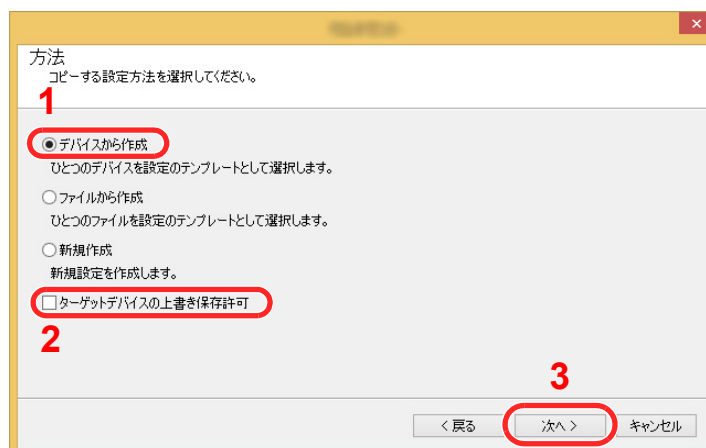
- 3 デバイスグループを選択し、[次へ]をクリックします。



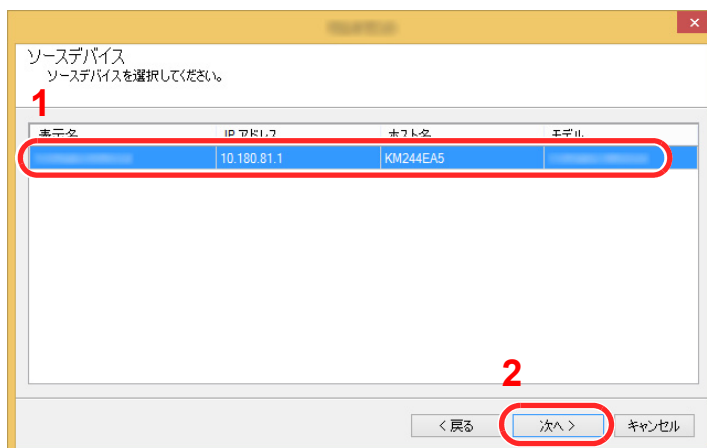
- 4 [デバイスアドレス帳]を選択し、[次へ]をクリックします。



- 5 [デバイスから作成]を選択して[ターゲットデバイスの上書き保存許可]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。



- 6 バックアップしたい機種を選択し、[次へ]をクリックします。



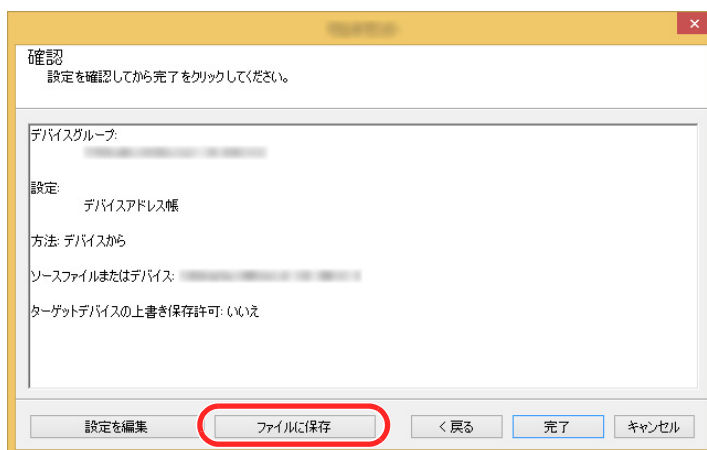
 参考

「管理者ログイン」の画面が表示されたときは、「管理者ログイン」と「ログインパスワード」を入力して[OK]を選択します。初期設定は下記が設定されています(大文字・小文字は区別されます。)

ログインユーザー名: Admin

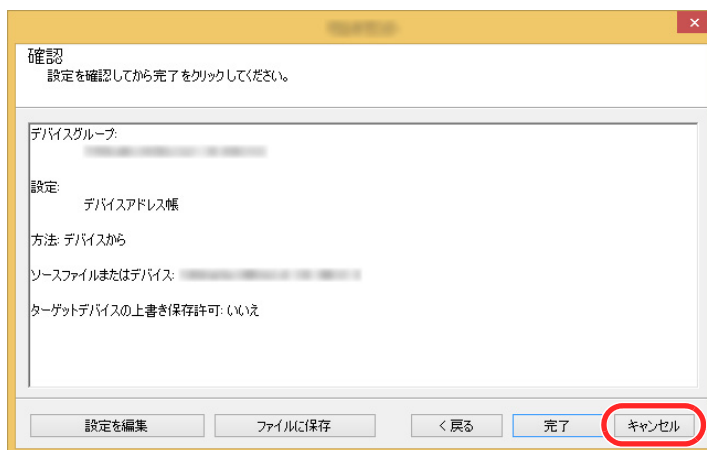
ログインパスワード: Admin

- 7 [ファイルに保存]をクリックします。



- 8 保存する場所とファイル名を設定し、[保存]をクリックします。  
「ファイルの種類」は必ず「XMLファイル」を選択してください。

- 9 ファイルを保存後は、必ず[キャンセル]をクリックして画面を閉じます。



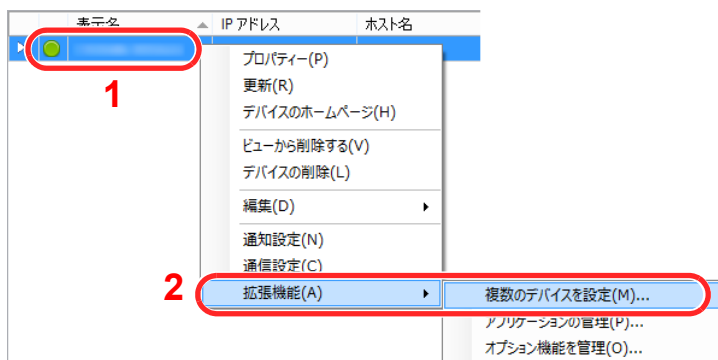
[完了]を選択すると本体のアドレス帳にデータを書き込みますのでご注意ください。

## アドレス帳データを機械に書き込む

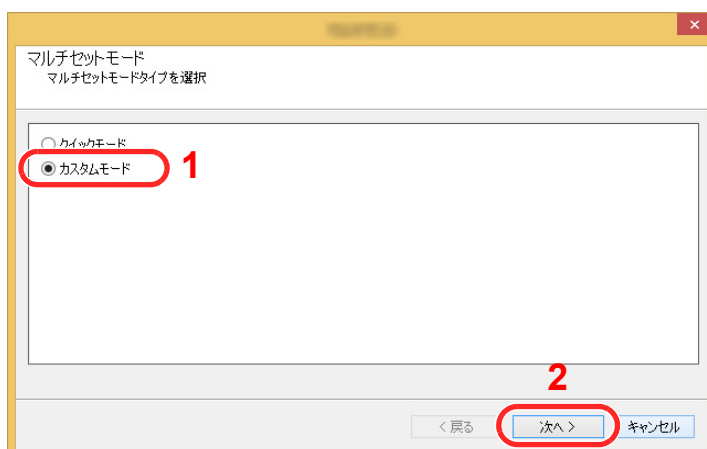
### 1 KYOCERA Net Viewerを起動する

### 2 アドレス帳データを取り込む

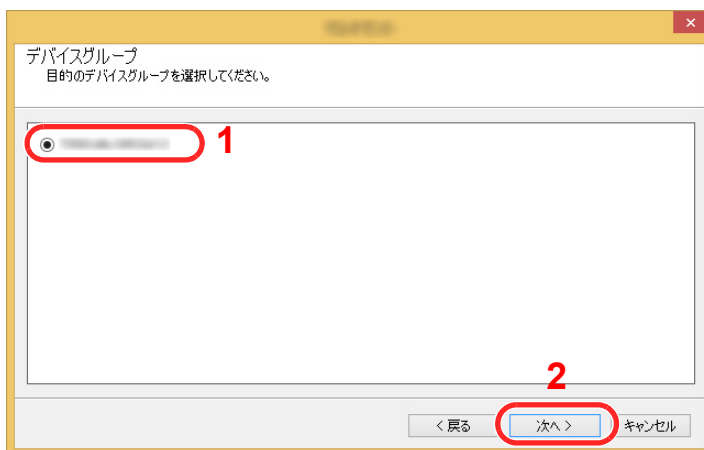
- 1 アドレス帳を転送したいモデル名を右クリックし、[拡張機能] > [複数のデバイスを設定]を選択します。



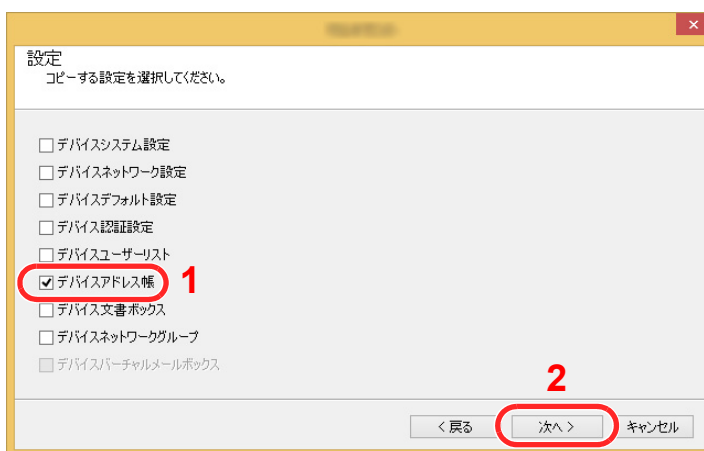
- 2 [カスタムモード]を選択し、[次へ]をクリックします。



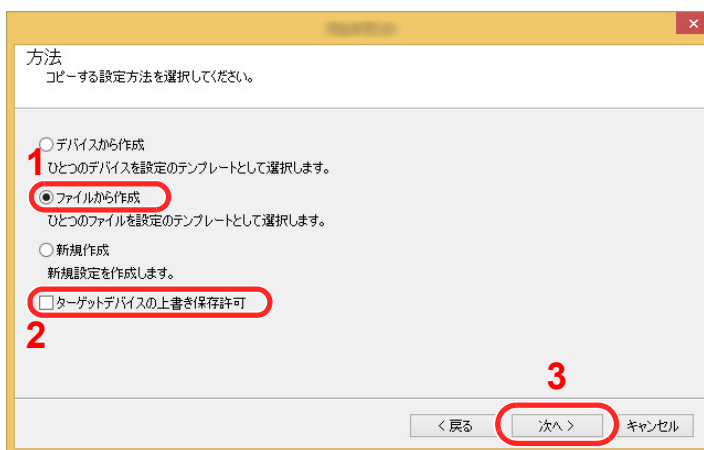
3 デバイスグループを選択し、[次へ]をクリックします。



4 [デバイスアドレス帳]を選択し、[次へ]をクリックします。

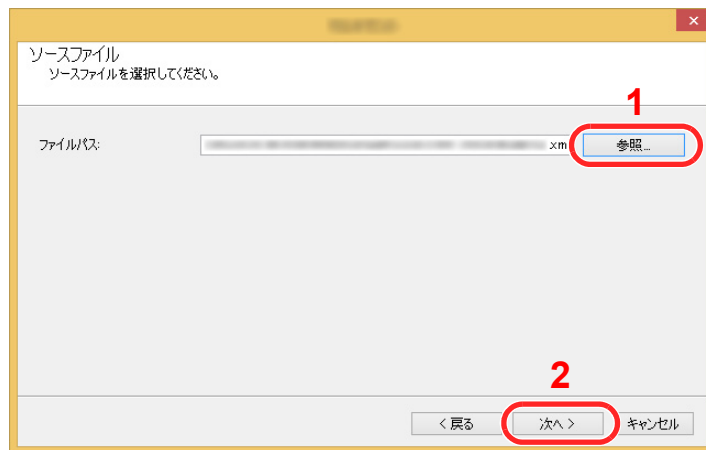


5 [ファイルから作成]を選択して[ターゲットデバイスの上書き保存許可]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。

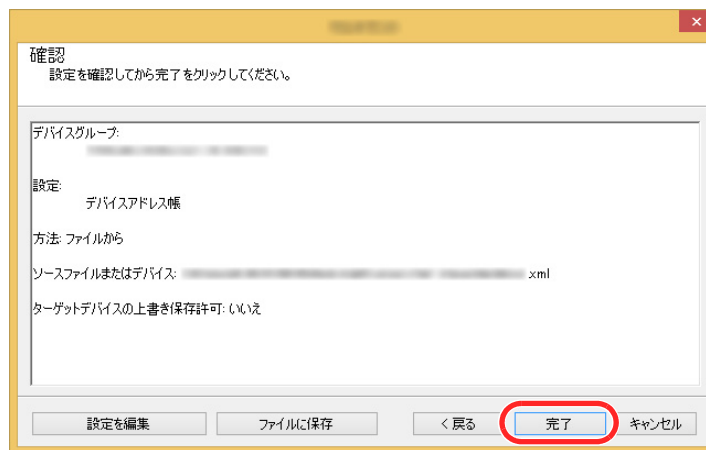


[ターゲットデバイスの上書き保存許可]にチェックを付けた場合、本体アドレス帳のNo.1から上書き保存されます。

- 6 [参照]をクリックしてバックアップしたアドレス帳ファイルを選択し、[次へ]をクリックします。



- 7 [完了]をクリックします。



アドレス帳データの書き込みを開始します。

- 8 書き込みが完了したら[閉じる]をクリックします。



# 3 本機を使用する前に

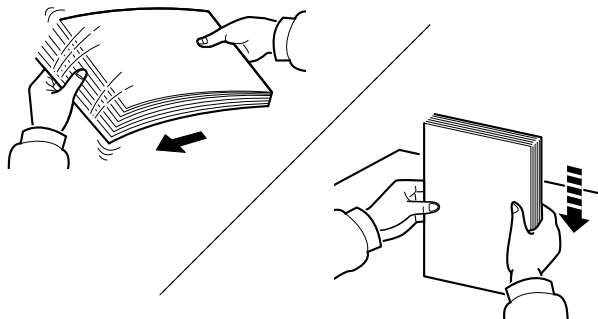
この章では、本機の基本的な操作について説明します。

用紙をセットする .....	3-2
用紙の取り扱い上の注意 .....	3-2
給紙段の選択 .....	3-3
カセットに用紙をセットする .....	3-4
用紙を排出するときの留意点 .....	3-7
排紙ストッパー .....	3-7
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備 .....	3-8
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする .....	3-8
ユーザー名とドメイン名をメモする .....	3-9
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする .....	3-10
Windowsファイアウォールの確認 .....	3-13
アドレス帳の登録 .....	3-18
アドレス帳に宛先を登録する .....	3-18
ワンタッチキーを登録する .....	3-26

## 用紙をセットする

### 用紙の取り扱い上の注意

包装紙から出した用紙は、給紙段にセットする前に、次の手順でさばいてください。



用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよくそろえてください。

さらに、下記にもご注意ください。

- 用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐにのぼしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。
- 包装紙から出した用紙を高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットに入れた残りの用紙は、保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しトレイに残った用紙も、保管袋に入れて密封保管してください。
- 本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

#### ☑ 重要

再利用紙(一度印刷された用紙)を使用する場合は、必ずステープル針やクリップなどを外してください。ステープル針やクリップが残ったままだと、画像不良や故障の原因となります。

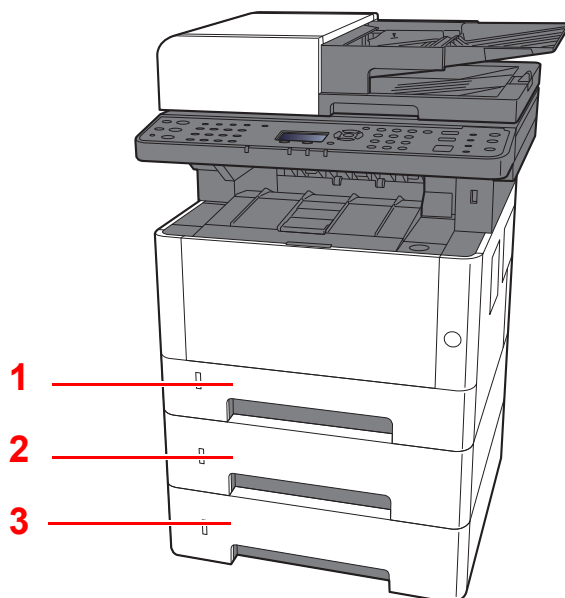
#### 💡 参考

穴の開いた用紙、ロゴや社名などが印刷されている用紙(プレプリント)、レターヘッドなど特殊な用紙を使用する場合は、次を参照してください。

▶ [用紙について \(11-14ページ\)](#)

## 給紙段の選択

用紙のサイズや種類に応じて、用紙をセットする給紙段を選択します。



番号	名称	用紙サイズ	用紙種類	収納枚数	参照先
1	カセット1	A4、B5、A5-R、A5、A6、Legal、Oficio II、Letter、Executive、Statement、Folio、16K、	普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、厚紙、上質紙、	300枚 (64 g/m <sup>2</sup> )	<a href="#">3-4ページ</a>
2	カセット2	216 × 340 mm、B5 (ISO)、カスタム	カスタム1~8		
3	カセット3				

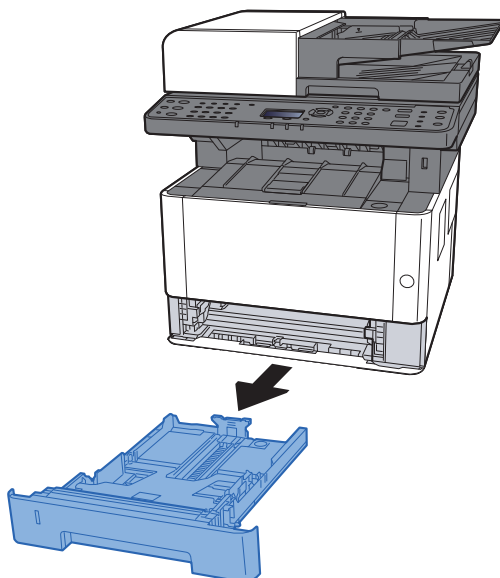
### 参考

- お使いの環境や用紙の種類(厚さ)によって、収納できる枚数は異なります。
- インクジェットプリンター用紙や表面に特殊な加工が施されている用紙は使用しないでください。(紙づまり等、故障の原因になる場合があります。)

## カセットに用紙をセットする

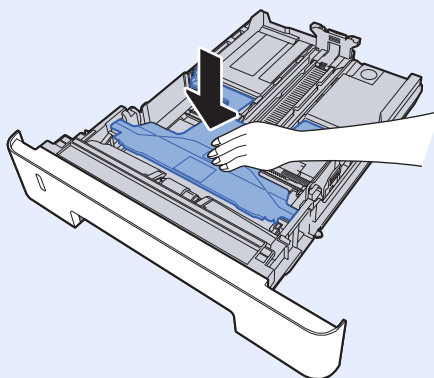
カセットに用紙をセットします。ここでは、カセット1を例に説明します。

### 1 カセットを本機から引き出す

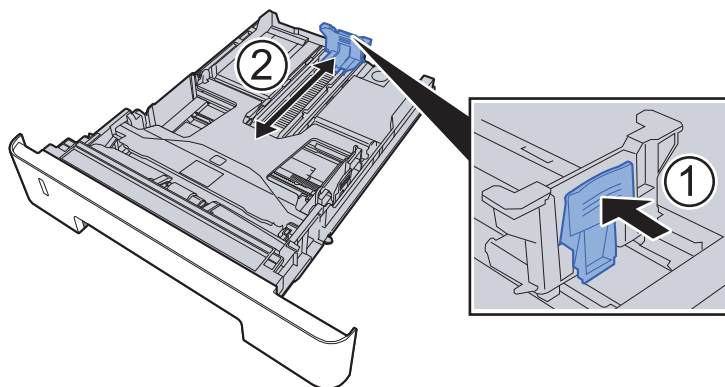


#### 参考

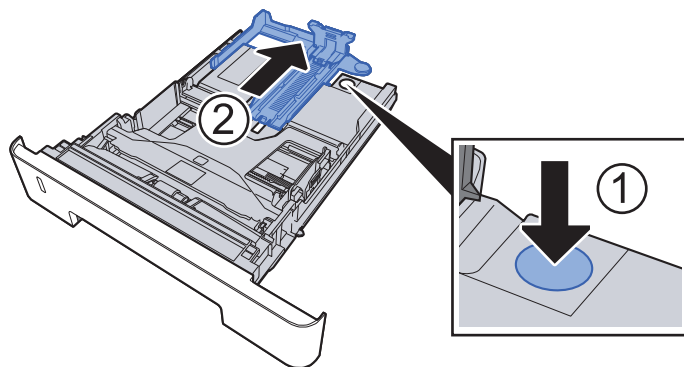
底板が上がっている場合は、ロックするまで底板を押してください。



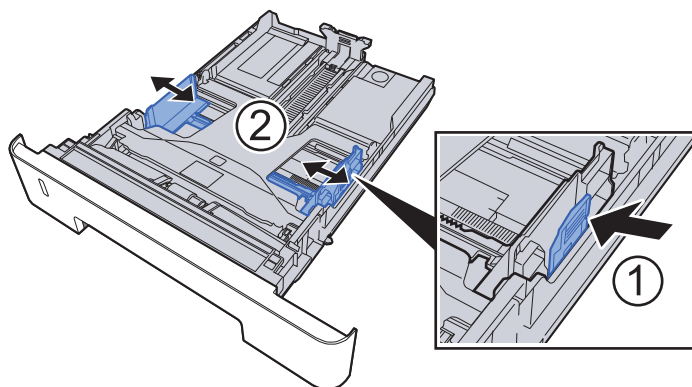
### 2 カセットの用紙長さガイドを調節する



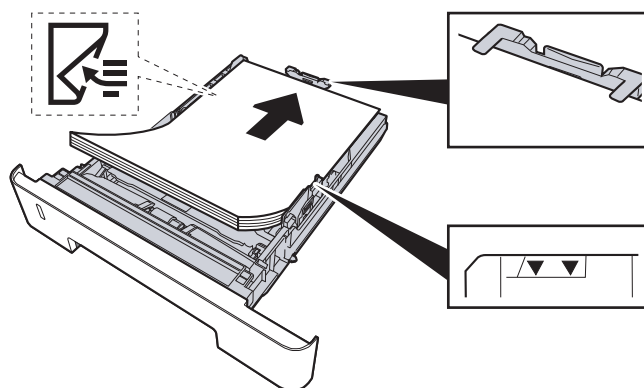
Folio、Oficio II、Legalを使用する場合



### 3 カセットの用紙幅ガイドを調節する



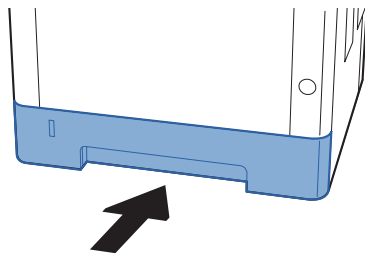
### 4 用紙をセットする



#### ☑ 重要

- 印刷する面を下にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ▶ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-2ページ\)](#)
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、用紙上限表示以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

## 5 カセットをゆっくり奥まで押し込む

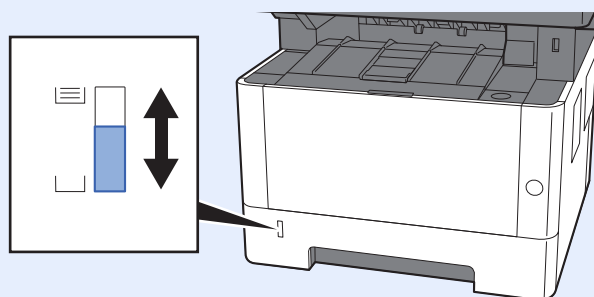


### ☑ 重要

すべてのカセットを奥まで押し込んでください。奥まで押し込まないと、紙づまりの原因となります。

### 🔍 参考

カセット前面の左側に用紙残量表示があります。用紙の残量に合わせて表示が上下します。



## 6 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [原稿/用紙設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [カセット1(~3)設定] > [OK]キー

## 7 設定する

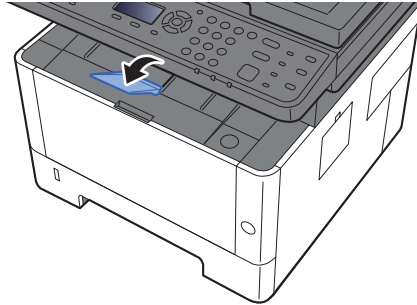
用紙サイズと用紙種類を選択します。

➔ [カセット1~3設定 \(8-22ページ\)](#)

## 用紙を排出するときの留意点

### 排紙ストッパー

A4/Letter以上の用紙を使用するときは、排紙ストッパーを図のように開いてください。



# パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備

本機で設定する必要な情報を確認し、パソコンに文書を受け取るためのフォルダーを作ります。ここでは、Windows 8.1をお使いになる場合を主体に説明しています。OSの種類によっては、項目名などが異なることがあります。

## 参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

## コンピューター名とフルコンピューター名をメモする

文書の宛先となるコンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

### 1 画面を表示する

Windows 8.1の場合は、スタート画面で[PC]を右クリックして[プロパティ]を選択します。またはウィンドウアイコンを右クリックして[システム]を選択します。

Windows 8の場合は、スタート画面でデスクトップを選択し、デスクトップの[ライブラリ]から[コンピューター]を右クリックして[プロパティ]を選択して、「システムのプロパティ画面」を開きます。

#### 参考

Windows XPの場合は、[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択して、「システムのプロパティ」画面を開きます。表示される画面で[コンピュータ名]タブをクリックします。

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[コンピューター]→[システムのプロパティ]の順で選択します。

Windows 10の場合は、ウィンドウアイコンを右クリックして[システム]を選択します。

### 2 確認する

コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定

コンピューター名: PC4050  
フルコンピューター名: pc4050.abcdnet.com  
コンピューターの説明:

 設定の変更

コンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

画面例:


コンピューター名: PC4050  
フルコンピューター名: pc4050.abcdnet.com

Windows XPの場合

フルコンピューター名にドット(.)がない場合、コンピューター名とフルコンピューター名は同じです。

フルコンピューター名にドット(.)がある場合、フルコンピューター名に表示されている文字列のドット(.)の前までがコンピューター名になります。

例: pc4050.abcdnet.com  
pc4050がコンピューター名  
pc4050.abcdnet.comがフルコンピューター名

確認後、 [閉じる] ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

Windows XPの場合は、確認後、[キャンセル] ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。





#### 参考

コンピューター名に漢字、かな、カタカナなど、全角文字やスペースを使用すると送信できません。コンピューター名を半角英数字に変更してください。

○ 良い例: PC4050

× 悪い例: 営業部 01

## ユーザー名とドメイン名をメモする

Windowsにログオンする際のユーザー名とドメイン名をメモします。

### 1 画面を表示する

デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「コマンドプロンプト」と入力します。検索された一覧の中から[コマンドプロンプト]を選択します。

Windows 7の場合は、[スタート]ボタン→[すべてのプログラム] (または [プログラム]) → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] の順に選択します。

Windows 10の場合は、ウィンドウアイコンを右クリックして[コマンドプロンプト]を選択します。

コマンドプロンプトが起動します。

### 2 確認する

コマンドプロンプトに「net config workstation」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.3.9600]
(c) 2013 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\DCS1>net config workstation
コンピュータ名                ¥¥PC4050
フル コンピューター名        ¥¥PC4050
ユーザー名                    yamada
アクティブなネットワーク (ワークステーション)
NetBT_Tcpip_{XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX} (XXXXXXXXXXXX)
ソフトウェア バージョン        Windows 8.1 Pro
ワークステーション ドメイン    ABCDNET
ログオン ドメイン              ABCDNET
COM デバイス オープン タイムアウト (秒)    0
COM デバイス送信バイト数 (バイト)          16
COM デバイス送信タイムアウト (ミリ秒)      250
コマンドは正常に終了しました。
```

ユーザー名とドメイン名を確認します。

画面例:

ユーザー名: yamada

ドメイン名: ABCDNET



#### 参考

ログインユーザー名に漢字、かな、カタカナなど、全角文字やスペースを使用すると送信できません。ログインユーザー名を半角英数字で新たに追加 (新しいアカウントの作成) してください。

○ 良い例: yamada

× 悪い例: ユーザー01

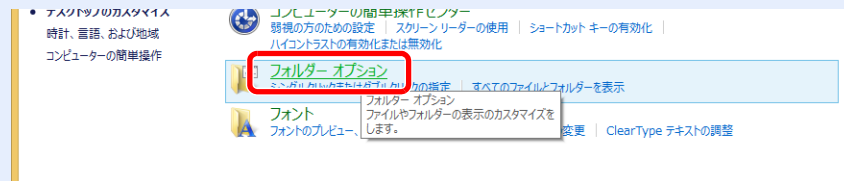
## 共有フォルダーを作成する、共有名をメモする

文書の宛先となるパソコンに、文書を受け取るための「共有フォルダー」を作成します。

### 参考

システムのプロパティで、ワークグループの項目がある場合、フォルダーのアクセス許可を特定のユーザーやグループに設定するには以下の設定を行ってください。

- 1 デスクトップのチャームから[設定]を選択し、[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダーオプション]の順で選択します。

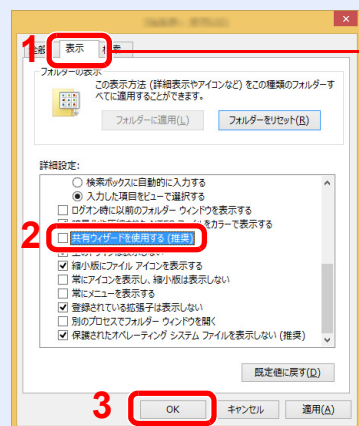


Windows XPの場合は、[マイコンピュータ]をクリックし、[ツール]の[フォルダオプション]を選択します。

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダーオプション]の順で選択します。

Windows 10の場合は、エクスプローラーを起動し、[表示]→[オプション]→[フォルダーオプション]の順で選択します。

### 2



[表示]タブが選択されていることを確認します。

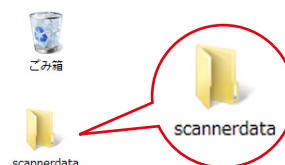
「詳細設定」の[共有ウィザードを使用する(推奨)]のチェックを外します。

Windows XPの場合は、[表示]タブをクリックし、「詳細設定」の[簡易ファイルの共有を使用する(推奨)]のチェックを外してください。

## 1 フォルダーを作成する

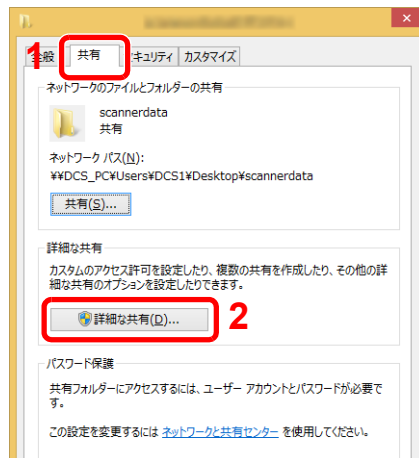
パソコン上でフォルダーを作成します。

例として、「scannerdata」という名前のフォルダーをデスクトップに作成します。



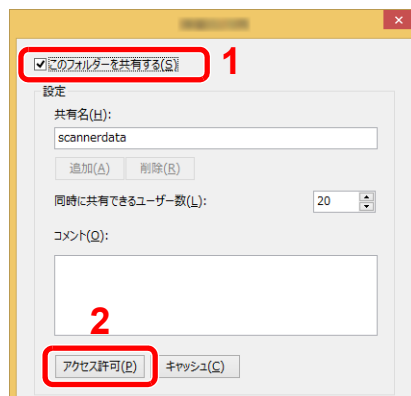
## 2 共有を設定する

- 1 「scannerdata」フォルダーを右クリックし、[プロパティ]→[共有]タブ→[詳細な共有]の順にクリックします。



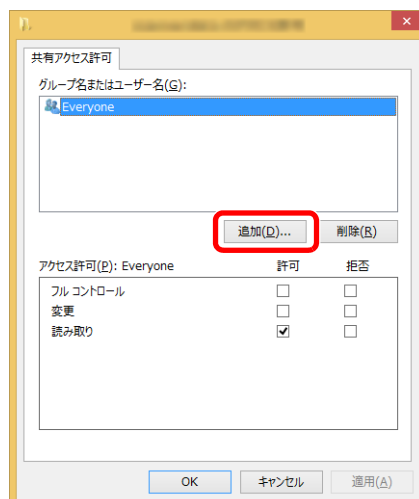
Windows XPの場合は、「scannerdata」フォルダーを右クリックし、[共有とセキュリティ]（または[共有]）を選択してください。

- 2 [このフォルダーを共有する]にチェックを付け、[アクセス許可]ボタンをクリックします。

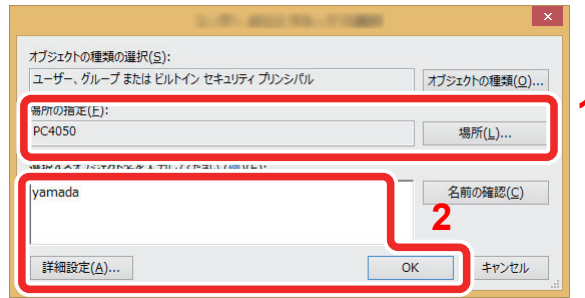


Windows XPの場合は、[このフォルダを共有する]を選択し、[アクセス許可]ボタンをクリックします。

- 3 表示されている共有名をメモします。
- 4 [追加]ボタンをクリックします。



## 5 場所を指定します。



- 1 メモしたコンピューター名とドメイン名が同じ場合:  
「場所の指定」にコンピューター名が表示されていない場合は、[場所]ボタンをクリックしてコンピューター名を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

例) pc4050

メモしたコンピューター名とドメイン名が違う場合:

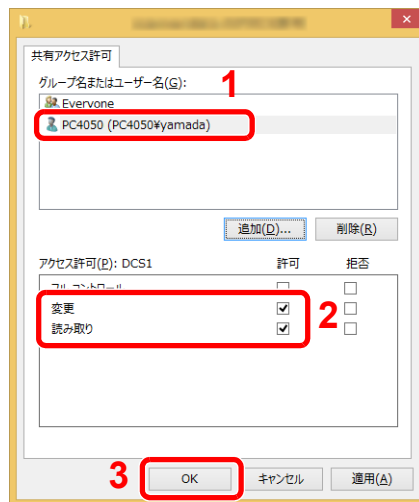
「場所の指定」にメモしたフルコンピューター名で最初のドット(.)以降の文字が表示されていない場合は、[場所]ボタンをクリックしてドット(.)以降の文字を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

例) abcdnet.com

### ➔ [コンピューター名とフルコンピューター名をメモする \(3-8ページ\)](#)

- 2 メモしたユーザー名をテキストボックスに入力し、[OK]ボタンをクリックします。  
また[詳細設定]をクリックしてユーザーを選択することもできます。

## 6 選択したユーザーのアクセス許可を設定します。



- 1 入力したユーザーを選択します。
- 2 「変更」と「読み取り」の[許可]にチェックをつけます。
- 3 [OK]ボタンをクリックします。

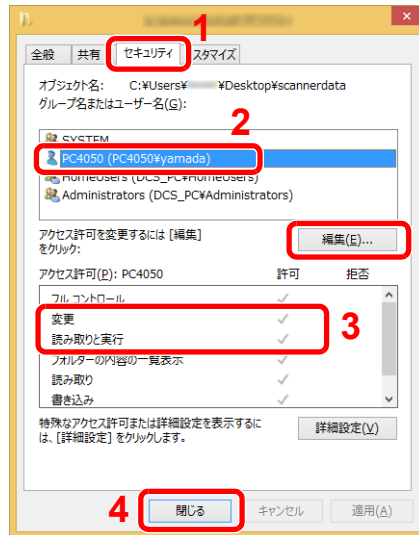
Windows XPの場合は、手順8へ進んでください。

### 参考

「Everyone」とはネットワーク上のすべての人に共有を許可する設定です。セキュリティ強化のため、「Everyone」を選択し、「読み取り」の[許可]のチェックを外すことをお勧めします。

- 7 「詳細な共有」画面の[OK]ボタンをクリックし、この画面を閉じます。

8 [セキュリティ]タブで設定した内容を確認します。



- 1 [セキュリティ]タブを選択します。
- 2 入力したユーザーを選択します。  
グループ名またはユーザー名欄に入力したユーザーが表示されていない場合は、[編集]をクリックして、共有を設定すると同様にユーザーを追加してください。
- 3 「変更」と「読み取りと実行」の[許可]にチェックが付いていることを確認します。
- 4 [閉じる]ボタンをクリックします。

Windows XPの場合は、「変更」と「読み取りと実行」の[許可]にチェックが付いていることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。

## Windowsファイアウォールの確認

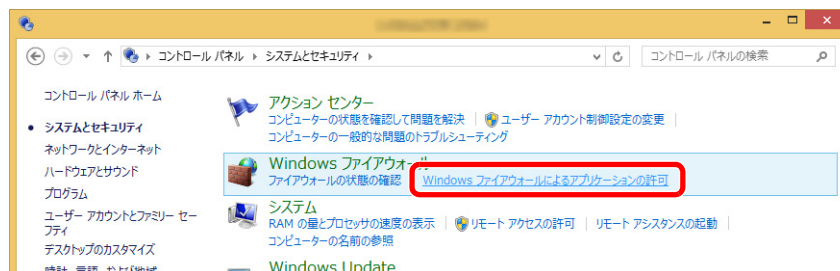
ファイルとプリンターの共有の許可と、SMB送信で使用するポートの追加を行います。

### 参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

## 1 ファイルとプリンターの共有を確認する

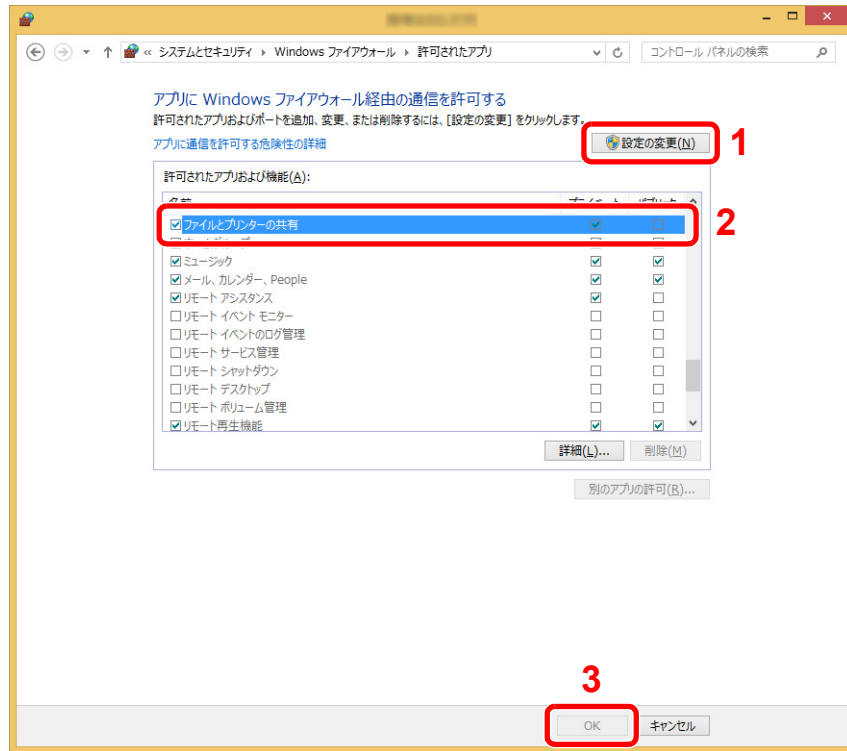
- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[Windowsファイアウォールによるアプリケーションの許可]の順で選択します。



### 参考

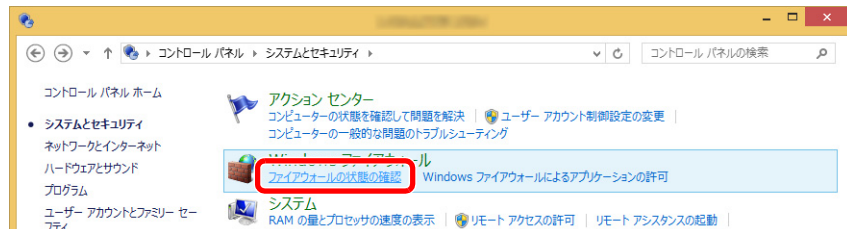
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。

## 2 [ファイルとプリンターの共有]にチェックを付けます。

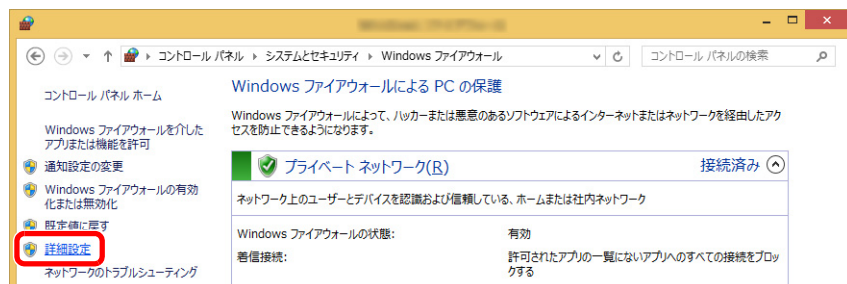


## 2 追加するポートを設定する

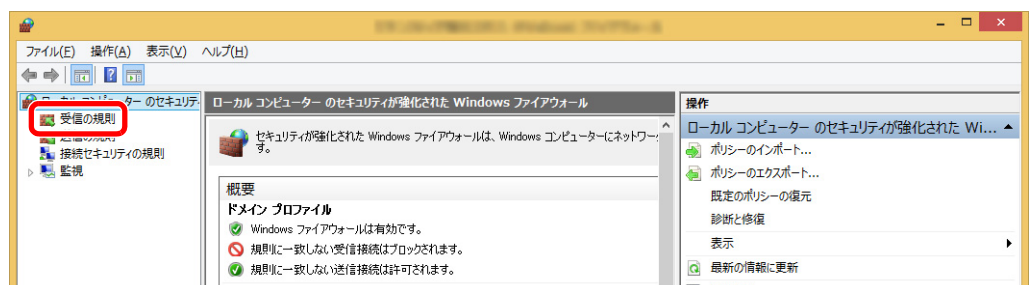
- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[ファイアウォールの状態の確認]の順で選択してください。



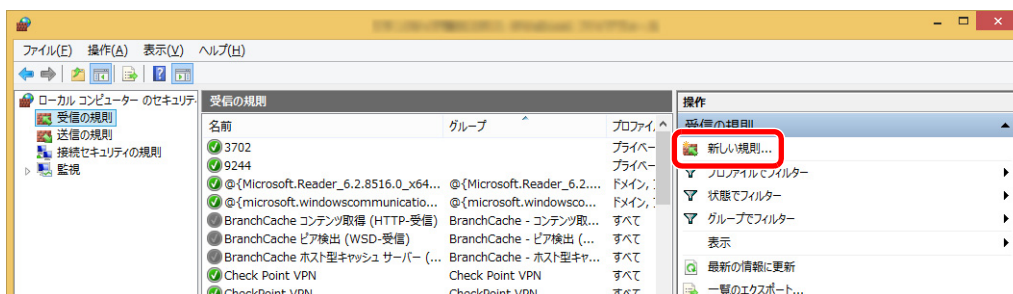
- 2 [詳細設定]をクリックします。



- 3 [受信の規則]をクリックします。



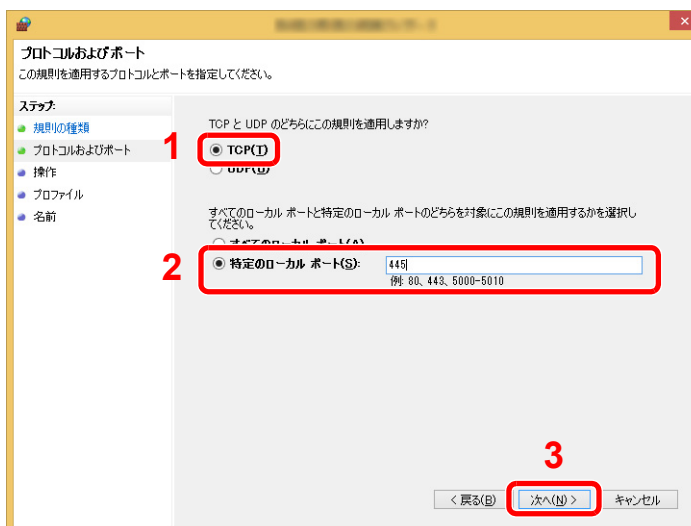
4 [新しい規則]をクリックします。



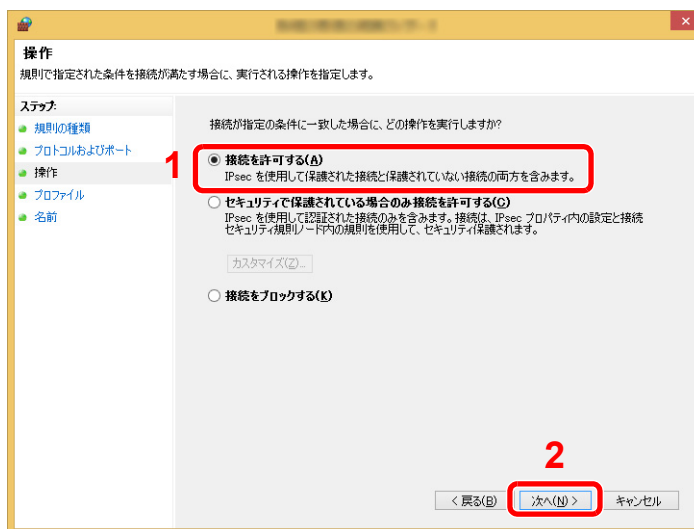
5 規則から[ポート]を選択します。



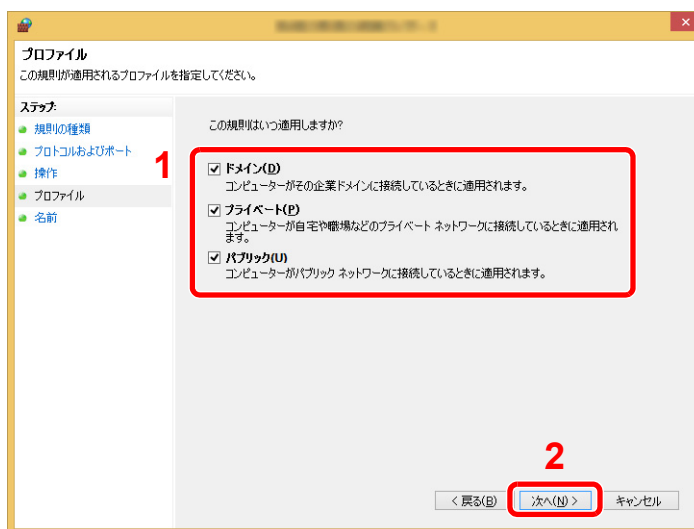
6 適用するポートとして[TCP]を選択します。そして[特定のローカルポート]をチェック後、「445」を入力してから[次へ]をクリックします。



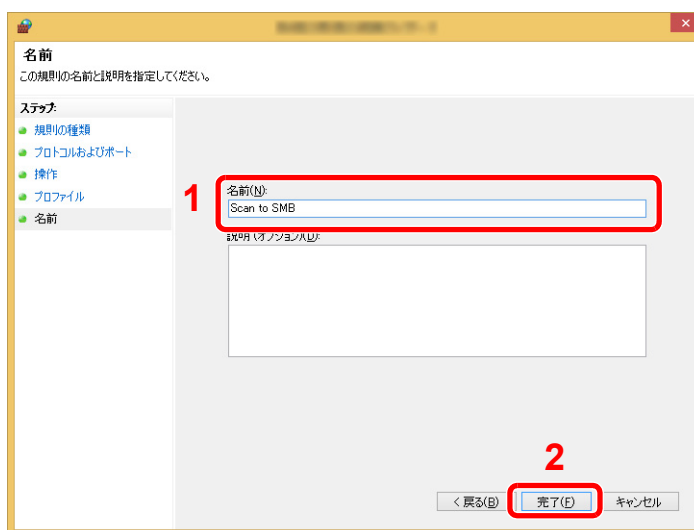
7 [接続を許可する]を選択して[次へ]をクリックします。



8 すべてにチェックが入っていることを確認して[次へ]をクリックします。



9 「名前」に「Scan to SMB」と入力して、[完了]をクリックします。





## Windows 7の場合

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[Windowsファイアウォールによるプログラムの許可]の順で選択します。  
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックします。
- 2 設定を行います。  
➔ [Windowsファイアウォールの確認 \(3-13ページ\)](#)

## Windows XP、Windows Vistaの場合

- 1 Windows XPの場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[Windowsファイアウォール]の順で選択します。  
Windows Vistaの場合はWindowsの[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[セキュリティ]→[Windows ファイアウォールの有効化または無効化]の順で選択します。  
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックします。
- 2 [例外]タブをクリックし、[ポートの追加]ボタンをクリックします。
- 3 ポートの追加の設定を行ってください。  
「名前」では、任意の名前(例:Scan to SMB)を登録します。追加するポートの名前になります。「ポート番号」には、「445」を入力します。「プロトコル」では、[TCP]を選択します。
- 4 [OK]ボタンをクリックします。

## Windows 10の場合

- 1 ウィンドウアイコンを右クリックして[コントロールパネル]を選択し、[システムとセキュリティ]→[Windowsファイアウォールによるプログラムの許可]の順で選択します。  
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックします。
- 2 設定を行います。  
➔ [Windowsファイアウォールの確認 \(3-13ページ\)](#)

## アドレス帳の登録

アドレス帳やワンタッチキーに宛先を登録したり登録内容を変更したりできます。登録した宛先は、メール送信やフォルダーへの送信、ファクス送信などに利用できます。

### 参考

アドレス帳の登録・編集は、Command Center RXでも行えます。

▶ [宛先を登録する \(2-55ページ\)](#)

## アドレス帳に宛先を登録する

アドレス帳に新しい宛先を登録します。登録方法には、個人登録と複数の個人登録をまとめて登録するグループ登録の2種類があります。グループ登録をするときは、グループ名を入力し、アドレス帳からメンバーを選んでください。

### 参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると、アドレス帳への宛先編集ができます。

### 個人アドレスを登録する

各宛先には、宛先名、メールアドレス、FTPサーバーのフォルダー、パソコンのフォルダー、ファクス番号などが最大200件登録できます。

#### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [宛先編集] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [アドレス帳] > [OK]キー > [メニュー] > [▲][▼]キー > [アドレス追加] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [個人] > [OK]キー

#### 2 名前とフリガナを登録する

1 [◀][▶]キー > [個人名] > [編集]

2 アドレス帳に表示する宛先名を入力して、[OK]キーを選択します。

### 参考

32文字まで入力できます。

文字の入力方法は、次を参照してください。

▶ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

3 [◀][▶]キー > [フリガナ] > [編集]

4 宛先名のフリガナを入力して、[OK]キーを選択します。

### 参考

32文字まで入力できます。

文字の入力方法は、次を参照してください。

▶ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

### 3 アドレスを登録する

アドレスがメールの場合

- 1 [◀][▶]キー > [メールアドレス] > [編集]
- 2 メールアドレスを入力して、[OK]キーを選択します。

#### 参考

128文字まで入力できます。  
文字の入力方法は、以下を参照してください。

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

アドレスがフォルダー(SMB)の場合

- 1 [◀][▶]キー > [フォルダー(SMB)] > [編集]
- 2 「ホスト名(SMB)」、「パス」、「ログインユーザー名」、および「ログインパスワード」を入力 > [OK]キー

#### 参考

コンピューター名、共有名、ドメイン名、ユーザー名については、共有フォルダー作成時にメモした内容を入力します。  
共有フォルダーの作成方法については、以下を参照してください。

➔ [パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備 \(3-8ページ\)](#)

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名(SMB) <sup>*1</sup>	コンピューター名	64文字以内
パス	共有名 例) scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名¥共有フォルダー内のフォルダー名	128文字以内
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例) yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名¥ユーザー名 例) abcdnet¥yamada	64文字以内
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字以内

<sup>\*1</sup> 初期値(445)と異なるポート番号を指定する場合、「ホスト名:ポート番号」(例: SMBhostname:140)の形式で入力してください。  
IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[ ]で囲んでください。  
(例[: 3ae3:9a0:cd05:b1d2:28a:1fc0:a1:10ae]:140)

#### 参考

文字の入力方法は、以下を参照してください。

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 3 接続確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、接続が確認されます。[いいえ]を選択すると、確認はされません。

宛先に正しく接続できると「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

#### アドレスがフォルダー(FTP)の場合

- 1 [◀][▶]キー > [フォルダー(FTP)] > [編集]
- 2 「ホスト名(FTP)」、「パス」、「ログインユーザー名」、および「ログインパスワード」を入力 > [OK]キー

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名(FTP)*1	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字以内
パス*2	保存したいファイルのパス 例)¥User¥ScanData 何も入力しないと、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字以内
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字以内
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード	64文字以内

\*1 初期値(21)と異なるポート番号を指定する場合、「ホスト名:ポート番号」(例; FTPhostname:140)の形式で入力してください。  
IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[ ]で囲んでください。  
(例[: 3ae3:9a0:cd05:b1d2:28a:1fc0:a1:10ae]:140)

\*2 Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは¥ではなく/(スラッシュ)です。



#### 参考

文字の入力方法は、以下を参照してください。

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 3 接続確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、接続が確認されます。[いいえ]を選択すると、確認はされません。

[セキュア設定]の[SSL]を有効にしている場合は、[はい]を選択した後に、「暗号化した通信で接続しますか?」と表示されます。[はい]を選択すると、FTP暗号通信の接続が確認されます。[いいえ]を選択すると、通常の接続確認画面に戻ります。

宛先に正しく接続できると「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

## 4 アドレス番号を設定する

- 1 [◀][▶]キー > [アドレス番号] > [編集]
- 2 アドレス番号を入力します。



### 参考

1~250の間で設定できます。

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。

すでに使用されているアドレス番号を指定すると、[OK]キーを選択したときにエラーメッセージが表示され、登録できません。

- 3 [OK]キーを選択します。

## 5 宛先が正しく設定できているか確認して、[OK]キーを選択する

アドレス帳に宛先が追加されます。

## グループを登録する

個人登録された複数の宛先をまとめて、グループとして最大50件登録することができます。宛先を一度に指定できるので便利です。

### 参考

グループ登録には、個人登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な個人登録を行ってください。  
1つのグループに、個人登録された宛先を100件まで、SMBとFTPの宛先は合わせて5件まで登録できます。

## 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [宛先編集] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [アドレス帳] > [OK]キー > [メニュー] > [▲][▼]キー > [アドレス追加] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [グループ] > [OK]キー

## 2 名前とフリガナを登録する

- 1 [◀][▶]キー > [グループ名] > [編集]
- 2 アドレス帳に表示するグループ名を入力して、[OK]キーを選択します。

### 参考

32文字まで入力できます。  
文字の入力方法は、次を参照してください。

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 3 [◀][▶]キー > [フリガナ] > [編集]
- 4 グループ名のフリガナを入力して、[OK]キーを選択します。

### 参考

32文字まで入力できます。  
文字の入力方法は、次を参照してください。

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

## 3 メンバー(宛先)を選択する

- 1 [◀][▶]キー > [グループメンバー] > [編集] > [メニュー] > [▲][▼]キー > [宛先追加] > [OK]キー
- 2 グループに追加したい宛先を選択して、[OK]キーを選択します。

### 参考

[メニュー]を選択して、[フリガナ検索]を選択すると、名前で検索することができます。

- 3 登録されている個人の宛先からグループに登録したい宛先を選択して、[OK]キーを選択します。  
選択した宛先がグループに追加されます。  
宛先を追加するときは、手順3-1～3-3を繰り返してください。
- 4 [戻る]キーを選択します。

## 4 アドレス番号を設定する

- 1 [◀][▶]キー > [アドレス番号] > [編集]
- 2 アドレス番号を入力します。



### 参考

1～250の間で設定できます。

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。

すでに使用されているアドレス番号を指定すると、[OK]キーを選択したときにエラーメッセージが表示され、登録できません。

- 3 [OK]キーを選択します。

## 5 [OK]キーを選択する

アドレス帳にグループが追加されます。

## アドレス帳を変更する

登録した宛先(個人)やグループを変更します。

### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [宛先編集] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [アドレス帳] > [OK]キー

### 2 変更/削除する

個人登録の宛先を編集する場合

- 1 編集する宛先(個人)を選択して、[OK]キーを選択します。



[メニュー]を選択して、[フリガナ検索]を選択すると、名前で検索することができます。

- 2 「個人名」、「フリガナ」、送信先の種類、アドレス、「アドレス番号」を変更します。  
変更方法は、以下を参照してください。

➔ [個人アドレスを登録する \(3-18ページ\)](#)

- 3 変更が終わったら、[OK]キー > [はい]

変更した宛先が登録されます。

グループを編集する場合

- 1 編集するグループを選択して、[OK]キーを選択します。

- 2 「グループ名」、[フリガナ]およびアドレス番号を変更します。  
変更方法は、以下を参照してください。

➔ [グループを登録する \(3-22ページ\)](#)

- 3 [◀][▶]キー > [グループメンバー] > [編集]

- 4 グループからメンバーを削除する場合は、宛先を選択して、[メニュー] > [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー



宛先を選択して、[OK]キーを選択すると、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

宛先を追加するときは、[宛先追加]を選択してください。

変更方法は、以下を参照してください。

➔ [グループを登録する \(3-22ページ\)](#)

- 5 [はい]を選択します。

- 6 変更が終わったら、[OK]キー > [はい]

変更したグループが登録されます。



## アドレス帳を削除する

登録した宛先(個人)やグループを削除します。

### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [宛先編集] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [アドレス帳] > [OK]キー

### 2 削除する

削除する宛先(個人)またはグループを選択して、[メニュー] > [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]

## ワンタッチキーを登録する

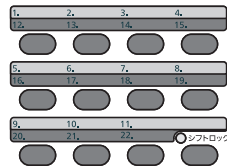
ワンタッチキーに宛先(個人またはグループ)を登録することができます。22件まで登録できます。

### 参考

- [シフトロック]ランプが消灯している場合、ワンタッチキーの番号は1~11になります。[シフトロック]キーを選択して[シフトロック]ランプが点灯している場合、ワンタッチキーの番号は12~22になります。
- ワンタッチキーの使用方法は、次を参照してください。
  - ▶ [宛先を確認または変更する \(5-33ページ\)](#)
- ワンタッチキーの登録・編集は、Command Center RXでも行えます。
  - ▶ [宛先を登録する \(2-55ページ\)](#)

### 1 登録するワンタッチキーを選択する

- 1 送信画面またはファクス画面で、登録したいワンタッチキーを長押しします。(2秒以上)



- 2 [▲][▼]キー > キー番号 > [OK]キー

宛先が登録されていないワンタッチキーを選択してください。

### 2 宛先を選択する

アドレス帳に登録されている宛先からワンタッチキーに登録する宛先を選択して、[OK]キーを選択します。

### 参考

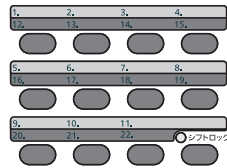
[メニュー]を選択して、[フリガナ検索]を選択すると、名前で検索することができます。

ワンタッチキーに宛先が登録されます。

## ワンタッチキーの宛先を変更する

### 1 変更したいワンタッチキーを選択する

- 1 送信またはファクス画面で変更したいワンタッチキーを長押しします。(2秒以上)



- 2 [▲][▼]キー > キー番号 > [OK]キー

未登録のワンタッチキー番号を選択すると、アドレス帳が表示されます。アドレス帳から送信先を選択することで登録できます。

### 2 宛先を変更する

- 1 [▲][▼]キー > [編集] > [OK]キー



#### 参考

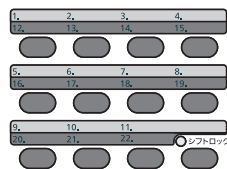
[詳細]を選択して、[OK]キーを選択すると、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

- 2 新しい宛先を選択して、[OK]キー > [はい]  
変更した宛先が登録されます。

## ワンタッチキーの宛先を削除する

### 1 削除したいワンタッチキーを選択する

- 1 送信またはファクス画面で削除したいワンタッチキーを長押しします。(2秒以上)



- 2 [▲][▼]キー > キー番号 > [OK]キー

未登録のワンタッチキー番号を選択すると、アドレス帳が表示されます。アドレス帳から送信先を選択することで登録できます。

### 2 宛先を削除する

- [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]  
ワンタッチキーの登録内容が削除されます。

# 4 パソコンからの印刷

この章では、次の項目について説明します。


プリンタードライバーのプロパティ画面 .....	4-2
プリンタードライバーのヘルプを表示する .....	4-3
プリンタードライバーの初期設定値を変更する (Windows 8.1の場合) .....	4-3
パソコンから印刷する .....	4-4
定形サイズ of 用紙に印刷する .....	4-4
不定形サイズ of 用紙に印刷する .....	4-6
パソコンで印刷を中止する .....	4-8
携帯端末から印刷する .....	4-9
AirPrintで印刷 .....	4-9
Google Cloud Printで印刷 .....	4-9
Mopriaで印刷 .....	4-9
Wi-Fiダイレクトで印刷 .....	4-9
本体に保存したデータを印刷する .....	4-10
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する .....	4-10
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する .....	4-11
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する .....	4-11
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する .....	4-12
ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する .....	4-13
クイックコピーボックスからジョブを印刷する .....	4-13
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する .....	4-14
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する .....	4-15
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する .....	4-15
本機の状態をパソコンから確認するには (ステータスマニター) .....	4-16
ステータスマニターを起動する .....	4-16
ステータスマニターを終了する .....	4-16
Quick View State .....	4-16
印刷情報アイコンタブ .....	4-17
用紙情報アイコンタブ .....	4-17
トナー情報アイコンタブ .....	4-17
アラート情報アイコンタブ .....	4-18
ステータスマニターコンテキストメニュー .....	4-18
ステータスマニターの通知機能を設定する .....	4-19
Configuration Tool .....	4-20
Configuration Toolを起動する .....	4-20
Configuration Toolを終了する .....	4-21
Configuration Toolの設定画面 .....	4-22

# プリンタードライバーのプロパティ画面

プリンタードライバーのプロパティ画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。

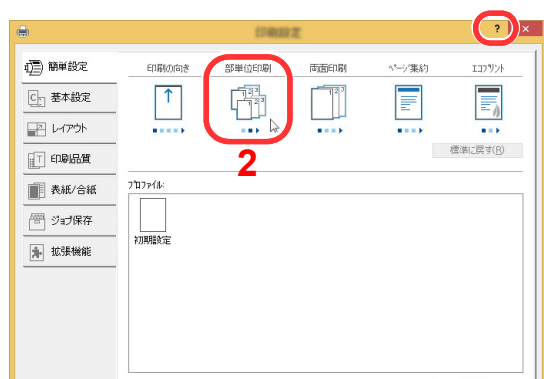
## ▶ プリンタードライバー操作手順書



No.	説明
1	<p><b>【簡単設定】タブ</b> よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックするごとに印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。</p>  <p><b>【基本設定】タブ</b> よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや排紙先、両面印刷の設定ができます。</p> <p><b>【レイアウト】タブ</b> ブックレット印刷、ページ集約、ポスター印刷、変倍などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができます。</p> <p><b>【印刷品質】タブ</b> 印刷結果の品質に関する設定ができます。</p> <p><b>【表紙/合紙】タブ</b> 印刷ジョブ用に表紙や合紙を作成したり、OHPフィルムの間に合紙を挿入できます。</p> <p><b>【ジョブ保存】タブ</b> 印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的に使う文書などを本機に保存しておくことで簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を印刷する際などにも便利です。</p> <p><b>【拡張機能】タブ</b> 印刷データにテキストページやウォーターマーク(すかし文字)を付加するための設定ができます。</p>
2	<p><b>【プロファイル】</b> プリンタードライバーの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておくことで便利です。</p>
3	<p><b>【標準に戻す】</b> クリックすると設定内容を初期値に戻すことができます。</p>

## プリンタードライバーのヘルプを表示する

プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。



- 1 設定画面右上の[?]ボタンをクリックします。
- 2 知りたい設定項目をクリックします。

### 参考

知りたい設定項目をクリックした後、キーボードの[F1]キーを押した場合もヘルプを表示することができます。

## プリンタードライバーの初期設定値を変更する (Windows 8.1 の場合)

プリンタードライバーの初期設定値は変更することができます。よく使う機能を設定しておくことで、印刷時の操作を省略することができます。設定項目については、次を参照してください。

### ▶ プリンタードライバー操作手順書

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]をクリックする
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックする
- 3 [全般]タブの[基本設定]ボタンをクリックする
- 4 初期設定値を設定し、[OK]ボタンをクリックする

## パソコンから印刷する

ここではKXドライバーを使用して印刷する方法について説明します。

### 参考

- パソコンで作成した文書を本機で印刷するには、DVD (Product Library) を使って、パソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。
- お使いの環境によっては、プリンタードライバーの下部に現在の設定値が表示されることがあります。



- はがきや封筒を印刷する場合は、本機の手差しトレイにはがきや封筒をセットしてから操作を行ってください。  
▶ [はがき、封筒をセットする \(5-7ページ\)](#)

## 定形サイズ of 用紙に印刷する

本機 of 出力用紙サイズにある用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバー of 印刷設定画面にある [基本設定] タブで用紙サイズを選択します。

### 参考

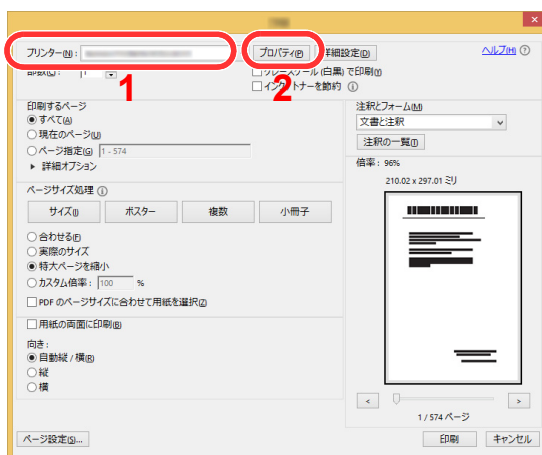
- 本機 of 操作パネルから、印刷する用紙のサイズと種類を設定してください。
- ▶ [原稿/用紙設定 \(8-19ページ\)](#)

### 1 画面を表示する

[ファイル] をクリックし、[印刷] を選択します。

## 2 設定する

- 1 「プリンター」メニューから本機を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



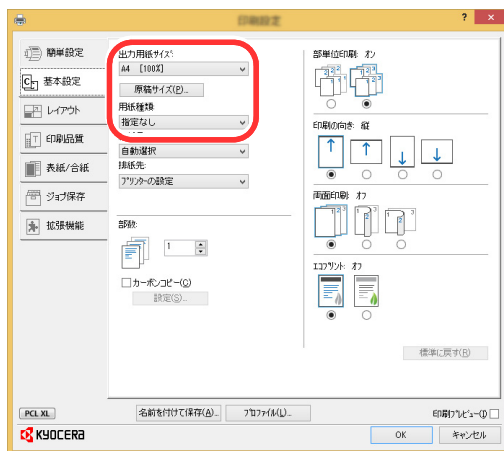
- 2 [基本設定]タブを選択します。

- 3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、印刷する用紙サイズを選択します。

はがきや封筒など、本機の出力用紙サイズにない用紙サイズをセットしたときは、用紙サイズを登録する必要があります。

▶ [不定形サイズの用紙に印刷する \(4-6ページ\)](#)

厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



- 4 [OK]ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

## 3 印刷を開始する

- [OK]ボタンをクリックします。



## 不定形サイズの内紙に印刷する

本機の内紙サイズにはない内紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバーの印刷設定画面にある[基本設定]タブで内紙サイズを登録します。

登録したサイズは、「出力用紙サイズ」メニューから選択できるようになります。

### 参考

本機の内紙パネルから、印刷する内紙のサイズと種類を設定してください。

▶ [原稿/内紙設定 \(8-19ページ\)](#)

## 1 画面を表示する

- 1 チャームの[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

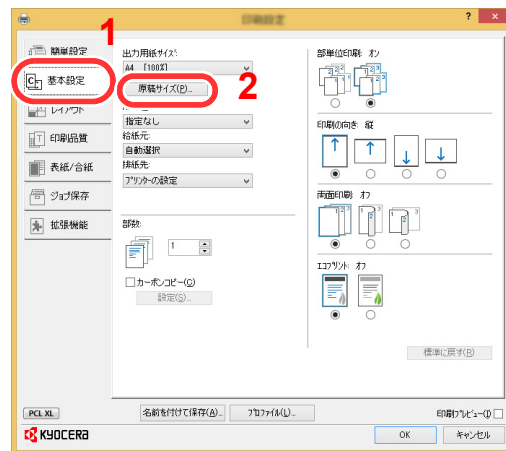
### 参考

Windows 7の場合は[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択してください。

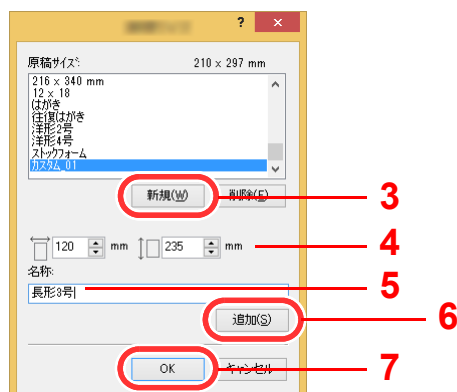
- 2 本機の内紙ドライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [全般]タブの[基本設定]をクリックします。

## 2 登録する

- 1 [基本設定]タブをクリックします。



- 2 [原稿サイズ]ボタンをクリックします。
- 3 [新規]ボタンをクリックします。



- 4 用紙サイズを入力します。
- 5 用紙の名前を入力します。
- 6 [追加] ボタンをクリックします。
- 7 [OK] ボタンをクリックします。
- 8 [OK] ボタンをクリックします。

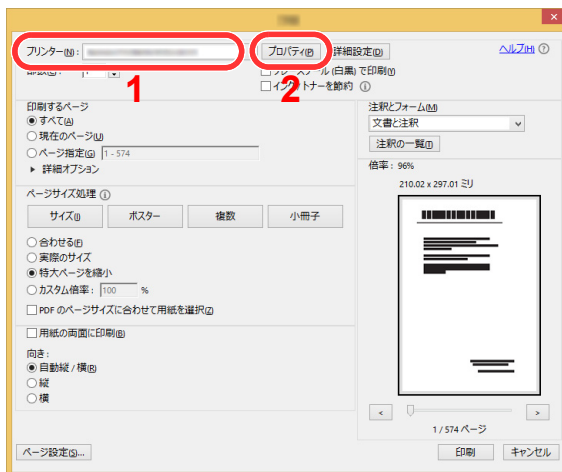


### 3 印刷設定画面を表示する

[ファイル] をクリックし、[印刷] を選択します。

### 4 不定形サイズの用紙サイズと種類を選択する

- 1 「プリンター」メニューから本機を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



- 2 [基本設定] タブを選択します。

- 3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、手順2で登録した原稿サイズ(名)を選択します。

厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



#### 参考

はがきまたは封筒をセットした場合は、「用紙種類」メニューで[はがき]または[封筒]を選択してください。

- 4 「給紙元」メニューで給紙元を選択します。
- 5 [OK]ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

## 5 印刷を開始する

[OK]ボタンをクリックします。


## パソコンで印刷を中止する

プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。

#### 参考

本機で印刷を中止する場合は、次を参照してください。

➔ [印刷ジョブをキャンセルする \(5-13ページ\)](#)

- 1 **Windows**画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン(  )をダブルクリックして、ダイアログボックスを表示する
- 2 印刷を中止したいファイルをクリックし、「ドキュメント」メニューから[キャンセル]を選択する

## 携帯端末から印刷する

本機は、AirPrint、Google Cloud Print、Mopria、Wi-Fiダイレクトに対応しています。

アプリケーションとOSの対応状況によって、機種ごとにプリンタードライバーをインストールしなくても、携帯端末やパソコンから印刷できます。

### AirPrintで印刷

AirPrintは、iOS 4.2以降またはMac OS X 10.7以降の製品に標準で搭載されている印刷機能です。

AirPrintを使用するには、Command Center RXでAirPrintが有効に設定されていることを確認してください。

▶ Command Center RX操作手順書



### Google Cloud Printで印刷

Google Cloud Printは、Google社が提供するプリントサービスです。Googleアカウントのユーザーがインターネットに接続された機器から印刷できるサービスです。

機器の設定はCommand Center RXで行います。

▶ Command Center RX操作手順書



Google Cloud Printを利用するためには、Googleアカウントが必要です。お持ちでない場合は、Googleアカウントを取得してください。

またGoogle Cloud Printサービスに、機器を事前に登録する必要があります。機器の登録は、同じネットワークに接続されているパソコンで行います。

### Mopriaで印刷

Mopria(モプリア)は、Android 4.4以降でサポートが開始された印刷機能の規格です。事前にMopria Print Serviceがインストールされ、有効化されている必要があります。

詳しい使用方法については、Mopria AllianceのWebサイトを参照してください。

### Wi-Fiダイレクトで印刷

Wi-Fiダイレクトは、Wi-Fi Allianceが定めた無線LAN規格です。無線LANの機能の一つで、無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを介さずに、機器同士が一对一で直接通信できます。

Wi-Fiダイレクトで印刷する手順は、通常の携帯端末からの手順と同じです。

プリンタープロパティのポート指定でプリンター名またはBonjour名を使用する場合は、Wi-Fiダイレクト接続時でもその名称を指定して印刷できます。

ポートにIPアドレスを使用する場合は、本体側のIPアドレスを指定してください。

## 本体に保存したデータを印刷する

ジョブボックスを使用して本機に印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。ジョブ保留ボックス、クイックコピーボックスを使用するには、SD/SDHCメモリーカードが必要です。プライベートプリントボックス、試し刷り後保留ボックスを使用するには、拡張メモリーまたはSD/SDHCメモリーカードが必要です。

### 重要

SD/SDHCメモリーカードには暗号化されていないデータが保存されます。  
機密性の高い文書を保存する場合はご注意ください。

### 参考

• 拡張メモリーを使用する場合は、[RAMディスクモード]が[設定する]に設定されている必要があります。

▶ [RAMディスクモード \(8-28ページ\)](#)

• SD/SDHCメモリーカードを使ってジョブボックスを使用する場合は、[RAMディスクモード]を[設定しない]に設定してください。

プリンタードライバーの[ジョブ保存]タブで設定を行い印刷すると、ジョブボックス(メモリー)に印刷データが保存され、本体側の操作で印刷を実行することができます。

ジョブボックスを使用するときは、次の流れで操作してください。

パソコンからジョブボックスを指定して印刷ジョブを送信する。[\(4-10ページ\)](#)



操作パネルからボックス内のファイルを指定して印刷する。

次のボックスから印刷できます。

▶ [プライベートプリントボックス \(4-11ページ\)](#)

[ジョブ保留ボックス \(4-12ページ\)](#)

[クイックコピーボックス \(4-13ページ\)](#)

[試し刷り後保留ボックス \(4-15ページ\)](#)

## パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する

- 1** アプリケーションソフトの[ファイル]をクリックし、[印刷]を選ぶ  
印刷ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 名前の[▼]ボタンをクリックして、リストから本機を選択する
- 3** [プロパティ]ボタンをクリックする  
プロパティダイアログボックスが表示されます。
- 4** [ジョブ保存]タブをクリックし、[ジョブ拡張機能]のチェックボックスにチェックを入れて機能を設定する

### 参考

プリンタードライバーの操作方法は、次を参照してください。

▶ [プリンタードライバー操作手順書](#)

## プライベートプリントボックスからジョブを印刷する

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバで4桁のアクセスコードを指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでアクセスコードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源スイッチを切ったとき、データは消去されます。

### 1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [プライベート/ジョブ保] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

### 2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択して、[選択] > [OK]キー  
文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。  
チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。



[メニュー]を選択すると次の操作ができます。

- [すべて選択]:すべての文書を選択します。
- [すべて解除]:すべての文書の選択を解除します。
- [詳細]:選択された文書の詳細を表示します。

- 2 [▲][▼]キー > [印刷] > [OK]キー
- 3 アクセスコードを入力 > [OK]キー
- 4 印刷部数を入力して、[OK]キー > [はい]  
印刷を開始します。  
印刷が終了すると、プライベートプリントのデータは自動で消去されます。

## プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する

### 1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [プライベート/ジョブ保] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

## 2 文書を削除する

### 1 削除する文書を選択して、[選択] > [OK] キー

文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。

チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。

#### 参考

[メニュー]を選択すると次の操作ができます。

- [すべて選択]:すべての文書を選択します。
- [すべて解除]:すべての文書の選択を解除します。
- [詳細]:選択された文書の詳細を表示します。

### 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > アクセスコードの入力 > [OK]キー > [はい]

文書が削除されます。

## ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する

ジョブ保留は、アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します。必要に応じて、アクセスコードを設定することができます。アクセスコードを設定した場合は、印刷時にアクセスコードを入力してください。印刷データは、印刷後本機の内部メモリーに保存されます。繰り返し同じデータを印刷することができます。

## 1 画面を表示する

### 1 [文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [OK]キー >

[▲][▼]キー > [プライベート/ジョブ保] > [OK]キー

### 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

## 2 文書を印刷する

### 1 印刷する文書を選択して、[選択] > [OK]キー

文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。

チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。

#### 参考

[メニュー]を選択すると次の操作ができます。

- [すべて選択]:すべての文書を選択します。
- [すべて解除]:すべての文書の選択を解除します。
- [詳細]:選択された文書の詳細を表示します。

### 2 [▲][▼]キー > [印刷] > [OK]キー

### 3 印刷部数を入力して、[OK]キー > [はい]

印刷を開始します。

#### 参考

文書にアクセスコードを設定している場合は、アクセスコードの入力画面が表示されます。テンキーでアクセスコードを入力してください。

## ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する

### 1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [プライベート/ジョブ保] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

### 2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択して、[選択] > [OK]キー  
文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。  
チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。



#### 参考

[メニュー]を選択すると次の操作ができます。

- [すべて選択]:すべての文書を選択します。
- [すべて解除]:すべての文書の選択を解除します。
- [詳細]:選択された文書の詳細を表示します。

- 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]  
文書が削除されます。



#### 参考

文書にアクセスコードを設定している場合は、アクセスコードの入力画面が表示されます。テンキーでアクセスコードを入力してください。

## クイックコピーボックスからジョブを印刷する

クイックコピーは、一度印刷した文書を追加印刷する機能です。パソコンからクイックコピーを有効にして文書を印刷すると、同時に印刷データがこのボックスに保存されます。再度印刷が必要になったときに、操作パネルの操作で印刷することができます。保存できる最大文書数は、工場出荷時は32件です。データは電源スイッチを切ると消去されます。



#### 参考

- 最大文書数を超えて文書を保存すると、古い文書から順に新しい文書が上書きされます。
- ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。

▶ [クイックコピー保持数 \(8-34ページ\)](#)

### 1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [クイック/試し刷り] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。



## 2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択して、[選択] > [OK] キー

文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。

チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。

### 参考

[メニュー]を選択すると次の操作ができます。

- [すべて選択]:すべての文書を選択します。
- [すべて解除]:すべての文書の選択を解除します。
- [詳細]:選択された文書の詳細を表示します。

- 2 [▲][▼]キー > [印刷] > [OK] キー

- 3 印刷部数を入力して、[OK] キー > [はい]

印刷を開始します。

## クイックコピーボックスに保存した文書を削除する

### 1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [OK] キー > [▲][▼]キー > [クイック/試し刷り] > [OK] キー

- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK] キーを選択します。

### 2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択して、[選択] > [OK] キー

文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。

チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。

### 参考

[メニュー]を選択すると次の操作ができます。

- [すべて選択]:すべての文書を選択します。
- [すべて解除]:すべての文書の選択を解除します。
- [詳細]:選択された文書の詳細を表示します。

- 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK] キー > [はい]

文書が削除されます。

## 試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、操作パネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

### 1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [クイック/試し刷り] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

### 2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択して、[選択] > [OK]キー  
文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。  
チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。

#### 参考

[メニュー]を選択すると次の操作ができます。

- [すべて選択]:すべての文書を選択します。
- [すべて解除]:すべての文書の選択を解除します。
- [詳細]:選択された文書の詳細を表示します。

- 2 [▲][▼]キー > [印刷] > [OK]キー
- 3 印刷部数を入力して、[OK]キー > [はい]  
印刷を開始します。

## 試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する

### 1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [クイック/試し刷り] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

### 2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択して、[選択] > [OK]キー  
文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。  
チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。

#### 参考

[メニュー]を選択すると次の操作ができます。

- [すべて選択]:すべての文書を選択します。
- [すべて解除]:すべての文書の選択を解除します。
- [詳細]:選択された文書の詳細を表示します。

- 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]  
文書が削除されます。

## 本機の状態をパソコンから確認するには(ステータスマニター)

ステータスマニターは、本機の状態を監視し、報告する機能を備えています。

### 参考

ステータスマニターを起動する場合は、以下の内容を確認してください。

- KX Driverがインストールされている。
- 「ネットワーク設定」で[Enhanced WSD]か、[EnhancedWSD(SSL)]が[設定する]に設定されている。

▶ [ネットワーク設定 \(8-7ページ\)](#)

## ステータスマニターを起動する

印刷を開始すると、同時にステータスマニターも起動します。

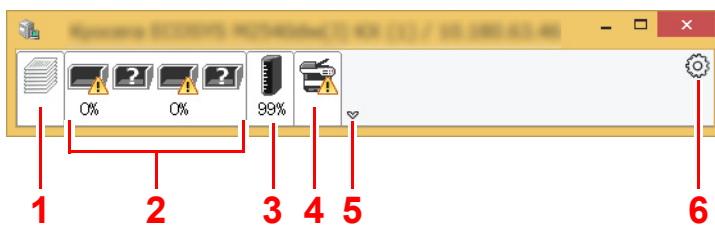
## ステータスマニターを終了する

ステータスマニターは、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了:  
設定アイコンをクリックしてメニューを表示し、アプリケーションの終了を選択するとステータスマニターが終了します。
- 自動的に終了:  
操作を行わない状態で7分経過すると、ステータスマニターが自動的に終了します。

## Quick View State

本機の状態がアイコンで表示されます。Expandボタンをクリックすると詳細情報を表示します。

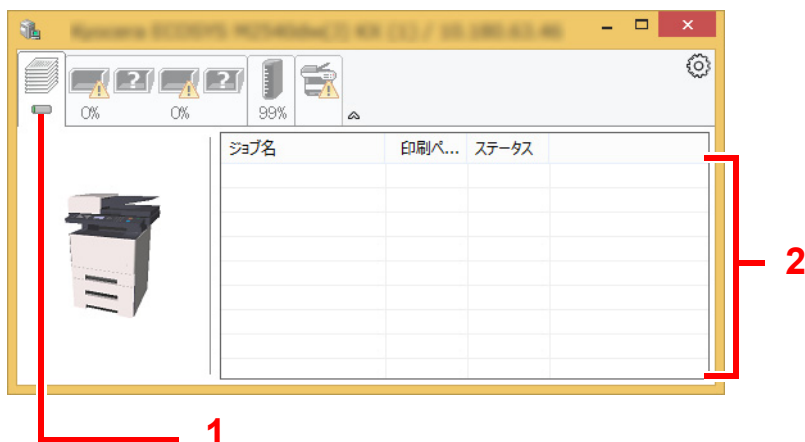


- 1 印刷情報アイコンタブ
- 2 用紙情報アイコンタブ
- 3 トナー情報アイコンタブ
- 4 アラート情報アイコンタブ
- 5 Expandボタン
- 6 設定アイコン

各アイコンタブをクリックすると、各詳細情報が表示されます。

## 印刷情報アイコンタブ

印刷ジョブの状況が表示されます。

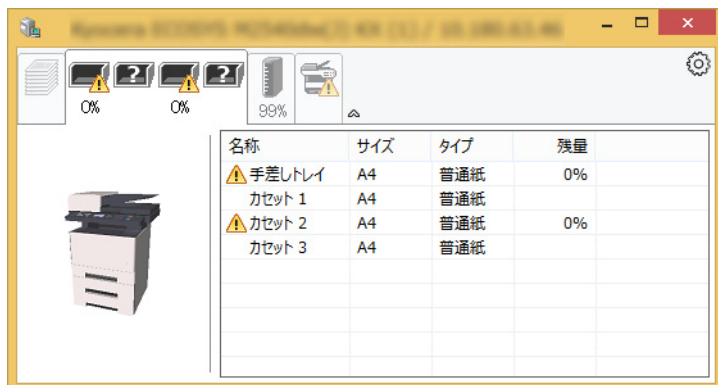


- 1 ステータスアイコン
- 2 ジョブリスト

ジョブリストでジョブを選択し、右クリックで表示されるメニューでキャンセルできます。

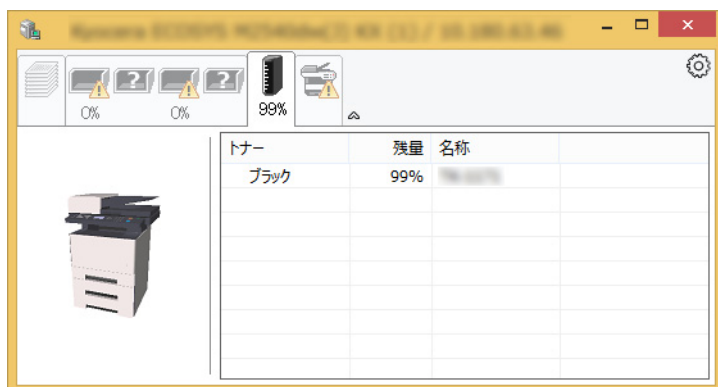
## 用紙情報アイコンタブ

プリンターにセットされている用紙の情報と用紙残量が表示されます。



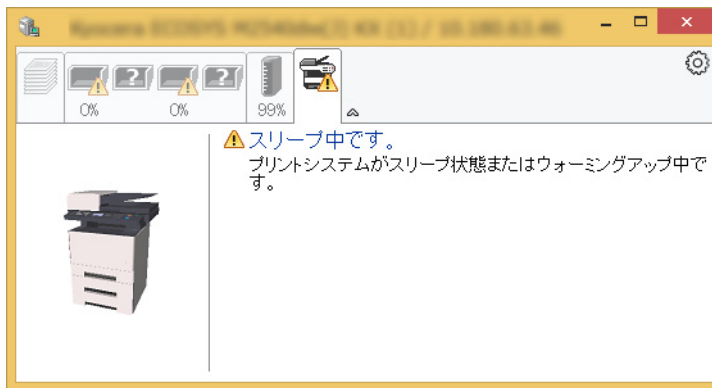
## トナー情報アイコンタブ

トナー残量が表示されます。



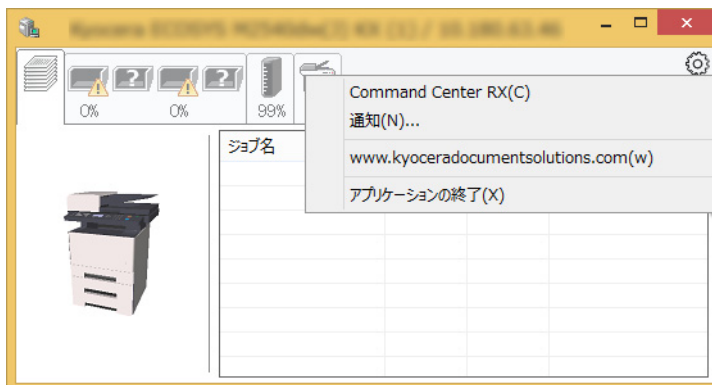
## アラート情報アイコンタブ

エラーが発生した場合、3Dイメージとメッセージでお知らせが表示されます。



## ステータスマニターコンテキストメニュー

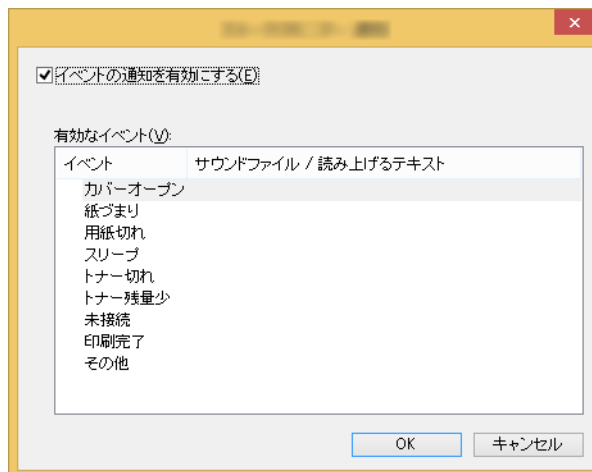
設定アイコンをクリックすると、以下のメニューが表示されます。



- **Command Center RX**  
TCP/IPネットワーク環境で接続し、IPアドレスを所有している場合、Webブラウザを使ってCommand Center RXにアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。このメニューはUSB接続の場合は表示されません。  
▶ [Command Center RX操作手順書](#)
- **通知**  
ステータスマニターの表示の設定を行います。  
▶ [ステータスマニターの通知機能を設定する \(4-19ページ\)](#)
- **www.kyoceradocumentsolutions.com**  
弊社のホームページを開きます。
- **アプリケーションの終了**  
ステータスマニターが終了します。

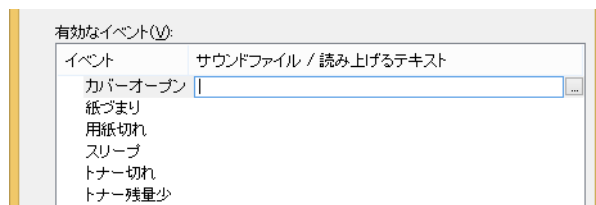
## ステータスマニターの通知機能を設定する

設定アイコンをクリックすると、ステータスマニター通知画面に有効なイベントが表示されます。



イベントリストに該当するエラーが発生した場合、通知を行うかどうかを設定します。

- 1 イベントの通知を有効にするを選択します。**  
この設定をオフにすると、印刷を実行しても、ステータスマニターが起動しません。
- 2 有効なイベントリストから音声で通知するイベントを選択します。**
- 3 サウンドファイル/読み上げるテキスト欄をクリックします。**  
ブラウズ(...) ボタンをクリックして、ファイルを指定します。



### 参考

使用できるファイルの形式はWAVファイルです。

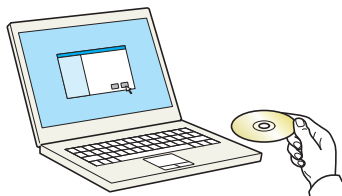
画面に読み上げるテキストを作成する場合は、テキストボックスにテキストを入力してください。

# Configuration Tool

Configuration Tool は、本機設定値の確認および変更ができます。

## Configuration Toolを起動する

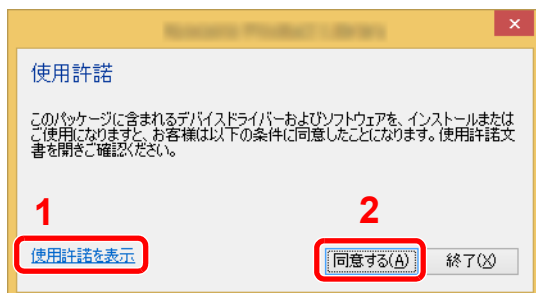
### 1 DVDを挿入する



#### 参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

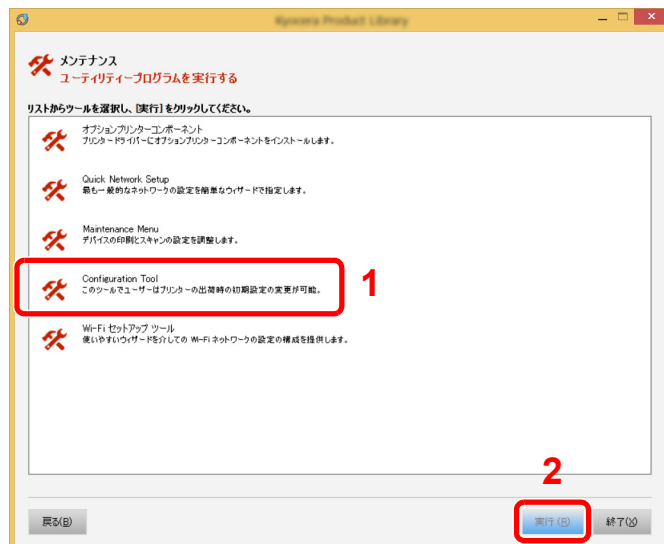
### 2 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

### 3 [メンテナンス]を選択する

## 4 [Configuration Tool] > [実行]




## 5 本機のドライバーを選択 > [次へ]

Configuration Toolウィンドウが表示されます。

## Configuration Toolを終了する

Configuration Toolは、次のいずれかの方法で終了します。

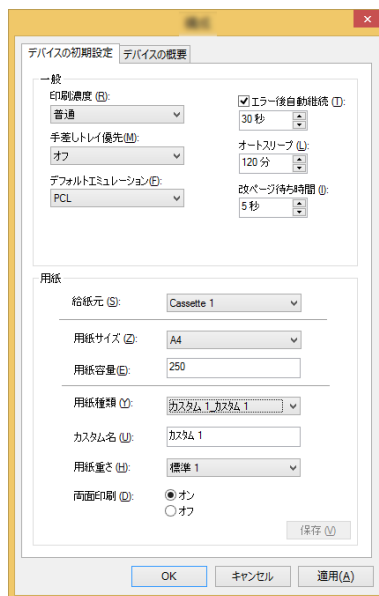
- クローズボタンからの終了  
Configuration Tool画面右上にある  をクリックします。
- [OK] ボタンまたは[キャンセル] ボタンからの終了  
[OK] ボタンをクリックするとプリンターの設定が変更された状態で終了します。[キャンセル] ボタンをクリックすると設定が変更される前の状態で終了します。




## Configuration Toolの設定画面

### デバイスの初期設定

プリンタードライバーの初期設定値や本機の省エネ機能を設定します。

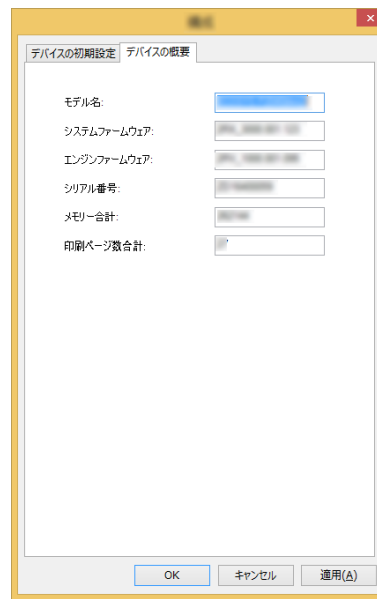


項目	説明
印刷濃度	印刷の濃度を全体的にこく、またはうすくします。 <b>設定値:</b> うすく、ややうすく、普通、ややこく、こく
手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。 <b>設定値</b> オフ: プリンタードライバーの設定に従います。 自動給紙時: プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。 常時: 手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイから給紙します。
デフォルトエミュレーション	本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。 <b>設定値:</b> PCL、KPD、NEC PC-PR201、IBM5577、EPSON VP1000、自動
エラー後自動継続	処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。オートエラークリアは、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。 <b>設定値:</b> オン(5~495秒(5秒単位))、オフ
オートスリープ	スリープに入る時間を設定します。 <b>設定値:</b> 1~240分(1分単位)
改ページ待ち時間	本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がないと、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ(印刷)を行います。この待ち時間を5~495秒の範囲で設定します。 <b>設定値:</b> 5~495秒(5秒単位)
給紙元	優先して使用する給紙元を設定します。 <b>設定値:</b> 手差しトレイ、カセット1、カセット2、カセット3  <b>参考</b> [カセット2]~[カセット3]はオプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。

項目	説明
用紙サイズ	使用する用紙サイズを設定します。 <b>設定値:</b> カセット1～3: Letter, Legal, Statement, Executive, A4, A5, A5-R, A6, Folio, B5 (JIS)、B5 (ISO)、Oficio II, 216 × 340 mm, 16K, カスタムサイズ 手差しトレイ: Letter, Legal, Statement, Executive, A4, A5, A5-R, A6, B6, Folio, B5 (JIS)、B5 (ISO)、Envelope #10, Envelope #9, Envelope #6, Envelope Monarch, Envelope C5, Envelope DL, Oficio II, 216 × 340 mm, 16K, はがき、往復はがき、洋形2号、洋形4号、カスタムサイズ
用紙容量	選択されている給紙元の最大積載枚数を表示します。
用紙種類	使用する用紙種類を選択します。 <b>設定値:</b> 普通紙 (60～105 g/m <sup>2</sup> )、OHPフィルム、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙 (106～220 g/m <sup>2</sup> )、上質紙、カスタム1～8  <b>参考</b> [カスタム1]～[カスタム8]を選択すると用紙種類名と両面印刷の設定が変更できます。
カスタムの名称	「用紙種類」で [カスタム1]～[カスタム8] を選択したとき、設定した用紙種類に名前をつけることができます。16文字まで入力できます。
両面印刷	「用紙種類」で [カスタム1]～[カスタム8] を選択したとき、両面印刷の設定ができます。 <b>設定値:</b> オン、オフ
用紙重さ	「用紙種類」で選択した用紙種類に対して、重さ (用紙の厚さ) を設定します。 <b>設定値:</b> 軽い、標準1～3、重い1～3、非常に重い

## デバイスの概要

本機の情報を表示します。



項目	説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
システムファームウェア	本機のシステムファームウェアのバージョンを表示します。
エンジンファームウェア	本機のエンジンファームウェアのバージョンを表示します。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
メモリー合計	本機のメモリー容量をバイト単位で表示します。
印刷ページ数合計	本機で印刷した枚数の合計を表示します。

# 5 本体側の操作

この章では、次の項目について説明します。

原稿をセットするには .....	5-2	宛先を操作する .....	5-30
原稿ガラスにセットする .....	5-2	宛先の選びかた .....	5-30
原稿送り装置にセットする .....	5-3	アドレス帳から宛先を選ぶ .....	5-30
手差しトレイに用紙をセットする .....	5-5	拡張アドレス帳から宛先を選ぶ .....	5-31
よく使う機能呼び出す(プログラム) .....	5-8	ワンタッチキーから宛先を選ぶ .....	5-32
プログラムを登録する .....	5-8	宛先を確認または変更する .....	5-33
プログラムを呼び出す .....	5-9	送信前に宛先を確認する .....	5-34
プログラムを上書きする .....	5-10	再宛先を呼び出す .....	5-34
プログラムを削除する .....	5-10	ファクスのしかた .....	5-35
選択キー設定 .....	5-11	文書ボックスを使用する .....	5-36
コピーのしかた .....	5-12	ジョブボックスとは .....	5-36
コピーする .....	5-12	外部メモリーボックスとは .....	5-36
印刷ジョブをキャンセルする .....	5-13	Fコードボックス/ポーリングボックスとは .....	5-36
基本的なスキャン(送信)のしかた .....	5-14	USBメモリーの操作 .....	5-37
メールで送信する .....	5-15	USBメモリー内のデータを印刷する .....	5-37
送信前の設定をする .....	5-15	USBメモリーに文書を保存する (Scan to USB) .....	5-39
スキャンした文書をメールで送信する .....	5-15	USBメモリー情報を確認する .....	5-40
パソコンの共有フォルダーに送信する (SMB送信) .....	5-16	USBメモリーを取り外す .....	5-40
送信前の設定をする .....	5-16		
パソコンの共有フォルダーに送信する .....	5-16		
FTPのフォルダーに送信する(FTP送信) .....	5-18		
送信前の設定をする .....	5-18		
FTPサーバーのフォルダーに送信する .....	5-18		
TWAINまたはWIAを使って読み込む .....	5-20		
送信前の設定をする .....	5-20		
アプリケーションで画像を読み込む .....	5-20		
便利なスキャン(送信)のしかた .....	5-21		
WSDスキャン .....	5-22		
ドライバーをインストールする .....	5-22		
WSDスキャンを実行する .....	5-24		
ファクスサーバーを使って送信する (ファクスサーバー送信) .....	5-25		
送信前の設定をする .....	5-25		
ファクスサーバーを使って送信する .....	5-25		
種類の異なる相手への送信(複合送信) .....	5-27		
ログインユーザーのメールアドレスに送信する ...	5-28		
ログインしているユーザーの メールアドレスに送信する .....	5-28		
スキャン(送信)をキャンセルする .....	5-29		

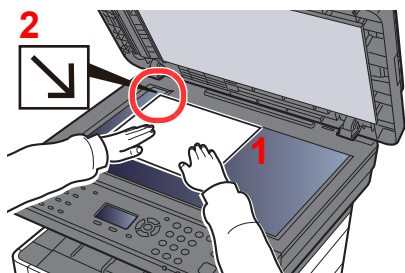
## 原稿をセットするには

原稿は、サイズや種類、枚数、使用する機能に応じて、次のどちらかにセットしてください。

- 原稿ガラス：通常のシート以外に、本や雑誌、はがき、封筒などを読み込む場合は、ここにセットします。
- 原稿送り装置：複数ページのシート原稿をまとめて読み込む場合は、ここにセットします。また、両面原稿を読み込むこともできます。

### 原稿ガラスにセットする

原稿ガラスには、通常のシート原稿以外に本や雑誌もセットできます。



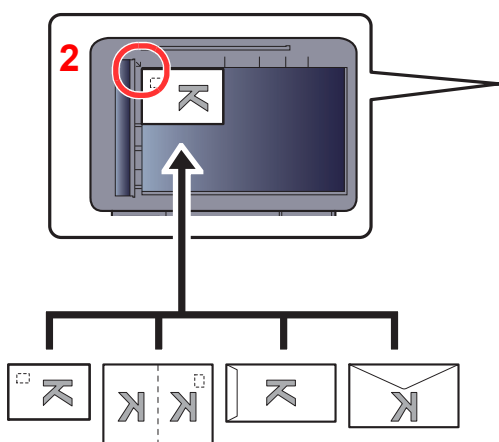
- 1 読み取り面を下にします。
- 2 原稿ガラスの左上に当てます。

#### 参考

原稿セット向きについては、次を参照してください。

▶ [原稿セット向き \(6-16ページ\)](#)

はがき、封筒の場合



- 1 読み取り面を下にします。
- 2 原稿ガラスの左上に当てます。

#### 参考

はがき、封筒の給紙方法については、次を参照してください。

▶ [はがき、封筒をセットする \(5-7ページ\)](#)

#### 注意

原稿送り装置を開いた状態のまま放置しないでください。けがの原因となるおそれがあります。

#### 重要

- 原稿送り装置を原稿ガラスに強く押しつけないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
- 本や雑誌をセットする場合は、原稿送り装置を開けたまま使用してください。

## 原稿送り装置にセットする

原稿送り装置を使用すると、複数ページのシート原稿を自動的に読むことができます。また、両面原稿を読み込むことができます。

原稿送り装置に使用できる原稿は次のとおりです。

厚さ	50～160 g/m <sup>2</sup> (両面時: 50～160 g/m <sup>2</sup> )
サイズ	最大Folio/Legal (216×356 mm)～最小A6/Statement (105×148 mm)
セットできる枚数	普通紙 (80 g/m <sup>2</sup> ): 50枚 (原稿混載機能時: 50枚) 厚紙 (120 g/m <sup>2</sup> ): 25枚

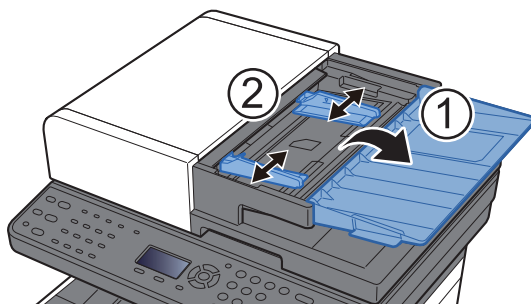
次のような原稿は、原稿送り装置に使用しないでください。原稿つまりや原稿送り装置の汚れの原因になります。

- クリップやステープルで止めてある原稿 (使用するときには、クリップやステープルを外して、シワ、折れを伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります)
- 粘着テープや糊などが付着した原稿
- 切り抜きの原稿
- カールした原稿
- 折り目のついた原稿 (使用するときには、折り目を伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります)
- カーボン紙
- シワや折れのひどい原稿

### ☑ 重要

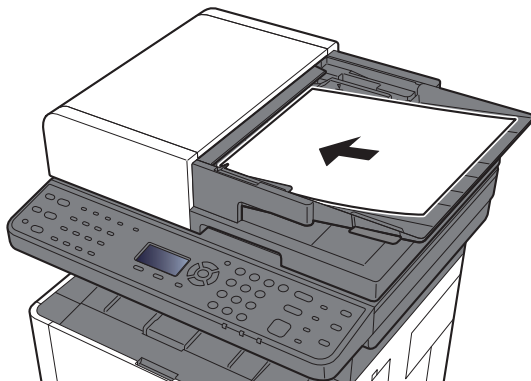
- 原稿をセットする前に、排紙された原稿が原稿排紙テーブルに残っていないことを確認してください。原稿が残っていると、原稿がつまる原因になります。
- 原稿送り装置上カバーの上で原稿をそろえるなど、カバーに衝撃を与えないでください。原稿送り装置が誤動作する原因になります。

### 1 原稿トレイを開き、原稿幅ガイドを原稿サイズに合わせる



## 2 原稿をセットする

- 1 読み取り面を上にして(両面原稿の場合は表面を上にして)、原稿の先端を原稿送り装置内の奥まで差し込んでください。



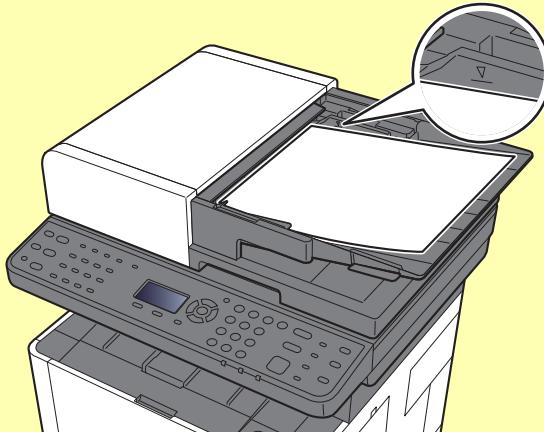
### 参考

原稿セット向きについては、次を参照してください。

▶ [原稿セット向き \(6-16ページ\)](#)

### 重要

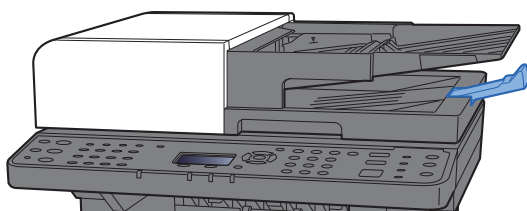
原稿幅ガイドが原稿に当たっていることを確認し、隙間があるときは原稿幅ガイドをセットし直してください。隙間があると原稿がつまる原因となります。



原稿は、原稿上限表示を超えないようにセットしてください。表示を超えて原稿をセットすると、原稿がつまる原因になります。

パンチ穴やミシン目のある原稿は、パンチ穴やミシン目が手前になるように(先に読み込まれないように)セットしてください。

- 2 原稿ストッパーを開きます(原稿サイズがFolio/Legalの場合)。



## 手差しトレイに用紙をセットする

補給できる用紙サイズの詳細については、次を参照してください。

➔ [適正な用紙の選択 \(11-15ページ\)](#)

用紙種類の設定については、次を参照してください。

➔ [用紙種類の設定について \(8-23ページ\)](#)

特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

### ☑ 重要

- 106 g/m<sup>2</sup>以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙にして、用紙の重さを使用用紙の重さに合わせて設定してください。
- OHPフィルムは1枚排紙されるごとに内部トレイから取り除いてください。紙づまりの原因となることがあります。

手差しトレイにセットできる用紙種類と枚数は次のとおりです。

- 普通紙 (64 g/m<sup>2</sup>)、再生紙 : 120枚
- 厚紙 (209 g/m<sup>2</sup>) : 5枚
- 厚紙 (157 g/m<sup>2</sup>) : 5枚
- 厚紙 (104.7 g/m<sup>2</sup>) : 70枚
- はがき : 15枚
- Envelope DL、Envelope C5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6 3/4、Envelope Monarch、洋形4号、洋形2号 : 5枚
- OHP フィルム : 1枚

### 💡 参考

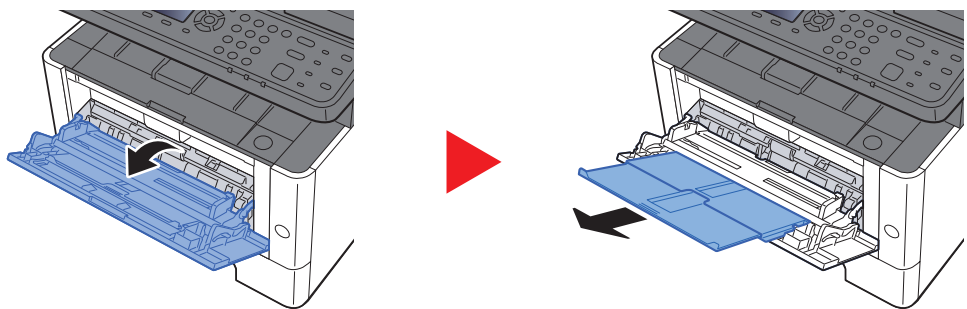
- 不定形サイズの用紙をセットするときは、用紙のサイズを入力してください。

➔ [原稿/用紙設定 \(8-19ページ\)](#)

- OHPフィルムや厚紙などの特殊紙を使用するときは、用紙種類を設定してください。

➔ [手差し設定 \(8-22ページ\)](#)

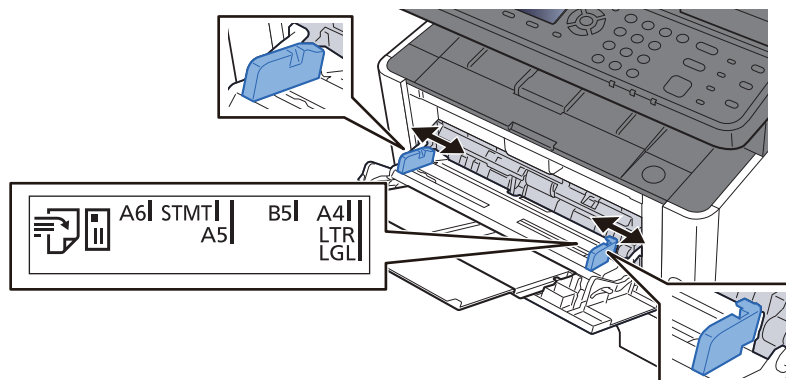
### 1 手差しトレイを開ける



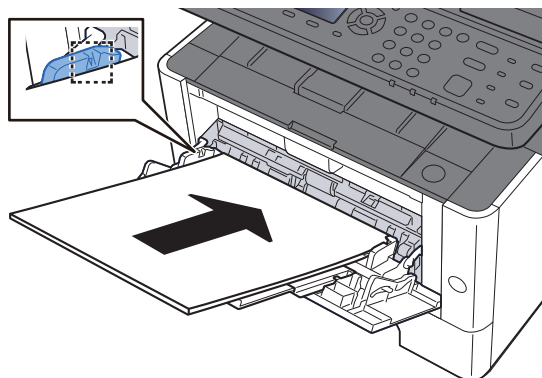


## 2 手差しトレイのサイズを調整する

用紙サイズは手差しトレイに表示されています。



## 3 用紙をセットする



用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。  
包装紙から出した用紙は、セットする前にさばいてください。

➔ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-2ページ\)](#)

### ☑ 重要

- 印刷する面を上にしてください。
- 反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。
- 手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙と合わせてさばいてから再度補給してください。
- 用紙と用紙ガイドの間に隙間があるときは、斜め給紙や紙づまりの原因となりますので、隙間が生じないようにガイドを調整し直してください。
- 用紙の量は、収納上限を示す用紙上限表示以下にしてください。

## 4 手差しトレイにセットする用紙を操作パネルで設定する

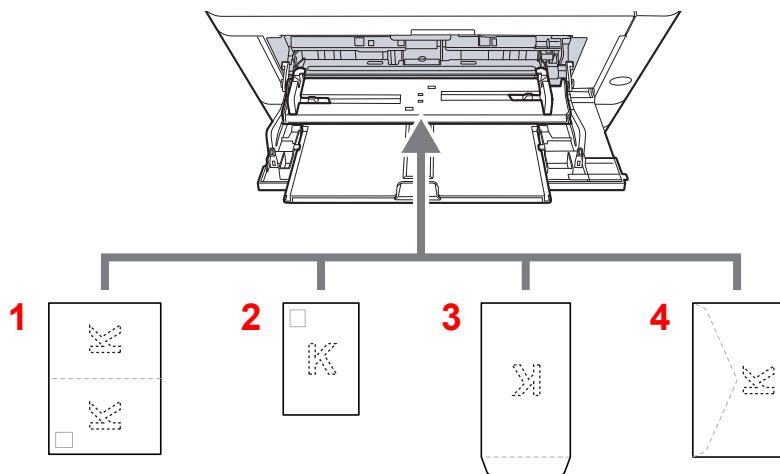
➔ [手差し設定 \(8-22ページ\)](#)

## はがき、封筒をセットする

印刷する面を上にしてセットします。印刷のしかたについては、次を参照してください。

▶ [プリンタードライバー操作手順書](#)

例) 宛名を印刷する場合



- 1 往復はがき
- 2 はがき
- 3 縦長の封筒 (開封口を開く)
- 4 横長の封筒 (開封口を閉じる)

### ☑ 重要

- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- 封筒の補給のしかた(向き、裏表)は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

### 💡 参考

手差しトレイに封筒を補給するときは、封筒の種類を設定してください。

▶ [手差し設定 \(8-22ページ\)](#)

## よく使う機能呼び出す(プログラム)

よく使用する機能を組み合わせて、プログラムとして登録できます。登録後は、[プログラム 1]～[プログラム 4]のいずれかを選択するだけで呼び出すことができます。

[プログラム 1]には、あらかじめIDカードコピー機能が設定されています。この機能を使うと、IDカードなど、A5/Statementサイズまでの文書のおもて面とうら面を片面にコピーできます。上書きすると設定が削除されますが、[機能メニュー]キーを使って同じ設定にすることができます。

- 用紙選択:カセット1
- 縮小/拡大:100%
- ページ集約:2 in 1
- 原稿サイズ:A5/Statement
- 連続読み込み:設定する



### 参考

- プログラムにはコピー機能、送信機能、ファクス機能を登録することができます。
- ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると登録できます。

## プログラムを登録する

### 1 機能を設定する

プログラムに登録したい機能を設定します。

機能の設定については、次を参照してください。

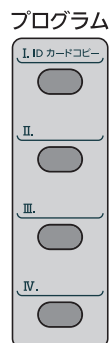
▶ [さまざまな機能を使う \(6-2ページ\)](#)

### 参考

送信やファクスの場合は、プログラムに宛先を登録することもできます。

## 2 プログラムを登録する

[プログラム1]～[プログラム4]キーのうち、設定を登録したいキーを2秒以上、長押ししてください。



選択したプログラムキーに現在の設定が登録されます。

## プログラムを呼び出す

[プログラム1]～[プログラム4]キーのうち、呼び出したい設定が登録されているキーを選択してください。各種機能の設定が、登録した設定に置き換えられます。

原稿をセットして、[スタート]キーを押してください。

## プログラムを上書きする

### 1 機能を設定する

変更する機能を設定します。

機能の設定については、次を参照してください。

▶ [さまざまな機能を使う \(6-2ページ\)](#)



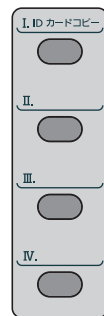
#### 参考

送信やファクスの場合は、プログラムに宛先を登録することもできます。

### 2 プログラムを上書きする

1 [プログラム1]～[プログラム4]キーのうち、変更するキーを2秒以上、長押ししてください。

プログラム



2 [▲][▼]キー > [上書き] > [OK] > [はい]

変更されたプログラムが登録されます。

## プログラムを削除する

### 1 画面を表示する

[プログラム1]～[プログラム4]キーのうち、削除するキーを2秒以上、長押ししてください。

### 2 プログラムを削除する

[▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]

## 選択キー設定

よく使う機能を選択キーに登録することができます。選択キーを選択することで、簡単に設定できます。

システムメニューから選択キーに機能を登録できます。

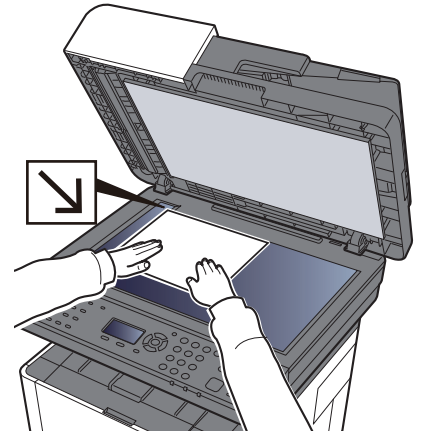
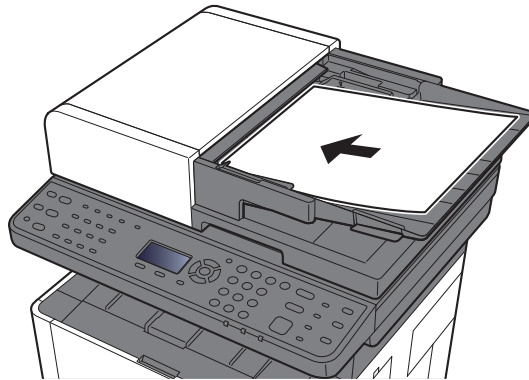
- ▶ [コピー \(8-30ページ\)](#)
- ▶ [送信 \(8-33ページ\)](#)
- ▶ [文書ボックス \(8-34ページ\)](#)

# コピーのしかた

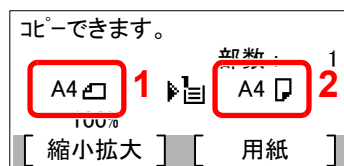
ここでは、コピー操作の基本的な流れとキャンセルのしかたについて説明します。

## コピーする

- 1 [コピー]キーを選択する
- 2 原稿をセットする



➔ [原稿をセットするには \(5-2ページ\)](#)



- 1 原稿サイズ
- 2 用紙サイズ

原稿サイズおよび用紙サイズを確認します。

### 参考

原稿サイズの指定方法については、次を参照してください。

➔ [原稿サイズ \(6-16ページ\)](#)

給紙元の指定方法については、次を参照してください。

➔ [用紙選択 \(6-8ページ\)](#)

## 3 機能を設定する

[機能メニュー]キーを選択して、用紙の選択や縮小/拡大などを設定します。

➔ [コピー \(6-2ページ\)](#)

## 4 テンキーで部数を入力する

999部まで指定できます。

## 5 [スタート]キーを押す

コピーが開始されます。

## 印刷ジョブをキャンセルする

- 1 コピー画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを選択する
- 2 キャンセルする

- 1 [▲][▼]キー > [印刷の中止] > [OK]キー
- 2 中止したいジョブを選択して、[メニュー]を選択します。
- 3 [▲][▼]キー > [ジョブ中止] > [OK]キー



### 参考

[詳細]を選択して、[OK]キーを選択すると、ジョブの詳細情報が表示されます。

- 4 [はい]を選択します。  
ジョブは中止されます。



### 参考

読み込み途中のジョブは、[ストップ]キーあるいは[中止]を選択することで、中止できます。



## 基本的なスキャン(送信)のしかた

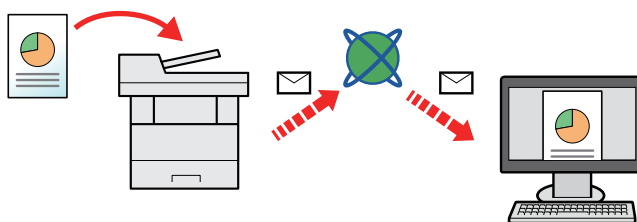
本機を使用して読み取った画像をメールに添付して送信したり、ネットワーク上のパソコンに送信したりすることができます。この機能を使うには、あらかじめ送信元と送信先(受信者)のネットワークアドレスを登録しておいてください。

メール送信を行うには、本機とメールサーバーを接続するためのネットワーク環境が必要です。通信速度およびセキュリティの面からLANによる接続を推奨します。

基本的なスキャン(送信)の方法について説明します。次の4種類があります。

- メール送信(新規メール) : 読み取った原稿のイメージをメールの添付ファイルとして送信します。

➔ [メールで送信する\(5-15ページ\)](#)

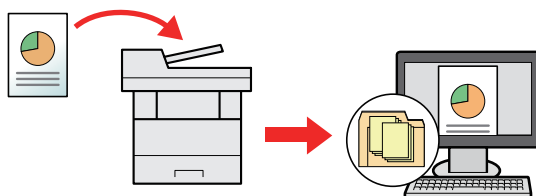


- フォルダー(SMB)送信 : 読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存します。

➔ [パソコンの共有フォルダーに送信する\(SMB送信\)\(5-16ページ\)](#)

- フォルダー(FTP)送信 : 読み取った原稿のイメージをFTPサーバーのフォルダーに保存します。

➔ [FTPのフォルダーに送信する\(FTP送信\)\(5-18ページ\)](#)



- TWAIN/WIAでの画像データ読み込み : TWAIN/WIA対応アプリケーションを使って、文書データをパソコンに読み込みます。

➔ [TWAINまたはWIAを使って読み込む\(5-20ページ\)](#)

### 参考

- これらの送信方法を組み合わせて指定することもできます。

➔ [種類の異なる相手への送信\(複合送信\)\(5-27ページ\)](#)

- 送信にはファクス機能が使用できます。

➔ [ファクス使用説明書](#)

## メールで送信する

無線LANを使って送信する場合は、送信専用のインターフェイスをあらかじめ選択してください。

▶ [優先ネットワーク \(8-16ページ\)](#)

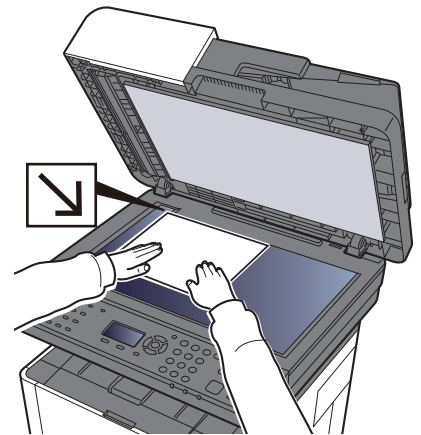
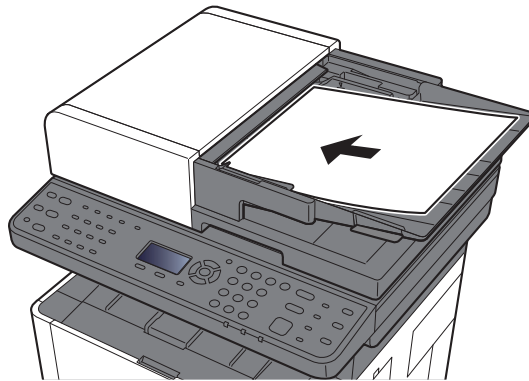
### 送信前の設定をする

送信をする前に、Command Center RXからSMTPおよびメール送信の設定をする必要があります。

▶ [SMTPおよびメール送信の設定をする \(2-51ページ\)](#)

### スキャンした文書をメールで送信する

- 1 [送信]キーを選択する
- 2 原稿をセットする



▶ [原稿をセットするには \(5-2ページ\)](#)

- 3 [▲][▼]キー > [メール] > [OK]キー
- 4 アドレスを入力 > [OK]キー

128文字まで入力できます。

▶ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

複数の宛先を入力する場合は、[宛先確認/宛先追加]キーを選択して宛先を入力します。

100件までメールアドレスを指定することができます。

宛先は後で変更できます。

▶ [宛先を確認または変更する \(5-33ページ\)](#)

- 5 機能を設定する

[機能メニュー]キーを選択して使用する送信機能を設定します。

▶ [送信 \(6-4ページ\)](#)

- 6 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

# パソコンの共有フォルダーに送信する (SMB送信)

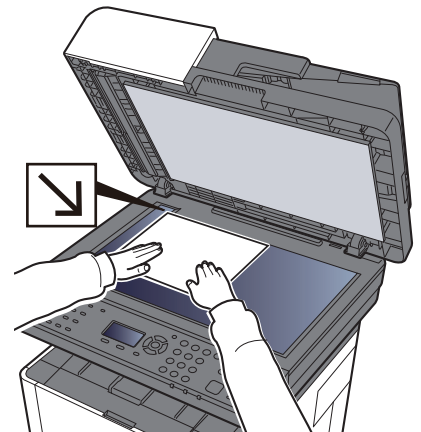
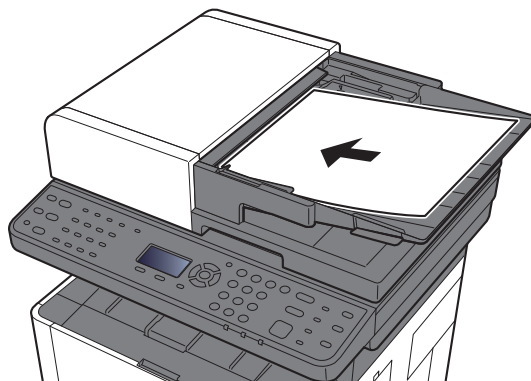
## 送信前の設定をする

送信をする前に、次の設定をする必要があります。

- コンピューター名とフルコンピューター名をメモする  
➔ [コンピューター名とフルコンピューター名をメモする \(3-8ページ\)](#)
- ユーザー名とドメイン名をメモする  
➔ [ユーザー名とドメイン名をメモする \(3-9ページ\)](#)
- 共有フォルダーを作成する、共有名をメモする  
➔ [共有フォルダーを作成する、共有名をメモする \(3-10ページ\)](#)
- Windowsファイアウォールを確認する  
➔ [Windowsファイアウォールの確認 \(3-13ページ\)](#)

## パソコンの共有フォルダーに送信する

- 1** [送信]キーを選択します
- 2** 原稿をセットする



- ➔ [原稿をセットするには \(5-2ページ\)](#)

- 3** [▲][▼]キー > [フォルダー(SMB)] > [OK]キー
- 4** 宛先情報を入力する

各項目を入力し、[OK]キーを選択します。

- ➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

入力する項目は次のとおりです。各項目を入力し、[OK]キーを選択します。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名 <sup>*1</sup>	コンピューター名	64文字以内
パス	共有名 例) scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名*共有フォルダー内のフォルダー名	128文字以内
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例) yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名*ユーザー名 例) abcdnet*yamada	64文字以内
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字以内

\*1 ポート番号を指定することもできます。次のようにコロンで区切る形式で入力してください。  
「ホスト名:ポート番号」または「IPアドレス:ポート番号」  
IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[ ]で囲んでください。  
(例: [2001:db8:a0b:12f0::10]:445)  
なお、指定しない場合のデフォルトのポート番号は445です。

## 5 確認する

確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、接続状況を確認します。[いいえ]を選択すると、確認しません。

接続に成功すると、[接続できました。]が表示されます。[接続できません。]が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

宛先を追加するときは、手順3~4を繰り返してください。

宛先は後で変更できます。

▶ [宛先を確認または変更する \(5-33ページ\)](#)

## 6 機能を設定する

[機能メニュー]キーを選択して使用する送信機能を設定します。

▶ [送信 \(6-4ページ\)](#)

## 7 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

## FTPのフォルダーに送信する(FTP送信)

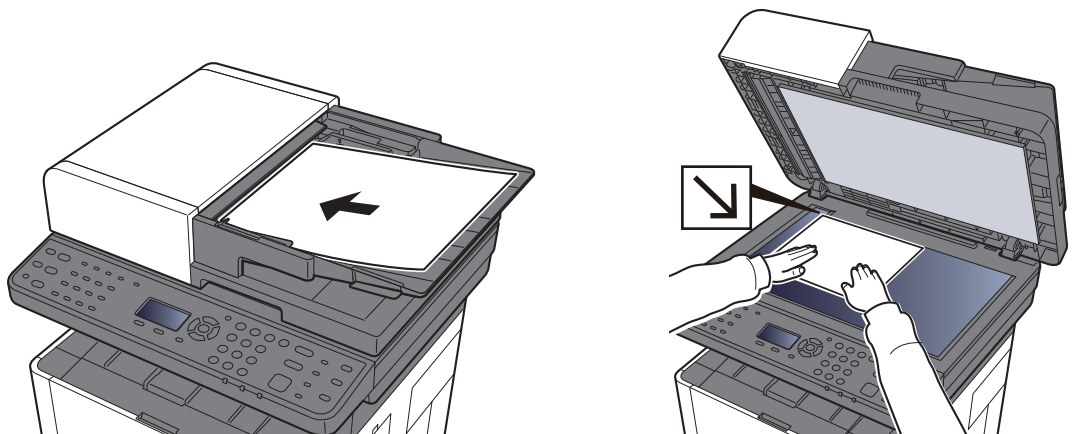
### 送信前の設定をする

送信をする前に、FTPクライアント(送信)プロトコルを設定する必要があります。

➔ [プロトコル設定\(8-11ページ\)](#)

### FTPサーバーのフォルダーに送信する

- 1 [送信]キーを選択する
- 2 原稿をセットする



➔ [原稿をセットするには\(5-2ページ\)](#)

- 3 [▲][▼]キー > [フォルダー(FTP)] > [OK]キー
- 4 宛先情報を入力する

宛先の情報を入力します。各項目を入力し、[OK]キーを選択します。

➔ [文字の入力\(11-8ページ\)](#)

入力する項目は次のとおりです。

項目	入力する情報	制限文字数
ホスト名 <sup>*1</sup>	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字以内
パス <sup>*2</sup>	保存したいフォルダーのパス 例) ¥User¥ScanData 何も入力しない場合、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字以内
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字以内
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字以内

\*1 ポート番号を指定することもできます。次のようにコロンで区切る形式で入力してください。  
「ホスト名:ポート番号」または「IPアドレス:ポート番号」  
IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[ ]で囲んでください。  
(例:[ 2001:db8:a0b:12f0::1]:21)  
なお、指定しない場合のデフォルトのポート番号は21です。

\*2 Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは¥ではなく/(スラッシュ)です。

## 5 確認する

確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、接続状況を確認します。[いいえ]を選択すると、確認しません。

接続に成功すると、[接続できました。]が表示されます。[接続できません。]が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

宛先を追加するときは、手順3~4を繰り返してください。

宛先は後で変更できます。

▶ [宛先を確認または変更する \(5-33ページ\)](#)

## 6 機能を設定する

[機能メニュー]キーを選択して使用する送信機能を設定します。

▶ [送信 \(6-4ページ\)](#)

## 7 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

# TWAINまたはWIAを使って読み込む

## 送信前の設定をする

送信をする前に、コンピューターにTWAIN/WIAドライバーのインストールと設定が完了していることを確認してください。

➔ [TWAINドライバーを設定する \(2-40ページ\)](#)

➔ [WIAドライバーを設定する \(2-42ページ\)](#)

## アプリケーションで画像を読み込む

ここでは、TWAIN ドライバー対応のアプリケーションで読み込むときの操作手順を例として説明します。WIAドライバーも同様の方法で操作してください。

### 1 画面を表示する

- 1 TWAIN 対応アプリケーションを起動します。
- 2 アプリケーションから本機を選択し、ダイアログボックスを表示させます。



#### 参考

本機の実機選択方法は、各アプリケーションの使用説明書またはヘルプを参照してください。

### 2 設定する

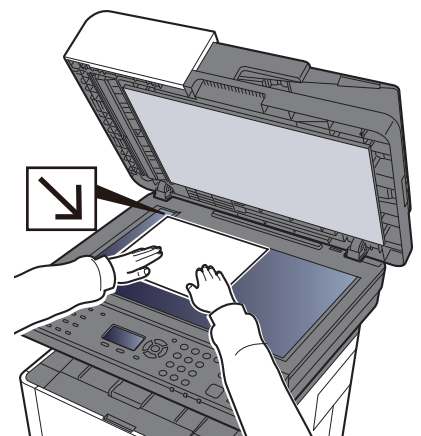
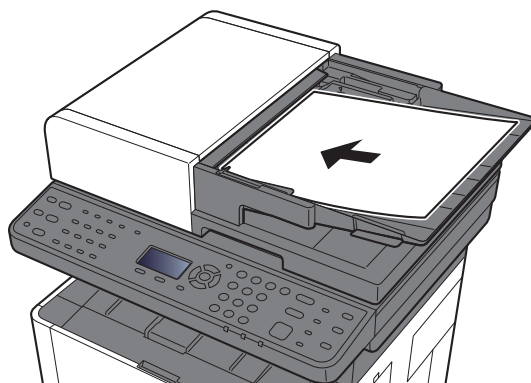
表示されるダイアログボックスで読み込みの設定を行ってください。



#### 参考

設定内容は、ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

### 3 原稿をセットする



➔ [原稿をセットするには \(5-2ページ\)](#)

### 4 スキャンする

[スキャン] ボタンをクリックします。原稿がスキャンされ、データが保存されます。

## 便利なスキャン(送信)のしかた

便利なスキャン(送信)の方法について説明します。

- WSDスキャン:本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。

▶ [WSDスキャン \(5-22ページ\)](#)

- 種類の異なる相手に送信する(複合送信):一度の操作で、種類の異なる宛先(メール、フォルダーなど)に送信できます。

▶ [種類の異なる相手への送信\(複合送信\) \(5-27ページ\)](#)

- 自分(メール):ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文書を送付します。

▶ [ログインしているユーザーのメールアドレスに送信する \(5-28ページ\)](#)



# WSDスキャン

WSDスキャンは、本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。

## 参考

- WSDスキャンを行うには、使用するパソコンと本機がネットワーク接続されているか、ネットワーク設定の「WSD-SCAN」が[設定する]に設定されているか確認してください。

▶ [WSD-SCAN \(8-14ページ\)](#)

- パソコンの操作について詳しくは、パソコンのヘルプを参照するか、使用されるWSD対応のソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

## ドライバーをインストールする

Windows 8、Windows 8.1、Microsoft Windows Server 2012の場合

**1** チャームの[検索]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択する

**2** ドライバーをインストールする

[デバイスの追加]をクリックします。本機の機種名が表示されたアイコンを選択して、[次へ]をクリックします。

「デバイスとプリンター」画面の「プリンター」に本機の機種名のアイコンが表示されたらインストール完了です。

Windows 7の場合

**1** スタートメニューの[ネットワーク]を表示する

Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[ネットワーク]をクリックします。

## 参考

スタートメニューに[ネットワーク]が表示されていない場合は、以下の操作を行ってください。

**1** [スタート]を右クリックし、表示されたメニューで[プロパティ]をクリックします。

**2** 「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」画面で[[スタート]メニュー]タブを選択し、[カスタマイズ]をクリックします。

**3** 「[スタート]メニューのカスタマイズ」画面が表示されたら、「ネットワーク」にチェックを入れて、[OK]をクリックします。

## 2 ドライバーをインストールする

本機の機種名が表示されたアイコンを右クリックして、[インストール]をクリックします。



### 参考

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[続行]をクリックしてください。  
「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。

ドライバーのインストール中、タスクバーに表示されるアイコンをダブルクリックすると、「ドライバーソフトウェアのインストール」画面が表示されます。「ドライバーソフトウェアのインストール」画面上に、「デバイスを使用する準備ができました。」が表示されたら、インストール完了です。

### Windows10の場合

## 1 Windowsの[スタート]ボタンを右クリックし、[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択する

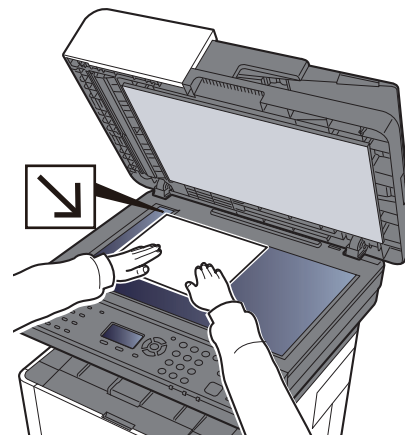
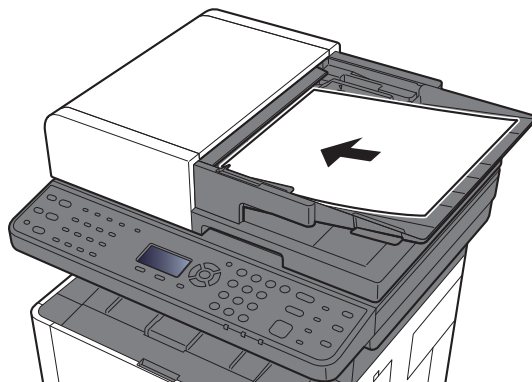
## 2 ドライバーをインストールする

[デバイスの追加]をクリックします。本機の機種名が表示されたアイコンを選択して、[次へ]をクリックします。

「デバイスとプリンター」画面の「プリンター」に本機の機種名のアイコンが表示されたらインストール完了です。

## WSDスキャンを実行する

- 1 [送信]キーを選択します
- 2 原稿をセットする



➔ [原稿をセットするには \(5-2ページ\)](#)

### 3 画面を表示する

[▲][▼]キー > [WSDスキャン] > [OK]キー

### 4 スキャンする

本機で操作する場合

- 1 [▲][▼]キー > [パネル操作] > [OK]キー
- 2 送信先のパソコンを選択して、[OK]キーを選択します。  
[詳細]を選択すると、送信先のパソコンの情報が参照できます。
- 3 [機能メニュー]キーを選択して、各機能の設定を行います。
- 4 [スタート]キーを押します。  
送信中、パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアが起動し、送信が終了すると、ファイルの確認ができます。

パソコンから操作する場合

- 1 [▲][▼]キー > [PC操作] > [OK]キー
- 2 パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアを使用して、送信します。

## ファクスサーバーを使って送信する （ファクスサーバー送信）

スキャンした原稿をファクスサーバーを経由して送信します。

### 参考

この機能を使用するには、ファクスサーバーが必要です。ファクスサーバーについては、管理者にお問い合わせください。

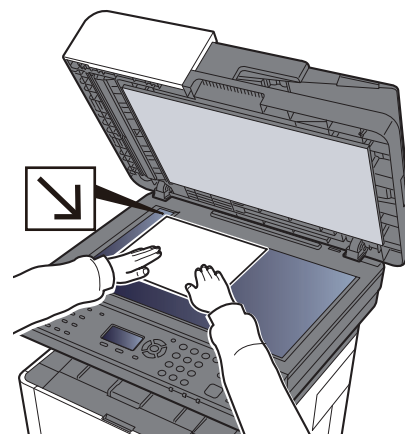
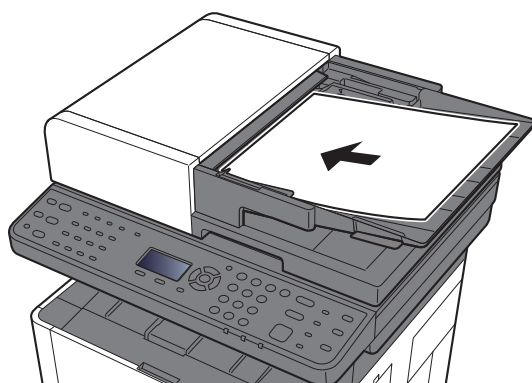
## 送信前の設定をする

送信をする前に、次の設定をする必要があります。

- ファクスサーバーを設定する
- ▶ [Command Center RX操作手順書](#)  
[ファクスサーバー設定 \(8-17ページ\)](#)

## ファクスサーバーを使って送信する

- 1** [送信]キーを選択する
- 2** 原稿をセットする



- ▶ [原稿をセットするには \(5-2ページ\)](#)

- 3** [▲][▼]キー > [ファクスサーバー] > [OK]キー

## 4 宛先を入力する

直接入力する場合

- 1 [▲][▼]キー > [ファクス番号入力] > [OK]キー
- 2 ファクス番号を入力します。



### 参考

テンキーを使って、数値を入力します。

- 3 [OK]キーを選択します。  
宛先は後で変更できます。  
▶ [宛先を確認または変更する \(5-33ページ\)](#)

アドレス帳から選択する場合

- 1 [アドレス帳]を選択します。



### 参考

「ファクスサーバー設定」の[アドレス帳初期設定]で設定されたアドレス帳が表示されます。

- 2 宛先を選択します。  
▶ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(5-30ページ\)](#)
- 3 [OK]キーを選択します。  
宛先は後で変更できます。  
▶ [宛先を確認または変更する \(5-33ページ\)](#)

## 5 機能を設定する

[機能メニュー]キーを選択して使用する送信機能を設定します。

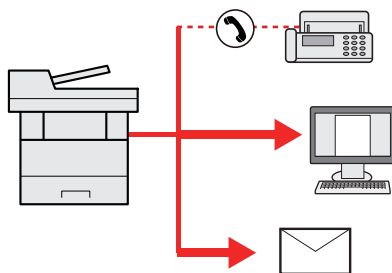
- ▶ [送信 \(6-4ページ\)](#)

## 6 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

## 種類の異なる相手への送信(複合送信)

宛先は、メール、フォルダー(SMB、FTP)、ファクスを組み合わせることで指定することができます。これを複合送信と呼びます。一度の操作で、種類の異なる宛先(メール、フォルダーなど)に送信できて便利です。



同報件数:最大100件

ただし、下記の送信方法は、件数の制限があります。

フォルダー(SMB、FTP):SMB、FTPあわせて5件

操作方法は、1種類の宛先を指定するときと同じです。宛先のメールアドレスやフォルダーの場所を続けて入力し、宛先リストに表示させてください。[スタート]キーを押すと、それらの宛先にまとめて送信されます。



### 参考

宛先にファクスが含まれる場合、すべての宛先の送信画像が白黒になります。

## ログインユーザーのメールアドレスに送信する

ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文書を送付します。

### 参考

- この機能を使用するには、ユーザー管理がネットワーク認証で、ネットワーク認証サーバーにユーザーのメールアドレスが登録されている必要があります。
- メールアドレスの設定方法については、ネットワーク認証サーバーの管理者に確認してください。

## ログインしているユーザーのメールアドレスに送信する

### 1 送信の基本画面で、[▲][▼]キー > [自分(メール)] > [OK]キー

### 参考

ネットワーク認証サーバーにメールアドレスが登録されていない場合、メール送信できません。

## スキャン(送信)をキャンセルする

- 1 **送信画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを選択する**  
[ジョブ中止リスト]画面が表示されます。



### 参考

送信ジョブの場合、[ストップ]キーを選択しても一時停止しません。

## 2 キャンセルする

- 1 [▲][▼]キー > [送信の中止] > [OK]キー
- 2 中止したいジョブを選択して、[メニュー]を選択します。
- 3 [▲][▼]キー > [ジョブ中止] > [OK]キー



### 参考

[詳細]を選択して、[OK]キーを選択すると、ジョブの詳細情報が表示されます。

- 4 [はい]を選択します。  
ジョブは中止されます。



### 参考

読み込み途中のジョブは、[ストップ]キーあるいは[中止]を選択することで、中止できます。



# 宛先を操作する

ここでは、宛先の選びかたや確認のしかたについて説明します。

## 宛先の選びかた

宛先は、直接入力するほかに、次の方法から指定できます。

- アドレス帳から宛先を選ぶ

➔ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(5-30ページ\)](#)

- 拡張アドレス帳から宛先を選ぶ

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

➔ [Command Center RX操作手順書](#)

- ワンタッチキーから宛先を選ぶ

➔ [ワンタッチキーから宛先を選ぶ \(5-32ページ\)](#)

- ファクスから宛先を選ぶ

➔ [ファクス使用説明書](#)

### 参考

- [送信]キーを選択するとアドレス帳の画面を表示するように設定することができます。

➔ [初期画面 \(8-18ページ\)](#)

- 宛先にはファクスの宛先を指定することができます。テンキーで相手先の番号を入力します。

## アドレス帳から宛先を選ぶ

➔ [アドレス帳の登録 \(3-18ページ\)](#)

### 1 送信の基本画面で[アドレス帳]キーを選択する

### 2 宛先を選択する

- 1 [▲][▼]キー > [アドレス帳] > [OK]キー

#### 参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

➔ [Command Center RX操作手順書](#)

- 2 宛先を選択します。

#### 参考

選択した宛先の詳しい情報を確認する場合は、[メニュー] > [詳細] > [OK]キー

## 宛先の検索

アドレス帳に登録された宛先の検索ができます。

- 1 [メニュー] > [▲][▼]キー > [フリガナ検索] > [OK]キー
- 2 テンキーを使って検索する名前を入力します。

### 参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 3 [OK]キーを選択します。  
検索した宛先が表示されます。

## 3 [OK]キーを選択する

宛先を追加するときは、手順1~3を繰り返してください。一度に100件まで送信することができます。

宛先は後で変更できます。

➔ [宛先を確認または変更する \(5-33ページ\)](#)

## 拡張アドレス帳から宛先を選ぶ

### 参考

拡張アドレスについては、次を参照してください。

➔ [Command Center RX操作手順書](#)

## 1 画面を表示する

- 1 送信の基本画面で[アドレス帳]キー > [メニュー] > [▲][▼]キー > [アドレス帳切替] > [OK]キー
- 2 [▲][▼]キー > 拡張アドレスを選択 > [OK]キー

## 2 宛先を選択する

- 1 宛先を選択します。

### 参考

選択した宛先の詳しい情報を確認する場合は、[メニュー] > [詳細] > [OK]キー

## 宛先の検索

宛先を名前で検索できます。

- 1 [メニュー] > [▲][▼]キー > [フリガナ検索] > [OK]キー
- 2 テンキーを使って検索する名前を入力します。

### 参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 3 [OK]キーを選択します。  
検索した宛先が表示されます。

## 3 [OK]キーを選択する

宛先を追加するときは、手順1~3を繰り返してください。一度に100件まで送信することができます。

宛先は後で変更できます。

➔ [宛先を確認または変更する \(5-33ページ\)](#)

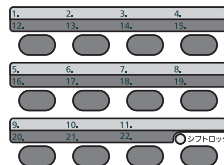
## ワンタッチキーから宛先を選ぶ

送信の基本画面で、宛先が登録されているワンタッチキーを選択します。

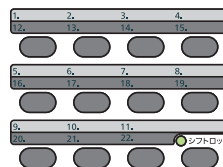
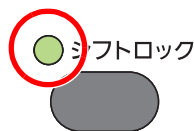
### 参考

ここでは、すでにワンタッチキーが登録されているものとして、ワンタッチキーの登録については、次を参照してください。

➔ [ワンタッチキーを登録する \(3-26ページ\)](#)



ワンタッチキーの12~22を選択する場合は、[シフトロック]キーを選択して[シフトロック]ランプを点灯させてから、ワンタッチキーを選択する必要があります。



宛先は後で変更できます。

➔ [宛先を確認または変更する \(5-33ページ\)](#)

## 宛先を確認または変更する

### 1 画面を表示する

宛先を選択します。

➔ [宛先の選びかた \(5-30ページ\)](#)

### 2 確認/変更する

[宛先確認/宛先追加]キーを選択します。

宛先を追加する

1 [追加]を選択します。

2 宛先を追加します。

➔ [宛先の選びかた \(5-30ページ\)](#)

宛先を変更する

1 変更したい宛先を選択して、[OK]キーを選択します。

2 [▲][▼]キー > [詳細/編集] > [OK]キー

3 宛先を編集 > [OK]キー

➔ [宛先の選びかた \(5-30ページ\)](#)

#### 参考

アドレス帳またはワンタッチキーに登録されている宛先の変更については、次を参照してください。

➔ [アドレス帳を変更する \(3-24ページ\)](#)

[ワンタッチキーの宛先を変更する \(3-27ページ\)](#)

宛先を削除する

1 削除したい宛先を選択して、[OK]キーを選択します。

2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]

### 3 [終了]を選択する

#### 参考

「送信前の確認」が[設定する]になっている場合は、[スタート]キーを押したときに確認画面が表示されます。

➔ [送信前の確認 \(8-33ページ\)](#)

[送信前に宛先を確認する \(5-34ページ\)](#)

## 送信前に宛先を確認する

「送信前の確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、宛先を確認するための宛先確認画面が表示されます。

➔ [送信前の確認 \(8-33ページ\)](#)

### 1 すべての宛先を確認する

宛先の詳しい情報を参照する場合は、宛先を選択して、[OK]キー > [▲][▼]キー > [詳細] > [OK]キー

宛先を削除したい場合は、削除したい宛先を選択して、[OK]キー > [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]  
宛先が削除されます。

### 2 [次へ]を選択する



#### 参考

必ずすべての宛先をメッセージディスプレイに表示して確認してください。すべての宛先を表示しないと[次へ]は機能しません。

## 再宛先を呼び出す

送信を試みたが、相手先が応答しない。もう一度同じ宛先に送りたい。そんなときに[再宛先/ポーズ]キーを選択すると、直前に送信した宛先を宛先リストに呼び出すことができます。

### 1 [再宛先/ポーズ]キーを選択する

直前の相手先が宛先リストに表示されます。



#### 参考

直前の送信がファクスやフォルダー、メールなどの宛先を含んでいる場合は、それらもあわせて表示されます。必要に応じて相手先の追加や削除などを行ってください。

### 2 [スタート]キーを押す

送信を開始します。



#### 参考

- 「送信前の確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

➔ [送信前に宛先を確認する \(5-34ページ\)](#)

- 次の条件で再宛先情報は破棄されます。
  - 電源を切ったとき
  - 次の送信操作を行ったとき(新しい再宛先情報が登録されます。)
  - ログアウトしたとき

## ファクスのしかた

本機はファクス機能を使用することができます。

▶ [ファクス使用説明書](#)

## 文書ボックスを使用する

文書ボックスにはジョブボックス、外部メモリーボックス、Fコードボックス、ポーリングボックスがあります。

### ジョブボックスとは

「プライベートプリント/ジョブ保留ボックス」、「クイックコピー/試し刷り後保留ボックス」の総称です。これらのボックスをユーザーが削除したり、新たなボックスを作成したりすることはできません。

#### 参考

- ジョブ保留ボックスとクイックコピーボックスを使用するには、SD/SDHCメモリーカードが必要です。
- ジョブボックスの一時保存文書を自動的に消去するように設定できます。

➡ [一時保存文書消去 \(8-34ページ\)](#)

- ジョブボックスの操作については、次を参照してください。

➡ [本体に保存したデータを印刷する \(4-10ページ\)](#)

#### 重要

SD/SDHCメモリーカードには暗号化されていないデータが保存されます。  
機密性の高い文書を保存する場合はご注意ください。

### 外部メモリーボックスとは

USBメモリーを本機のUSBメモリースロットに接続し、保存されているデータを印刷できます。パソコンを使うことなく手軽に印刷できます。また、本機で読み込んだ画像データを、PDF、TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS、高圧縮PDFいずれかのファイル形式で、USBメモリーに保存することもできます (Scan to USB)。

### Fコードボックス/ポーリングボックスとは

ファクスのデータを保存するためのボックスです。

➡ [ファクス使用説明書](#)

## USBメモリーの操作

USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されているデータをパソコンを使うことなく手軽に印刷できます。

印刷可能なデータは、以下のとおりです。

- PDFファイル(バージョン 1.7以下)
- TIFFファイル(TIFF V6/TTN2形式)
- JPEGファイル
- XPSファイル
- OpenXPSファイル
- 暗号化PDFファイル

また、本機に接続したUSBメモリーに読み込んだ画像データを保存することができます。

保存できるファイル形式は、次のとおりです。

- PDFファイル
- TIFFファイル
- JPEGファイル
- XPSファイル
- OpenXPSファイル
- 高圧縮PDFファイル

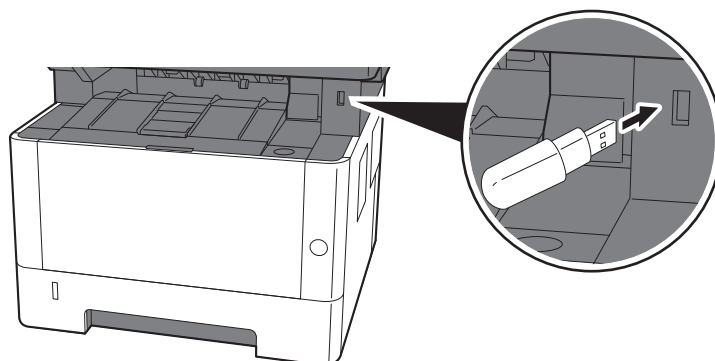
## USBメモリー内のデータを印刷する

### 参考

- 印刷するPDFファイルには拡張子(.pdf)が必要です。
- 印刷するファイルは、ルートディレクトリーを含め、3階層までのフォルダーに保存してください。
- USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。
- USBメモリーは、本機のUSBメモリースロットに直接挿入してください。

### 1 USBメモリーを接続する

USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



### 2 画面を表示する

[文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [USBメモリー] > [OK]キー



### 3 文書を印刷する

- 1 印刷したいファイルが保存されているフォルダーを選択して、[OK]キーを選択します。  
ルートディレクトリーを含め、3階層目まで表示できます。

#### 参考

- 表示できる文書数は1,000件までです。
- 1つ上の階層に戻る場合は、[戻る]キーを選択します。

- 2 印刷する文書を選択して、[選択]を選択します。  
文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。  
チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。

#### 参考

- [メニュー]を選択すると次の操作ができます。
- [すべて選択]:すべての文書を選択します。
  - [すべて解除]:すべての文書の選択を解除します。
  - [詳細]:選択された文書の詳細を表示します。
  - [USBメモリー詳細]:USBメモリーの詳細を表示します。
  - [メモリーの取り外し]:USBメモリーを取り外します。

- 3 [OK]キー > [▲][▼]キー > [印刷] > [OK]キー
- 4 必要に応じて、印刷部数や片面/両面印刷などを変更します。  
設定できる機能については、次を参照してください。  
▶ [外部メモリー\(文書保存、印刷\) \(6-5ページ\)](#)
- 5 [スタート]キーを押します。  
選択した文書の印刷が開始されます。

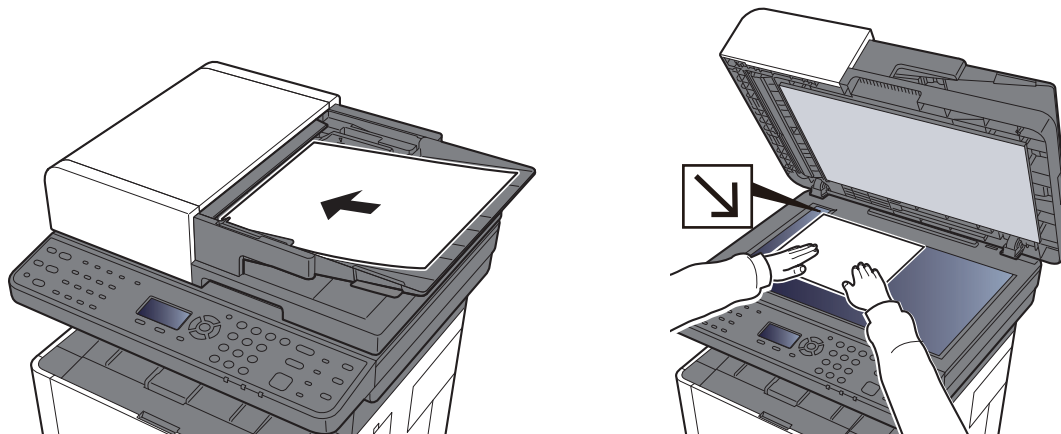
## USBメモリーに文書を保存する (Scan to USB)



参考

保存できるファイルの件数は最大で1,000件です。

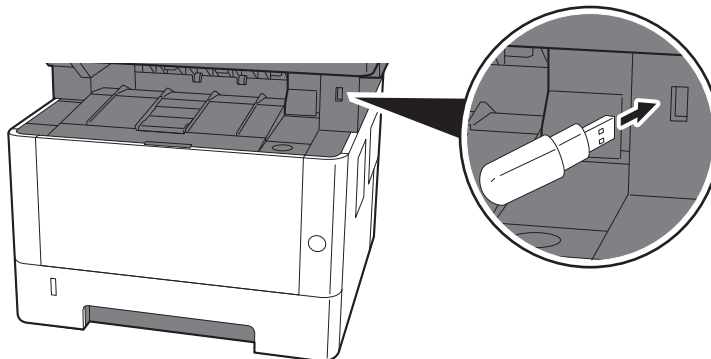
### 1 原稿をセットする



▶ [原稿をセットするには \(5-2ページ\)](#)

### 2 USBメモリーを接続する

USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



### 3 画面を表示する

[文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [USBメモリー] > [OK]キー

### 4 文書を保存する

1 文書を保存するフォルダーを選択して、[OK]キーを選択します。

ルートディレクトリーを含め、3階層目まで表示できます。

2 [▲][▼]キー > [文書保存] > [OK]キー

3 必要に応じて、原稿の種類やファイル形式などを設定します。

設定できる機能については、次を参照してください。

▶ [外部メモリー\(文書保存、印刷\) \(6-5ページ\)](#)

4 [スタート]キーを押します。

原稿が読み込まれ、USBメモリーに保存されます。

## USBメモリー情報を確認する

### 1 画面を表示する

[文書ボックス/USB]キー > [▲][▼]キー > [USBメモリー] > [OK]キー > [メニュー] > [▲][▼]キー > [USBメモリー詳細] > [OK]キー

### 2 情報を確認します。

[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。  
情報を確認したら[OK]キーを選択します。

## USBメモリーを取り外す

### 📌 重要

正しい手順で取り外さないと、データやUSBメモリーが破損するおそれがあります。

### 1 画面を表示する

[リセット]キー > [▲][▼]キー > [USBメモリー] > [OK]キー

### 2 取り外しを選択する

[メニュー] > [▲][▼]キー > [メモリーの取り外し] > [OK]

### 3 USBメモリーを取り外す

「USBメモリーを安全に取り外せます。」が表示されたら、[OK]を選択して、USBメモリーを取り外してください。

### 💡 参考

USBメモリーの取り外しは、デバイスの状態確認からも実行できます。

▶ [デバイスの状態\(デバイス通信\)を確認する \(7-14ページ\)](#)

# 6 さまざまな機能を使う

この章では、次の項目について説明します。

さまざまな機能を使う .....	6-2
本機に用意されている機能について .....	6-2
操作方法 .....	6-2
コピー .....	6-2
送信 .....	6-4
外部メモリー(文書保存、印刷) .....	6-5
各種機能 .....	6-7
用紙選択 .....	6-8
ソート .....	6-9
両面 .....	6-9
縮小/拡大 .....	6-12
ページ集約 .....	6-14
原稿サイズ .....	6-16
原稿セット向き .....	6-16
原稿サイズ混載 .....	6-17
原稿の画質 .....	6-17
濃度 .....	6-18
エコプリント .....	6-18
連続読み込み .....	6-18
文書名入力 .....	6-19
ジョブ終了通知 .....	6-19
優先印刷 .....	6-19
カラー選択 .....	6-20
シャープネス .....	6-20
コントラスト .....	6-21
地色調整 .....	6-21
白紙ページスキップ .....	6-21
読み込み解像度 .....	6-22
送信サイズ .....	6-22
ファイル形式 .....	6-23
件名/本文 .....	6-27
両面(両面原稿) .....	6-27
FTP暗号送信 .....	6-28
ファイル分割 .....	6-28
保存サイズ .....	6-29
暗号化PDF .....	6-29
JPEG/TIFF印刷方法 .....	6-30
XPS印刷サイズ調整 .....	6-30

# さまざまな機能を使う

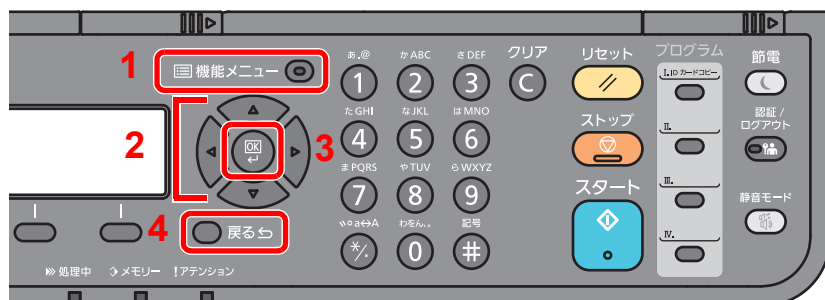
## 本機に用意されている機能について

本機にはさまざまな機能が用意されています。

## 操作方法

[機能メニュー]キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。

### ➔ 操作方法 (2-13ページ)



- 1 機能メニューを表示します。
- 2 表示されている項目を選択したり、数値を変更します。
- 3 選択した設定を確定します。
- 4 現在の設定を取り消して、一つ上の階層に戻ります。

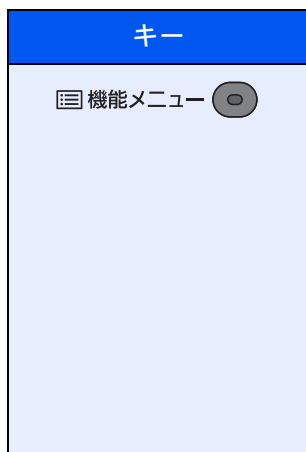
## コピー

各機能の詳細については、次の表を参照してください。

キー
機能メニュー



機能	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズ of 用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	<a href="#">6-8ページ</a>
ソート	用紙を部数ごとに仕分けします。	<a href="#">6-9ページ</a>
両面	用紙の両面に印刷できます。また、両面原稿を1ページずつ片面印刷できます。	<a href="#">6-9ページ</a>
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	<a href="#">6-12ページ</a>
ページ集約	2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。	<a href="#">6-14ページ</a>
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	<a href="#">6-16ページ</a>
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	<a href="#">6-16ページ</a>
原稿サイズ混載	原稿送り装置にセットされた、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	<a href="#">6-17ページ</a>
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	<a href="#">6-17ページ</a>
濃度	濃度を調整します。	<a href="#">6-18ページ</a>
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	<a href="#">6-18ページ</a>
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	<a href="#">6-18ページ</a>
文書名入力	文書に名前を付けます。	<a href="#">6-19ページ</a>



機能	説明	参照ページ
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	<a href="#">6-19ページ</a>
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	<a href="#">6-19ページ</a>
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	<a href="#">6-20ページ</a>
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	<a href="#">6-21ページ</a>
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	<a href="#">6-21ページ</a>
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	<a href="#">6-21ページ</a>

## 送信

各機能の詳細については、次の表を参照してください。

キー	機能	説明	参照ページ
	カラー選択	カラーのモードを選択します。	<a href="#">6-20ページ</a>
	原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	<a href="#">6-16ページ</a>
	原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	<a href="#">6-17ページ</a>
	読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	<a href="#">6-22ページ</a>
	送信サイズ	送信する画像のサイズを選択します。	<a href="#">6-22ページ</a>
	縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	<a href="#">6-12ページ</a>
	原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	<a href="#">6-16ページ</a>
	原稿サイズ混載	原稿送り装置にセットされた、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	<a href="#">6-17ページ</a>
	連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	<a href="#">6-18ページ</a>
	ファイル形式	画像のファイル形式を設定します。画質のレベルを調整することもできます。	<a href="#">6-23ページ</a>
	文書名入力	文書に名前を付けます。	<a href="#">6-19ページ</a>
	件名/本文	メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。	<a href="#">6-27ページ</a>
	ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	<a href="#">6-19ページ</a>
	ファクス解像度	ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。	ファクス使用 説明書参照
	ファクスタイマー送信	送信する時刻を指定します。	
	ファクスダイレクト送信	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	
	ファクスポーリング受信	相手先にダイヤルし、あらかじめ保存されたポーリング送信用の文書を受け取ります。	
	ファクス送信レポート	ファクスの送信結果をレポートで印刷します。	
	濃度	濃度を調整します。	<a href="#">6-18ページ</a>
	両面	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。	<a href="#">6-27ページ</a>
	FTP暗号送信	FTPで送信する際に画像を暗号化します。	<a href="#">6-28ページ</a>
	ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成します。	<a href="#">6-28ページ</a>
	シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	<a href="#">6-20ページ</a>
	コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	<a href="#">6-21ページ</a>
	地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	<a href="#">6-21ページ</a>
	白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	<a href="#">6-21ページ</a>

### 参考

ファクスサーバー送信で設定できる機能は、次のとおりです。  
原稿サイズ、両面、濃度、原稿の画質、ファクス解像度、連続読み込み

## 外部メモリー(文書保存、印刷)

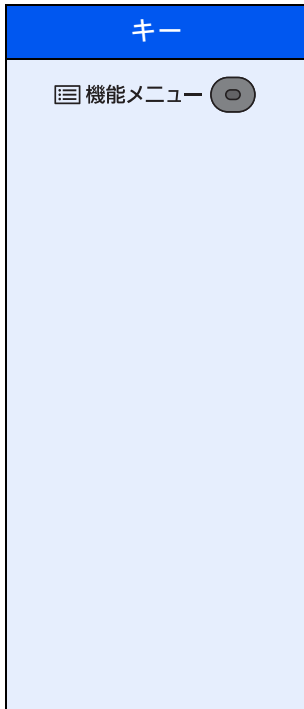
各機能の詳細については、次の表を参照してください。

### 文書保存の機能

キー	機能	説明	参照ページ
機能メニュー 	カラー選択	カラーのモードを選択します。	<a href="#">6-20ページ</a>
	原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	<a href="#">6-16ページ</a>
	原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	<a href="#">6-17ページ</a>
	読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	<a href="#">6-22ページ</a>
	保存サイズ	保存する画像のサイズを選択します。	<a href="#">6-29ページ</a>
	縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	<a href="#">6-12ページ</a>
	原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	<a href="#">6-16ページ</a>
	原稿サイズ混載	原稿送り装置にセットされた、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	<a href="#">6-17ページ</a>
	連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	<a href="#">6-18ページ</a>
	ファイル形式	画像のファイル形式を設定します。画質のレベルを調整することもできます。	<a href="#">6-23ページ</a>
	ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成します。	<a href="#">6-28ページ</a>
	文書名入力	文書に名前を付けます。	<a href="#">6-19ページ</a>
	ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	<a href="#">6-19ページ</a>
	濃度	濃度を調整します。	<a href="#">6-18ページ</a>
	両面	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。	<a href="#">6-27ページ</a>
	シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	<a href="#">6-20ページ</a>
	コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	<a href="#">6-21ページ</a>
	地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	<a href="#">6-21ページ</a>
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	<a href="#">6-21ページ</a>	



## 印刷の機能



機能	説明	参照ページ
ソート	用紙を部数ごとに仕分けします。	<a href="#">6-9ページ</a>
用紙選択	使用したいサイズ of 用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	<a href="#">6-8ページ</a>
両面	用紙の両面に印刷します。	<a href="#">6-9ページ</a>
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	<a href="#">6-18ページ</a>
文書名入力	文書に名前を付けます。	<a href="#">6-19ページ</a>
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	<a href="#">6-19ページ</a>
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	<a href="#">6-19ページ</a>
暗号化PDF	あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。	<a href="#">6-29ページ</a>
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。	<a href="#">6-30ページ</a>
XPS印刷サイズ調整	XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。	<a href="#">6-30ページ</a>

## 各種機能

便利な機能を説明しているページでは、その機能を使用できるモードをアイコンで示しています。

印刷:  

送信: 

保存: 

## 用紙選択



使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。

[自動]を選択すると、原稿と同じサイズの用紙を自動で選択します。

### 参考

- カセットに補給されている用紙サイズおよび用紙種類をあらかじめ登録してください。

▶ [カセット1～3設定 \(8-22ページ\)](#)

[手差し設定 \(8-22ページ\)](#)

- オプションのペーパーフィーダーが装着された場合、カセット2～3が表示されます。

[手差しトレイ]を選択する前に、[手差し設定]を選択して用紙サイズと用紙種類を変更してください。選択できる用紙サイズと用紙種類は次のとおりです。

設定項目	設定値	説明
自動		原稿と同じサイズの用紙を自動で選択します。
カセット1～3 <sup>*1</sup>		カセット1～3から選択します。
手差しトレイ		手差しトレイを選択します。
手差し設定	—	[手差しトレイ]を選択する場合は、[手差し設定]を選択して用紙サイズと用紙種類を設定してください。
定形サイズ	A4、A5-R、A5、A6、B5、B6、Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II、Folio、216 × 340 mm、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム <sup>*2</sup>	定型サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。
サイズ入力	センチ X: 70～216 mm (1 mm単位) Y: 148～356 mm (1 mm単位)	定型サイズに表示されていないサイズを入力します。 <sup>*3</sup> [サイズ入力]を選択した場合は、[▲]、[▼]またはテンキーで、「X」(よこ)と「Y」(たて)のサイズを設定してください。
	インチ X: 2.76～8.50" (0.01"単位) Y: 5.83～14.02" (0.01"単位)	
用紙種類	普通紙 (60～105 g/m <sup>2</sup> )、OHPフィルム、ラベル紙、再生紙、プレプリント <sup>*4</sup> 、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙 <sup>*4</sup> 、レターヘッド <sup>*4</sup> 、封筒、厚紙 (106～220 g/m <sup>2</sup> )、上質紙、カスタム1～8 <sup>*4</sup>	用紙種類を設定します。 [定型サイズ]や[サイズ入力]を設定した後に表示されます。

\*1 カセット2～3はオプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。

\*2 カスタム用紙サイズの登録方法は、次を参照してください。

▶ [カスタム用紙サイズ登録 \(8-20ページ\)](#)

\*3 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。

▶ [入力長さ単位 \(8-23ページ\)](#)

\*4 用紙種類のカスタム1～8の登録方法は、次を参照してください。

▶ [用紙種類の設定について \(8-23ページ\)](#)

プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

▶ [特定用紙種類動作 \(8-21ページ\)](#)

### 参考

- よく使用する用紙サイズと用紙種類は、あらかじめ初期設定として選択しておく便利です。

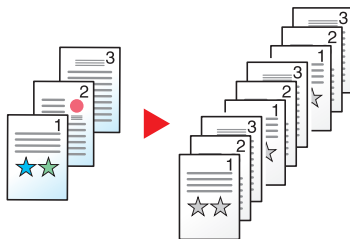
▶ [手差し設定 \(8-22ページ\)](#)

- 指定されている用紙サイズの用紙が給紙元のカセットまたは手差しトレイに入っていない場合、確認画面が表示されます。手差しトレイに使用したい用紙を補給して[OK]キーを選択してください。コピーが開始されます。

## ソート



用紙を部数ごとに仕分けします。  
(設定値: [設定しない]/[設定する])

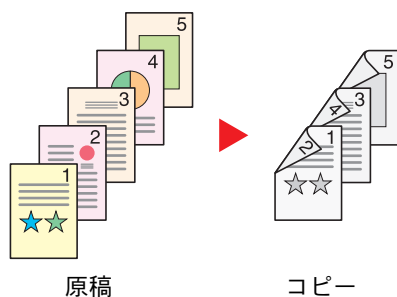


## 両面

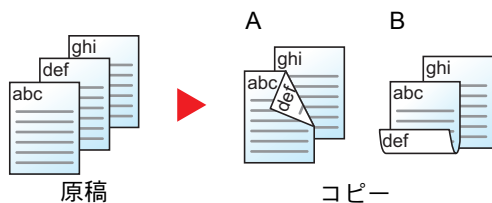


用紙の両面に印刷できます。また、両面原稿を1ページずつ片面印刷できます。  
両面には次の方法があります。

### 片面→両面



片面原稿を両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページのうら面が白紙になります。



とじ方法は次の2とおりです。

- A 仕上がり左/右とじ:うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。
- B 仕上がり上とじ:うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコピーします。仕上がったコピーを上でとじると、各見開きのページが同じ方向になります。

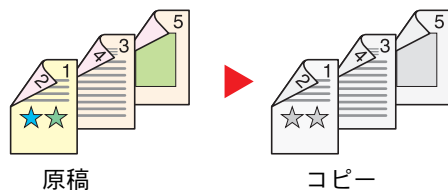
### 両面→片面



両面原稿を1ページずつ片面コピーします。  
とじ方法は次の2とおりです。

- 左/右とじ:うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。
- 上とじ:うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコピーします。

## 両面→両面



両面原稿を両面コピーします。

### 参考

両面→両面に使用できる用紙サイズはA4、B5、A5-R、Folio、Legal、Letter、Statement、Oficio II、Executive、216 × 340 mm、ISO B5、16Kです。

## コピー時

片面原稿を両面に印刷したり、両面原稿を片面に印刷します。原稿および仕上がりのとじ方向を指定してください。

設定項目	設定値	説明
片面→片面	—	この機能を設定しません。
片面→両面	—	[OK]キーを選択すると、初期値の設定でコピーします。 初期値の設定については、次を参照してください。 ➡ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
仕上がりとし方向	左/右とし、上とし	[詳細]を選択すると、[仕上がりとし方向]画面が表示されます。 仕上がりのとじ方向を選択して、[OK]キーを選択します。
原稿セット向き	上辺を奥向き、上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から原稿のセット向きを選択し、[OK]キーを選択してください。
両面→片面	—	[OK]キーを選択すると、初期値の設定でコピーします。 初期値の設定については、次を参照してください。 ➡ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
原稿とし方向	左/右とし、上とし	[詳細]を選択すると、[原稿とし方向]画面が表示されます。 原稿のとじ方向を選択して、[OK]キーを選択します。
原稿セット向き	上辺を奥向き、上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から原稿のセット向きを選択し、[OK]キーを選択してください。
両面→両面	—	[OK]キーを選択すると、初期値の設定でコピーします。 初期値の設定については、次を参照してください。 ➡ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
原稿とし方向	左/右とし、上とし	[詳細]を選択すると、[原稿とし方向]画面が表示されます。 原稿のとじ方向を選択して、[OK]キーを選択します。
仕上がりとし方向	左/右とし、上とし	仕上がりのとじ方向を選択して、[OK]キーを選択します。
原稿セット向き	上辺を奥向き、上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から原稿のセット向きを選択し、[OK]キーを選択してください。

原稿ガラスに原稿をセットしたときは、次の原稿に入れ替えて[スタート]キーを押してください。

次の原稿がなければ、[読込終了]を選択してください。コピーが開始されます。

## 印刷時

用紙の両面に印刷します。

設定項目	設定値	説明
片面	—	この機能を設定しません。
両面	—	[OK]キーを選択すると、初期値の設定で印刷します。 初期値の設定については、次を参照してください。 ➔ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
仕上がりとし方向	左/右とし、上とし	[詳細]を選択すると、[仕上がりとし方向]画面が表示されます。 仕上がりのとじ方向を選択して、[OK]キーを選択します。

## 縮小/拡大



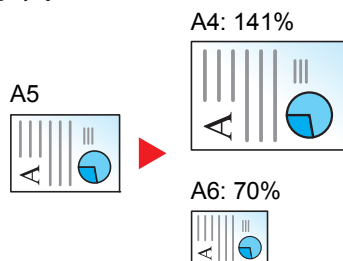
倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。

### コピー時

縮小/拡大には次の方法があります。

#### 自動

用紙サイズに合わせて縮小または拡大します。



#### 定形倍率

あらかじめ用意されている倍率で縮小/拡大します。

400%	—	115%	B5→A4	70%	A4→A5
200%	—	100%	—	50%	—
141%	A5→A4	86%	A4→B5	25%	—

#### その他

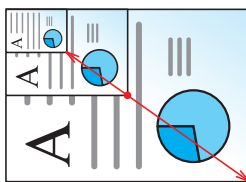
定形倍率以外の倍率で縮小/拡大します。<sup>\*1</sup>

129%	STMT→LTR	78%	LGL→LTR
90%	FOL→A4	64%	LTR→STMT

\*1 LTR=Letter  
LGL=Legal  
STMT=Statement  
FOL=Folio

## 倍率入力

25～400%の範囲で、1%刻みに倍率を選択できます。[▲]、[▼]またはテンキーで倍率を入力します。



## 送信/保存時

設定項目	説明
100%	原稿と同じサイズで処理します。
自動	送信/保存サイズに合わせて縮小または拡大します。

### 参考

縮小または拡大する場合は、用紙サイズ、送信サイズまたは保存サイズを選択してください。

- ▶ [用紙選択 \(6-8ページ\)](#)
- [送信サイズ \(6-22ページ\)](#)
- [保存サイズ \(6-29ページ\)](#)



## ページ集約



2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。

ページの並び順を指定したり、原稿に境界線を入れることもできます。

境界線の線種は次のとおりです。



[2 in 1]または[4 in 1]を選択し、[詳細]を選択し、機能を設定してください。

設定項目	設定値	説明	
設定しない	—	この機能を設定しません。	
2 in 1	—	[OK]キーを選択すると、初期値の設定でコピーします。初期値の設定については、次を参照してください。 ▶ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>	
	2 in 1レイアウト	左→右 上→下、 右→左 下→上	読み込んだ原稿の並べかたを選択して、[OK]キーを選択します。
	境界線	なし、実線、点線、マーク	境界線を選択して、[OK]キーを選択します。
原稿セット向き	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から原稿のセット向きを選択し、[OK]キーを選択してください。	
4 in 1	—	[OK]キーを選択すると、初期値の設定でコピーします。初期値の設定については、次を参照してください。 ▶ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>	
	4 in 1レイアウト	左上→右、左上→下、 右上→左、右上→下	読み込んだ原稿の並べかたを選択して、[OK]キーを選択します。
	境界線	なし、実線、点線、マーク	境界線を選択して、[OK]キーを選択します。
原稿セット向き	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から原稿のセット向きを選択し、[OK]キーを選択してください。	

## レイアウトイメージ

設定項目		イメージ
2 in 1	左→右/上→下	
	右→左/下→上	
4 in 1	左上→右	
	右上→左	
	左上→下	
	右上→下	

### 参考

- 集約に使用できる用紙サイズ: A4、A5-R、B5、Folio、216 × 340 mm、Letter、Legal、Statement、Oficio II、16K
- 原稿を原稿ガラスにセットするときは、ページ順にセットしてください。

## 原稿サイズ



原稿の読み込みサイズを設定します。

設定項目	説明
自動(DP) <sup>*1</sup> 、A4、A5、A6、B5、B6、Letter、Legal <sup>*2</sup> 、Statement、Executive、Oficio II、Folio、216 × 340 mm、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム <sup>*3</sup>	定型サイズ、カスタム原稿サイズから選択します。

\*1 「原稿検知(DP)」の[自動検知]が[設定する]になっている場合に表示されます。

▶ [原稿検知\(DP\) \(8-19ページ\)](#)

\*2 原稿送り装置にのみセットできます。

\*3 カスタム原稿サイズの登録方法は、次を参照してください。

▶ [カスタム原稿サイズ登録 \(8-19ページ\)](#)



### 参考

不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを設定してください。

## 原稿セット向き



文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

次の機能を使用する場合は、セットした原稿の向きを設定する必要があります。

- 両面
- ページ集約
- 両面(両面原稿)

原稿のセット向きを、[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から選択してください。

設定項目	イメージ
上辺を奥向き	<p>原稿</p> <p>原稿セット向き</p>
上辺を左向き	<p>原稿</p> <p>原稿セット向き</p>



### 参考

原稿セット向きの初期値を変更することができます。

▶ [原稿セット向き \(8-26ページ\)](#)

## 原稿サイズ混載



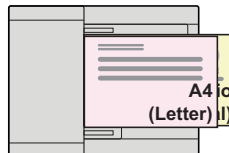
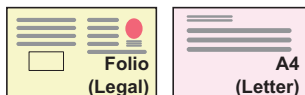
原稿送り装置にセットされた、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。

原稿ガラスの場合は、使用できません。

(設定値: [設定しない]/[設定する])

### 原稿サイズの組み合わせ

A4とFolio (LegalとLetter)



## 原稿の画質



原稿の画質に合わせて、画像を処理します。

### コピー時

設定項目	説明
文字+写真 <sup>*1</sup>	文字と写真が混在している原稿に適しています。
写真	写真原稿に適しています。
文字	文字の多い原稿に適しています。
図表/地図	地図原稿に適しています。

\*1 [文字+写真]の印字で、グレーの文字切れが起こるときは、[文字]を選択することで改善することがあります。

### 送信/保存時

設定項目	説明
文字+写真	文字と写真が混在する原稿に適しています。
写真	カメラで撮った写真などの原稿に適しています。
文字	文字の多い原稿に適しています。
OCR用 <sup>*1</sup>	OCR処理に適した画像で読み込みます。
うすい文字/細線	えんぴつなどで書かれたうすい文字や、地図原稿や図表の細線をくっきりと再現します。

\*1 カラー選択で、白黒選択時のみ利用できます。

➡ [カラー選択 \(6-20ページ\)](#)

## 濃度



濃度を調整します。

(設定値: [-4] ~ [+4] (うすく ~ こく))



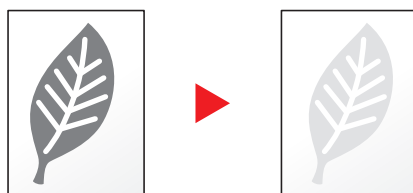
## エコプリント



エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。

試し印刷など高品質な印刷が必要でないときに使用してください。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



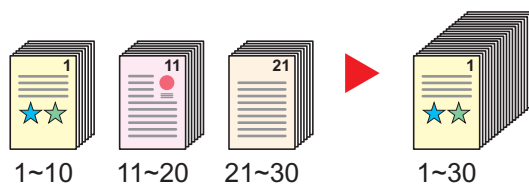
## 連続読み込み



原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。

[読み込み終了]を選択するまで、原稿を読み込みます。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



## 文書名入力



文書に名前を付けます。

ジョブ番号、日時の付加情報も設定できます。ここで付けた名前、日時、ジョブ番号を使用して、ジョブの履歴やステータスの確認ができます。

文書名を32文字以内で入力し、[OK]キーを選択してください。

日時を付加する場合は[日付]を選択して、[OK]キーを選択してください。ジョブ番号を付加する場合は[ジョブ番号]を選択して、[OK]キーを選択してください。両方付加する場合は[ジョブ番号+日付]または[日付+ジョブ番号]を選択して、[OK]キーを選択してください。

## ジョブ終了通知



ジョブが終了したことをメールで通知します。

離れた席にいてもジョブの終了を知ることができるため、終わるまで本機の近くで待機する必要がありません。



### 参考

あらかじめパソコンで、メールを使用できるようにしてください。

▶ [Command Center RXとは \(2-45ページ\)](#)

メールを送る宛先は1件です。

設定項目		説明
設定しない		この機能を設定しません。
設定する	アドレス帳	アドレス帳や拡張アドレス帳 <sup>*1</sup> から通知先を選択します。 アドレス帳や拡張アドレス帳の画面で通知先を選択して、[OK]キーを選択します。
	アドレス入力	通知先を直接入力します。メールアドレスを128文字以内で入力し、[OK]キーを選択します。

\*1 拡張アドレス帳については、次を参照してください。

▶ [Command Center RX操作手順書](#)

## 優先印刷



印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。

優先した印刷ジョブが終了すると、中断していたジョブの印刷を再開します。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



### 参考

- 印刷中の文書が優先印刷の場合は、中断できません。
- 印刷中のジョブの状況やメモリーの使用状況によっては、優先印刷が実行できない場合があります。

## カラー選択

送信

USBメモリー  
への保存

カラーのモードを選択します。

設定項目	説明
自動(カラー/グレー)	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿はグレースケールで読み込みます。
自動(カラー/白黒)	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿は白黒で読み込みます。
フルカラー	フルカラーで読み込みます。
グレースケール	白から黒までの明暗だけで読み込みます。画像が滑らかに、きめ細かく表現されます。
白黒	白黒で読み込みます。

## シャープネス

コピー

送信

USBメモリー  
への保存

画像の輪郭の強弱を調整します。

鉛筆で書かれた原稿などを使用するときに、文字や線がかすれたり、つぶれたりする場合、シャープネスを「強く」に調整すると文字や線が鮮明になります。また、雑誌の写真など網点で表現される画像を使用するときに、モアレ<sup>\*1</sup>が発生する場合、シャープネスを「弱く」に調整すると、輪郭をぼかしてモアレを弱めることができます。

シャープネス弱く



原稿



シャープネス強く



設定項目	説明
[1]～[3] (強く)	画像の輪郭を強調します。
[-1]～[-3] (弱く)	画像の輪郭をぼかします。モアレ <sup>*1</sup> を弱めることができます。

\*1 網点が均等に配列されず斑紋が出る状態。

## コントラスト



画像の濃淡のコントラストを調整します。

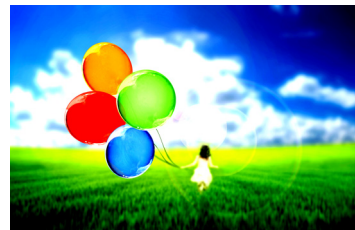
コントラスト低く



原稿



コントラスト高く



設定項目	説明
[1]～[4]	メリハリのある色合いにします。
[-1]～[-4]	なめらかな色合いにします。

## 地色調整



新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。

地色が気になる場合、[自動]を選択してください。[自動]を選択しても地色がとり除かれない場合は、[手動]を選択し、地色の濃度を調整してください。

設定項目	説明
設定しない	地色を調整しません。
自動	自動で地色を調整します。
手動	[1]～[5] (うすく～こく) を選択して、手動で地色の濃度を調整します。

## 白紙ページスキップ



読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。

[強]に設定すると、白紙を認識するレベルが上がります。

本機が白紙のページを判断するため、原稿内の白紙の有無を確認しなくても無駄な印刷を省きます。

[設定する]を選択し、[レベル]を選択して、[弱]、[中]、[強]のいずれかを選択してください。



### 参考

パンチ穴のある原稿や、下地に色がある原稿は白紙と認識できないことがあります。



## 読み込み解像度

送信

USBメモリー  
への保存

画像の細かさを設定します。

(設定値: [200 × 100 dpi ノーマル]/[200 × 200 dpi ファイン]/[200 × 400 dpi Sファイン]/[300 × 300 dpi]/  
[400 × 400 dpi Uファイン]/[600 × 600 dpi])



### 参考

数値が大きいほど、きめが細かくなりますが、ファイルサイズが大きくなり、処理時間が長くなります。

## 送信サイズ

送信

送信する画像のサイズを選択します。

設定項目	説明
原稿サイズと同じ	原稿と同じ送信サイズが自動的に選択されます。
A4, A5, A6, B5, B6, Letter, Legal, Statement, Executive, Oficio II, Folio, 216 × 340 mm, 16K, ISO B5, Envelope #10, Envelope #9, Envelope #6, Envelope Monarch, Envelope DL, Envelope C5, はがき, 往復はがき, 洋形4号, 洋形2号	定型サイズから選択します。

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大の関係について

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと送信するサイズが	同じとき	違うとき
<a href="#">原稿サイズ (6-16ページ)</a>	必要に応じて設定	必要に応じて設定
送信サイズ	[原稿サイズと同じ]を選択	送信したいサイズを選択
<a href="#">縮小/拡大 (6-12ページ)</a>	[100%] (または[自動])を選択	[自動]を選択

### 参考

原稿サイズと異なる送信サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で送信されます(縮小/拡大は行われません)。

## ファイル形式

送信

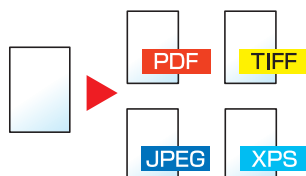
USBメモリー  
への保存

画像のファイル形式を設定します。画質のレベルを調整することもできます。

ファイル形式を[PDF]、[TIFF]、[JPEG]、[XPS]、[OpenXPS]または[高圧縮PDF]から選択してください。

読み込み時のカラーモードを、グレースケールまたはフルカラーに選択している場合は、画質を設定してください。

[PDF]または[高圧縮PDF]を選択した場合は、暗号化やPDF/Aの設定を行うことができます。



設定項目	設定値	説明
PDF	—	[OK]キーを選択すると、PDF形式で保存または送信を行います。画質、PDF/Aの設定は初期値になります。初期値の設定については、次を参照してください。 ➔ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
画質	1低画質(高圧縮)～ 5高画質(低圧縮)	[詳細]を選択すると、[画質]画面が表示されます。画質を選択して、[OK]キーを選択します。
暗号化	設定しない、設定する	暗号化PDFを設定して、[OK]キーを選択します。[設定する]を選択した場合は、次を参照してください。 ➔ <a href="#">PDF暗号化機能 (6-25ページ)</a>
PDF/A	設定しない、PDF/A-1a、 PDF/A-1b	PDF/A-1のフォーマット形式を選択して、[OK]キーを選択します。
TIFF	—	[OK]キーを選択すると、TIFF形式で保存または送信を行います。画質の設定は初期値になります。初期値の設定については、次を参照してください。 ➔ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
画質	1低画質(高圧縮)～ 5高画質(低圧縮)	[詳細]を選択すると、[画質]画面が表示されます。画質を選択して、[OK]キーを選択します。
XPS	—	[OK]キーを選択すると、XPS形式で保存または送信を行います。画質の設定は初期値になります。初期値の設定については、次を参照してください。 ➔ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
画質	1低画質(高圧縮)～ 5高画質(低圧縮)	[詳細]を選択すると、[画質]画面が表示されます。画質を選択して、[OK]キーを選択します。
OpenXPS	—	[OK]キーを選択すると、OpenXPS形式で保存または送信を行います。画質の設定は初期値になります。初期値の設定については、次を参照してください。 ➔ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
画質	1低画質(高圧縮)～ 5高画質(低圧縮)	[詳細]を選択すると、[画質]画面が表示されます。画質を選択して、[OK]キーを選択します。

設定項目	設定値	説明
JPEG	—	[OK]キーを選択すると、JPEG形式で保存または送信を行います。画質の設定は初期値になります。初期値の設定については、次を参照してください。 ➡ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
画質	1低画質(高圧縮)～ 5高画質(低圧縮)	[詳細]を選択すると、[画質]画面が表示されます。画質を選択して、[OK]キーを選択します。
高圧縮PDF	—	[OK]キーを選択すると、高圧縮PDF形式で保存または送信を行います。画質、PDF/Aの設定は初期値になります。初期値の設定については、次を参照してください。 ➡ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
画質	圧縮率優先、標準、 画質優先	[詳細]を選択すると、[画質]画面が表示されます。画質を選択して、[OK]キーを選択します。
暗号化	設定しない、設定する	暗号化PDFを設定して、[OK]キーを選択します。 [設定する]を選択した場合は、次を参照してください。 ➡ <a href="#">PDF暗号化機能 (6-25ページ)</a>
PDF/A	設定しない、PDF/A-1a、 PDF/A-1b	PDF/A-1のフォーマット形式を選択して、[OK]キーを選択します。



参考

暗号化が設定されている場合は、PDF/Aの設定を行うことができません。

## PDF暗号化機能

ファイル形式でPDFまたは高圧縮PDFを選択した場合、パスワードによるセキュリティーを使用し、PDFの表示、印刷および編集に対して、制限を追加することができます。

[PDF]または[高圧縮PDF]を選択し、[詳細]の[暗号化]で[設定する]を選択します。

[互換性のある形式]で選択した設定値により、設定できる項目が変わります。

Acrobat3.0以降

設定項目		設定値	説明
パスワード	文書を開く	設定しない、 設定する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [設定する]を選択して、[OK]キーを選択してください。 パスワード(最高256文字まで)を入力して、[OK]キーを選択してください。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。
	文書の編集	設定しない、 設定する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力します。 [設定する]を選択して、[OK]キーを選択してください。 パスワード(最高256文字まで)を入力して、[OK]キーを選択してください。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。
	印刷を許可	許可しない、許可 する	PDFファイルの印刷を制限します。[OK]キーを選択してください。
	変更を許可	許可しない、 注釈の追加、 ページレイアウト、 全ての変更	PDFファイルの変更を制限します。次の制限事項から選択して、[OK]キーを選択してください。 許可しない:PDFファイルが変更できなくなります。 注釈の追加:注釈の追加のみできます。 ページレイアウト:PDFファイルのページを抽出する以外の、ページレイアウトの変更ができます。 全ての変更:PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作ができます。
	内容のコピー	無効にする、有効 にする	PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制限します。 [OK]キーを選択してください。

Acrobat5.0以降

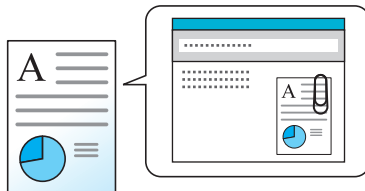
設定項目		設定値	説明
パスワード	文書を開く	設定しない、 設定する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [設定する]を選択して、[OK]キーを選択してください。 パスワード(最高256文字まで)を入力して、[OK]キーを選択してください。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。
	文書の編集	設定しない、 設定する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力します。 [設定する]を選択して、[OK]キーを選択してください。 パスワード(最高256文字まで)を入力して、[OK]キーを選択してください。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力して、[OK]キーを選択してください。
	印刷を許可	許可しない、 許可(低解像度)、 許可する	PDFファイルの印刷を制限します。次の制限事項から選択して、[OK]キーを選択してください。 許可しない:PDFファイルが印刷できなくなります。 許可(低解像度):PDFファイルを低解像度でのみ印刷できます。 許可する:PDFファイルを本来の解像度で印刷できます。
	変更を許可	許可しない、 挿入/削除/回転、 注釈の追加、 全ての変更	PDFファイルの変更を制限します。次の制限事項から選択して、[OK]キーを選択してください。 許可しない:PDFファイルが変更できなくなります。 挿入/削除/回転:PDFファイルのページの挿入、ページの削除、およびページの回転のみができます。 注釈の追加:注釈の追加のみできます。 全ての変更:PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作ができます。
	内容のコピー	無効にする、有効 にする	PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制限します。 [OK]キーを選択してください。

## 件名/本文

送信

メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。

「件名」の欄を選択して件名の入力、「本文」の欄を選択して本文の入力をしてください。



### 参考

件名は60文字、本文は500文字まで入力できます。

## 両面(両面原稿)

送信

USBメモリー  
への保存

原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。

設定項目	設定値	説明
片面	—	この機能を設定しません。
両面	—	[OK]キーを選択すると、初期値の設定で読み込みます。初期値の設定については、次を参照してください。 ➡ <a href="#">機能初期値 (8-26ページ)</a>
原稿とじ方向	左/右とじ、上とじ	[詳細]を選択すると、[原稿とじ方向]画面が表示されます。原稿のとじ方向を選択して、[OK]キーを選択します。
原稿セット向き <sup>*1</sup>	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示して、[OK]キーを選択します

\*1 ファクスサーバー送信の場合は表示されません。

### サンプルイメージ

設定値	イメージ
両面 とじ方向左/右とじ	
とじ方向上とじ	

## FTP暗号送信

送信

FTPで送信する際に画像を暗号化します。

暗号化することで第三者に文書を見られることを防ぎます。

(設定値:[設定しない]/[設定する])

### 参考

Command Center RXで[セキュリティ設定]→[ネットワークセキュリティ]の順にクリックしてください。セキュアプロトコル設定の「SSL」の設定が「オン」になっていることと、クライアント機能時の設定で有効な暗号方式が1つ以上選択されていることを確認してください。

▶ [Command Center RX操作手順書](#)

## ファイル分割

送信

USBメモリー  
への保存

読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成します。

(設定値:[設定しない]/[ページごと])

[ページごと]を選択すると、ファイル分割が設定されます。



### 参考

ファイル名の最後には、「xxx\_001.pdf、xxx\_002.pdf」のような3桁の通し番号が付きます。

## 保存サイズ



保存する画像のサイズを選択します。

設定項目	設定値	説明
原稿サイズと同じ		原稿と同じ保存サイズが自動的に選択されます。
A4, A5, A6, B5, B6, Letter, Legal, Statement, Executive, Oficio II, Folio, 216 × 340 mm, 16K, ISO B5, Envelope #10, Envelope #9, Envelope #6, Envelope Monarch, Envelope DL, Envelope C5, はがき, 往復はがき, 洋形4号, 洋形2号		定型サイズから選択します。

原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大の関係について

原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと保存するサイズが	同じとき	違うとき
<a href="#">原稿サイズ (6-16ページ)</a>	必要に応じて設定	必要に応じて設定
保存サイズ	[原稿サイズと同じ]を選択	保存したいサイズを選択
<a href="#">縮小/拡大 (6-12ページ)</a>	[100%] (または[自動])を選択	[自動]を選択



原稿サイズと異なる保存サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で保存されます(縮小/拡大は行われません)。

## 暗号化PDF



あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。

パスワードを入力し、[OK]を選択してください。



パスワードの入力については、次を参照してください。

➔ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

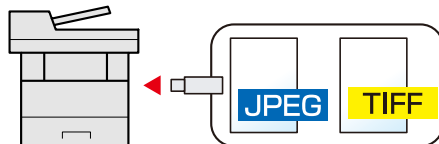


## JPEG/TIFF印刷方法

USBメモリー  
からの印刷

JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。

(設定値: [用紙サイズ]/[画像解像度]/[印刷解像度])



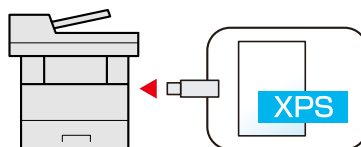
設定項目	説明
用紙サイズ	選択した用紙サイズに合わせて印刷します。
画像解像度	画像解像度のままで印刷します。
印刷解像度	印刷解像度に合わせて印刷します。

## XPS印刷サイズ調整

USBメモリー  
からの印刷

XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



# 7 ジョブ/消耗品/デバイスを管理する

この章では、次の項目について説明します。

ジョブの状況を確認する .....	7-2
状況確認画面の内容 .....	7-4
ジョブの履歴を確認する .....	7-8
ジョブ履歴を送信する .....	7-12
ジョブの操作 .....	7-13
ジョブの一時停止と再開 .....	7-13
ジョブをキャンセルする .....	7-13
デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する .....	7-14
トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する .....	7-15

# ジョブの状況を確認する

実行中または待機中のジョブの状況を確認できます。

## 確認できる状況の種類

実行中/待機中のジョブの状況は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、予約ジョブの4種類の画面に分けてメッセージディスプレイに表示されます。

各画面で表示されるジョブは次のとおりです。

状況確認画面	表示されるジョブ
印刷ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピー印刷</li> <li>プリンター印刷</li> <li>ファクス受信印刷</li> <li>メール受信印刷</li> <li>文書ボックスからの印刷</li> <li>外部メディアのデータ印刷</li> <li>レポート/リスト印刷</li> </ul>
送信ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファクス送信</li> <li>メール送信</li> <li>フォルダー送信</li> <li>アプリケーション送信</li> <li>複合送信</li> <li>ファクスサーバー送信</li> </ul>
保存ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキャン保存</li> <li>ファクス保存</li> <li>プリンター保存</li> </ul>
予約ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイマー送信で待機中のファクス送信ジョブ</li> </ul>

## 状況確認画面の表示

### 1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キー > [▲][▼]キー > [印刷ジョブ状況]、[送信ジョブ状況]、[保存ジョブ状況]または[予約ジョブ] > [OK]キー

### 2 確認したいジョブを選択する

1 確認したいジョブを選択して、[メニュー]を選択します。

2 [▲][▼]キー > [詳細] > [OK]キー

ジョブの詳しい状況が表示されます。

#### 参考

- [送信ジョブ状況]画面でファクスジョブを選択した場合、[優先送信]が表示されます。[優先送信]を選択して、[OK]キーを選択すると、現在のジョブが一時停止し、選択したジョブを優先します。
- [予約ジョブ]では[今すぐ開始]が表示されます。[今すぐ開始]を選択して、[OK]キーを選択すると、選択したジョブが直ちに送信されます。

### 3 確認する

[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。

- ▶ [印刷ジョブ \(7-4ページ\)](#)
- ▶ [送信ジョブ \(7-5ページ\)](#)
- ▶ [保存ジョブ \(7-6ページ\)](#)
- ▶ [予約ジョブ状況画面 \(7-7ページ\)](#)

## 状況確認画面の内容

### 参考


すべてのユーザーのジョブ状況を表示したり、自分だけのジョブ状況を表示したりすることができます。

▶ [状況/履歴の表示 \(8-29ページ\)](#)



この設定は、Command Center RXからも変更できます。

▶ [Command Center RX操作手順書](#)


### 印刷ジョブ

項目	説明
状況	ジョブの状態 [処理中]: 印刷を開始する前の状態 [一時停止]: 印刷の一時停止やエラーにより印刷を一時停止 [中止中]: ジョブのキャンセル中 [----]: ジョブは終了しています。
受付時刻	ジョブの受付時刻
ジョブ名	ジョブ名にあるジョブ名が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択するとジョブ名がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。
ジョブ種類	[コピー]: コピー印刷 [ファクス]: ファクス受信印刷 [ボックス]: 文書ボックスからの印刷 [プリンター]: プリンター印刷 [レポート]: レポート/リスト印刷 [メール]: メール受信印刷 [USB]: 外部メディアのデータ印刷
ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名 ユーザー管理が無効の場合、[----]が表示されます。
ページと部数	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷ページ数</li> <li>印刷ページ数 / 総印刷ページ数</li> </ul>
原稿ページ数	原稿ページ数
送信元情報	送信元の情報が表示されます。 <b>ファクス受信の場合</b> ファクス受信時に送信者名が設定されている場合、送信者名が表示されます。送信者番号のみが設定されている場合は、番号のみが表示されます。 送信元情報がなかったり、ファクス受信ではない場合は、[----]が表示されます。 <b>メールの場合</b> メールアドレスが表示されます。 その他の場合は、[----]が表示されます。  <b>参考</b> 送信元情報が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択すると送信元情報がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。

送信ジョブ

項目	説明
状況	<p>ジョブの状態</p> <p>[処理中]: 原稿の読み込み中など、送信を開始する前の状態</p> <p>[一時停止]: ジョブの一時停止中</p> <p>[中止中]: ジョブのキャンセル中</p>
受付時刻	ジョブの受付時刻
ジョブ名	ジョブ名にあるジョブ名が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択するとジョブ名がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。
ジョブ種類	<p>[ファクス]: ファクス送信</p> <p>[メール]: メール送信</p> <p>[フォルダー]: PC(SMB/FTP)送信</p> <p>[アプリケーション]: アプリケーション送信</p> <p>[複合]: マルチ送信</p> <p>[ファクスサーバー]: ファクスサーバー送信</p>
ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名 ユーザー管理が無効の場合、[----]が表示されます。
原稿ページ数	原稿ページ数
カラー/白黒	<p>カラーモード</p> <p>[カラー/白黒]</p> <p>[フルカラー]</p> <p>[白黒]</p> <p>[グレースケール]</p> <p>[混在]</p> <p>[自動(カラー/グレー)]</p> <p>[自動(カラー/白黒)]</p>
宛先	<p>送信先が表示されます。</p> <p>送信先が1件の場合 送信先(宛先名/ファクス番号/メールアドレス/サーバー名のいずれか)</p> <p> <b>参考</b></p> <p>送信先が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択すると送信先がすべて表示されます。 [OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。</p> <p>送信先が複数の場合 [同報送信]が表示されます。 [リスト]を選択すると、すべての送信先が表示されます。 [終了]を選択すると、元の画面に戻ります。</p> <p> <b>参考</b></p> <p>送信先が長すぎて表示されないとき、送信先を選択して、[OK]キーを選択すると送信先がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。</p>

保存ジョブ

項目	説明
状況	ジョブの状態 [処理中]: 原稿の読み込み中など、送信を開始する前の状態 [中止中]: ジョブのキャンセル中
受付時刻	ジョブの受付時刻
ジョブ名	ジョブ名にあるジョブ名が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択するとジョブ名がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。
ジョブ種類	[ファクス]: ファクス保存 [スキャン]: スキャン保存 [プリンター]: プリンター保存
ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名 ユーザー管理が無効の場合、[-----]が表示されます。
原稿ページ数	原稿ページ数
カラー/白黒	カラーモード [カラー/白黒] [フルカラー] [白黒] [グレースケール] [混在] [自動(カラー/グレー)] [自動(カラー/白黒)]
送信元情報	送信元の情報が表示されます。 ファクス受信の場合 ファクス受信時に送信者名が設定されている場合、送信者名が表示されます。送信者番号のみが設定されている場合は、番号のみが表示されます。 送信元情報がなかったり、ファクス受信ではない場合は、[-----]が表示されます。 その他の場合は、[-----]が表示されます。  <b>参考</b> 送信元情報が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択すると送信元情報がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。

予約ジョブ状況画面

項目	説明
状況	ジョブの状態 [待機中]: 送信待機中
開始時刻	このジョブを開始する時間
ジョブ名	ジョブ名にあるジョブ名が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択するとジョブ名がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。
ジョブ種類	[ファクス]が表示されます。
ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名 ユーザー管理が無効の場合、[-----]が表示されます。
原稿ページ数	原稿ページ数
カラー/白黒	カラーモード [白黒]
宛先	宛先が表示されます。 ➡ <a href="#">宛先 (7-5ページ)</a>



## ジョブの履歴を確認する

### 参考

- ジョブ履歴はパソコンからCommand Center RXまたはKYOCERA Net Viewerを使って確認することもできます。
- ▶ [Command Center RX操作手順書](#)  
[KYOCERA Net Viewer操作手順書](#)
- すべてのユーザーのジョブ状況を表示したり、自分だけのジョブ状況を表示したりすることができます。
- ▶ [状況/履歴の表示 \(8-29ページ\)](#)  
この設定は、Command Center RXからも変更できます。
- ▶ [Command Center RX操作手順書](#)

### 確認できるジョブ履歴の種類

ジョブの履歴は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、ファクスジョブの4種類の履歴画面に分けて表示されます。各画面で確認できるジョブ履歴は次のとおりです。

履歴画面	表示されるジョブ履歴
印刷ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コピー印刷</li> <li>• プリンター印刷</li> <li>• ファクス受信印刷</li> <li>• メール受信印刷</li> <li>• 文書ボックスからの印刷</li> <li>• レポート/リスト印刷</li> <li>• 外部メディアのデータ印刷</li> <li>• アプリケーション印刷</li> </ul>
送信ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ファクス送信</li> <li>• メール送信</li> <li>• フォルダー送信</li> <li>• アプリケーション送信</li> <li>• 複合送信</li> <li>• ファクスサーバー送信</li> </ul>
保存ジョブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スキャン保存</li> <li>• ファクス保存</li> <li>• プリンター保存</li> </ul>
ファクスジョブ	▶ <a href="#">ファクス使用説明書</a>

## ジョブ履歴画面の表示

### 1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キー > [▲][▼]キー > [印刷ジョブ履歴]、[送信ジョブ履歴]、  
[保存ジョブ履歴]または[ファクスジョブ履歴] > [OK]キー



#### 参考



[ファクスジョブ履歴]は、次を参照してください。

▶ [ファクス使用説明書](#)

### 2 確認したいジョブを選択する

確認したいジョブを選択して、[詳細]を選択します。

各ジョブの右隣に、ジョブの結果を表すアイコンが表示されます。

- **OK**:ジョブは通常処理されました。
- :ジョブエラー
- :ジョブの中断



#### 参考

すべてのユーザーのジョブ履歴を表示したり、自分だけのジョブ履歴を表示したりすることができます。

▶ [状況/履歴の表示 \(8-29ページ\)](#)

また、この設定は、Command Center RXからも変更できます。

▶ [Command Center RX操作手順書](#)

### 3 ジョブ履歴を確認する

[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。

- ▶ [印刷ジョブ履歴 \(7-10ページ\)](#)
- ▶ [送信ジョブ履歴 \(7-11ページ\)](#)
- ▶ [保存ジョブ履歴 \(7-12ページ\)](#)

印刷ジョブ履歴

項目	説明
結果	ジョブの結果 [OK]: ジョブが完了しました。 [エラー]: エラーが発生しました。 [中止]: ジョブが中止されました。
受付時刻	ジョブの受付時刻
終了時刻	ジョブの終了時刻
ジョブ名	ジョブ名にあるジョブ名が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択するとジョブ名がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。
ジョブ種類	[コピー]: コピー印刷 [ファクス]: ファクス受信印刷 [ボックス]: 文書ボックスからの印刷 [プリンター]: プリンター印刷 [レポート]: レポート/リスト印刷 [メール]: メール受信印刷 [USB]: 外部メディアのデータ印刷
ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名 ユーザー管理が無効の場合、[-----]が表示されます。
ページと部数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 印刷ページ数</li> <li>• 印刷ページ数 / 総印刷ページ数</li> </ul>
原稿ページ数	原稿ページ数
送信元情報	送信元の情報が表示されます。 ➡ <a href="#">送信元情報 (7-4ページ)</a>

送信ジョブ履歴

項目	説明
結果	ジョブの結果 [OK]: ジョブが完了しました。 [エラー]: エラーが発生しました。 [中止]: ジョブが中止されました。
受付時刻	ジョブの受付時刻
終了時刻	ジョブの終了時刻
ジョブ名	ジョブ名にあるジョブ名が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択するとジョブ名がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。
ジョブ種類	[メール]: メール送信 [フォルダー]: PC(SMB/FTP)送信 [ファクス]: ファクス送信 [アプリケーション]: アプリケーション送信 [複合]: マルチ送信 [ファクスサーバー]: ファクスサーバー送信
ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名 ユーザー管理が無効の場合、[----]が表示されます。
原稿ページ数	原稿ページ数
カラー/白黒	カラーモード [カラー/白黒] [フルカラー] [白黒] [グレースケール] [混在]
宛先	送信先が表示されます。 ➡ <a href="#">宛先 (7-5ページ)</a>



参考

操作中にログインユーザー名入力画面が表示されたら、ログインしてください。

➡ [ログインする \(2-15ページ\)](#)

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

保存ジョブ履歴

項目	説明
結果	ジョブの結果 [OK]: ジョブが完了しました。 [エラー]: エラーが発生しました。 [中止]: ジョブが中止されました。
受付時刻	ジョブの受付時刻
終了時刻	ジョブの終了時刻
ジョブ名	ジョブ名にあるジョブ名が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択するとジョブ名がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。
ジョブ種類	[ファクス]: ファクス保存 [スキャン]: スキャン保存 [プリンター]: プリンター保存
ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名 ユーザー管理が無効の場合、[----]が表示されます。
原稿ページ数	原稿ページ数
カラー/白黒	カラーモード [カラー/白黒] [フルカラー] [白黒] [グレースケール] [混在]
送信元情報	送信元の情報が表示されます。 ▶ <a href="#">送信元情報 (7-6ページ)</a>

## ジョブ履歴を送信する

ジョブ履歴をメールで送信することができます。必要なときに手動で送信したり、件数を設定して定期的に自動送信することもできます。

▶ [ジョブ履歴 \(8-6ページ\)](#)

# ジョブの操作

## ジョブの一時停止と再開

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを一時停止/再開することができます。

### 1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

### 2 [一時停止]を選択する

印刷が一時停止します。

一時停止中のジョブの印刷を再開するときは、[再開]を選択します。



#### 参考

一時停止中に[戻る]キーあるいは[コピー]キーのような機能キーを選択すると、[一時停止中のジョブを再開します。よろしいですか?]と表示されます。[はい]を選択して、[OK]キーを選択すると、ジョブは再開され、次の画面が表示します。[いいえ]を選択して、[OK]キーを選択すると、ジョブは一時停止したまま次の画面が表示されます。

## ジョブをキャンセルする

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを中止することができます。

### 1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キー > [▲][▼]キー > [印刷ジョブ状況]、[送信ジョブ状況]、[保存ジョブ状況]または[予約ジョブ] > [OK]キー

### 2 キャンセルする

印刷ジョブの場合

1 キャンセルしたいジョブを選択して、[メニュー]を選択します。

2 [▲][▼]キー > [ジョブ中止] > [OK]キー > [はい]



#### 参考

ファクス受信ジョブを選択した場合、[ファクス受信ジョブは中止できません。]と表示され、ジョブを中止することができません。

送信ジョブ状況、保存ジョブ状況または予約ジョブの場合

1 キャンセルしたいジョブを選択して、[中止]を選択します。



#### 参考

[メニュー]を選択して、[ジョブ中止]を選択して、[OK]キーを選択すると、ジョブを中止することができます。

2 [はい]を選択します。

# デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する

本機を構成するデバイスや本機に接続されている機器/回線の状態を確認できます。

## 1 画面を表示する

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。
- 2 確認したい項目を選択します。[OK]キーを選択すると、選択した機器の状態が表示されます。

## 2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「スキャナー」

原稿読み込み状態や待機中などの状態が表示されます。

「プリンター」

待機中、印刷中などの状態が表示されます。

「ファクス」

- 送/受信中やダイヤル中などの情報が表示されます。
- [回線を切る]を選択すると、送/受信中のファクスを中止することができます。

➡ ファクス使用説明書

「USBメモリー」

- 本機に接続した外部メディアの使用量/全容量/空き容量が表示されます。
- [取り外し]を選択すると、外部メディアを安全に取り外すことができます。

「USBキーボード」

USBキーボードの状態が表示されます。

「ネットワーク接続」

ネットワークの接続状態が表示されます。

「Wi-Fi」

Wi-Fiの接続状態と本機のネットワーク名 (SSID)が表示されます。

# トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する

メッセージディスプレイで、トナーや用紙の有無を確認できます。

## 1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

## 2 確認する

[▲][▼]キー > [トナー状況]または[用紙状況] > [OK]キー

確認できる項目は、次のとおりです。

「トナー状況」

トナー残量が段階的に表示されます。

「用紙状況」

給紙元の状態を表示します。[▶]キーを選択すると次の給紙元が表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。



# 8 システムメニュー

この章では、次の項目について説明します。

本機の初期設定(システムメニュー) .....	8-2
操作方法 .....	8-2
システムメニューの項目 .....	8-3
レポート .....	8-5
システム/ネットワーク .....	8-7
ユーザー/部門管理 .....	8-17
ユーザー情報 .....	8-18
共通設定 .....	8-18
コピー .....	8-30
プリンター .....	8-31
送信 .....	8-33
ファクス .....	8-34
文書ボックス .....	8-34
宛先編集 .....	8-35
調整/メンテナンス .....	8-36

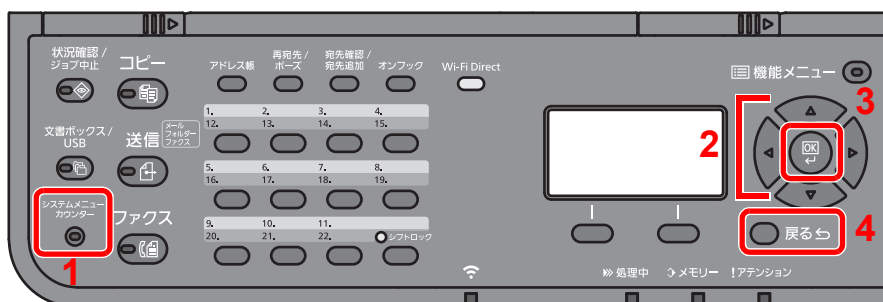
## 本機の初期設定(システムメニュー)

システムメニューは、本機の動作全般に関わる設定です。使用用途に応じて、工場出荷時の設定値を変更してください。

### 操作方法

[システムメニュー/カウンター]キーを選択すると、メッセージディスプレイに設定画面が表示されます。表示された設定を選択します。

#### ▶ 操作方法 (2-13ページ)



- 1 システムメニューの項目を表示します。
- 2 表示されている項目を選択したり、数値を変更します。
- 3 選択した設定を確定します。
- 4 現在の設定を取り消して、一つ上の階層に戻ります。

#### 参考

- 管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。  
ログインユーザー名: 4000  
ログインパスワード: 4000
- 機能初期値を変更した場合、各機能の画面で[リセット]キーを選択すると設定がすぐに切り替わります。

次のシステムメニューの項目を参照して、必要な設定を行ってください。

## システムメニューの項目

ここでは、システムメニューで設定できる機能を説明しています。システムメニューの項目を選択して、さらに設定項目を選択すると、設定を行うことができます。詳細については、次の表を参照してください。

システムメニューの項目	説明	参照ページ
レポート印刷	本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。	<a href="#">8-5ページ</a>
管理レポート設定		ファクス使用 説明書参照
結果通知設定		<a href="#">8-6ページ</a>
ジョブ履歴		<a href="#">8-6ページ</a>
カウンター	印刷ページ数および読み込みページ数を参照します。	<a href="#">2-43ページ</a>
ネットワーク設定	ネットワークに関する設定を行います。	<a href="#">8-7ページ</a>
優先ネットワーク	送信機能、ネットワーク認証および拡張アドレス帳の接続時に使用するネットワークを設定します。	<a href="#">8-16ページ</a>
I/Fブロック設定	USBホストなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。	<a href="#">8-16ページ</a>
セキュリティレベル	セキュリティレベルの設定は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。	—
再起動	電源スイッチを切ることなく、再起動できます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。	<a href="#">8-17ページ</a>
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。	<a href="#">8-17ページ</a>
ユーザー/部門管理	本機の管理に関する設定を行います。 ユーザー管理の詳細は、次を参照してください。 ➔ <a href="#">ユーザー管理を有効にする (9-3ページ)</a> 部門管理の詳細は、次を参照してください。 ➔ <a href="#">部門管理を有効にする (9-22ページ)</a>	—
ユーザー情報	現在ログインしているユーザーの情報の参照と、一部の情報を変更します。	<a href="#">8-18ページ</a>
言語選択	メッセージディスプレイに表示される言語を設定します。	<a href="#">8-18ページ</a>
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。	<a href="#">8-18ページ</a>
音設定	本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。	<a href="#">8-18ページ</a>
画面の明るさ	メッセージディスプレイの明るさを設定します。	<a href="#">8-19ページ</a>
原稿/用紙設定	原稿に関する設定を行います。	<a href="#">8-19ページ</a>
部数制限	1回でコピーできる部数を制限します。	<a href="#">8-23ページ</a>
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。	<a href="#">8-23ページ</a>
エラー処理設定	エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。	<a href="#">8-24ページ</a>
日時設定	日付や時間に関する設定を行います。	<a href="#">8-24ページ</a>
タイマー設定	時間に関する設定を行います。	<a href="#">8-25ページ</a>
機能初期値	電源を入れてウォームアップが終了した後や[リセット]キーを選択した後に、自動的に設定される内容を初期値と呼びます。 ここでは、コピー機能や送信機能など、本機で使用できる機能の初期値を設定することができます。よく使用する設定を初期値にしておけば、使用するたびに設定し直す必要がなく便利です。	<a href="#">8-26ページ</a>

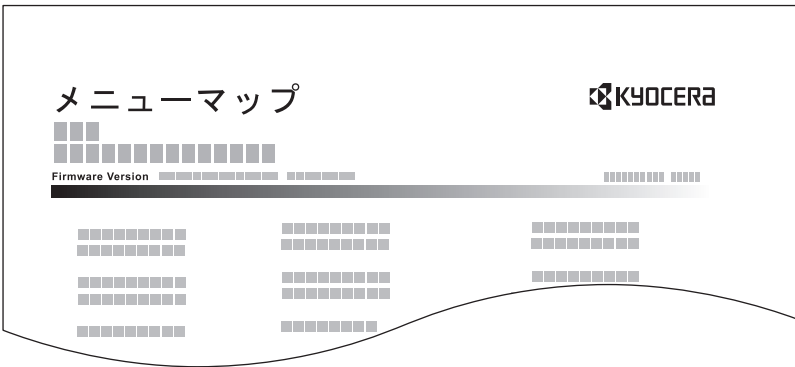
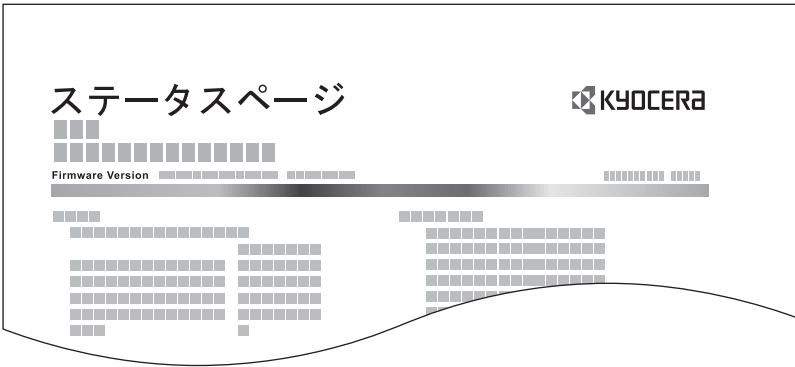
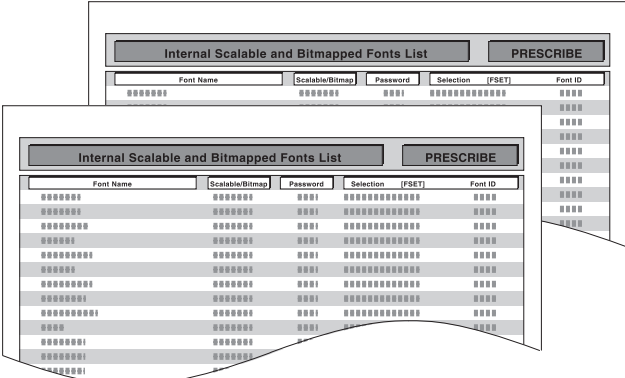
システムメニューの項目	説明	参照ページ
ログイン操作方法	ログイン時のログインユーザー名とパスワードを入力する画面を選択します。	<a href="#">8-28ページ</a>
RAMディスクモード	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。	<a href="#">8-28ページ</a>
SDカードフォーマット	SDカードをフォーマットします。	<a href="#">8-28ページ</a>
オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを選択します。	<a href="#">8-28ページ</a>
ファクスサーバー設定	ファクスサーバーに関する設定を行います。	<a href="#">8-17ページ</a>
状況/履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。	<a href="#">8-29ページ</a>
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。	<a href="#">8-29ページ</a>
電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。	<a href="#">8-29ページ</a>
節電設定	節電状態からの復帰方法を設定します。	<a href="#">8-29ページ</a>
コピー	コピー機能に関する設定を行います。	<a href="#">8-30ページ</a>
プリンター	パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。	<a href="#">8-31ページ</a>
送信	送信機能に関する設定を行います。	<a href="#">8-33ページ</a>
ファクス	ファクスに関する設定を行います。 ➡ <a href="#">ファクス使用説明書</a>	—
文書ボックス	ジョブボックスやFコードボックス、ポーリングボックスに関する設定を行います。 ➡ <a href="#">ファクス使用説明書</a>	<a href="#">8-34ページ</a>
宛先編集	アドレス帳とワンタッチキーの設定を行います。 アドレス帳の詳細は、次を参照してください。 ➡ <a href="#">アドレス帳の登録 (3-18ページ)</a> ワンタッチキーの詳細は、次を参照してください。 ➡ <a href="#">ワンタッチキーを登録する (3-26ページ)</a>	<a href="#">8-35ページ</a>
調整/メンテナンス	印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。	<a href="#">8-36ページ</a>

## レポート

本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。

### レポート印刷

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー

項目	説明
メニューマップ	<p>メニューマップを印刷します。本機の設定が確認できます。</p> 
ステータスページ	<p>ステータスページを印刷します。現在の設定内容、メモリー容量、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。</p> 
フォントリスト	<p>フォントリストを印刷します。本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。</p> 

## 管理レポート設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [管理レポート設定] > [OK]キー

ファクスの発信、または受信レポートの設定を行います。

▶ ファクス使用説明書

## 結果通知設定


[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [結果通知設定] > [OK]キー

項目	説明
送信結果	送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。
メール/フォルダー	メール/フォルダーの送信結果をレポートで印刷します。 設定値: 設定しない、設定する、エラー時のみ
ファクス	▶ ファクス使用説明書
送信前の中止通知 <sup>*1</sup>	送信を開始する前のジョブを中止した場合にレポートを印刷します。 設定値: 設定しない、設定する
宛先情報 <sup>*1</sup>	送信結果レポートの宛先の表示形式を設定します。 設定値: 宛先または名前、宛先および名前
ファクス受信結果	▶ ファクス使用説明書
ジョブ終了通知	ジョブ終了通知に画像を添付することができます。 設定値: 添付しない、送信画像の添付

\*1 [メール/フォルダー]と[ファクス]がどちらも[設定しない]の場合は表示されません。

## ジョブ履歴

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ジョブ履歴] > [OK]キー

項目	説明
自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、自動送信をするジョブ履歴の件数を設定してください。設定範囲は1~16件です。
履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。
宛先	ジョブ履歴を送信する宛先を設定します。設定できるアドレスはメールアドレスのみです。
件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値: 60 字以内
個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。 設定値: 含める、含めない

## システム/ネットワーク


本機のシステムについて設定します。

### ネットワーク設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク設定] > [OK]キー





ネットワークに関する設定を行います。

#### ホスト名

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。  <a href="#">デバイス情報を変更する (2-49ページ)</a>

#### Wi-Fiダイレクト設定





Wi-Fiダイレクトの設定を行います。

項目	説明
Wi-Fiダイレクト	Wi-Fiダイレクトを使用するかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する
デバイス名	デバイス名を設定します。  <b>参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字数は最大32文字までです。</li> <li>[Wi-Fiダイレクト]が[設定する]の場合に表示されます。</li> </ul>
IPアドレス	本機のIPアドレスを確認します。  <a href="#">TCP/IP設定 (8-9ページ)</a>  <b>参考</b> [Wi-Fiダイレクト]が[設定する]の場合に表示されます。
自動切断設定	Wi-Fiダイレクトで接続された機器を自動的に切断します。 <b>設定値:</b> 使用しない、使用する  <b>参考</b> [Wi-Fiダイレクト]が[設定する]の場合に表示されます。
自動切断時間	自動切断設定を設定した場合は、自動的に切断されるまでの時間を設定できます。 <b>設定値:</b> 0日0時0分～99日23時59分

#### Wi-Fi設定

Wi-Fiの設定を行います。

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fiを使用するかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する





項目	説明																				
セットアップ	—																				
接続の状態	無線LANの状態を確認できます。																				
簡単セットアップ	<p>ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。</p> <p> <b>参考</b></p> <p>WEPが設定されているアクセスポイントと接続する場合は、[WEPキーインデックス]を選択してWEPキーインデックスを選択してください。</p>																				
利用可能なネットワーク	<p>接続可能なアクセスポイントを選択して[OK]キーを選択し、WEPキーまたは事前共有キーを入力すると接続を開始します。</p> <p> <b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [更新]を選択すると、リストが更新されます。</li> <li>・ アクセスポイントのセキュリティー設定がWEPの場合は、[メニュー]を選択して[WEPキーインデックス]を設定してください。</li> </ul>																				
WEPキーインデックス	<p>アクセスポイントで設定しているキーインデックスの値を選択してください。</p> <p><b>設定値:</b>0~3</p>																				
プッシュボタン方式	<p>アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。</p> <p> <b>参考</b></p> <p>プッシュボタン式はWPSのみに対応しています。</p>																				
PIN方式(本体)	<p>本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。</p>																				
カスタムセットアップ	無線LANの詳細設定を変更できます。																				
ネットワーク名(SSID)	<p>本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier)を設定します。</p> <p> <b>参考</b></p> <p>文字数は最大32文字までです。</p>																				
ネットワーク認証	<p>ネットワーク認証の方式を選んでください。</p> <p><b>設定値:</b> オープンシステム、WPA2/WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA2/WPA-EAP、WPA2-EAP</p>																				
暗号化	<p>暗号化方式を設定します。ネットワーク認証の方式により設定値が異なります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ネットワーク認証</th> <th colspan="2">暗号化方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">オープンシステム</td> <td>無効</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>WEP</td> <td>WEPキー:26文字まで WEPキーインデックス:0~3</td> </tr> <tr> <td>WPA2/WPA-PSK</td> <td colspan="2">データの暗号化:AES、自動 事前共有キー:64文字まで</td> </tr> <tr> <td>WPA2-PSK</td> <td colspan="2">データの暗号化:AES 事前共有キー:64文字まで</td> </tr> <tr> <td>WPA2/WPA-EAP</td> <td colspan="2">データの暗号化:AES、自動</td> </tr> <tr> <td>WPA2-EAP</td> <td colspan="2">データの暗号化:AES</td> </tr> </tbody> </table>	ネットワーク認証	暗号化方式		オープンシステム	無効	—	WEP	WEPキー:26文字まで WEPキーインデックス:0~3	WPA2/WPA-PSK	データの暗号化:AES、自動 事前共有キー:64文字まで		WPA2-PSK	データの暗号化:AES 事前共有キー:64文字まで		WPA2/WPA-EAP	データの暗号化:AES、自動		WPA2-EAP	データの暗号化:AES	
ネットワーク認証	暗号化方式																				
オープンシステム	無効	—																			
	WEP	WEPキー:26文字まで WEPキーインデックス:0~3																			
WPA2/WPA-PSK	データの暗号化:AES、自動 事前共有キー:64文字まで																				
WPA2-PSK	データの暗号化:AES 事前共有キー:64文字まで																				
WPA2/WPA-EAP	データの暗号化:AES、自動																				
WPA2-EAP	データの暗号化:AES																				



項目	説明
TCP/IP設定	—
TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
IPv4設定	TCP/IP (IPv4)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[設定する]の場合に表示されます。
DHCP	DHCP (IPv4)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
IPアドレス	IPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[設定する]にしている場合は入力できません。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[設定する]にしている場合は入力できません。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[設定する]にしている場合は入力できません。

 **重要**

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

項目	説明
IPv6設定	TCP/IP (IPv6)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[設定する]の場合、表示されます。
IPv6設定	IPv6を使用するかどうかを設定します。 <b>設定値</b> : 設定しない、設定する  <b>参考</b> [設定する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[Link Local]にIPアドレスが表示されません。
手動設定	TCP/IP (IPv6)のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入力します。 <b>設定値</b> IPアドレス(手動): 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割 プレフィックス長: 0~128 デフォルトゲートウェイ: 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割  <b>参考</b> [IPv6設定]が[設定する]の場合に表示されます。 [デフォルトゲートウェイ]を入力する場合は、[RA (Stateless)]を[設定しない]に設定します。
RA (Stateless)	RA (Stateless)を使用するかどうかを設定します。 <b>設定値</b> : 設定しない、設定する  <b>参考</b> [IPv6設定]が[設定する]の場合に表示されます。 [設定する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス1(~5)]にIPアドレスが表示されます。
DHCPv6設定	DHCP (IPv6)サーバーを使用するかどうかを設定します。 <b>設定値</b> : 設定しない、設定する  <b>参考</b> [IPv6設定]が[設定する]の場合に表示されます。 [設定する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス]にIPアドレスが表示されます。
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します。

 **重要**

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

## 有線ネットワーク設定


有線ネットワークの設定を行います。

項目	説明
TCP/IP設定	設定値は次を参照してください。 ▶ <a href="#">TCP/IP設定 (8-9ページ)</a>
LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。 設定値: 自動、10BASE-T Half、10BASE-T Full、100BASE-T Half、100BASE-TX Full、1000BASE-T


### ☑ 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

## Bonjour



項目	説明
Bonjour	Bonjourを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	 参考
有線	[Bonjour]が[設定する]の場合に表示されます。

## IPSec

項目	説明
IPSec	IPSecを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [IPSec]を[設定する]に設定した場合、[ルール設定]を設定してください。








## プロトコル設定

プロトコルの設定を行います。

項目	説明
NetBEUI	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	 参考
有線	[NetBEUI]が[設定する]の場合に表示されます。
SNMPv3	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	 参考
有線	[SNMPv3]が[設定する]の場合に表示されます。

項目	説明
FTP(サーバー)	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効  参考 [FTP(サーバー)]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi	
有線	
FTP(クライアント)	FTPを使用して文書を送信するかどうかを設定します。設定が[設定する]の場合、FTPが使用するポート番号を設定できます。通常は、21を使用します。 設定値: 設定しない、設定する(ポート番号: 1~65535)
SMB	SMBを使用して文書を送信するかどうかを設定します。設定が[設定する]の場合、SMBが使用するポート番号を設定できます。通常は、445を使用します。 設定値: 設定しない、設定する(ポート番号: 1~65535)
SNMP	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効  参考 [SNMP]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi	
有線	
SMTP	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
POP3	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
RAW Port	Raw Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効  参考 [RAW Port]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi	
有線	
LPD	LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効  参考 [LPD]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi	
有線	
IPP	IPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。使用するには、Command Center RXからセキュリティー設定で[非セキュア(IPPSとIPP)]を選択してください。設定が[使用する]の場合、IPPが使用するポート番号が設定できます。通常は、631を使用します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する(ポート番号: 1~32767)
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効  参考 [IPP]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi	
有線	

項目	説明						
IPP over SSL	SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 <sup>*1*2</sup> <b>設定値:</b> 設定しない、設定する(ポート番号:1~32767)  <b>参考</b> 設定が[設定する]の場合、証明書のインストールが必要になります。  <a href="#">Command Center RX操作手順書</a>						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px;">Wi-Fi Direct</td> <td data-bbox="470 432 1503 488">           [詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。  <b>設定値:</b> 無効、有効         </td> </tr> <tr> <td>Wi-Fi</td> <td data-bbox="470 488 1503 544">  <b>参考</b> </td> </tr> <tr> <td>有線</td> <td data-bbox="470 544 1503 618">           [IPP over SSL]が[設定する]の場合に表示されます。         </td> </tr> </table>	Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 無効、有効	Wi-Fi	 <b>参考</b>	有線	[IPP over SSL]が[設定する]の場合に表示されます。	
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 無効、有効						
Wi-Fi	 <b>参考</b>						
有線	[IPP over SSL]が[設定する]の場合に表示されます。						
HTTP	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 <sup>*1</sup> <b>設定値:</b> 設定しない、設定する						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px;">Wi-Fi Direct</td> <td data-bbox="470 705 1503 761">           [詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。  <b>設定値:</b> 無効、有効         </td> </tr> <tr> <td>Wi-Fi</td> <td data-bbox="470 761 1503 817">  <b>参考</b> </td> </tr> <tr> <td>有線</td> <td data-bbox="470 817 1503 891">           [HTTP]が[設定する]の場合に表示されます。         </td> </tr> </table>	Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 無効、有効	Wi-Fi	 <b>参考</b>	有線	[HTTP]が[設定する]の場合に表示されます。	
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 無効、有効						
Wi-Fi	 <b>参考</b>						
有線	[HTTP]が[設定する]の場合に表示されます。						
HTTPS	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。 <sup>*1*2</sup> <b>設定値:</b> 設定しない、設定する						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px;">Wi-Fi Direct</td> <td data-bbox="470 978 1503 1034">           [詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。  <b>設定値:</b> 無効、有効         </td> </tr> <tr> <td>Wi-Fi</td> <td data-bbox="470 1034 1503 1090">  <b>参考</b> </td> </tr> <tr> <td>有線</td> <td data-bbox="470 1090 1503 1164">           [HTTPS]が[設定する]の場合に表示されます。         </td> </tr> </table>	Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 無効、有効	Wi-Fi	 <b>参考</b>	有線	[HTTPS]が[設定する]の場合に表示されます。	
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 無効、有効						
Wi-Fi	 <b>参考</b>						
有線	[HTTPS]が[設定する]の場合に表示されます。						
LDAP	LDAPを使用するかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する						

項目	説明
ThinPrint	ThinPrintを使用するかどうかを設定します。設定が[設定する]の場合、ThinPrintが使用するポート番号を設定できます。通常は4000を使用します。 <sup>*1*2</sup> 設定値: 設定しない、設定する(ポート番号: 1~32767)  参考 この機能は、オプションのThinPrint Optionが起動していない場合は表示されません。
Thin Print over SSL	Thin Print over SSLを使用するには、本設定で[設定する]を選択してください。 <sup>*1*2</sup> 設定値: 設定しない、設定する  参考 <ul style="list-style-type: none"> <li>[ThinPrint]が[設定する]の場合に表示されます。</li> <li>設定が[設定する]の場合、証明書のインストールが必要になります。</li> </ul> ▶ Command Center RX操作手順書
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	 参考 [ThinPrint]が[設定する]の場合に表示されます。
有線	
WSD-SCAN	WSDスキャンを使用するかどうかを設定します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	 参考 [WSD-SCAN]が[設定する]の場合に表示されます。
有線	
WSD-PRINT	弊社が独自に提供するWeb サービスを使用するかどうかを設定します。WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーはこのEnhanced WSDのWeb サービスを利用します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	 参考 [WSD-PRINT]が[設定する]の場合に表示されます。
有線	
Enhanced WSD	弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。 <sup>*1</sup> 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAX ドライバーが使用できません。
Wi-Fi Direct	[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
Wi-Fi	 参考 [Enhanced WSD]が[設定する]の場合に表示されます。
有線	

項目	説明
Enhanced WSD(SSL)	<p>弊社が独自に提供するWebサービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。<sup>*1*2</sup>  <b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p> <p> <b>参考</b>                      [設定しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーが使用できません。</p>
Wi-Fi Direct	<p>[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。  <b>設定値:</b> 無効、有効</p>
Wi-Fi	<p> <b>参考</b></p>
有線	<p>[Enhanced WSD(SSL)]が[設定する]の場合に表示されます。</p>
eSCL	<p>eSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。<sup>*1</sup>  <b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p>
Wi-Fi Direct	<p>[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。  <b>設定値:</b> 無効、有効</p>
Wi-Fi	<p> <b>参考</b></p>
有線	<p>[eSCL]が[設定する]の場合に表示されます。</p>
eSCL over SSL	<p>SSLで保護されたeSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。<sup>*1*2</sup>  <b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p>
Wi-Fi Direct	<p>[詳細]を選択して、各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。  <b>設定値:</b> 無効、有効</p>
Wi-Fi	<p> <b>参考</b></p>
有線	<p>[eSCL over SSL]が[設定する]の場合に表示されます。</p>

\*1 デバイスまたはネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

\*2 「セキュア設定」で「SSL」を[設定する]にしてください。

➡ [セキュア設定 \(8-15ページ\)](#)

 **重要**

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

セキュア設定

項目	説明
SSL	<p>通信にSSLを使用するかどうかを設定します。  <b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p>

Ping

項目	説明
Ping	<p>送信先のホスト名またはIPアドレスを入力することで、送信先と通信ができるかどうかを確認します。</p>

## ネットワークの再起動

項目	説明
ネットワークの再起動	本機のネットワークを再起動します。

## 優先ネットワーク


[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [優先ネットワーク] > [OK]キー

項目	説明
優先ネットワーク	送信機能、ネットワーク認証および拡張アドレス帳の接続時に使用するネットワークを設定します。 設定値: Wi-Fi、有線

## I/Fブロック設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [I/Fブロック設定] > [OK]キー

USBホストなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。

項目	説明
USBホスト	USBホストをブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする
USBデバイス	USBインターフェイスコネクタ(USBデバイス)をブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする
USBストレージ	USBメモリスロットをブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする  <b>参考</b> この機能は、USBホストを[ブロックしない]にしている場合に設定できます。

### 重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

## セキュリティレベル

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティレベル] > [OK]キー

項目	説明
セキュリティレベル	セキュリティのレベルを設定します。 設定値 低い: メンテナンス時に使用します。通常は使用しないでください。 高い: 弊社が推奨するセキュリティ設定です。通常はこの設定を使用してください。 最高: [高い]の状態に加えて、外部のコマンドから本体の設定を変更できないようにします。



## 再起動

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [再起動] > [OK]キー

項目	説明
再起動	電源スイッチを切ることなく、再起動できます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。



## オプション機能

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [オプション機能] > [OK]キー

項目	説明
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。 <a href="#">▶ オプションのアプリケーションについて (11-6ページ)</a>

## ファクスサーバー設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ファクスサーバー設定] > [OK]キー

項目	説明
ファクスサーバー	ファクスサーバーを使用するかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する
アドレス設定	宛先につけるプレフィックス、サフィックスおよびドメイン名を設定します。  <b>参考</b> ファクスサーバーの情報については、ファクスサーバーの管理者にお問い合わせください。
ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。 <b>設定値:</b> PDF、TIFF、XPS
アドレス帳初期設定	使用するアドレス帳を設定します。 <b>設定値:</b> アドレス帳、拡張アドレス帳  <b>参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファクスサーバーで[設定する]を設定している場合に表示されます。</li> <li>拡張アドレス帳が設定されていない場合、[拡張アドレス帳]は表示されません。</li> </ul> ▶ Command Center RX操作手順書

## ユーザー/部門管理

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

本機の管理に関する設定を行います。

- ▶ [ユーザー管理とは \(9-2ページ\)](#)
- [部門管理とは \(9-21ページ\)](#)
- [不明ユーザー処理方法を設定する \(9-37ページ\)](#)

## ユーザー情報

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー情報] > [OK]キー

現在ログインしているユーザーの情報の参照と、一部の情報を変更します。

▶ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

## 共通設定

本機全般について設定します。

### 言語選択

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [言語選択] > [OK]キー

項目	説明
言語選択	メッセージディスプレイに表示される言語を設定します。

### 初期画面

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [初期画面] > [OK]キー

項目	説明
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。 <b>設定値:</b> 状況確認、コピー、送信、ファクス、文書ボックス

### 音設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [音設定] > [OK]キー

項目	説明
ブザー	本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。
操作確認音	操作パネルのキーを選択したときに鳴る音です。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する
正常終了音	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する、ファクス受信時のみ
準備完了音	操作が可能になったときに鳴る音です。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する
注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する
キーボード確認音	USBキーボードの操作状況を知らせる音です。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する
ファクススピーカー音	▶ ファクス使用説明書
ファクスモニター音	▶ ファクス使用説明書

## 画面の明るさ


[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [画面の明るさ] > [OK]キー

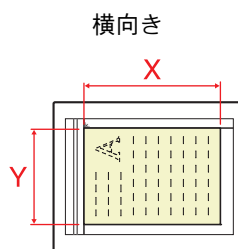
項目	説明
画面の明るさ	メッセージディスプレイの明るさを設定します。 設定値: 暗く -3、暗く -2、暗く -1、ふつう 0、明るく +1、明るく +2、明るく +3

## 原稿/用紙設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [原稿/用紙設定] > [OK]キー



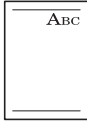

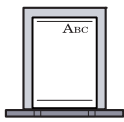


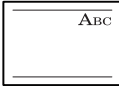

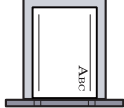
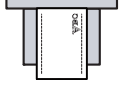

原稿に関する設定を行います。

項目	説明
カスタム原稿サイズ登録	よく使用する不定形の原稿サイズを、カスタムサイズとして登録します。 登録したサイズは、原稿サイズの選択時に表示されます。 設定値 センチ X: 50~356 mm(1 mm単位) Y: 50~216 mm(1 mm単位) インチ X: 1.97~14.02"(0.01"単位) Y: 1.97~8.50"(0.01"単位) X=長さ、Y=幅
原稿検知 (DP)	原稿送り装置で原稿サイズを自動検知するか選択します。
自動検知	原稿サイズを自動検知するかどうか設定します。 設定値: 設定しない、設定する
長さ単位系	原稿サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。 設定値: A系/B系、インチ系
LGL/OFII/216x340	LegalとOficioIIおよび216 × 340 mmはサイズが似ているため、原稿サイズを自動検知するときに、どちらとして検知するか設定します。 設定値: Legal、OficioII、216 × 340 mm  参考 [長さ単位系]が[A系/B系]の場合は表示されません。
原稿サイズ初期値	原稿サイズの初期値を設定します。 設定値: 設定しない <sup>*1</sup> 、A4、A5、A6、B5、B6、Letter、Statement、Executive、16K



\*1 「原稿検知 (DP)」の[自動検知]が[設定する]になっている場合に表示されます。

項目	説明
<p>カスタム用紙サイズ登録</p> <p>カセット1~3サイズ</p>	<p>よく使用する不定形の用紙サイズを、カスタムサイズとして登録します。カスタムサイズは各給紙元に1種類ずつ登録します。登録したサイズは、用紙サイズ選択時に表示されます。</p> <p>カセット1~3で使用するカスタムサイズを登録します。</p> <p><b>設定値</b> センチ X: 105~216 mm (1 mm単位) Y: 148~356 mm (1 mm単位) インチ X: 4.13~8.50" (0.01"単位) Y: 5.83~14.02" (0.01"単位)</p> <p>X=長さ、Y=幅</p> <p style="text-align: center;">縦向き</p> 
<p>手差しサイズ</p>	<p>手差しトレイで使用するカスタムサイズを登録します。</p> <p><b>設定値</b> センチ X: 70~216 mm (1 mm単位) Y: 148~356 mm (1 mm単位) インチ X: 2.76~8.50" (0.01"単位) Y: 5.83~14.02" (0.01"単位)</p> <p>X=長さ、Y=幅</p> <p style="text-align: center;">縦向き                      横向き</p> 
<p>カセット1~3設定</p>	<p>カセット1~3で使用する用紙サイズと種類を選択します。</p> <p>➡ <a href="#">カセット1~3設定 (8-22ページ)</a></p>
<p>手差し設定</p>	<p>手差しトレイで使用する用紙サイズと種類を選択します。</p> <p>➡ <a href="#">手差し設定 (8-22ページ)</a></p>
<p>用紙種類の設定</p>	<p>それぞれの用紙種類に対して、重さ(用紙の厚さ)を設定します。また、カスタム1~8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。</p> <p>➡ <a href="#">用紙種類の設定について (8-23ページ)</a></p>
<p>自動選択の用紙</p>	<p>用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される用紙を用紙の種類で限定することができます。例えば[普通紙]を選択すると、指定したサイズの普通紙がセットされている給紙元が選択されます。[全用紙種類]を選択すると、用紙の種類に関係なく、指定したサイズの用紙がセットされた給紙元が選択されます。</p> <p><b>設定値:</b> 全用紙種類、普通紙、OHPフィルム、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ポンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、上質紙、カスタム1~8</p>

項目	説明
優先給紙元	<p>優先して使用する給紙元を設定します。  <b>設定値:</b>カセット1~3、手差しトレイ</p> <p> <b>参考</b></p> <p>[カセット2]~[カセット3]はオプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。</p>
特定用紙種類動作	<p>パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドに印刷するとき、原稿のセット方法やコピー機能の組み合わせによっては、穴の位置が揃わなかったり、天地が逆に印刷されたりすることがあります。そのようなときに、この設定で[印刷方向合わせ]を選択し、仕上がりの向きを揃えます。仕上がりの用紙の天地が逆になっても問題がない場合は、[速度優先]を選択します。</p> <p>[印刷方向合わせ]を選択した場合は、次の方法で用紙を補給してください。</p> <p>例:レターヘッドにコピーする場合</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  原稿         </div> <div style="text-align: center;">  用紙         </div> <div style="text-align: center;">  仕上がり         </div> <div style="text-align: center;">  カセット         </div> <div style="text-align: center;">  手差しトレイ         </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  原稿         </div> <div style="text-align: center;">  用紙         </div> <div style="text-align: center;">  仕上がり         </div> <div style="text-align: center;">  カセット         </div> <div style="text-align: center;">  手差しトレイ         </div> </div> <p><b>設定値:</b>印刷方向合わせ、速度優先</p>
用紙セット時の確認	<p>用紙をセットした時に、用紙設定の確認画面を表示するかどうかを各カセットごとに設定します。</p> <p><b>設定値:</b>設定しない、設定する</p> <p> <b>参考</b></p> <p>[カセット2]~[カセット3]はオプションのペーパーフィーダーが装着されているときに表示されます。</p>

### カセット1~3設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [原稿/用紙設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [カセット1~3設定] > [OK]キー

カセット1~3の用紙サイズと用紙種類について設定します。

項目	説明
カセット1~3サイズ	用紙サイズを選択します。 設定値: A4、A5-R、A5、A6、B5、Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II、Folio、216 × 340 mm、16K、ISO B5、カスタム
カセット1~3タイプ <sup>*1</sup>	用紙種類を選択します。 設定値: 普通紙(60~105 g/m <sup>2</sup> )、再生紙、プレプリント <sup>*2</sup> 、ポンド紙、カラー紙、パンチ済み紙 <sup>*2</sup> 、レターヘッド <sup>*2</sup> 、厚紙(106~163 g/m <sup>2</sup> )、上質紙、カスタム1~8

\*1 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

▶ [用紙種類の設定について \(8-23ページ\)](#)

用紙種類の設定で、用紙の重さがカセットから給紙できない重さに設定されている場合、用紙種類は表示されません。

\*2 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

▶ [特定用紙種類動作 \(8-21ページ\)](#)

### 手差し設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [原稿/用紙設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [手差し設定] > [OK]キー

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類について設定します。

項目	説明
手差しサイズ	用紙サイズを選択します。 設定値: A4、A5-R、A5、A6、B5、B6、Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II、Folio、216 × 340 mm、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム <sup>*1</sup>
手差しタイプ <sup>*2</sup>	用紙種類を選択します。 設定値: 普通紙(60~105 g/m <sup>2</sup> )、OHP フィルム、ラベル紙、再生紙、プレプリント <sup>*3</sup> 、ポンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙 <sup>*3</sup> 、レターヘッド <sup>*3</sup> 、封筒、厚紙(106~220 g/m <sup>2</sup> )、上質紙、カスタム1~8

\*1 カスタム用紙サイズについては、次を参照してください。

▶ [カスタム用紙サイズ登録 \(8-20ページ\)](#)

\*2 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

▶ [用紙種類の設定について \(8-23ページ\)](#)

\*3 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

▶ [特定用紙種類動作 \(8-21ページ\)](#)

### 用紙種類の設定について

各用紙種類に設定できる用紙の重さは次のとおりです。

用紙の重さ	秤量(g/m <sup>2</sup> )、用紙種類	用紙の重さ	秤量(g/m <sup>2</sup> )、用紙種類
軽い	59 g/m <sup>2</sup> 以下	重い <sup>*1</sup>	106 g/m <sup>2</sup> ~135 g/m <sup>2</sup>
普通1	60 g/m <sup>2</sup> ~74 g/m <sup>2</sup>	重い <sup>2*</sup>	136 g/m <sup>2</sup> ~163 g/m <sup>2</sup>
普通2	75 g/m <sup>2</sup> ~90 g/m <sup>2</sup>	重い <sup>3*</sup>	164 g/m <sup>2</sup> ~220 g/m <sup>2</sup>
普通3	91 g/m <sup>2</sup> ~105 g/m <sup>2</sup>	非常に重い <sup>*1</sup>	OHPフィルム

\*1 通常よりも処理スピードが遅くなります。

各用紙種類に設定されている重さの初期値は次のとおりです。

用紙種類	初期値	用紙種類	初期値
普通紙	普通1	パンチ済み紙	普通1
ラベル紙	重い2	レターヘッド	普通3
再生紙	普通1	封筒	重い3
プレプリント	普通2	厚紙	重い2
ポンド紙	普通3	上質紙	普通1
はがき	重い3	カスタム1~8	普通1
カラー紙	普通1		

また、カスタム1~8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。

項目		説明
両面	許可	両面印刷できます。
	禁止	両面印刷は禁止されます。
名前		カスタム1~8の名前を変更します。16文字以内で入力できます。手差しトレイに用紙種類を選択するときなどに、変更した名前が表示されます。 ▶ <a href="#">文字の入力(11-8ページ)</a>

### 部数制限

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部数制限] > [OK]キー

項目	説明
部数制限	1回でコピーできる部数を制限します。 設定値: 1~999部

### 入力長さ単位

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [入力長さ単位] > [OK]キー

項目	説明
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。 設定値: inch, mm


## エラー処理設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [エラー処理設定] > [OK]キー  
 エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。

項目	説明
両面用紙エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を設定します。 <b>設定値</b> 片面:片面印刷で印刷します。 エラーで停止:メッセージが表示され、印刷を停止します。
用紙ミスマッチエラー	カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しない場合の処理方法を設定します。 <b>設定値</b> 無視する:設定を無視して印刷します。 エラーで停止:メッセージが表示され、印刷を停止します。

## 日時設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日時設定] > [OK]キー  
 日付や時間に関する設定を行います。

項目	説明
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 <b>設定値:</b> 年(2000~2037)、月(1~12)、日(1~31)、時(00~23)、分(00~59)、秒(00~59) ▶ <a href="#">日付と時刻を設定する (2-17ページ)</a>  <b>参考</b> 日付/時刻を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 <b>設定値:</b> 月/日/年、日/月/年、年/月/日
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。 ▶ <a href="#">日付と時刻を設定する (2-17ページ)</a>
サマータイム	



## タイマー設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [タイマー設定] > [OK]キー

時間に関する設定を行います。

項目	説明
オートパネルリセット	<p>オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。ここでは、オートパネルリセットを使用するかどうかを設定します。</p> <p><b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p> <p> <b>参考</b></p> <p>リセットされるまでの時間は、次を参照してください。</p> <p>▶ <a href="#">パネルリセット時間 (8-25ページ)</a></p>
パネルリセット時間	<p>オートパネルリセットを設定した場合は、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。</p> <p><b>設定値:</b> 5～495秒(5秒単位)</p> <p> <b>参考</b></p> <p>[オートパネルリセット]が[設定する]の場合に表示されます。</p>
スリープレベル	<p>スリープレベルを設定します。</p> <p>節電優先を設定すると、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えることができます。</p> <p><b>設定値:</b> 復帰優先、節電優先</p>
節電優先	<p>次の機能別に、節電優先を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク接続時</li> <li>・ICカードリーダ接続時<sup>*1</sup></li> <li>・ファクス接続時</li> </ul> <p><b>設定値:</b> 使用しない、使用する</p> <p> <b>参考</b></p> <p>節電優先のスリープモードに入ると、ICカードは認識しません。</p>
スリープ時間	<p>スリープに入る時間を設定します。</p> <p><b>設定値:</b> 1～240分(1分単位)</p> <p>▶ <a href="#">スリープとは (2-27ページ)</a></p>
エラー後自動継続	<p>処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。エラー後自動継続は、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。</p> <p><b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p>
エラー後継続時間	<p>エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。</p> <p><b>設定値:</b> 5～495秒(5秒単位)</p> <p> <b>参考</b></p> <p>[エラー後自動継続]が[設定する]の場合に表示されます。</p>
使用禁止時刻設定	<p>受信したファクスの印刷を禁止する時間帯を設定します。</p> <p>▶ <a href="#">ファクス使用説明書</a></p>
Pingタイムアウト時間	<p>「システム/ネットワーク」の[Ping]を実行した場合、タイムアウトになるまでの時間を設定します。</p> <p><b>設定値:</b> 1～30秒(1秒単位)</p>

\*1 オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。

## 機能初期値

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [機能初期値] > [OK]キー

項目	説明
カラー選択	原稿を読み込むときのカラーモードの初期値を設定します。 設定値: 自動(カラー/グレー)、自動(カラー/白黒)、フルカラー、グレースケール、白黒
読み込み解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。 設定値: 200×100 dpi ノーマル、200×200 dpi ファイン、200×400 dpi Sファイン、300×300 dpi、400×400 dpi Uファイン、600×600 dpi
ファクス解像度	▶ ファクス使用説明書
原稿画質(コピー)	原稿の画質(コピー時)の初期値を設定します。 設定値: 文字+写真、写真、文字、図表/地図
原稿画質(送信)	原稿の画質(送信時)の初期値を設定します。 設定値: 文字+写真、写真、文字、OCR用、うすい文字/細線  参考 [OCR用]はカラー選択で、[自動(カラー/白黒)]または[白黒]選択時のみ利用できます。
縮小/拡大	縮小/拡大の初期値を設定します。 設定値: 100%、自動
ソート	ソートの初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
原稿セット向き	原稿セット向きの初期値を設定します。 設定値: 上辺を奥向き、上辺を左向き
地色調整(コピー)	地色調整(コピー時)の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、自動、手動(こく 5)
地色調整(送信)	地色調整(送信時)の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、自動、手動(こく 5)
エコプリント	エコプリントの初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
白紙スキップ(コピー)	白紙スキップ(コピー)の初期状態を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
白紙スキップ(送信)	白紙スキップ(送信)の初期状態を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
文書名入力	ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前(名前の初期値)を設定します。また付加情報として、日付とジョブ番号の有無も設定できます。 設定値 文書名: 32文字以内で入力できます。 付加情報: なし、日付、ジョブ番号、ジョブ番号+日付、日付+ジョブ番号
件名/本文	読み込んだ原稿をメールで送信するときに、自動的に入力される件名と本文(件名と本文の初期値)を設定します。 設定値 件名: 60文字以内で入力できます。 本文: 500文字以内で入力できます。
連続読込-Copy	連続読み込み(コピー)の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
連続読込-FAX	▶ ファクス使用説明書

項目	説明
連続読込-Other	コピー、ファクス以外の連続読み込み初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。 設定値: PDF、TIFF、XPS、JPEG、OpenXPS、高圧縮PDF
ファイル分割	ファイル分割の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、ページごと
JPEG/TIFF印刷	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ(解像度)の初期値を設定します。 設定値: 用紙サイズ、画像解像度、印刷解像度
XPS印刷サイズ調整	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
詳細設定	—
2 in 1 レイアウト	ページ集約で、2 in 1 レイアウトを選んだ場合の初期値を設定します。 設定値: 左→右、上→下、右→左、下→上
4 in 1 レイアウト	ページ集約で、4 in 1 レイアウトを選んだ場合の初期値を設定します。 設定値: 左上→右、左上→下、右上→左、右上→下
境界線	ページ集約の境界線の初期値を設定します。 設定値: なし、実線、点線、マーク
原稿とじ方向	両面読み込みで原稿のとじ方向初期値を設定します。 設定値: 左/右とじ、上とじ
仕上がりとじ方向	両面印刷で仕上がりのとじ方向初期値を設定します。 設定値: 左/右とじ、上とじ
画質	PDF/TIFF/JPEG/XPS/OpenXPSファイルの画質の初期値を設定します 設定値: 1 低画質(高圧縮)～5 高画質(低圧縮)
カラーTIFF 圧縮方式	TIFF 画像の圧縮方式の初期値を設定します。 設定値: TIFF V6、TTN2
PDF/A	PDF/A の初期値を設定します 設定値: 設定しない、PDF/A-1a、PDF/A-1b
高圧縮PDF	ファイル形式が高圧縮PDF のときの、画質の初期値を設定します。 設定値: 圧縮率優先、標準、画質優先
白紙レベル(コピー)	白紙検知レベル(コピー)の初期値を設定します。 設定値: 弱、中、強
白紙レベル(送信)	白紙検知レベル(送信)の初期値を設定します。 設定値: 弱、中、強

## ログイン操作方法

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ログイン操作方法] > [OK]キー

設定項目	説明
ログイン操作方法	ログイン時のログインユーザー名とパスワードを入力する画面を選択します。 <b>設定値:</b> テンキー入力、文字選択

## RAMディスクモード

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [RAMディスクモード] > [OK]キー

項目	説明
RAMディスクモード	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。 RAMディスクを作成することによって、ジョブボックスからプリントデータを印刷することができます。 <b>設定値</b> RAMディスクモード:設定しない、設定する RAMディスクサイズ:搭載されているメモリーのサイズやオプションメモリー使用量の設定によって設定範囲が変わります。

 **重要**

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

## SDカードフォーマット

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [SDカードフォーマット] > [OK]キー

SDカードをフォーマットします。

SDカードを使用するためには、最初に本機でSDカードをフォーマットする必要があります。

 **重要**

SDカードをフォーマットすると、データはすべて消去されます。

## オプションメモリー使用量

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [オプションメモリー使用量] > [OK]キー

項目	説明
オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを選択します。 <b>設定値:</b> 標準、プリンター優先、コピー優先

 **重要**

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

## 状況/履歴の表示


[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [状況/履歴の表示] > [OK]キー

状況/履歴の表示を設定します。

項目	説明
ジョブ状況の詳細	設定値:すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
ジョブ履歴	設定値:すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
ファクス通信履歴	設定値:すべて表示、表示しない

## トナー残量少の通知

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [トナー残量少の通知] > [OK]キー

項目	説明
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。 設定値:設定しない、設定する  参考 [設定しない]を選択した場合は、トナー残量が5%になると通知します。 [設定する]を選択した場合は、通知するトナー残量を設定してください。設定範囲は5~100% (1%単位)です。

## 電源オフ時の確認

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [電源オフ時の確認] > [OK]キー

項目	説明
電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか設定します。 設定値:設定しない、設定する

## 節電設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [節電設定] > [OK]キー

項目	説明
復帰レベル	節電状態からの復帰方法を設定します。 設定値: 全体復帰: すべての機能をすぐに使えるよう復帰するモードです。ただし、節電効果は低いです。 通常復帰: すべての機能をすぐに使えるよう復帰するか、使用したい機能のみ使えるよう復帰するか、操作に応じて使い分けができるモードです。すべての機能をすぐに使いたい場合は、電源スイッチを押すと復帰します。 省電力復帰: 使用したい機能のみ使えるよう復帰するモードです。節電効果が一番高いです。

## コピー

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [コピー] > [OK]キー


コピー機能に関する設定を行います。




項目	説明
用紙選択	用紙の選択方法を設定します。 <b>設定値:</b> 自動、優先給紙元
自動用紙動作設定	用紙選択が[自動]に設定されている場合に、縮小/拡大の倍率を変更したときの、用紙サイズの選択方法を設定します。 <b>設定値</b> 最適サイズ: 原稿サイズと倍率に応じて、最適な用紙サイズが選択されます。 原稿サイズと同じ: 倍率にかかわらず、原稿と同じ用紙サイズが選択されます。
自動倍率優先	原稿と違うサイズの給紙元を意図的に選択した場合に、自動的に倍率を変更(縮小/拡大)するかどうかを設定します。 <b>設定値:</b> 設定しない、設定する
原稿送り装置動作	原稿送り装置を使用して原稿を読み込む際の動作を設定します。 <b>設定値</b> 速度優先: 読み込み速度を優先します。 画質優先: 読み込み速度を少し抑え、原稿の画質を優先します。
選択キー設定	選択キーによく使うコピー機能を登録することができます。選択キーを選択することで簡単に設定することができます。 <b>設定値:</b> なし、用紙選択、ソート、両面、縮小/拡大、ページ集約、原稿サイズ、原稿セット向き、原稿サイズ混載、原稿の画質、濃度、エコプリント、連続読み込み、文書名入力、ジョブ終了通知、優先印刷、シャープネス、コントラスト、地色調整、白紙ページスキップ

## プリンター

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [プリンター] > [OK]キー

パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。

項目	説明
エミュレーション設定	<p>本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。  <b>設定値:</b> NEC PC-PR201、IBM5577、EPSON VP1000、PCL6、KPDL、KPDL(自動)</p> <p> <b>参考</b>            [KPDL]または[KPDL(自動)]を選択した場合は、「KPDLエラーレポート」の設定も行ってください。</p>
代替エミュレーション	<p>エミュレーションモードに[KPDL(自動)]を選択すると、印刷するデータに応じてKPDLともう1つのエミュレーションモード(代替エミュレーション)を自動的に切り替えることができます。  <b>設定値:</b> NEC PC-PR201、IBM5577、EPSON VP1000、PCL6</p>
KPDLエラーレポート	<p>KPDLエミュレーションモードで印刷中にエラーが発生した場合に、エラーレポートを出力するかどうかを設定します。  <b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p>
エコプリント	<p>エコプリントとは、トナーの消費量を抑える機能です。ただし印刷は薄くなりますので、試し印刷などのときに設定してください。  <b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p>
A4/LTR共通使用	<p>サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。  <b>設定値</b>            設定しない:A4サイズとLetterサイズは共通サイズとみなされません。            設定する:A4サイズとLetterサイズが共通サイズとみなされます。どちらかのサイズが給紙元にあれば給紙されます。</p>
両面	<p>両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。  <b>設定値:</b> 設定しない、長辺とじ、短辺とじ</p>
部数	<p>印刷部数を1~999部まで設定します。  <b>設定値:</b> 1~999部</p>
印刷向き	<p>印刷方向を[たて]または[よこ]に設定します。  <b>設定値:</b> たて、よこ</p>
ワイドA4	<p>この設定を[設定する]にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します(10 cpi)。この設定はPCL6のエミュレーションでのみ有効になります。  <b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p>
改ページ待ち時間	<p>本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がないと、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ(印刷)を行います。この待ち時間を5~495秒の範囲で設定します。  <b>設定値:</b> 5~495秒(5秒単位)</p>
改行(LF)動作	<p>本機が改行コード(文字コード0AH)を受信したときの動作を設定します。  <b>設定値:</b> 改行(LF)のみ、改行(LF)+(CR)、改行(LF)を無視</p>
復帰(CR)動作	<p>本機が復帰コード(文字コード0DH)を受信したときの動作を設定します。  <b>設定値:</b> 復帰(CR)のみ、改行(LF)+(CR)、復帰(CR)を無視</p>


項目	説明
ジョブ名	<p>プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。</p> <p><b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p> <p> <b>参考</b></p> <p>[設定する]を選択した場合は、使用するジョブ名を[ジョブ名]、[番号+ジョブ名]、[ジョブ名+番号]の中から選択してください。</p>
ユーザー名	<p>プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。</p> <p><b>設定値:</b> 使用しない、使用する</p>
印刷範囲補正	<p>プリンターの印刷範囲を補正します。用紙の全面に4.2 mmの非印刷領域があります。アプリケーションによっては、印刷位置が意図したものと異なる場合があります。この場合には印刷位置を補正して、印刷位置を縦横方向にずらすことができます。</p> <p><b>設定値</b></p> <p>たて:-76.0~+76.0 mm</p> <p>よこ:-76.0~+76.0 mm</p>
手差しトレイ優先	<p>手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。</p> <p><b>設定値</b></p> <p>設定しない:プリンタードライバーの設定に従います。</p> <p>自動給紙時:プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。</p> <p>常時:手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイから給紙します。</p>
給紙指定動作設定	<p>パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。</p> <p><b>設定値</b></p> <p>自動:用紙サイズおよび用紙種類にあわせて給紙元を選択し、印刷します。</p> <p>固定:選択した給紙元の用紙で印刷します。</p>
自動カセット切替	<p>印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択します。</p> <p><b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p> <p> <b>参考</b></p> <p>[設定しない]を選択すると、用紙がなくなった場合、「カセット○に用紙を補給してください。」(○はカセットの番号)または「手差しトレイに用紙を補給してください。」と表示して印刷を停止します。</p> <p>メッセージに表示されたカセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。</p> <p>他のカセットから印刷する場合は、[用紙]を選択します。給紙元を選択して、[OK]キーを選択します。</p> <p>[設定する]を選択すると、用紙がなくなっても、用紙サイズと種類が一致する他のカセットがあるときは、印刷を自動的に継続します。</p>
解像度	<p>印刷時の解像度を設定します。</p> <p><b>設定値:</b> 300 dpi、600 dpi、Fine1200、Fast1200</p> <p> <b>参考</b></p> <p>操作パネルの設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。</p>
KIR	<p>本機には、スムージング機能が搭載されています。スムージングを設定すると、9600 dpi 相当(600dpi×15 階調)×600 dpi のなめらかな印刷を実現できます。</p> <p><b>設定値:</b> 設定しない、設定する</p>



## 送信

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [送信] > [OK]キー

送信機能に関する設定を行います。

項目	説明
選択キー設定	<p>選択キーによく使う送信機能を登録することができます。選択キーを選択することで簡単に設定することができます。</p> <p><b>設定値:</b>なし、カラー選択、原稿サイズ、原稿の画質、読み込み解像度、送信サイズ、縮小/拡大、原稿セット向き、原稿サイズ混載、連続読み込み、ファイル形式、文書名入力、件名/本文、ジョブ終了通知、ファクス解像度、ファクスダイレクト送信、ファクスタイマー送信、ファクスポーリング受信、ファクス送信レポート、濃度、両面、FTP暗号送信、ファイル分割、シャープネス、コントラスト、地色調整、白紙ページスキップ</p>
宛先確認	宛先確認画面を表示するかどうかを設定します。 <sup>*1</sup>
送信前の確認	<p>送信するとき、[スタート]キーを押した後に宛先確認画面を表示するかどうかを設定します。</p> <p><b>設定値:</b>設定しない、設定する</p>
新規宛先の確認	<p>新規で宛先を入力するとき、確認のために、宛先を再入力させるかどうかを設定します。</p> <p><b>設定値:</b>設定しない、設定する</p>
新規宛先の入力	<p>宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。</p> <p><b>設定値:</b>許可、禁止<sup>*1</sup></p>
再宛先	<p>送信画面の[再宛先]の使用を許可するかどうかを設定します。<sup>*1</sup></p> <p><b>設定値:</b>許可、禁止</p>
初期画面	<p>[送信]キーを選択すると、最初に表示される画面を設定します。</p> <p><b>設定値:</b>宛先、アドレス帳</p>
送信控え転送	送信するとき、原稿を同時に別の宛先に転送するかどうかを設定します。
転送	<p>原稿を転送するかどうかを設定します。</p> <p><b>設定値:</b>使用しない、使用する</p> <p> <b>参考</b></p> <p>[使用する]を選択した場合は、転送する条件を[メール]、[フォルダー(SMB)]、[フォルダー(FTP)]、[ファクス]の中から選択してください。</p>
宛先	<p>原稿を転送する宛先を設定します。設定できる宛先は1件のみです。また、設定している宛先の確認および編集ができます。</p> <p>宛先の登録方法は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アドレス帳</li> <li>• アドレス入力</li> </ul> <p>▶ <a href="#">宛先を確認または変更する (5-33ページ)</a></p>

\*1 ファクスの送信時にも適用されます。

## ファクス

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ファクス] > [OK]キー


ファクスに関する設定を行います。

▶ ファクス使用説明書

## 文書ボックス

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [文書ボックス] > [OK]キー

ジョブボックスやFコードボックス、ポーリングボックスに関する設定を行います。

項目	説明
Fコードボックス	▶ ファクス使用説明書
ジョブボックス	ジョブボックスに関する設定を行います。
クイックコピー保持数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。 設定値:0 ~300の範囲  参考 0を設定するとクイックコピーは使用できません。
一時保存文書消去	ジョブボックスのプライベートプリント、クイックコピー、試し刷り後保留の一時保存文書を、保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。 設定値:設定しない、1時間、4時間、1日、1週間  参考 この機能は、設定後に保存した文書に有効です。この機能の設定に関わらず、電源スイッチを切ると一時保存文書は消去されます。
ポーリングボックス	▶ ファクス使用説明書
選択キー設定	選択キーによく使う印刷や保存機能を登録することができます。印刷時と保存時に使用する機能をどちらも登録することができます。選択キーを選択することで簡単に設定することができます。 設定値 印刷:なし、ソート <sup>*1</sup> 、用紙選択 <sup>*1</sup> 、両面 <sup>*1</sup> 、エコプリント <sup>*1</sup> 、文書名入力、ジョブ終了通知、優先印刷、暗号化PDF <sup>*1</sup> 、JPEG/TIFF印刷 <sup>*1</sup> 、XPS印刷サイズ調整 <sup>*1</sup> 、印刷後削除 <sup>*2</sup> 保存:なし、カラー選択 <sup>*3</sup> 、原稿サイズ、原稿の画質、読み込み解像度、保存サイズ <sup>*3</sup> 、縮小/拡大 <sup>*3</sup> 、原稿セット向き、原稿サイズ混載、連続読み込み、ファイル形式 <sup>*3</sup> 、ファイル分割 <sup>*3</sup> 、文書名入力、ジョブ終了通知、濃度、両面、シャープネス <sup>*3</sup> 、コントラスト <sup>*3</sup> 、地色調整 <sup>*3</sup> 、白紙ページスキップ

\*1 USBメモリーからの印刷時に表示されます。

\*2 Fコードボックスからの印刷時に表示されます。

\*3 ポーリングボックスへの保存時には表示されません。

## 宛先編集

### アドレス帳

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [宛先編集] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [アドレス帳] > [OK]キー

アドレス帳に関する設定を行います。

▶ [アドレス帳に宛先を登録する \(3-18ページ\)](#)

### リスト印刷

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [宛先編集] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [リスト印刷] > [OK]キー


▶ ファクス使用説明書

### アドレス帳初期設定

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [宛先編集] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [アドレス帳初期設定] > [OK]キー

#### 参考

この機能は、拡張アドレス帳が設定されていない場合、表示されません。

設定項目	説明
アドレス帳	アドレス帳を表示したときに、表示するアドレス帳の種類を設定します。 設定値: 本体アドレス帳、拡張アドレス帳  参考 拡張アドレス帳については、次を参照してください。 ▶ <a href="#">Command Center RX操作手順書</a>

## 調整/メンテナンス

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [調整/メンテナンス] > [OK]キー

印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。

項目	説明
コピー濃度調整	コピーの濃度を全体的にこく、またはうすくします。 設定値:-3 うすく、-2、-1、0 標準、+1、+2、+3 こく
送信/ボックス濃度	送信および文書ボックスに保存するときの読み込み濃度を、全体的にこく、またはうすくします。 設定値:-3 うすく、-2、-1、0 標準、+1、+2、+3 こく
コントラスト(コピー)	コピー時のコントラストを全体的に高く、または低くします。 設定値:-3、-2、-1、0、1、2、3
コントラスト(送信)	送信するときのコントラストを全体的に高く、または低くします。 設定値:-3、-2、-1、0、1、2、3
地色調整	地色調整を全体的にこく、またはうすくします。
コピー(自動)	コピー時の地色調整を全体的にこく、またはうすくします。 設定値:-3 うすく、-2、-1、0 標準、+1、+2、+3 こく
送信/ボックス(自動)	送信および文書ボックスに保存するときの地色調整を、全体的にこく、またはうすくします。 設定値:-3 うすく、-2、-1、0 標準、+1、+2、+3 こく
印刷濃度	印刷の濃度を全体的にこく、またはうすくします。5段階で調整します。 設定値:1(うすく)~5(こく)
自動カラー判別基準	自動カラーモード時のカラー原稿と白黒原稿の判別レベルを調整できます。数値を小さくするとカラー原稿と判別されることが多くなり、数値を大きくすると白黒原稿と判別されることが多くなります。 設定値:1~5
黒筋軽減処理	原稿送り装置を使用して読み込んだ画像に筋(原稿にない線状の汚れ)が発生した場合、この筋を目立たないようにします。 設定値:設定しない、設定する
サービス設定	本機の保守・点検を行います。主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。

# 9 ユーザー認証、集計管理 (ユーザー管理、部門管理)

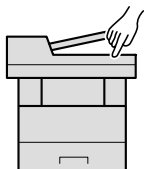
この章では、次の項目について説明します。

ユーザー管理とは .....	9-2
パソコンからユーザーを管理する .....	9-2
ユーザー管理を有効にする .....	9-3
ユーザー管理を設定する .....	9-5
認証セキュリティを設定する .....	9-5
新しいユーザーを登録する(ローカルユーザーリスト) .....	9-6
ユーザー情報を変更する .....	9-8
印刷のユーザー管理 .....	9-10
TWAINを使ったスキャンのユーザー管理 .....	9-11
WIAを使ったスキャンのユーザー管理 .....	9-12
パソコンから送信するファクスのユーザー管理 .....	9-13
グループ認可を設定する .....	9-14
ゲスト認可を設定する .....	9-15
ネットワークユーザー情報を取得する .....	9-17
ICカード認証方法を設定する .....	9-18
PINコード認証を設定する .....	9-19
ユーザー管理の使いかた .....	9-20
ログイン/ログアウトをする .....	9-20
部門管理とは .....	9-21
パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する .....	9-21
部門管理を有効にする .....	9-22
部門管理方式を設定する .....	9-23
部門管理を設定する .....	9-24
部門を新規に登録する .....	9-24
使用制限を設定する .....	9-26
部門情報を編集する .....	9-27
部門を削除する .....	9-28
印刷の部門管理をする .....	9-29
TWAINを使ったスキャンジョブを管理する .....	9-30
WIAを使ったスキャンジョブを管理する .....	9-31
パソコンから送信したファクスジョブを管理する .....	9-32
部門管理の運用 .....	9-33
初期設定 .....	9-33
使用枚数を集計する .....	9-34
部門管理レポートを印刷する .....	9-35
部門管理の使いかた .....	9-36
ログイン/ログアウトをする .....	9-36
不明ユーザー処理方法を設定する .....	9-37
ID不明ジョブ処理を設定する .....	9-37
ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する .....	9-38

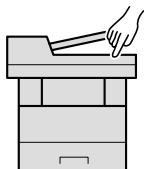
## ユーザー管理とは

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力されたログインユーザー名とパスワードがあらかじめ登録されたものと一致すれば、ユーザーが認証され、本機へのログインができます。

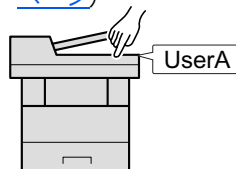
- 1** ユーザー管理を有効にする  
([9-3ページ](#))



- 2** ユーザーを設定する  
([9-5ページ](#))



- 3** ログインユーザー名とパスワード  
を入力してジョブを実行する ([2-15  
ページ](#))



ユーザーは、その権限によって「ユーザー」と「管理者」および「機器管理者」に分けられます。セキュリティーレベルの設定は、機器管理者だけが変更できます。

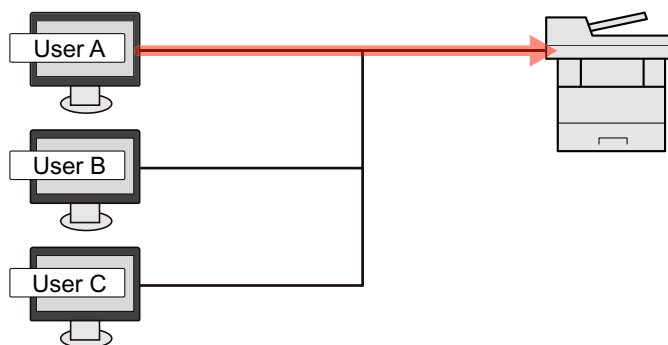
## パソコンからユーザーを管理する

パソコンから本機を使用するユーザーを管理するには、次の設定が必要です。

パソコンから印刷するユーザーを管理する場合

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

- 1** プリンタードライバーでユーザー  
管理を設定する ([9-10ページ](#))    **2** 印刷する



### TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでTWAINドライバーの設定が必要です。

▶ [TWAINを使ったスキャンのユーザー管理 \(9-11ページ\)](#)

### WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでWIAドライバーの設定が必要です。

▶ [WIAを使ったスキャンのユーザー管理 \(9-12ページ\)](#)

### パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、パソコンでFAXドライバーの設定が必要です。

▶ [パソコンから送信するファクスのユーザー管理 \(9-13ページ\)](#)

# ユーザー管理を有効にする

ユーザーの認証方法を次の2種類から選択してください。

項目	詳細
ローカル認証	本機内のローカルユーザーリストに登録されたユーザー情報でユーザーを認証します。
ネットワーク認証	認証サーバーを使用してユーザーを認証します。認証サーバーに登録されているユーザー情報でログインしてください。

## 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー

## 2 設定する

- 1 [▲][▼]キー > [ユーザー管理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ローカル認証]または[ネットワーク認証] > [OK]キー

### 参考

ユーザー管理を無効にする場合は[設定しない]を選択します。

[ネットワーク認証]を選択した場合

- 1 [▲][▼]キー > [NTLM]、[Kerberos]または[Ext.] > [OK]キー

- 2 認証サーバーのホスト名(64文字以内)を入力し、[OK]キーを選択します。

- 3 認証サーバーのドメイン名を選択して、[OK]キーを選択します。

ドメイン名が設定されていない場合は、「-----」を選択して、[メニュー]を選択してください。  
[編集]を選択して、[OK]キーを選択して、ドメイン名(256文字以内)を入力してください。

[OK]キーを選択するとドメイン名が登録されます。

登録されているドメイン名を編集あるいは削除する場合は、登録されているドメイン名を選択して、[メニュー]を選択してください。

### 参考

ドメイン名は10件まで登録できます。

- 4 サーバータイプに[Ext.]を選択した場合は、ポート番号を入力して、[OK]キーを選択します。



#### 参考

ログインユーザー名とパスワードが認証されないとき、以下の設定を確認してください。

- 本機のネットワーク認証の設定
- 認証サーバーのユーザープロパティ
- 本機と認証サーバーの時刻設定

本機の設定でログインできない場合、ローカルユーザーリストに登録されている管理者でログインし、設定を修正してください。



# ユーザー管理を設定する

ユーザーの登録や変更、削除、ユーザー管理の設定を行います。

## 認証セキュリティを設定する

ユーザー認証が有効な場合に、ユーザー認証のセキュリティに関する設定を行います。

### ユーザーアカウントロックアウトを設定する

ログイン時にパスワードを連続して間違えて入力した場合に、そのユーザー名でのログインを禁止する設定を行います。

## 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。  
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000  
ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [アカウントロックアウト] > [OK]キー

## 2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
ロックアウト	アカウントロックアウトポリシーを有効にするかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
ロックアウトポリシー	アカウントロックアウトが適用される条件と適用する範囲を設定します。
ロックまでの回数	何回ログインに失敗するとロックされるのかを設定します。 設定値: 1~10回
ロックアウト期間	ロックが解除されるまでの時間を設定します。 設定値: 1~60分
ロックアウト対象	アカウントロックアウトを適用する範囲を設定します。 [リモートログインのみ]は操作部以外からの操作をすべてロックします。 設定値: すべて, リモートログインのみ
ロックされたユーザー	ロックされているユーザーがリストに表示されます。 ロックを解除する [▲]または[▼]キーを選択して、リストからユーザーを選択して、[選択]を選択します。選択されたユーザーの右側にチェックマークが付きま す。 [メニュー]を選択します。[ロック解除]を選択して、[OK]キーを選択し ます。

## 新しいユーザーを登録する(ローカルユーザーリスト)

ユーザーは100人まで登録できます(ログインユーザー名の初期値を含む)。

### 参考

工場出荷時は、機器管理者の権限を持つデフォルトユーザーと管理者の権限を持つデフォルトユーザーが各1人登録されています。各デフォルトユーザーのユーザー情報は次のとおりです。(大文字・小文字は区別されます。)

#### 機器管理者

ユーザー名:	DeviceAdmin
ユーザー名(フリガナ):	DeviceAdmin
ログインユーザー名:	4000
ログインパスワード:	4000
アクセスレベル:	機器管理者

#### 管理者

ユーザー名:	Admin
ユーザー名(フリガナ):	Admin
ログインユーザー名:	Admin
ログインパスワード:	Admin
アクセスレベル:	管理者

ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードはセキュリティ保護のため、定期的に変更することをお勧めします。

## 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ローカルユーザーリスト] > [OK]キー > [メニュー] > [▲][▼]キー > [ユーザー追加] > [OK]キー

## 2 ユーザー情報を入力する

- 1 ユーザーリストに表示される名前(32文字以内)を入力して、[OK]キーを選択します。
- 2 ユーザー名のフリガナ(32文字以内)を入力して、[OK]キーを選択します。

### 参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

▶ [文字の入力\(11-8ページ\)](#)

- 3 ログインのときに入力するログインユーザー名(64文字以内)を入力して、[OK]キーを選択します。


### 参考

ログインユーザー名は重複して登録することはできません。

- 4 詳細なユーザー情報を入力する場合は、[▲][▼]キー > [詳細] > [OK]キー  
操作を終了する場合は、[▲][▼]キー > [終了] > [OK]キー

- 5 詳細なユーザー情報を入力します。

各項目の[編集]、[変更]または[詳細]を選択して、それぞれの情報を入力して[OK]キーを選択します。[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。設定する項目は次のとおりです。

項目	説明
ユーザー名 <sup>*1</sup>	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
フリガナ <sup>*1</sup>	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名 <sup>*1</sup>	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログインユーザー名は重複して登録することはできません。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを、64文字以内で入力します。確認画面で、新しいパスワードをもう一度入力して、[OK]キーを選択してください。
アクセスレベル <sup>*1</sup>	ユーザーの権限を、「管理者」または「ユーザー」から選択します。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。所属部門を登録したユーザーでログインすると、部門コードを入力する必要がなくなります。 ▶ <a href="#">部門管理とは(9-21ページ)</a>
ICカード情報	ICカードの情報を登録します。[変更] > [▲][▼]キー > [読み取り] > [OK]キーの順に選択します。 ICカードの情報を削除する場合は、[変更] > [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キーの順に選択します。   参考 この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。 ▶ <a href="#">オプションのアプリケーションについて(11-6ページ)</a>

\*1 ユーザー登録のときの必須項目です。

## 3 [OK]キーを選択する

ローカルユーザーリストに新しいユーザーが追加されます。

## ユーザー情報を変更する

変更できる内容は、ログインしているユーザーの権限によって異なります。

### 参考

機器管理者のユーザー情報を変更する場合は、機器管理者の権限でログインしてください。その他のユーザーでログインした場合は、ユーザー情報の参照しかできません。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

### 「管理者」の権限を持つユーザーでログインする

ユーザー情報の変更やユーザーの削除ができます。登録できるすべての項目を変更できます。

## 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ローカルユーザーリスト] > [OK]キー

## 2 ユーザー情報を変更する

ユーザー情報を変更する場合

- 1 ユーザー情報を変更したいユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。
- 2 ユーザーの新規登録(ローカルユーザーリスト)の手順2を参照して、ユーザー情報を変更します。

▶ [新しいユーザーを登録する\(ローカルユーザーリスト\) \(9-6ページ\)](#)

- 3 [OK]キー > [はい]  
ユーザー情報が変更されます。

ユーザーを削除する場合

- 1 削除したいユーザーを選択して、[メニュー]を選択します。
- 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]  
ユーザーが削除されます。

### 参考

工場出荷時に登録されている、「機器管理者」の権限を持つデフォルトユーザーは削除できません。

## ログインしているユーザーのユーザー情報を変更する(ユーザー情報)

ユーザー自身のユーザー情報を一部変更できます。変更できる項目は、「ユーザー名」、「ユーザー名(フリガナ)」および「ログインパスワード」です。

「ログインユーザー名」、「アクセスレベル」および「部門名」の変更はできませんが、現在の登録を参照できます。


### 1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー情報] > [OK]キー

### 2 ユーザー情報を変更する

1 ユーザーの新規登録の手順2を参照して、ユーザー情報を変更します。

➔ [新しいユーザーを登録する\(ローカルユーザーリスト\) \(9-6ページ\)](#)

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を変更します。 32文字まで入力できます。
フリガナ	ユーザー名のフリガナを変更します。 32文字まで入力できます。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を参照します。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを変更します。 64文字まで入力できます。
アクセスレベル	ユーザーの権限を参照します。
部門名	ユーザーが所属している部門を参照します。
ICカード情報	ログインしているユーザーのICカード情報を参照します。  <b>参考</b> この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に 表示されます。 ➔ <a href="#">オプションのアプリケーションについて (11-6ページ)</a> この機能は、ネットワーク認証のサーバータイプで[Ext.]を選択してい て、そのタイプのサーバーで管理されているユーザーでログインした 場合は表示されません。

2 [OK]キー > [はい]

ユーザー情報が変更されます。

## 印刷のユーザー管理

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理することができます。

### プリンタードライバーを設定する

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

#### 1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

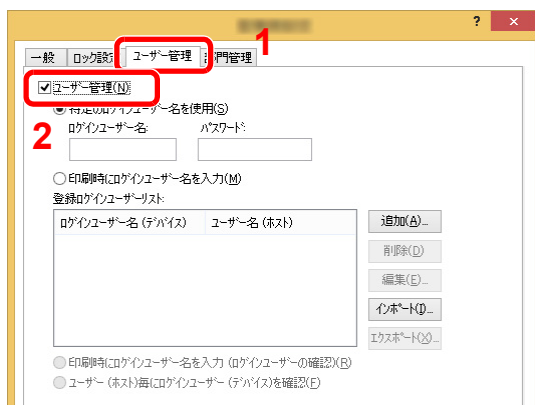
##### 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

#### 2 設定する

- 1 [ユーザー管理]タブの[ユーザー管理]を選択します。



- 2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]:特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

[印刷時にログインユーザー名を入力]:印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にログインユーザー名を入力(ログインユーザーの確認)]:印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは「登録ログインユーザーリスト」に登録されているものを入力します。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[ユーザー(ホスト)毎にログインユーザー(デバイス)を確認]:印刷時に、Windowsユーザー名を「登録ログインユーザーリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、ユーザー権限のみのユーザーは印刷がキャンセルされます。管理者権限を持つユーザーはユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

- 3 [OK]をクリックします。



#### 参考

ユーザー管理についてのその他の設定は、次を参照してください。

➔ プリンタードライバー操作手順書

## TWAINを使ったスキャンのユーザー管理

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理することができます。

### TWAINドライバーを設定する

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、TWAINドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

#### 1 画面を表示する

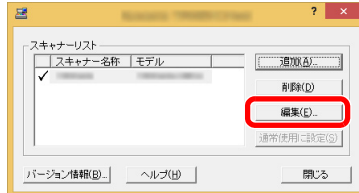
- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバー設定画面が表示されます。



#### 参考

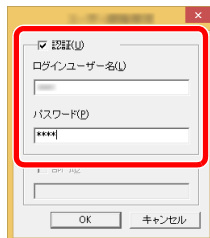
Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[TWAIN Driver Setting]を選択してください。

- 2 本機を選択し、[編集]をクリックします。



#### 2 設定する

- 1 [ユーザー認証設定]をクリックします。
- 2 [認証]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。



- 3 [OK]をクリックします。

## WIAを使ったスキャンのユーザー管理

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理することができます。

### WIAドライバーを設定する

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

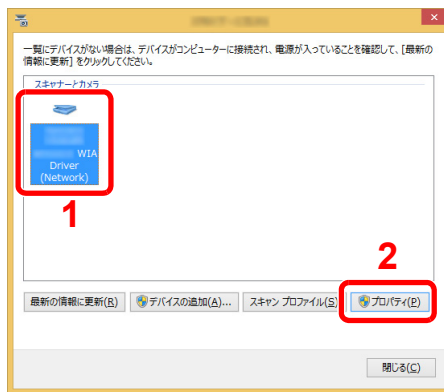
#### 1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

#### 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に[スキャナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

- 2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



#### 2 設定する

- 1 [設定]タブの[認証]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。



- 2 [OK]をクリックします。



## パソコンから送信するファクスのユーザー管理

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理することができます。

### FAXドライバーを設定する

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

#### 1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。



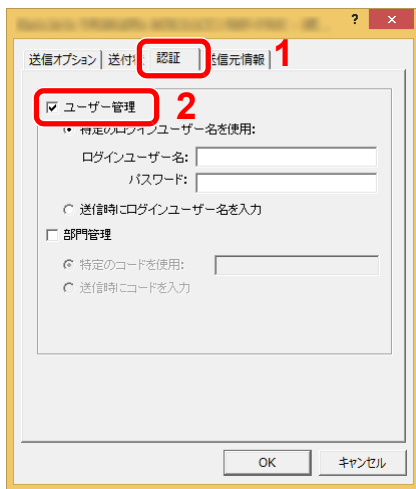
参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[印刷設定]メニューをクリックします。
- 3 [ファクス設定]タブの[ファクス送信設定]をクリックします。

#### 2 設定する

- 1 [認証]タブの[ユーザー管理]を選択します。



- 2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]:特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

[送信時にログインユーザー名を入力]:送信時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは、送信するたびに入力する必要があります。

- 3 [OK]をクリックします。

## グループ認可を設定する

認証サーバーに登録されたグループごとに本機の使用制限を設定します。

### 参考

- グループ認可設定を使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザーの認証方法を[ネットワーク認証]に設定する必要があります。また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を「設定する」に設定してください。
- ▶ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)  
[プロトコル設定 \(8-11ページ\)](#)
- グループ認可を有効にする設定は、操作パネルで行います。グループは、Command Center RXで登録する必要があります。
- ▶ [Command Center RX操作手順書](#)

### グループ認可設定を有効にする

#### 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000  
ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー

#### 2 設定する

- [▲][▼]キー > [グループ認可] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定しない]または[設定する] > [OK]キー

## ゲスト認可を設定する

ユーザー管理が有効のとき、本機にログインできないゲストユーザーが使用できる機能を設定します。

### 参考

ゲスト認可設定を使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザー管理を有効に設定する必要があります。

▶ [ユーザー管理を設定する \(9-5ページ\)](#)

### ゲスト認可設定を有効にする

#### 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ゲスト認可設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ゲスト認可] > [OK]キー

#### 2 設定する

- [▲][▼]キー > [設定する]または[設定しない] > [OK]キー

### 参考

ゲスト認可設定を有効にした場合、ログイン時に[認証/ログアウト]キーを選択する必要があります。

ゲストユーザーの初期設定では、モノクロコピーしか使用できません。それ以外の機能を使用したいときは、使用する機能の制限がないユーザーでログインするか、ゲストプロパティで設定を変更してください。

## ゲストプロパティを設定する

ゲストユーザーの情報と制限する機能を設定します。

登録する項目は次のとおりです。

項目	詳細
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
フリガナ	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
アクセスレベル	ユーザーの権限が表示されます。変更はできません。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。
認可情報	制限する機能を設定します。 制限できる項目は次のとおりです。 印刷制限: プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 コピー印刷制限: コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 送信制限: 送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ファクス送信制限: ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存制限: ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 外部メモリー保存: 外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

### 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

#### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。  
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000  
ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー

### 2 設定する

- 1 [▲][▼]キー > [ゲスト認可設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ゲストプロパティ] > [OK]キー
- 2 ゲストユーザーの情報と制限する機能を設定します。  
各項目で[編集]、[変更]または[詳細]を選択して、情報を入力し、[OK]キーを選択してください。  
[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。

### 3 [OK]キーを選択する

## ネットワークユーザー情報を取得する

LDAPサーバーからユーザー情報を取得するために必要な項目を設定します。この設定で取得されたユーザー名やメールアドレスは、ユーザー情報、状況確認画面やメールのヘッダーに表示されます。

### 参考

- LDAPサーバーからネットワークユーザー情報を取得する設定を行うには、「ユーザー管理設定」でユーザーの認証方法を[ネットワーク認証]に設定する必要があります。また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を「設定する」に設定してください。
- ▶ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)  
[プロトコル設定 \(8-11ページ\)](#)
- ネットワークユーザー情報を取得する設定は、操作パネルで行います。取得する情報については、Command Center RXでさらに詳細な設定が可能です。
- ▶ [Command Center RX操作手順書](#)

## 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー

## 2 設定する

- [▲][▼]キー > [ネットワークユーザー情報] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定しない]または[設定する] > [OK]キー

## ICカード認証方法を設定する

ICカード認証が有効の場合、認証方法を設定します。

### 参考

この機能は、ICカード認証キットが起動されている場合に表示されます。

▶ [オプションのアプリケーションについて \(11-6ページ\)](#)

## 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー

## 2 設定する

- 1 [▲][▼]キー > [ICカード設定] > [OK]キー

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
テンキーログイン	ICカード認証が有効の場合、キーボードによるログインを許可するかどうかを設定します。 設定値: 許可、禁止
追加認証 <sup>*1</sup>	ICカードで認証した後に、ログインパスワードまたはPINコードの入力させるかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、パスワードを使う、PINコードを使う <sup>*2</sup>

\*1 ネットワーク認証のサーバータイプを[NLTM]または[Kerberos]に設定している場合は表示されません。

\*2 ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを[Ext.]に設定している場合に表示されます。

## PINコード認証を設定する

### 参考

PINコード認証を使用する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを [Ext.] に設定する必要があります。

▶ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

### 1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。  
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー

### 2 設定する

[▲][▼]キー > [PINコードログイン] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定する]または[設定しない] > [OK]キー

## ユーザー管理の使いかた

ユーザー管理を設定しているときの操作を説明します。

### ログイン/ログアウトをする

ユーザー管理が有効の場合は、本機を使用するとき、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

#### ログインする

本機の操作中にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら次を参照してください。

▶ [ログインする \(2-15ページ\)](#)

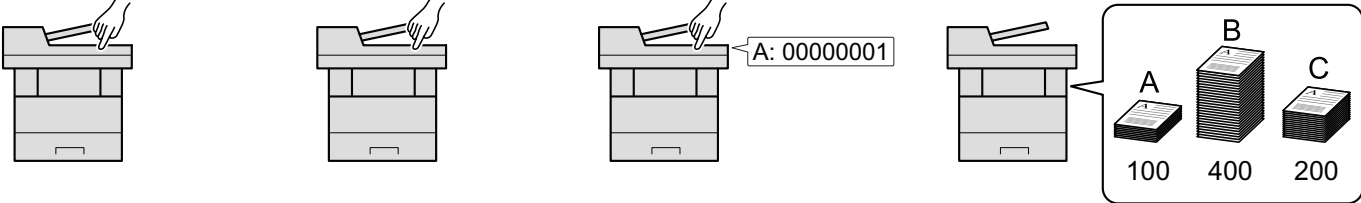
#### ログアウトする

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻りません。



## 部門管理とは

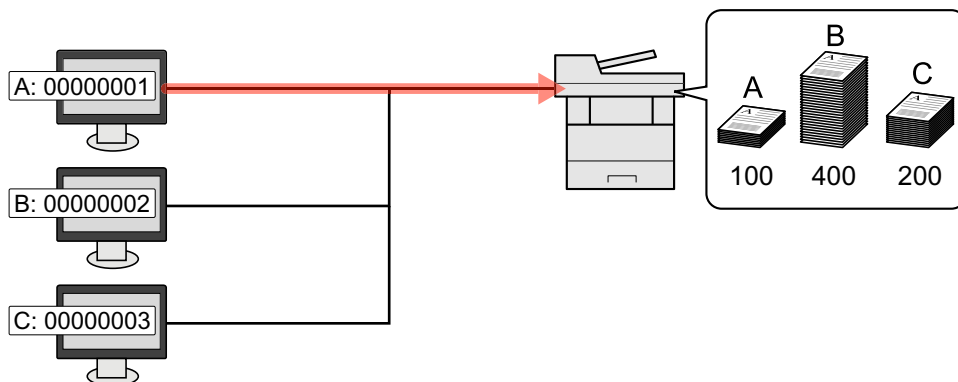
部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別にコピー/印刷/スキャン/ファクスの使用枚数を管理できる機能です。

- 1 部門管理を有効にする (9-22ページ)
  - 2 部門を設定する (9-24ページ)
  - 3 部門コードを入力してジョブを実行する (9-36ページ)
  - 4 使用枚数が集計される。
- 

## パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する

パソコンから本機で印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

- 1 プリンタードライバーでパソコンに部門管理を設定する (9-29ページ)
- 2 印刷する
- 3 使用枚数が集計される。



## TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでTWAINドライバーの設定が必要です。

- ▶ [TWAINを使ったスキャンジョブを管理する \(9-30ページ\)](#)

## WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでWIAドライバーの設定が必要です。

- ▶ [WIAを使ったスキャンジョブを管理する \(9-31ページ\)](#)

## パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでFAXドライバーの設定が必要です。

- ▶ [パソコンから送信したファクスジョブを管理する \(9-32ページ\)](#)

# 部門管理を有効にする

## 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000  
ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー

## 2 設定する

- [▲][▼]キー > [部門管理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

### 参考

- 部門管理を無効にする場合は、[設定しない]を選択してください。
- 初期画面に戻ると、自動でログアウトされ、部門コードを入力する画面が表示されます。つづけて作業を行う場合は、部門コードを入力してください。

## 部門管理方式を設定する

### 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー



#### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー

### 2 設定する

- [▲][▼]キー > [部門管理方式] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ローカル]または[ネットワーク] > [OK]キー

# 部門管理を設定する

部門の登録や編集、削除をしたり、部門ごとに使用制限を設定できます。

## 部門を新規に登録する

最大100部門まで登録できます。

登録できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
部門名	部門名を、32文字以内で入力してください。
フリガナ	部門名のフリガナを、32文字以内で入力してください。
部門コード	部門コードを、0~99999999までの最大8桁で入力してください。
使用制限	印刷/読み込みの禁止や、使用できる枚数を制限します。 <a href="#">▶ 使用制限を設定する (9-26ページ)</a>

### 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

#### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000  
 ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門リスト] > [OK]キー > [メニュー] > [▲][▼]キー > [部門追加] > [OK]キー

### 2 部門情報を入力する

- 1 部門名を入力 > [OK]キー

#### 参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

▶ [文字の入力 \(11-8ページ\)](#)

- 2 「フリガナ」を入力 > [OK]キー
- 3 「部門コード」を入力 > [OK]キー

#### 参考

すでに登録されている「部門コード」は使用できません。別の部門コードを入力してください。

- 4 使用制限を適応する場合は、[▲][▼]キー > [詳細] > [OK]キー  
 操作を終了する場合は、[▲][▼]キー > [終了] > [OK]キー

**5** 部門名と部門コードを確認して、使用制限を設定します。

設定を変更するには、[編集]を選択して、情報を入力し、[OK]キーを選択します。[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。

▶ [使用制限を設定する \(9-26ページ\)](#)

**6** [OK]キーを選択します。

部門リストに新しい部門が追加されます。

## 使用制限を設定する

部門ごとに使用を禁止したり、使用できる枚数を制限したりすることができます。

制限できる内容は、「コピー/プリンターカウント方法」を「個別」にしているか「合計」にしているかによって異なります。

▶ [コピー/プリンターカウント \(9-33ページ\)](#)

### 使用制限できる項目

コピー/プリンターカウント方法が「個別」の場合

項目	詳細
コピー印刷制限	コピーの使用枚数を制限します。
印刷制限	印刷の使用枚数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。

コピー/プリンターカウント方法が「合計」の場合

項目	詳細
印刷制限	コピーとプリンターの合計の使用枚数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。

### 使用制限の方法

項目	詳細
制限しない	使用を制限しません。
カウンター制限 <sup>*1</sup>	使用枚数を、1～9,999,999枚の範囲(1枚単位)で制限します。
使用禁止	使用を禁止します。

\*1 [カウンター制限]を選択した場合、[OK]キーを選択した後、[制限ページ数]画面が表示されます。テンキーを選択して制限ページ数を入力し、[OK]キーを選択してください。

## 部門情報を編集する

### 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

#### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000  
ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門リスト] > [OK]キー

### 2 編集する

- 1 部門情報を変更したい部門を選択して、[OK]キーを選択します。

#### 参考

[メニュー]を選択して、[詳細/編集]を選択して、[OK]キーを選択すると、部門情報が変更できます。

- 2 「部門の新規登録」の手順2および「使用制限」を参照して、部門情報を変更します。

▶ [部門を新規に登録する \(9-24ページ\)](#)  
[使用制限を設定する \(9-26ページ\)](#)

- 3 [OK]キー > [はい]

部門情報が変更されます。

## 部門を削除する

### 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー



#### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門リスト] > [OK]キー

### 2 削除する

- 1 削除したい部門を選択して、[メニュー]を選択します。
- 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]  
部門が削除されます。



## 印刷の部門管理をする

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理することができます。

### プリンタードライバーを設定する

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

## 1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

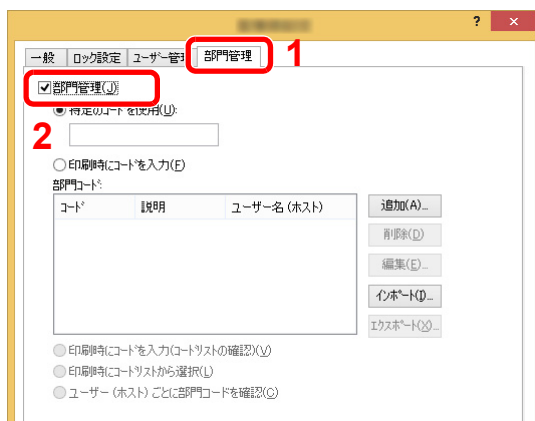
### 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

## 2 設定する

- 1 [部門管理]タブの[部門管理]を選択します。



- 2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]:特定の部門コードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびに部門コードを入力する必要がありません。

[印刷時にコードを入力]:印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードを入力(コードリストの確認)]:印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されているものを入力します。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードリストから選択]:印刷時に部門コードリストが表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されている必要があります。

[ユーザー(ホスト)ごとに部門コードを確認]:印刷時に、Windowsユーザー名を「部門コードリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、部門コードを入力する画面が表示されます。

- 3 [OK]をクリックします。



#### 参考

部門管理についてのその他の設定は、次を参照してください。

➔ [プリンタードライバー操作手順書](#)

## TWAINを使ったスキャンジョブを管理する

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理することができます。

### TWAINドライバーを設定する

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、TWAINドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

#### 1 画面を表示する

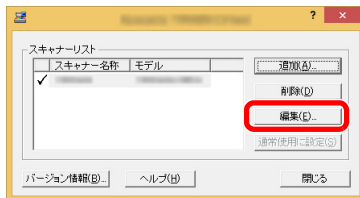
- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバー設定画面が表示されます。



#### 参考

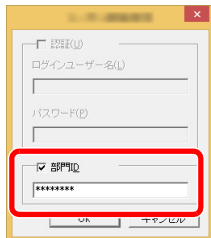
Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[Kyocera]→[TWAIN Driver Setting]を選択してください。

- 2 本機を選択し、[編集]をクリックします。



#### 2 設定する

- 1 [ユーザー認証設定]をクリックします。
- 2 [部門ID]を選択して、部門コードを入力します。



- 3 [OK]をクリックします。

## WIAを使ったスキャンジョブを管理する

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理することができます。

### WIAドライバーを設定する

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

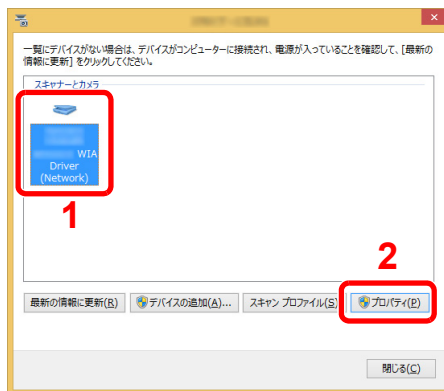
#### 1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

#### 参考

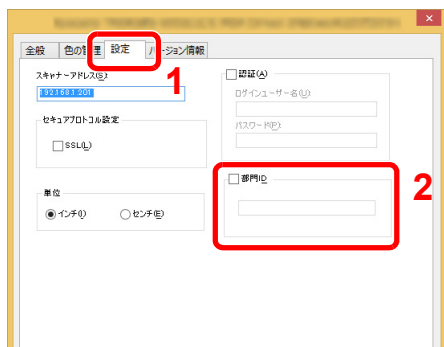
Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に[スキャナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

- 2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



#### 2 設定する

- 1 [設定]タブの[部門ID]を選択して、部門コードを入力します。



- 2 [OK]をクリックします。

## パソコンから送信したファクスジョブを管理する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理することができます。

### FAXドライバーを設定する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1の場合を例に説明します。

## 1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。

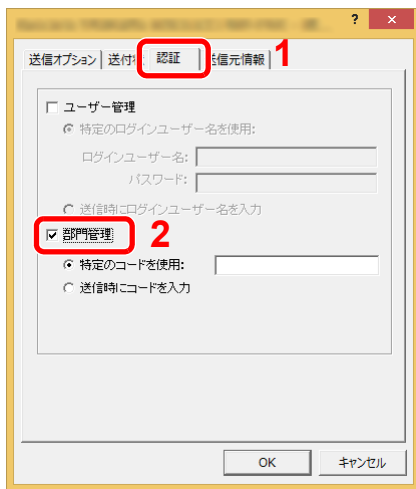
### 参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[印刷設定]メニューをクリックします。
- 3 [ファクス設定]タブの[ファクス送信設定]をクリックします。

## 2 設定する

- 1 [認証]タブの[部門管理]を選択します。



- 2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]:特定の部門コードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとに部門コードを入力する必要がありません。

[送信時にコードを入力]:送信時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは送信するたびに入力する必要があります。

- 3 [OK]をクリックします。

## 部門管理の運用

### 初期設定

制限枚数に達したときの処理やコピーとプリンターの使用枚数の管理方法、使用制限の初期値を設定します。

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [初期設定] > [OK]キー

詳細については、次の表を参照してください。

項目	説明
制限超過時設定	<p>制限枚数に達したときの処理を変更できます。処理の内容は次のとおりです。</p> <p><b>設定値</b></p> <p>即時禁止: 制限枚数に達した時点でジョブの処理が禁止されます。送信中や、ボックス保存中は次のジョブから禁止されます。</p> <p>次ジョブから禁止: 印刷中または読み込み中のジョブは続行されますが、次のジョブから使用禁止になります。</p> <p>警告のみ: 警告メッセージが表示されますが、ジョブの処理は続行されます。</p>
コピー/プリンターカウント	<p>コピーとプリンターの使用枚数を合計して管理するか、個別に管理するか選択することができます。この選択によって、使用枚数の制限や集計の方法が変わりますので、本機をお使いの環境に合わせてください。</p> <p><b>設定値:</b> 合計、個別</p> <p>➔ <a href="#">使用制限を設定する (9-26ページ)</a>  <a href="#">部門管理レポートを印刷する (9-35ページ)</a></p>
カウンター制限初期値	<p>新規部門登録を行う場合の、制限枚数の初期値を変更することができます。設定範囲は1 ~ 9,999,999 枚です。</p> <p>設定できる内容は、「コピー/プリンターカウント方法」を「個別」にしているか「合計」にしているかによって異なります。</p> <p>➔ <a href="#">コピー/プリンターカウント (9-33ページ)</a></p>
コピー/プリンターカウントが「個別」の場合	
コピー印刷制限	コピーの制限枚数の初期値を設定します。
印刷制限	印刷の制限枚数の初期値を設定します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。
ファクス送信制限	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。
コピー/プリンターカウントが「合計」の場合	
印刷制限	コピーとプリンター合計の制限枚数の初期値を設定します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。
ファクス送信制限	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。

## 使用枚数を集計する

集計は、全部門または部門別に行います。また、一定期間管理した使用枚数をリセットして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。

[システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [全部門集計]または[部門別集計] > [OK]キー

### 全部門集計

全部門の使用枚数を集計します。また、全部門の使用枚数を一括でリセットできます。

### 部門別集計

部門別の使用枚数を集計します。また、部門別に使用枚数をリセットできます。

使用枚数は次の項目別にカウントされています。

項目	説明
印刷ページ数	コピー、プリンター、およびその合計の使用枚数が表示されます。また、「ファクス」、「両面集計」、「集約集計」でそれぞれの使用枚数も確認できます。
コピー/プリンターページ	コピー、プリンター、およびその合計の使用枚数が表示されます。[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。
ファクス受信ページ数	ファクス受信の使用枚数が表示されます。
印刷ページ数合計	合計の使用枚数が表示されます。
両面印刷ページ数	[片面]、[両面]、およびその合計の使用枚数が確認できます。[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。
ページ集約ページ数	[なし] (集約なし)、[2 in 1]、[4 in 1]、およびその合計の使用枚数が確認できます。[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。
読み込みページ数	コピーの読み込み、ファクスの読み込み、その他の読み込み、およびその合計の使用枚数が表示されます。[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。
ファクス送信ページ数	ファクス送信の使用枚数が表示されます。
ファクス送信時間	ファクス送信の使用時間が表示されます。
カウンターリセット	使用枚数をリセットします。 確認画面で[はい]を選択してください。

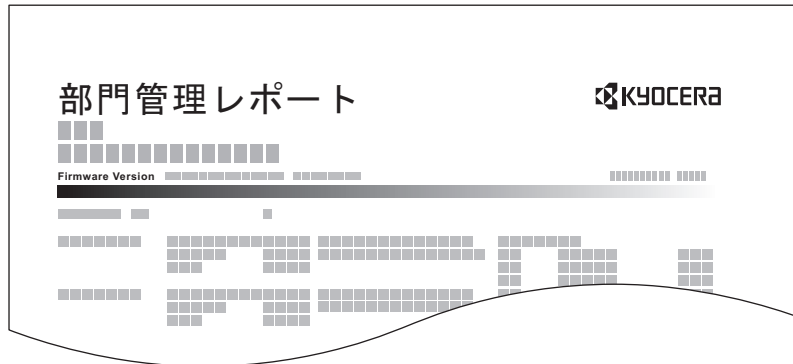
他の項目を確認する場合は、[OK]キーを選択して、一つ上の階層に戻ります。

## 部門管理レポートを印刷する

全部門で集計された枚数を、部門管理レポートとして印刷できます。

レポートは、コピーとプリンターの枚数管理の方法によって、印刷されるフォームが変わります。

コピーとプリンターの管理方法が「個別」の場合



### 1 用紙を準備する

カセットにA4またはLetterの用紙が補給されていることを確認します。

### 2 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー



#### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー

### 3 印刷する

[▲][▼]キー > [部門レポート] > [OK]キー > [はい]

部門管理レポートが印刷されます。

# 部門管理の使いかた

部門管理を設定しているときの操作を説明します。

## ログイン/ログアウトをする

部門管理が有効の場合は、本機を使用するとき、部門コードを入力する画面が表示されます。

### ログインする

本機を操作して部門コードを入力する画面が表示されたら、次の操作を行ってください。

#### 1 テンキーで部門コードを入力 > [OK]キー



##### 参考

- 入力を間違えたときは、[クリア]キーを選択して入力し直してください。
- 登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴り、ログインできません。正しい部門コードを入力してください。
- [カウンター]を選択すると、印刷枚数や読み込み枚数を参照することができます。

ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたとき

ユーザー管理が有効の場合は、部門コードを入力する画面の代わりに、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。ユーザーに部門情報が登録されているときは、部門コードの入力は省略されます。

▶ [新しいユーザーを登録する\(ローカルユーザーリスト\) \(9-6ページ\)](#)

#### 2 通常の操作を行います。

### ログアウトする

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを選択します。部門コードを入力する画面に戻ります。



# 不明ユーザー処理方法を設定する

## ID不明ジョブ処理を設定する

ログインユーザー名(ユーザーID)が不明なジョブ、またはログインユーザー名(ユーザーID)のないジョブがパソコンから届いた場合の処理方法を選択することができます。ユーザー管理が無効で、部門管理を有効にしている場合は、ジョブの部門コードが不明のときの処理方法となります。

設定項目は次のとおりです。

項目	詳細
許可する	ジョブを処理します。
拒否する	ジョブを処理しません。

### 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

#### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [不明ユーザー設定] > [OK]キー

### 2 設定する

- [▲][▼]キー > [ID不明ジョブ処理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [拒否する]または[許可する] > [OK]キー

## ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する

ID不明ユーザーのユーザー情報を登録すると、ジョブ状況画面やジョブ履歴画面で確認できるようになります。また、使用できる機能を制限することができます。



### 参考

この設定は、「ID不明ジョブ処理」を[許可する]にしている場合に表示されます。

→ [ID不明ジョブ処理を設定する \(9-37ページ\)](#)

## 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー



### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [不明ユーザー設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー情報] > [OK]キー

## 2 ユーザー情報を入力する

登録する項目は次のとおりです。

項目	説明
ユーザー名	表示されるユーザー名を、32文字以内で入力します。 <b>参考</b> ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
フリガナ	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。 <b>参考</b> ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。 → <a href="#">部門管理とは (9-21ページ)</a> <b>参考</b> 部門管理が有効になっているときに表示されます。
認可情報	制限する機能を設定します。 [詳細]を選択し、各項目で[編集]を選択して、制限事項を変更して、[OK]キーを選択します。[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。 [◀]キーを選択すると前のページに戻ります。 制限できる項目は次のとおりです。 印刷制限: プリンター プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。

# 10 こんなときには

この章では、次の項目について説明します。

日常のお手入れ .....	10-2
清掃について .....	10-2
原稿ガラスを清掃する .....	10-2
スリットガラスを清掃する .....	10-3
本体の内部を清掃する .....	10-4
消耗品の交換と補充 .....	10-8
消耗品の交換と補充について .....	10-8
トナーコンテナを交換する .....	10-8
用紙を補給する .....	10-11
Maintenance Menuを使う .....	10-12
一般的なトラブル .....	10-13
トラブルが発生したら .....	10-13
機械動作のトラブル .....	10-13
画像のトラブル .....	10-16
こんな表示がでたら .....	10-19
メッセージが表示されたら .....	10-19
エラーメッセージ一覧 .....	10-19
送信エラーコード一覧 .....	10-27
紙づまりの解除 .....	10-30
紙づまり表示の見かたと位置の確認 .....	10-30
カセット1の紙づまりを除去する .....	10-31
カセット2の紙づまりを除去する .....	10-33
カセット3の紙づまりを除去する .....	10-35
手差しトレイの紙づまりを除去する .....	10-37
機械内部の紙づまりを除去する .....	10-38
後ろカバーの紙づまりを除去する .....	10-43
原稿送り装置の紙づまりを除去する .....	10-46

## 日常のお手入れ

### 清掃について

印刷品質を保つため、定期的に本機を清掃します。



#### 注意

本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

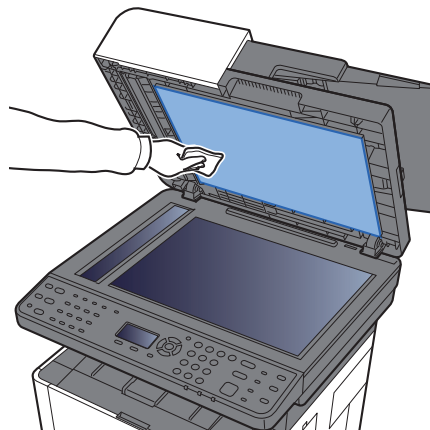
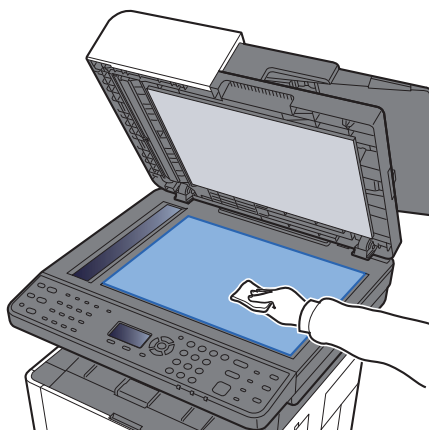
### 原稿ガラスを清掃する

原稿ガラスをアルコールまたはうすい中性洗剤をつけた柔らかい布で拭いてください。



#### 重要

シンナー、有機溶剤などは使用しないでください。

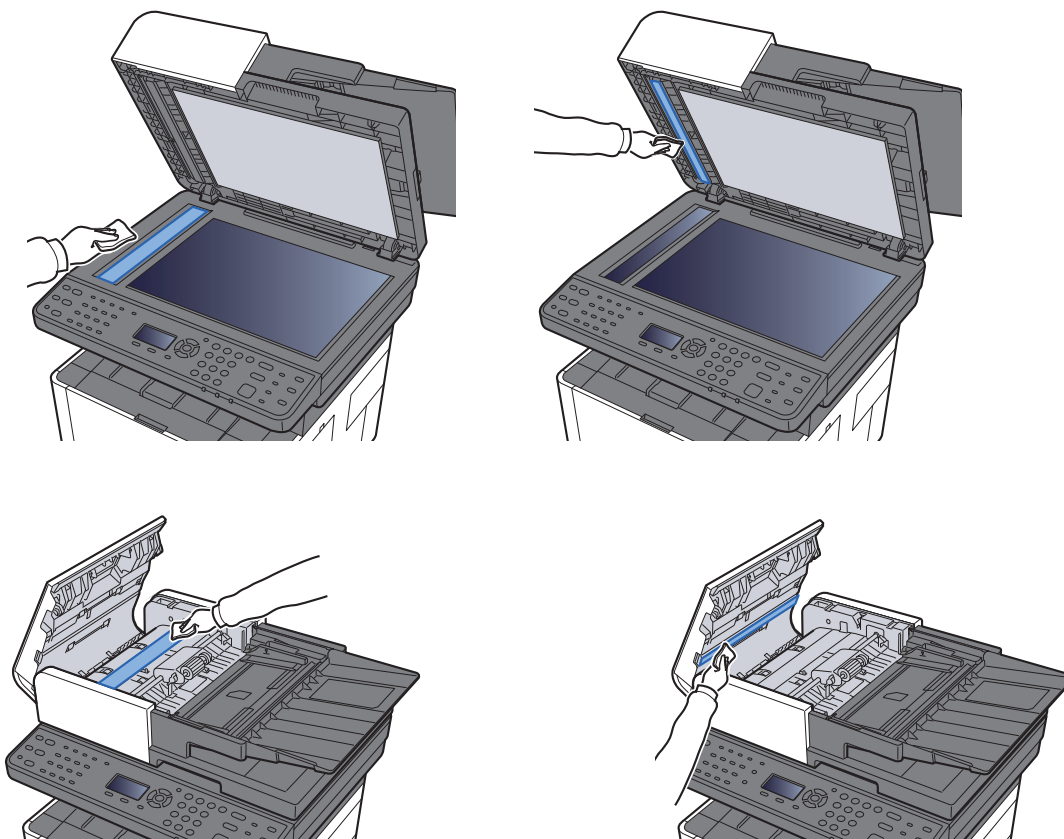


## スリットガラスを清掃する

原稿送り装置を使用している場合、柔らかい布でスリットガラスと読み取りガイドの表面を拭いてください。

### 参考

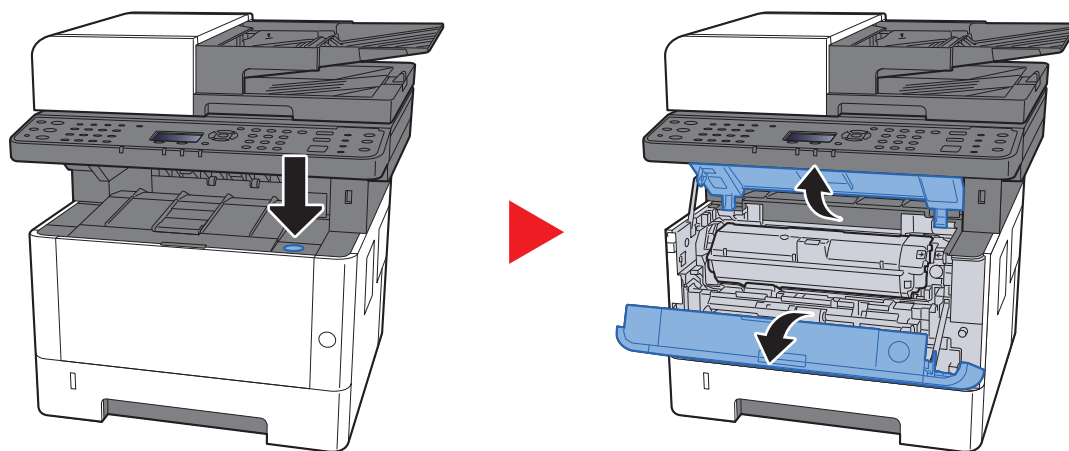
スリットガラスや読み取りガイドの汚れは、出力紙に黒い筋などが写る原因となります。



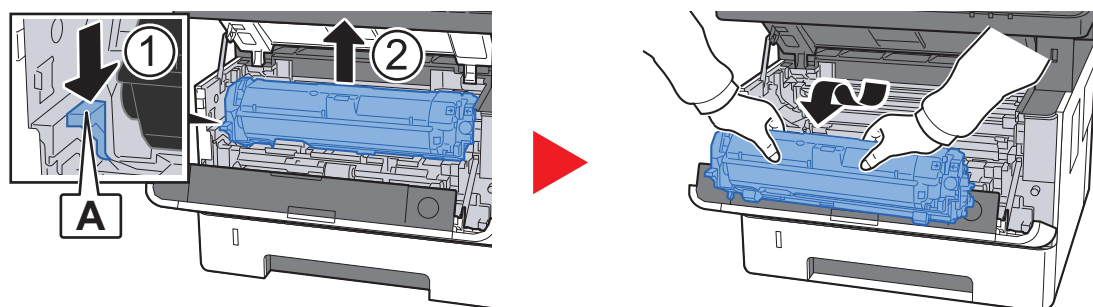
## 本体の内部を清掃する

最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナの交換時や縦筋が入るときは、本体内部の清掃を行ってください。

### 1 前カバーを開ける



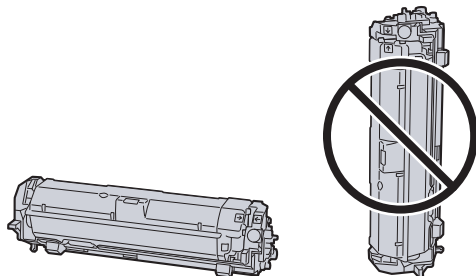
### 2 トナーコンテナと現像ユニットを取り外す



#### ⓧ 重要

現像ローラー部分に手を触れたり、衝撃を与えないでください。印刷品質が劣化します。

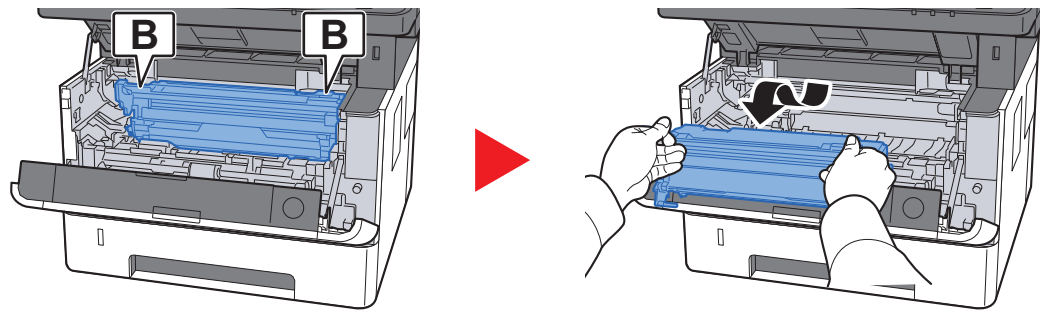
### 3 取り出したトナーコンテナと現像ユニットを、汚れのない水平な場所に置く



#### ⓧ 重要

トナーコンテナと現像ユニットは立てて置かないでください。

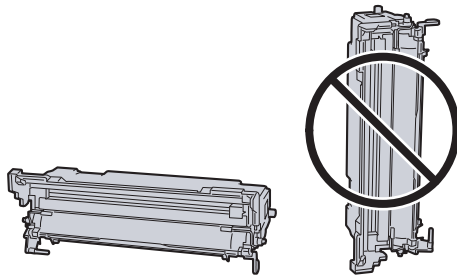
## 4 ドラムユニットを取り外す



### ⓧ 重要

ドラム部分に手を触れたり、衝撃を与えたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印刷品質が劣化します。

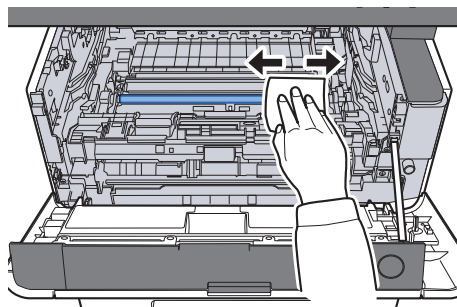
## 5 取り出したドラムユニットを、汚れのない水平な場所に置く



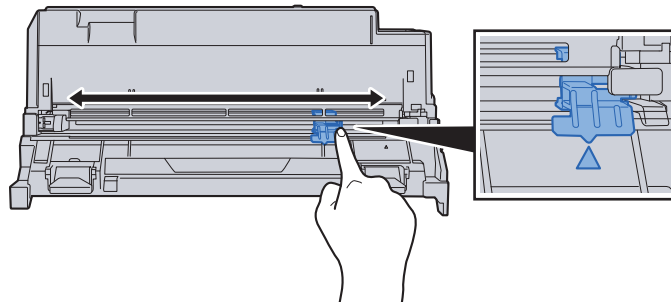
### ⓧ 重要

ドラムユニットは立てて置かないでください。

## 6 乾いた柔らかい布で、レジストローラー(金属)部に付着している紙粉や汚れを拭き取る



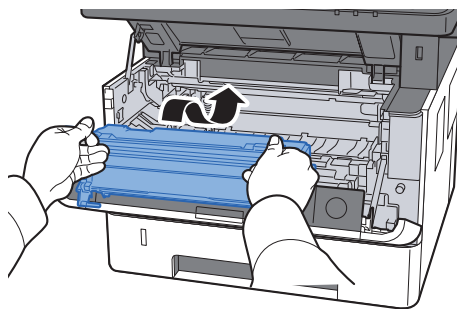
## 7 ドラムユニット上側のチャージャクリーナーつまみを、2、3回左右にスライドさせる



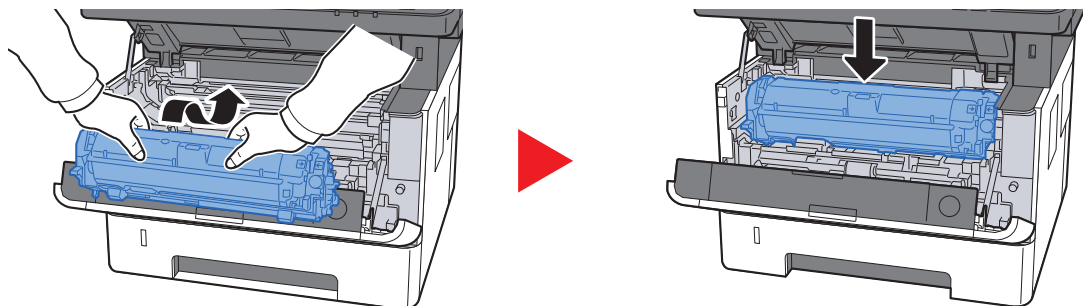
### ⓧ 重要

- はじめてチャージャワイヤを清掃する場合は、チャージャクリーナつまみを固定しているテープを取り外してください。
- 清掃後は、チャージャクリーナーつまみを元の位置に戻してください(CLEANER HOME POSITION)。

## 8 ドラムユニットを戻す

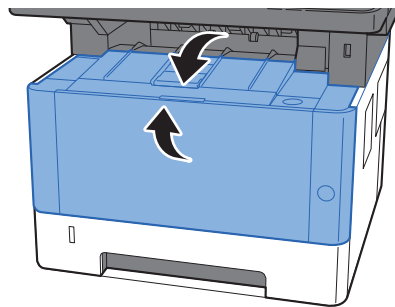


## 9 トナーコンテナと現像ユニットを戻す





## 10 前カバーを閉じる



## 消耗品の交換と補充

### 消耗品の交換と補充について

トナーがなくなったときやカセットの用紙がなくなったときは、本体の画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、消耗品を交換および補充してください。

### トナーコンテナを交換する

トナーがなくなったときは、次のメッセージが表示されます。トナーコンテナを交換してください。

「トナーを交換してください。」

また、トナー残量が少なくなると次のメッセージが表示されます。新しいトナーコンテナをご用意ください。

「トナーが残り少なくなっています(なくなったら交換)」

トナーコンテナの型番
TK-1171

### トナーコンテナの交換時期

1本のトナーコンテナで印刷可能な枚数は、印刷データ(どれだけのトナーを使うか)によって変わります。JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) に準拠し、エコプリントモードをオフで使用した場合、トナーコンテナの平均的な印刷可能枚数は以下のとおりです。(A4で印刷の場合。)

トナーコンテナの寿命(印刷枚数)
7,200枚

#### 参考

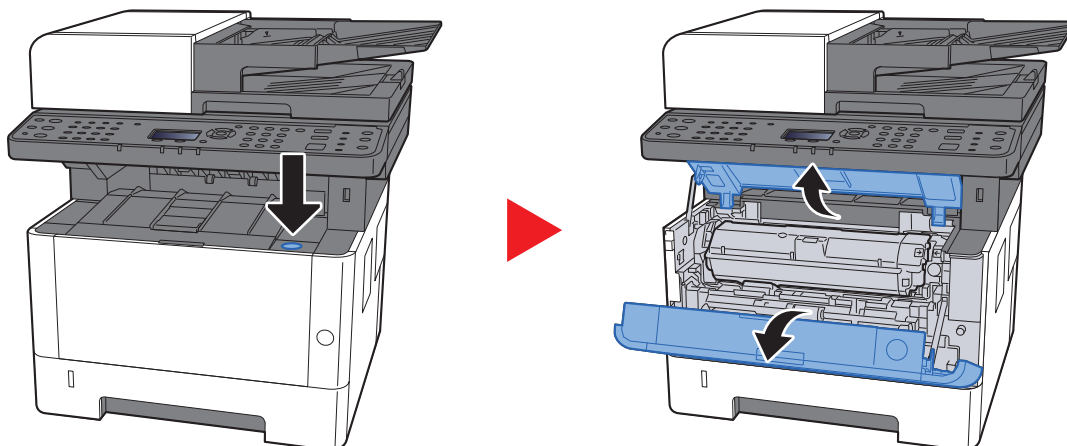
- 本機に付属しているトナーコンテナの印刷枚数は、3,600枚です。
- 品質維持のため、トナーコンテナは数々の品質検査に合格した弊社純正品の使用をお勧めします。

#### 注意

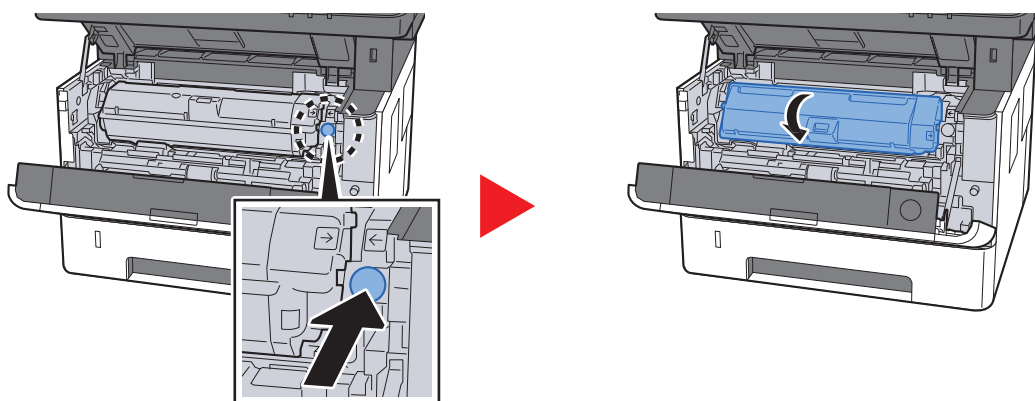
トナーの入った容器およびユニットは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

## トナーコンテナの交換方法

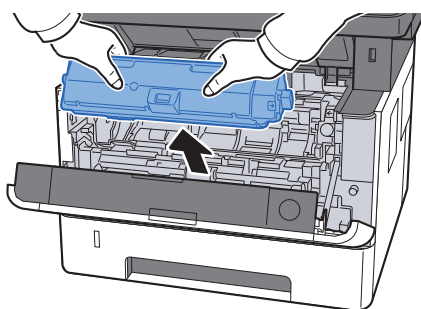
### 1 前カバーを開ける



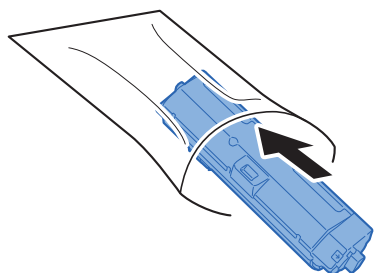
### 2 ロックを解除する



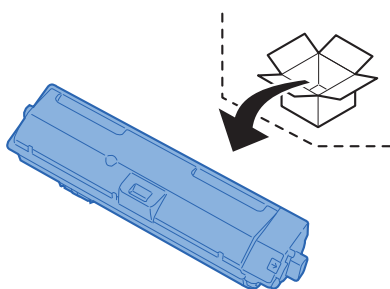
### 3 トナーコンテナを取り出す



#### 4 使用済みトナーコンテナを廃棄用ポリ袋に入れる

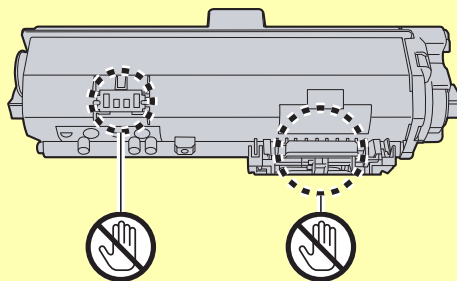


#### 5 新しいトナーコンテナを取り出す

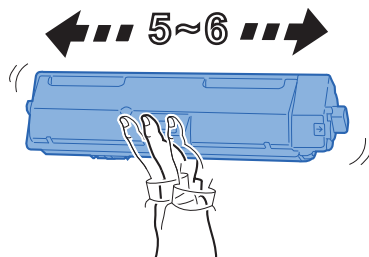


☑ 重要

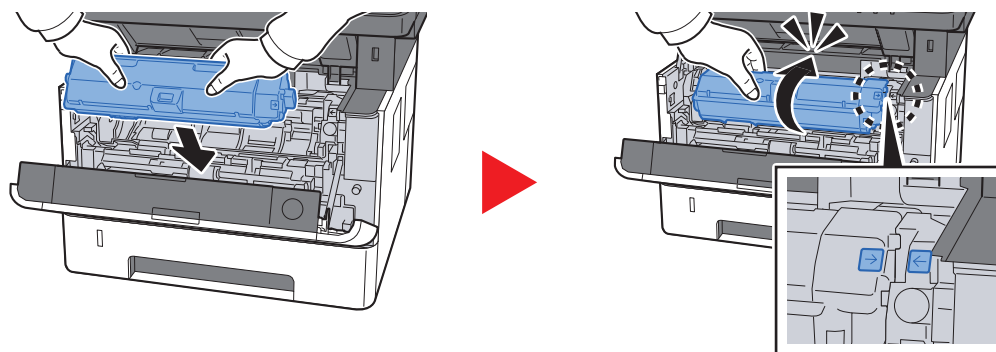
以下の箇所には手を触れないでください。



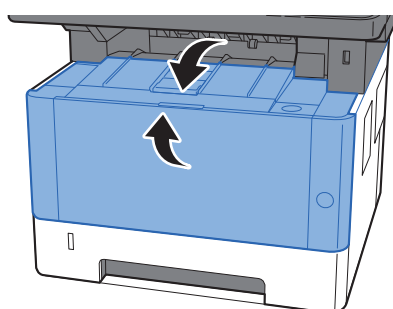
#### 6 トナーコンテナを振る



## 7 トナーコンテナを装着する



## 8 前カバーを閉める



### 参考

- 前カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しい位置にあるかももう一度確認してください。
- 使用後、不要となったトナーコンテナは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

## 用紙を補給する

給紙段の用紙がなくなったときは、次のメッセージが表示されます。用紙を補給してください。

「カセット○に用紙を補給してください。」

「手差しトレイに用紙を補給してください。」

- ▶ [用紙をセットする \(3-2ページ\)](#)  
[手差しトレイに用紙をセットする \(5-5ページ\)](#)

### 参考

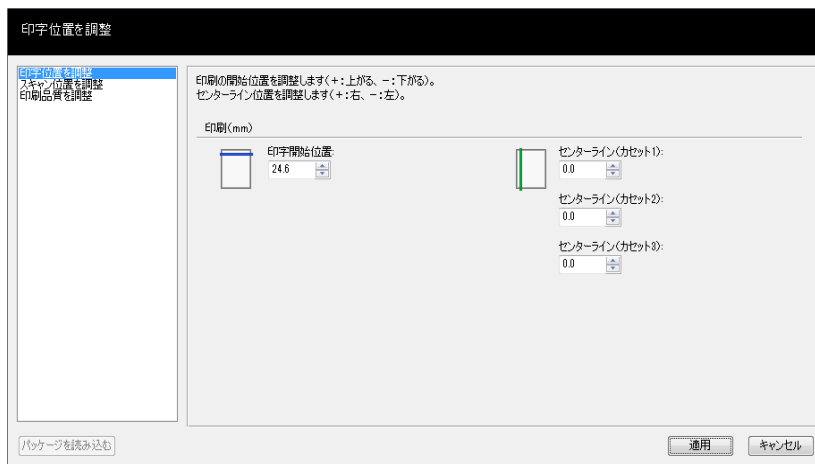
用紙を補給したとき、[用紙セット時の確認]を[設定する]に設定している場合は、用紙設定の確認画面が表示されません。用紙を変更した場合、[変更]を選択して、用紙の設定を変更してください。

- ▶ [カセット1～3 \(8-21ページ\)](#)  
[手差しトレイ \(8-21ページ\)](#)

# Maintenance Menuを使う

[Maintenance Menu] を使用すると、印字位置とスキャン位置を調整したり、現在地の高度に合わせて印刷品質を最大限に高めたりすることができます。

## ▶ Maintenance Menu操作手順書



項目		説明	
印字位置を調整	印字開始位置	上余白の値を指定し、印刷開始位置を調整します。 <b>設定値</b> ：0～300 mm(5 mm単位)	
	センターライン	使用可能な各給紙元の左余白の値を指定し、センター位置を調整します。 この設定は、使用できるオプションのペーパーフィーダーが装着されている場合に、各カセットで使用できます。 <b>設定値</b> ：-25～25 mm(5 mm単位)	
スキャン位置を調整	原稿ガラス	スキャン開始位置	原稿ガラスでの上余白の値を指定し、スキャン開始位置を調整します。 <b>設定値</b> ：-45～45 mm(5 mm単位)
		センターライン	原稿ガラスでの左余白の値を指定し、スキャンセンター位置を調整します。 <b>設定値</b> ：-50～50 mm(5 mm単位)
	原稿送り装置	スキャン開始位置	原稿送り装置が装着されている場合に、上余白の値を指定し、おもて面と裏面のスキャン開始位置を調整します。 <b>設定値</b> ：-25～25 mm(5 mm単位)
		スキャン終了位置	原稿送り装置が装着されている場合に、下余白の値を指定し、おもて面と裏面のスキャン終了位置を調整します。 <b>設定値</b> ：-25～025 mm(5 mm単位)
		センターライン	原稿送り装置が装着されている場合に、左余白の値を指定し、おもて面と裏面のスキャンセンター位置を調整します。 <b>設定値</b> ：-50～50 mm(5 mm単位)
印刷品質を調整	感光体電位設定	印刷品質が劣化した場合は、感光体電位を調整することで印刷品質を向上することができます。 <b>設定値</b> ：1～7	
	高度調整	1,000m以上の高地で使用していて、印刷品質が劣化した場合は、高度調整を行うことで、印刷品質が改善できます。 <b>設定値</b> ：標準、1001 - 2000m、2001 - 3000m、3001 - 3500m、	
	感光体リフレッシュ	画像に縦筋が入る場合は、感光体リフレッシュを実行します。	

## 一般的なトラブル

### トラブルが発生したら

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行っててください。

ここで説明する処置を行っても問題が解決されないときは、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。


#### 参考

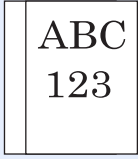
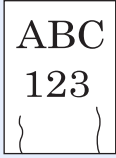
お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。  
シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

▶ [シリアル番号の記載位置について \(iページ\)](#)

## 機械動作のトラブル

機械動作のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処理を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
電源を入れても、画面に何も表示されない。	電源コードを確認してください。	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	<a href="#">2-9ページ</a>
[スタート]キーを押しても印刷できない。	画面にメッセージが表示されていませんか？	メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	<a href="#">10-19ページ</a>
	スリープ状態になっていませんか？	[節電]キーを押してください。	<a href="#">2-27ページ</a>
何も印刷されない。 	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	<a href="#">5-2ページ</a>
	—	原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	<a href="#">5-3ページ</a>
	—	アプリケーションソフトの設定を確認してください。	—
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	<a href="#">3-2ページ</a>
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	<a href="#">3-2ページ</a>
	用紙の種類や保管状態は正しいですか？	用紙をカセットから一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	<a href="#">3-2ページ</a>
	用紙がカールしたり、折れやシワがありませんか？	新しい用紙に交換してください。	<a href="#">3-2ページ</a>
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか？	つまった用紙を取り除いてください。	<a href="#">10-30ページ</a>

現象	確認事項	処置	参照ページ
用紙が2枚以上重なってでる。(重送) 	—	用紙を正しくセットしなおしてください。	<a href="#">3-2ページ</a>
用紙にシワが発生する。 	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	<a href="#">3-2ページ</a>
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	<a href="#">3-2ページ</a>
用紙にカールが発生する。 	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。	<a href="#">3-2ページ</a>
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	<a href="#">3-2ページ</a>
プリンタードライバーがインストールできない。	Wi-FiまたはWi-Fi Direct機能が使用できる状態で、ドライバーをホスト名でインストールしていませんか？	ホスト名の代わりにIPアドレスを指定してください。	—
印刷が開始されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか？	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	—
	電源が入っていますか？	電源スイッチを入れてください。	<a href="#">2-10ページ</a>
	USBケーブルやネットワークケーブルが、正しく接続されていますか？	USBケーブルやネットワークケーブルを確実に接続してください。	<a href="#">2-8ページ</a>
	印刷ジョブが一時中止になっていませんか？	印刷を再開してください。	<a href="#">7-13ページ</a>
USBメモリーで印刷できない。 USBメモリーを認識しない。	USBホストの設定が、[ブロックする]になっていませんか？	USBホストの設定を、[ブロックしない]に変更してください。	<a href="#">8-16ページ</a>
	—	USBメモリーが、本機にしっかり接続されているか確認してください。	—
[Auto-IP]を[使用する]に設定したが、IPアドレスが取得できない。	TCP/IP(v4)のIPアドレスに0.0.0.0以外のアドレスが設定されていませんか？	TCP/IP(v4)のIPアドレスに0.0.0.0を設定してください。	<a href="#">2-18ページ</a>



現象	確認事項	処置	参照ページ
SMB送信ができない。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを確実に接続してください。	<a href="#">2-8ページ</a>
	本体側のネットワーク設定は正しく設定されていますか？	TCP/IPの設定を正しく行ってください。	<a href="#">8-9ページ</a>
	フォルダーの共有設定は正しく設定されていますか？	フォルダーのプロパティで共有設定、アクセス許可を確認してください。	<a href="#">3-10ページ</a>
	SMBプロトコルはオンになっていますか？	SMBプロトコルの設定を[オン]にしてください。	<a href="#">8-12ページ</a>
	[ホスト名]を正しく入力しましたか？*1	データの宛先になるコンピューター名を確認してください。	<a href="#">5-16ページ</a>
	[パス]を正しく入力しましたか？	共有フォルダーの共有名を確認してください。	<a href="#">5-16ページ</a>
	[ログインユーザー名]を正しく入力しましたか？*1*2	ドメイン名、ログインユーザー名を確認してください。	<a href="#">5-16ページ</a>
	[ホスト名]と[ログインユーザー名]のドメイン名が同じになっていませんか？	[ログインユーザー名]に入力されている「ドメイン名」と「¥」を削除してください。	<a href="#">5-16ページ</a>
	[ログインパスワード]を正しく入力しましたか？	ログインパスワードを確認してください。	<a href="#">5-16ページ</a>
	Windows ファイアウォールの例外設定は正しく設定されていますか？	Windows ファイアウォールの例外設定を正しく設定してください。	<a href="#">3-13ページ</a>
	本体、ドメインサーバー、データの宛先になるパソコンの時間設定がずれていませんか？	本体、ドメインサーバー、データの宛先になるパソコンの時間設定を合わせてください。	—
	画面に「送信エラーです。」と表示されていませんか？	送信エラーコードを参照してください。	<a href="#">10-27ページ</a>
メールが送信できない。	本機に登録しているSMTPサーバーでメールの送信サイズに制限がありませんか？	Command Center RX の[メール] > 「メール送信のサイズ制限」に制限値が入力されているかどうかを確認し、必要に応じて設定を変更してください。	<a href="#">2-51ページ</a>
排紙口付近から湯気が出る。	本機を使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	本機を使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。	—

\*1 ホスト名にフルコンピューター名を入力しても接続できます。(例:pc001.abcdnet.com)

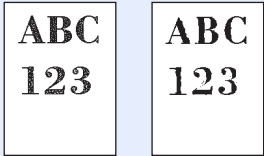
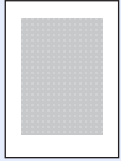
\*2 ログインユーザー名は、以下の方式で入力することも可能です。


ドメイン名¥ユーザー名 (例:abcdnet¥yamada)

ユーザー名@ドメイン名 (例:yamada@abcdnet)

## 画像のトラブル

画像のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処理を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
画像が全体的にうすい。 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。	<a href="#">3-2ページ</a>
	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	<a href="#">6-18ページ</a> <a href="#">8-36ページ</a>
	トナーコンテナをよく振りましたか？	トナーコンテナを数回左右に振ってください。	<a href="#">10-8ページ</a>
	エコプリントを設定していませんか？	[エコプリント]の設定を、[設定しない]に切り替えてください。	<a href="#">8-31ページ</a>
	現像ユニット、ドラムユニットが正しく装着されていますか。	現像ユニット、ドラムユニットが正しく装着してください。	<a href="#">10-4ページ</a>
	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	<a href="#">8-20ページ</a>
画像の白地部分が全体的に灰色に見える。 	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	<a href="#">6-18ページ</a> <a href="#">8-36ページ</a>
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [ドラムリフレッシュ]を選択し、[はい]を押してください。	—
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。効果が現れない場合は、元の設定値から1段階ずつ小さくしてください。1段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。 	写真が印刷された原稿ですか？	【コピーの場合】 原稿の画質を[写真]に設定してください。	<a href="#">6-17ページ</a>
	—	【コピーの場合】 [シャープネス]を[-1]～[-3]に設定してください。	<a href="#">6-20ページ</a>
	—	【コピーの場合】 [システムメニュー/カウンター]キー > [コピー] > [原稿送り装置動作]または[原稿ガラススキャン動作]を選択し、設定値を[画質優先]に設定してください。	<a href="#">8-30ページ</a>

現象	確認事項	処置	参照ページ
文字がはっきり印刷されない。 	原稿の種類に合った画質を選択していますか？	適切な画質を選択してください。	<a href="#">6-17ページ</a>
	—	【コピーの場合】 [シャープネス]を[+1]～[+3]に設定してください。	<a href="#">6-20ページ</a>
画像の白地部分に黒点が入る。 	原稿押さえ面や原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿押さえ面や原稿ガラスを清掃してください。	<a href="#">10-2ページ</a>
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [ドラムリフレッシュ]を選択し、[はい]を押してください。	—
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
画像がぼける。 	湿気が高い、または急激に温度や湿度が変化する場所で使用していませんか？	湿度が適切な環境で使用してください。	—
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [ドラムリフレッシュ]を選択し、[はい]を押してください。	—
画像の位置がズれる。 	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットする場合は、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。	<a href="#">5-2ページ</a>
	—	原稿送り装置に原稿をセットする場合は、原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	<a href="#">5-3ページ</a>
	用紙が正しくセットされていますか？	カセットの用紙幅ガイドの位置を確認してください。	<a href="#">3-2ページ</a>
画像に不規則な横筋が入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
使用環境が標高1000 m以上の高地であり、画像に不規則な横白筋が入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [高度調整]を選択し、現状の設定より1段階高い標高の設定値を設定してください。	—

現象	確認事項	処置	参照ページ
使用環境が標高1000 m以上の高地であり、画像に黒点が入る。 	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [高度調整]を選択し、現状の設定より1段階高い標高の設定値を設定してください。	—
縦筋が入る。 	スリットガラスが汚れていませんか？	スリットガラスを清掃してください。	<a href="#">10-3ページ</a>
	—	本体内部のチャージャーを清掃してください。	<a href="#">10-4ページ</a>
用紙の先端や裏側が汚れる。 	本体内部が汚れていませんか？	本体内部を清掃してください。	<a href="#">10-4ページ</a>
画像の一部が周期的にうすい、または白い筋が入る。 	—	前カバーを開けて、閉め直してください。	—
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [ドラムリフレッシュ]を選択し、[はい]を押してください。	—
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [MC]を選択し、設定値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ小さくしてください。1段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—
前の画像が周期的にうすく残る。 	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	<a href="#">8-19ページ</a>
	—	[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [MC]を選択し、設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	—

## こんな表示がでたら

### メッセージが表示されたら

画面にメッセージが出たときには、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。

問題が解決されないときは、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

#### 参考


お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。  
シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

▶ [シリアル番号の記載位置について \(iページ\)](#)

## エラーメッセージ一覧

画面に次のようなエラーメッセージが表示されます。メッセージに応じて、処置を行ってください。

### 英数字

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
KPDLエラーです。 ジョブを中止します。*1	—	PostScriptエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[OK]キーを選択してください。	—
MKを交換してください。	—	約100,000イメージの印刷ごとにメンテナンスキットによる部品交換が必要です。購入元または弊社お客様相談窓口にご連絡してください。	—
RAMディスクエラーです。 [OK]を押してください。	—	RAMディスクでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[OK]キーを選択してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 04:RAMディスク上の空き容量が足りません。オプションのRAMディスクを装着している場合は、システムメニューの「RAMディスクモード」でRAMディスクサイズを大きくしてください。  <b>参考</b> RAMディスクサイズの設定範囲は、「オプションメモリー使用量」の設定で[プリンター優先]を選択すると大きくなります。	<a href="#">8-28ページ</a> <a href="#">8-28ページ</a>

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
USBメモリーエラーです。ジョブを中止します。	外部メモリーが書き込み禁止になっていませんか？	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[OK]キーを選択してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 01:書き込み可能な外部メモリーを接続してください。	—
	—	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。 可能性のあるエラーコードは以下になります。 01:一度に保存できるデータ容量を超えています。電源をOFF/ONしてください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。それでも解消されない場合は外部メモリーが本機の仕様に適していません。本機で[フォーマット]を実行してください。フォーマットできない場合は外部メモリーが壊れています。適応する外部メモリーを接続してください。	—

\*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-25ページ\)](#)

## あ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
アクセスポイントが検出できませんでした。	—	アクセスポイントが正しく設定されているか確認してください。	—
後ろカバーで紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	<a href="#">10-43ページ</a>
エラーが発生しました。電源スイッチを入れ直してください。	—	エラーが発生しています。電源をオフ/オンしてください。	—

## か行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
外部メモリーの容量がいっぱいです。ジョブは中止されます。*1	—	ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 外部メモリーの空き容量が足りません。不要なファイルを削除してください。	—
カセット○に用紙を補給してください。 ↑↓ OKキーでカセット○からの印刷を継続します。	表示されている給紙元の用紙がなくなっていないですか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合は、[用紙]を選択してください。選択した用紙で印刷する場合は、[OK]を選択してください。	<a href="#">3-2ページ</a>

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
カセット○に用紙を補給してください。 ↑↓ 選択したサイズ of 用紙をセットして[OK]を押してください。	表示されている給紙元の用紙がなくなっていますか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷する場合は、[用紙]を選択してください。 選択した用紙で印刷する場合は、[OK]を選択してください。	<a href="#">3-2ページ</a>
カセット○で紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されず。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	<a href="#">10-30ページ</a>
カセット1上部のカバーで紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されず。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	<a href="#">10-38ページ</a>
○カバーを閉じてください。	開いているカバーはありませんか？	画面に表示されているカバーを閉じてください。	—
原稿送り装置から原稿を取り除いてください。	原稿送り装置に原稿が残っていませんか？	原稿送り装置から原稿を取り除いてください。	<a href="#">10-46ページ</a>
原稿送り装置で紙づまりです。	—	原稿送り装置で紙づまりが発生しました。電源を入れたまま、画面で[ヘルプ]を選択し、ガイダンスに従って取り除いてください。	<a href="#">10-46ページ</a>
原稿送り装置を閉じてください。	原稿送り装置のカバーが開いていませんか？	原稿送り装置のカバーを閉じてください。	—
高温環境です。室温調整してください。	—	機械設置場所の空調温度を調整してください。	—
故障が発生しました。サービス担当者に連絡してください。	—	本機内部で異常が発生しています。画面に表示されているエラーコードを書きとめて、サービス担当者にご連絡ください。	—
このユーザーはロックされています。管理者に連絡してください。ジョブを中止します。	—	管理者に連絡してください。 ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—
この用紙は両面印刷できません。 ↑↓ OKキーでカセット○からの印刷を継続します。	両面印刷できないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	両面印刷可能な用紙を選択する場合は、[用紙]を選択してください。 両面印刷を解除して印刷する場合は、[OK]を選択してください。	—
この用紙は両面印刷できません。 ↑↓ OKキーで手差しからの印刷を継続します。	両面印刷できないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	両面印刷可能な用紙を選択する場合は、[用紙]を選択してください。 両面印刷を解除して印刷する場合は、[OK]を選択してください。	—

\*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

▶ [エラー後自動継続 \(8-25ページ\)](#)



さ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
サーバーに接続できません。サーバーとの接続状況を確認してください。ジョブを中止します。	—	サーバーとの接続状況を確認してください。	—
最大接続数を超えるため接続できません。	—	使用していない携帯端末の接続を解除するか、または、本機の自動切断時間を設定して、携帯端末の接続を切断してください。	—
指定外のトナーが装着されています。PC	装着されたトナーの販売地域が、本体販売地域と一致していますか？	本体販売地域と一致したトナーを使用してください。	—
指定外のトナーです。 [ヘルプ]を押してください。	装着されたトナーは純正消耗品(指定トナー)ですか？	純正消耗品以外の消耗品(指定外トナー)が原因の故障については、責任を負いかねますのでご了承ください。	—
使用する権限がありません。 →○○○	—	ユーザー認可で使用が禁止されているため、このジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—
ジョブ保留のデータを保存できませんでした。ジョブを中止します。	—	ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—
スキャナーのメモリー不足です。 ジョブを中止します。 <sup>*1</sup>	—	メモリー不足のため、処理できません。ジョブは中止されます。[OK]キーを選択してください。	<a href="#">8-28ページ</a>
全ての原稿を再セットしスタートキーを押してください。	—	原稿送り装置から原稿を取り出し、元の順番に並べてセットしなおしてください。ジョブを中止するときは、[中止]を選択してください。	—
スリットガラスを清掃してOKを押してください。	—	スリットガラスを清掃してください。	<a href="#">10-3ページ</a>
接続できません。	—	Wi-FiまたはWi-Fiダイレクトの接続が完了しなかった場合に 표시됩니다。設定内容や電波の状態を確認してください。	—
送信エラーです。 <sup>*1</sup>	—	送信中にエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。エラーコードとその詳細は送信エラーを参照してください。	<a href="#">10-27ページ</a>
送信ジョブの予約制限数を超過しました。	—	タイマー送信をセットできる件数を超過しています。[OK]を選択してください。	—

\*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

▶ [エラー後自動継続 \(8-25ページ\)](#)



た行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
低温環境です。室温調整してください。	—	機械設置場所の空調温度を調整してください。	—
手差しトレイに用紙を補給してください。 ↑↓ OKキーで手差しトレイからの印刷を継続します。	手差しトレイの用紙がなくなっていますか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷する場合は、[用紙]を選択してください。 選択した用紙で印刷する場合は、[OK]を選択してください。	<a href="#">3-2ページ</a>
手差しトレイに用紙を補給してください。 ↑↓ 選択したサイズの用紙をセットして[OK]を押してください。	手差しトレイの用紙がなくなっていますか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷する場合は、[用紙]を選択してください。 選択した用紙で印刷する場合は、[OK]を選択してください。	<a href="#">3-2ページ</a>
手差しトレイで紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されず。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	<a href="#">10-30ページ</a>
登録済みカードです。登録できません。	—	ご使用のICカードは、すでに登録されています。別のICカードと交換してください。	—
トナーコンテナが正しく装着されていません。	トナーコンテナと現像ユニットが正しく装着されていますか？	トナーコンテナと現像ユニットを正しく装着してください。	<a href="#">10-4ページ</a>
トナーを交換してください。	—	当社指定のトナーコンテナに交換してください。	<a href="#">10-8ページ</a>
トナーが少なくなりました。(なくなったら交換)	—	トナーコンテナの交換時期が近づいています。トナーコンテナを準備してください。	—
ドラムリフレッシュ中です。お待ちください。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—

な行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
内部トレイの用紙がいっぱいです。用紙を取り除いてください。	—	内部トレイの用紙を取り出してください。 [継続]を選択すると、印刷が再開されます。ジョブを中止するときは、[中止]を選択してください。	—
認識できません。	—	ご使用のICカードが登録されているか確認してください。	ICカード認証キット(B) 使用説明書
認証サーバーに接続できません。ドメイン名を確認してください。 <sup>*1</sup>	—	ドメイン名を確認してください。	<a href="#">9-2ページ</a>
認証サーバーに接続できません。ホスト名を確認してください。 <sup>*1</sup>	—	ホスト名を確認してください。	<a href="#">9-2ページ</a>

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
認証サーバーに接続できません。本体とサーバーの時刻を合わせてください。 <sup>*1</sup>	—	本機の時刻とサーバーの時刻を合わせてください。	<a href="#">2-17ページ</a>
認証サーバーに接続できません。サーバーとの接続状況を確認してください。 <sup>*1</sup>	—	サーバーとの接続状況を確認してください。	—

\*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-25ページ\)](#)


## は行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ファクスのメモリー不足です。	—	メモリー不足のためファクスを処理できません。ジョブは中止されます。[OK]キーを選択してください。	ファクス使用説明書
複数印刷できません。1部だけ印刷することができます。	—	1部だけ印刷することができます。印刷する場合は[継続]を選択してください。ジョブを中止する場合は[中止]を選択してください。	—
付属電話機の受話器がはずれています。受話器を戻してください。	—	受話器を戻してください。	ファクス使用説明書
部門管理設定エラーです。	—	外部からジョブを実行する際に、部門管理の設定に失敗しました。ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—
部門管理で使用が禁止されています。印刷できません。	—	部門管理で使用が禁止されているため、このジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—
部門管理の制限を超えました。ジョブを中止します。	部門管理で設定されている制限ページ数を超過していませんか？	部門管理で設定されている制限ページ数に達したため、これ以上印刷できません。このジョブは中止されます。[OK]キーを選択してください。	—
部門コードが違います。ジョブを中止します。 <sup>*1</sup>	—	外部からジョブを実行する際に、部門コードが間違っています。ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—
プリントオーバーランです。ジョブを一時停止しました。	—	印刷処理に時間がかかっているため、ジョブを一時停止しました。ジョブを再開する場合は、[継続]を選択してください。ジョブを中止する場合は[中止]を選択してください。	—
ポーリングボックスの制限を超えました。ジョブを中止します。	画面に[OK]が表示されていませんか？	指定されたボックスがいっぱいのため保存できません。このジョブは中止されます。[OK]を選択してください。ボックスの原稿を印刷または削除してから、再度操作してください。	ファクス使用説明書

\*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-25ページ\)](#)

ま行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
メモリーオーバーフローです。一部印刷されないページがあります。 <sup>*1</sup>	—	<p>空きメモリーがなくなったため、これ以上ジョブを継続できません。読み込んだページを処理するときは[継続]を選択してください。一部処理されないページがあります。ジョブを中止するときは[中止]を選択してください。</p> <p>同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システムメニューの「RAMディスクモード」で[設定する]を選択し、RAMディスクサイズを小さくする</li> <li>システムメニューの「オプションメモリー使用量」で[プリンター優先]を選択する</li> </ul> <p> <b>参考</b></p> <p>「RAMディスクサイズ」や「オプションメモリー使用量」の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。</p>	<a href="#">8-28ページ</a>
メモリーオーバーフローです。ジョブは中止されます。	—	メモリー不足のため、処理できません。[終了]のみ表示されている場合は[終了]を選択してください。このジョブは中止されます。	—
メモリーカードエラーです。ジョブを中止します。	—	メモリーカードでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
メモリー不足のためジョブを開始できません。	—	ジョブを開始できません。しばらくしてからやり直してください。	—

\*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-25ページ\)](#)

や行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
読み込み制限ページ数に達しました。	原稿読み込みページ数制限を超えていませんか？	これ以上読み込みできません。ジョブは中止されます。[OK]キーを選択してください。	—

ら行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
両面ユニットで紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	<a href="#">10-43ページ</a>
冷却中です。 お待ちください。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—
ログインユーザー名またはパスワードが違います。ジョブを中止します。 <sup>*1</sup>	—	外部からジョブを実行する際に、ログインユーザー名またはパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—

\*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-25ページ\)](#)

## 送信エラーコード一覧

画面に表示される送信エラーコードは以下のとおりです。

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
1101	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTP サーバーのホスト名を確認してください。	<a href="#">2-51ページ</a>
	FTP送信できませんでした。	FTPのホスト名を確認してください。	<a href="#">5-18ページ</a>
	SMB送信できませんでした。	SMBのホスト名を確認してください。	<a href="#">5-16ページ</a>
1102	SMB送信できませんでした。	SMBの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ログインユーザー名またはログインパスワード</li> </ul>  <b>参考</b> ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ホスト名</li> <li>パス</li> </ul>	<a href="#">5-16ページ</a>
	メール送信できませんでした。	Command Center RXの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SMTPのログインユーザー名またはログインパスワード</li> <li>POP3のログインユーザー名またはログインパスワード</li> <li>メール送信のサイズ制限</li> </ul>	<a href="#">2-51ページ</a>
	FTP送信できませんでした。	FTPの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ログインユーザー名またはログインパスワード</li> </ul>  <b>参考</b> ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パス</li> <li>送信先フォルダーのアクセス権</li> </ul>	<a href="#">5-18ページ</a>
1103	SMB送信できませんでした。	SMBの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ログインユーザー名またはログインパスワード</li> </ul>  <b>参考</b> ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パス</li> <li>送信先フォルダーのアクセス権</li> </ul>	<a href="#">5-16ページ</a>
	FTP送信できませんでした。	FTPの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パス</li> <li>送信先フォルダーのアクセス権</li> </ul>	<a href="#">5-18ページ</a>
1104	メール送信できませんでした。	メールアドレスを確認してください。  <b>参考</b> ドメイン制限で拒否されている場合は送信できません。	<a href="#">5-15ページ</a>

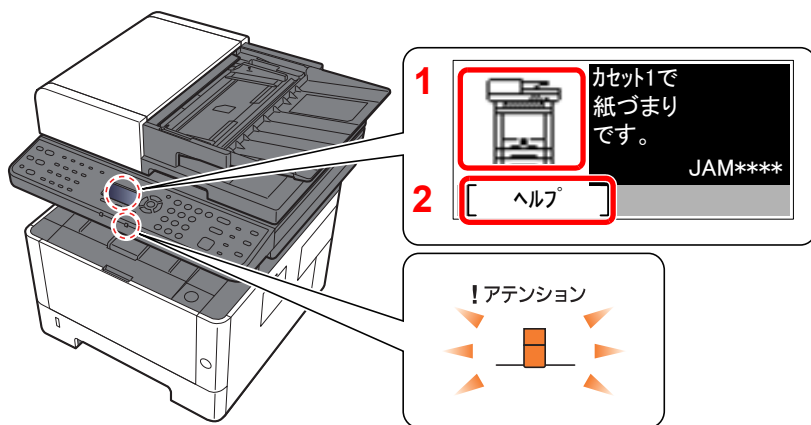
エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
1105	SMB送信できませんでした。	Command Center RX でSMB プロトコルの設定を[オン]にしてください。	<a href="#">8-12ページ</a>
	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTPを[オン]にしてください。	<a href="#">2-51ページ</a>
	FTP送信できませんでした。	Command Center RX でFTP を[オン]にしてください。	<a href="#">8-12ページ</a>
1106	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTPの差出人アドレスを確認してください。	<a href="#">2-51ページ</a>
1131	FTP送信できませんでした。	Command Center RXでセキュアプロトコルのSSLを[オン]にしてください。	<a href="#">8-15ページ</a>
1132	メール送信できませんでした。	送信先のサーバーを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SMTP over SSLに対応していますか？</li> <li>設定した暗号方式に対応していますか？</li> </ul>	—
	FTP送信できませんでした。	送信先のサーバーを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>FTPSに対応していますか？</li> <li>設定した暗号方式に対応していますか？</li> </ul>	—
2101	SMB送信できませんでした。	ネットワークとSMBの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークケーブルの接続</li> <li>ハブの動作</li> <li>サーバーの状態</li> <li>ホスト名またはIPアドレス</li> <li>ポート番号</li> </ul>	—
	FTP送信できませんでした。	ネットワークとFTPの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークケーブルの接続</li> <li>ハブの動作</li> <li>サーバーの状態</li> <li>ホスト名またはIPアドレス</li> <li>ポート番号</li> </ul>	—
	メール送信できませんでした	ネットワークとCommand Center RXの設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークケーブルの接続</li> <li>ハブの動作</li> <li>サーバーの状態</li> <li>POP3ユーザーのPOP3サーバー名</li> <li>SMTPサーバー名</li> </ul>	<a href="#">2-51ページ</a>

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
2102 2103	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークケーブルの接続</li> <li>ハブの動作</li> <li>サーバーの状態</li> </ul>	—
		送信先のサーバーを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>FTPに対応していますか？</li> <li>サーバーの状態</li> </ul>	—
	メール送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークケーブルの接続</li> <li>ハブの動作</li> <li>サーバーの状態</li> </ul>	—
2201 2202 2203 2231	メール送信できませんでした。 FTP送信できませんでした。 SMB送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークケーブルの接続</li> <li>ハブの動作</li> <li>サーバーの状態</li> </ul>	—
2204	メール送信できませんでした。	Command Center RXのSMTP設定でメール送信のサイズ制限を確認してください。	<a href="#">2-51ページ</a>
3101	メール送信できませんでした。	送信元および送信先の認証方法を確認してください。	—
	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークケーブルの接続</li> <li>ハブの動作</li> <li>サーバーの状態</li> </ul>	—
3201	メール送信できませんでした。	送信先のSMTPユーザー認証方法を確認してください。	—
0007 4201 4701 5101 5102 5103 5104 7101 7102 7103 720f	—	電源スイッチを入れなおしてください。何度も発生するときは、メッセージディスプレイに表示されているエラーコードを書きとめ、サービス担当者にご連絡ください。	<a href="#">2-10ページ</a>
9181	—	読み込み枚数が制限ページ数に達しました。制限を超えた分の原稿は分割して送信してください。	—

## 紙づまりの解除

紙づまりが発生すると、印刷が停止し、メッセージディスプレイに「紙づまりです。」が表示されます。以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除いてください。

### 紙づまり表示の見かたと位置の確認



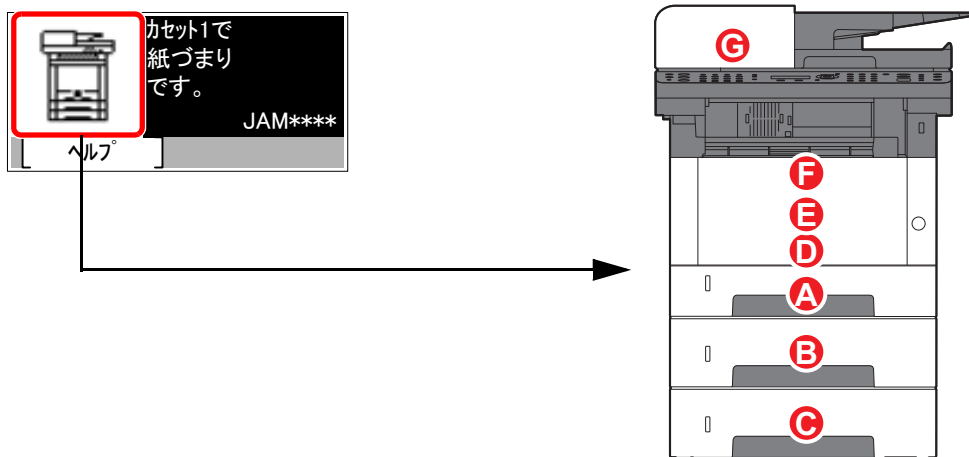
- 1 紙づまりの位置情報を表示します。
- 2 ヘルプ画面を表示します。

#### 参考

ヘルプ画面については、以下を参照してください。

▶ [ヘルプ画面の使いかた \(2-14ページ\)](#)

紙づまりが発生すると、メッセージディスプレイに紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。



紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
A	カセット1	<a href="#">10-31ページ</a>
B	カセット2	<a href="#">10-33ページ</a>
C	カセット3	<a href="#">10-35ページ</a>
D	手差しトレイ	<a href="#">10-37ページ</a>
E	機械内部	<a href="#">10-38ページ</a>
F	後ろカバー	<a href="#">10-43ページ</a>
G	原稿送り装置	<a href="#">10-46ページ</a>

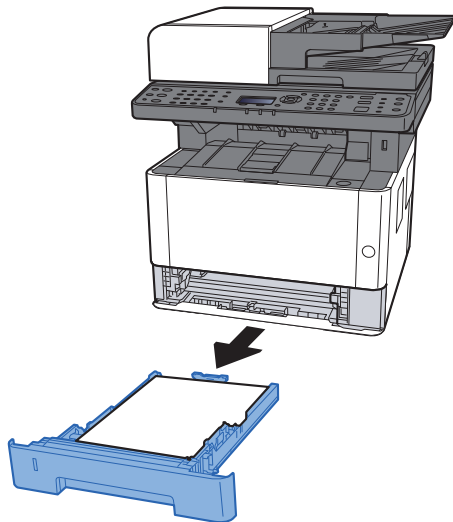


## カセット1の紙づまりを除去する

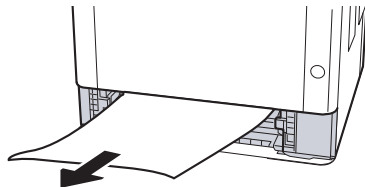
### 注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

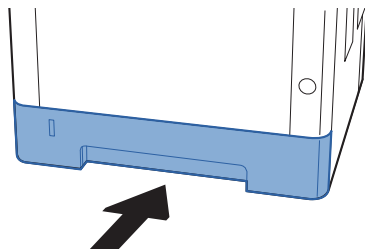
### 1 カセット1を引き出す



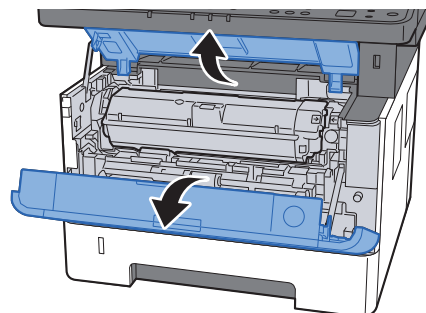
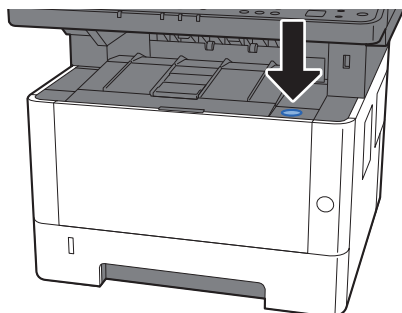
### 2 つまった用紙を取り出す



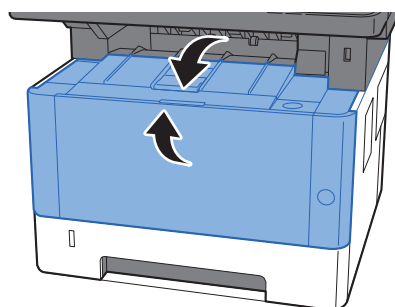
### 3 カセット1を元の位置に戻す



#### 4 前カバーを開ける



#### 5 前カバーを閉める

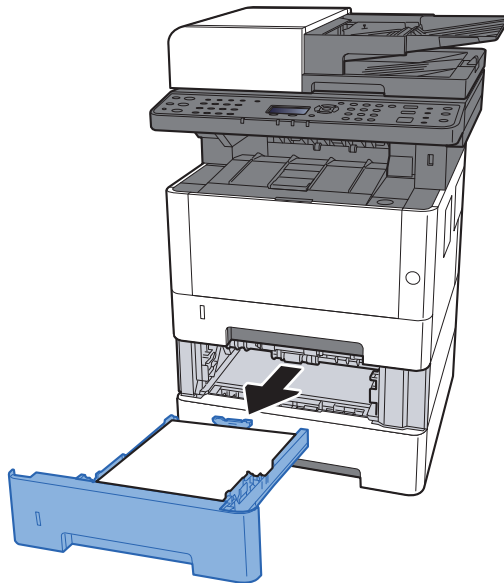


## カセット2の紙づまりを除去する

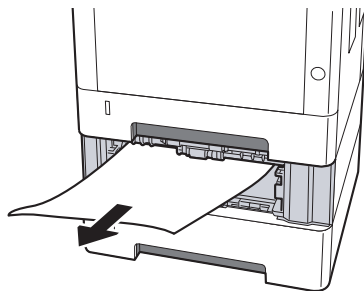
### 注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

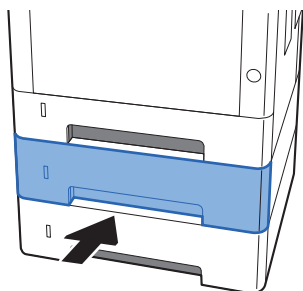
### 1 カセット2を引き出す



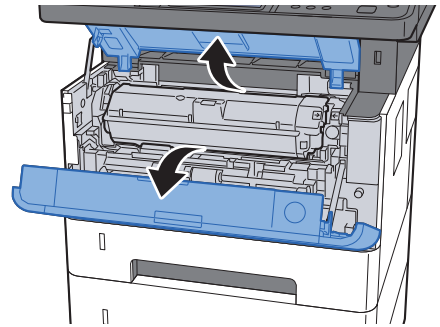
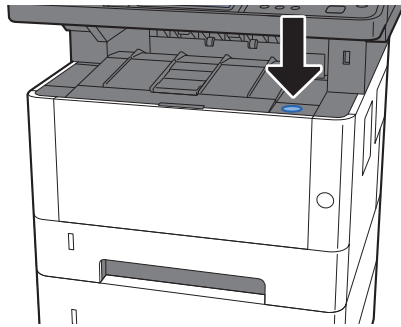
### 2 つまった用紙を取り出す



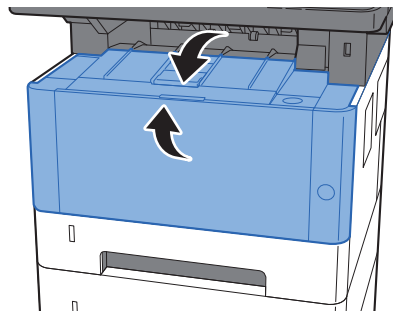
### 3 カセット2を元の位置に戻す



#### 4 前カバーを開ける



#### 5 前カバーを閉める

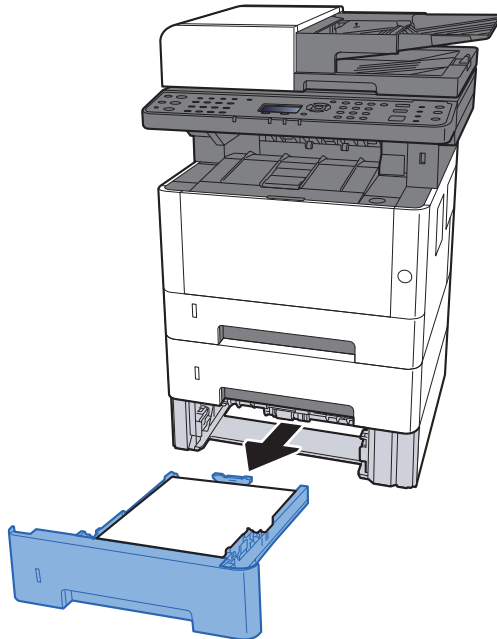


## カセット3の紙づまりを除去する

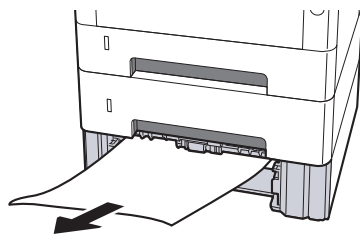
### 注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

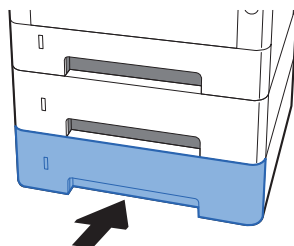
### 1 カセット3を引き出す



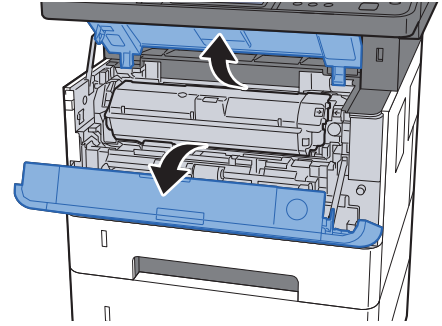
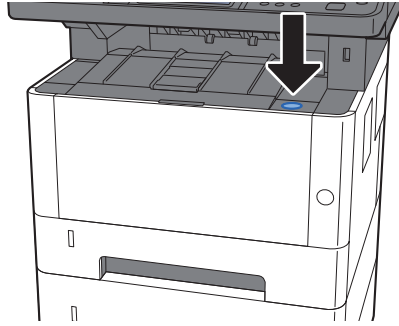
### 2 つまった用紙を取り出す



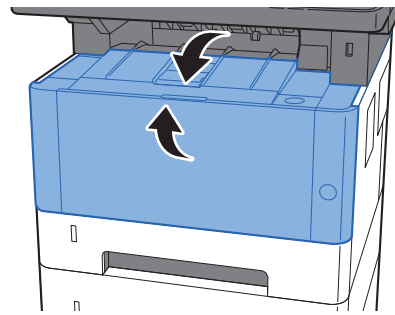
### 3 カセット3を元の位置に戻す



#### 4 前カバーを開ける



#### 5 前カバーを閉める

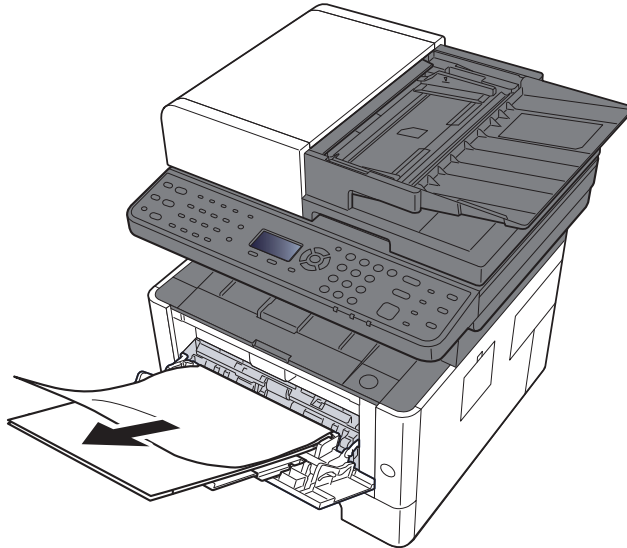


## 手差しトレイの紙づまりを除去する

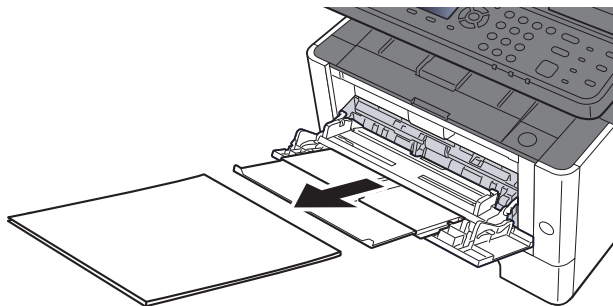
### 注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

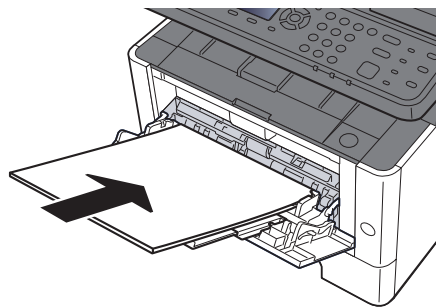
### 1 つまった用紙を取り出す



### 2 用紙をすべて取り出す



### 3 用紙をセットし直す

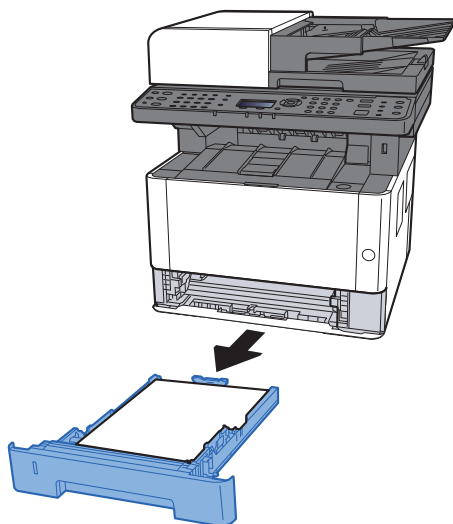


## 機械内部の紙づまりを除去する

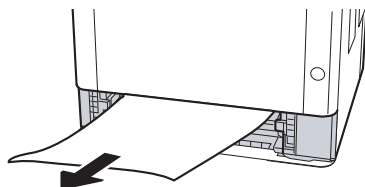
### 注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

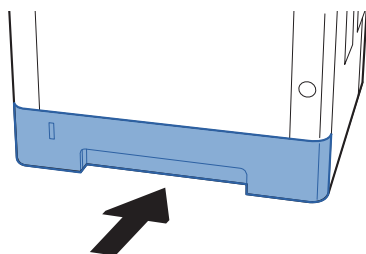
### 1 カセット1を引き出す



### 2 つまった用紙を取り出す

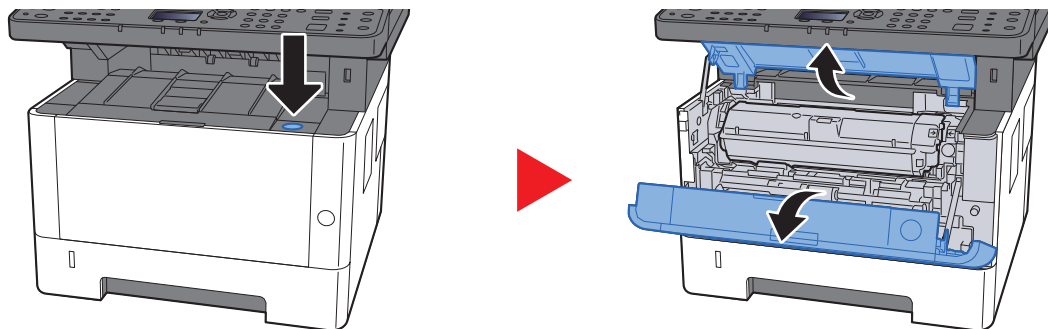


### 3 カセット1を元の位置に戻す

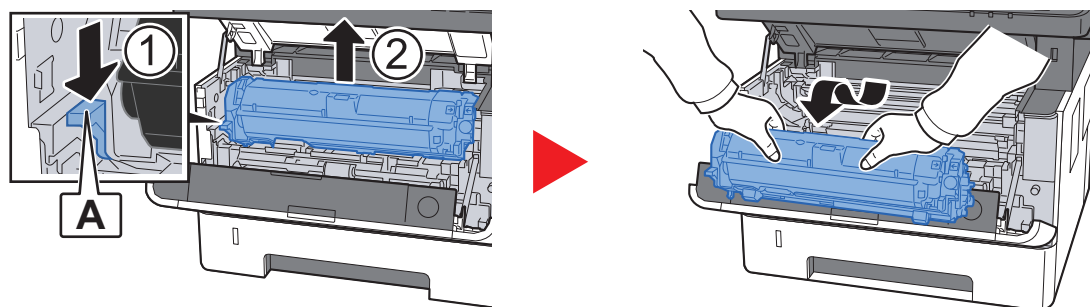




#### 4 前カバーを開ける



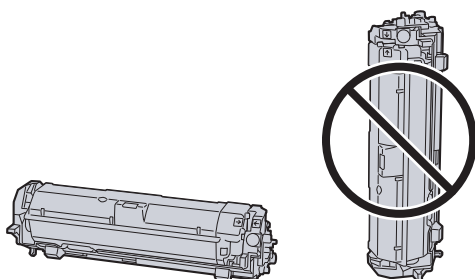
#### 5 トナーコンテナと現像ユニットを取り出す



☑ 重要

現像ローラー部分に手を触れたり、衝撃を与えないでください。印刷品質が劣化します。

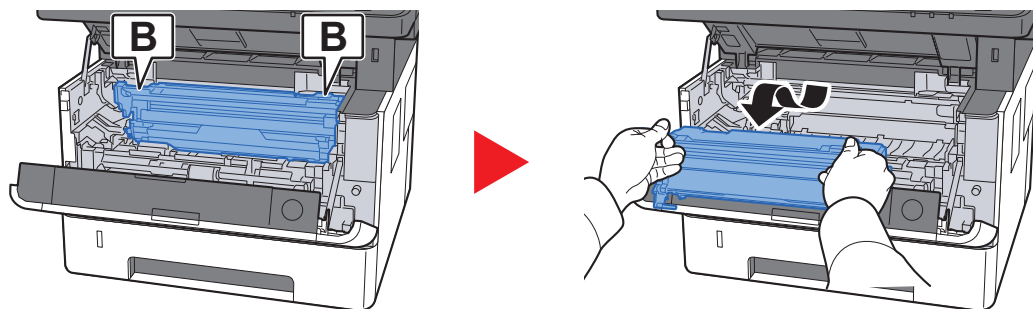
#### 6 取り出したトナーコンテナと現像ユニットを、汚れのない水平な場所に置く



☑ 重要

トナーコンテナと現像ユニットは立てて置かないでください。

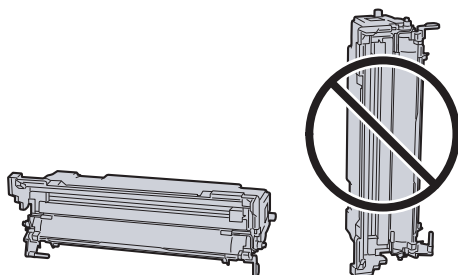
## 7 ドラムユニットを取り外す



☑ 重要

- ドラムユニットを取り外すと、高温になっている部分があります。やけどのおそれがありますのでご注意ください。
- ドラム部分に手を触れたり、衝撃を与えたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印刷品質が劣化します。

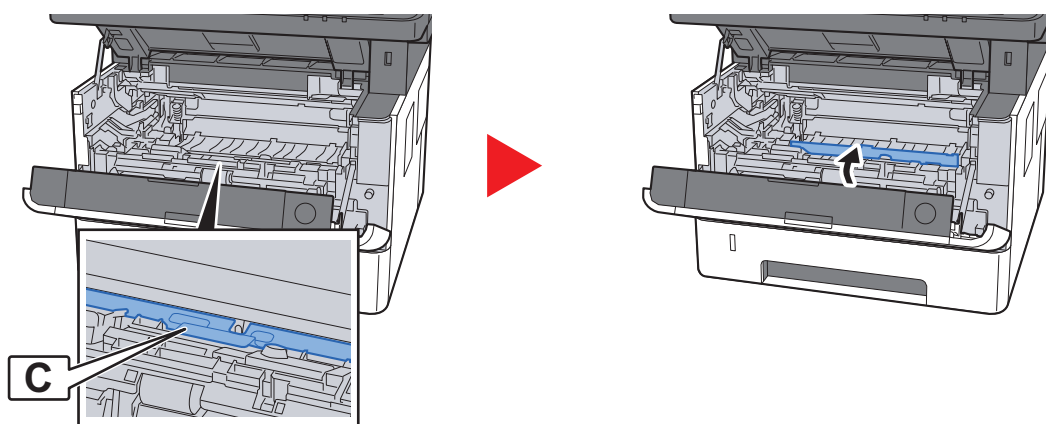
## 8 取り出したドラムユニットを、汚れのない水平な場所に置く



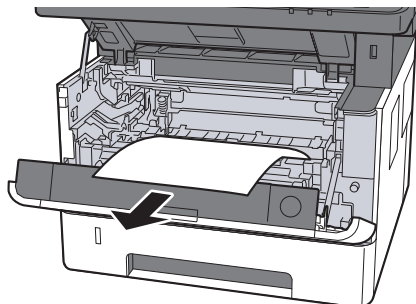
☑ 重要

ドラムユニットは立てて置かないでください。

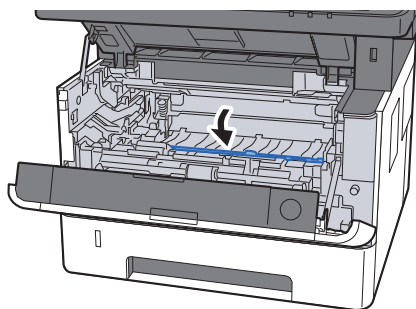
## 9 搬送カバーCを開く



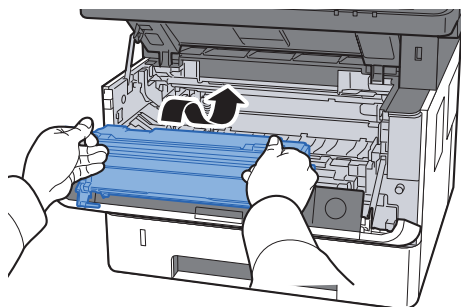
### 10 つまった用紙を取り出す



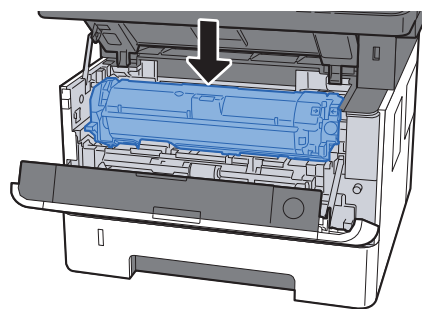
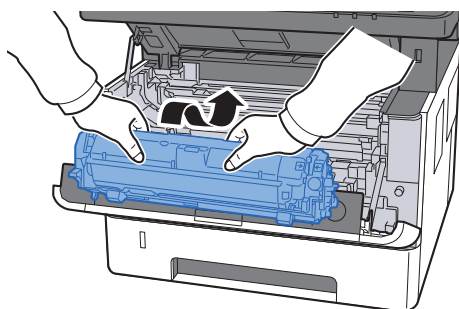
### 11 搬送カバーCを閉じる



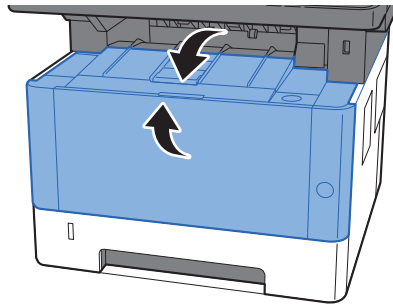
### 12 ドラムユニットを戻す



### 13 トナーコンテナと現像ユニットを戻す



## 14 前カバーを閉じる



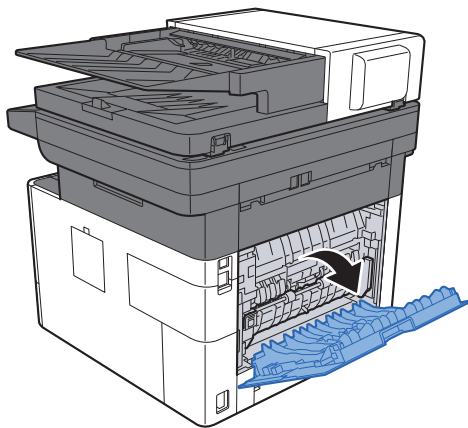
## 後ろカバーの紙づまりを除去する



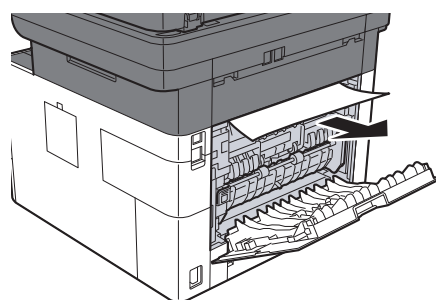
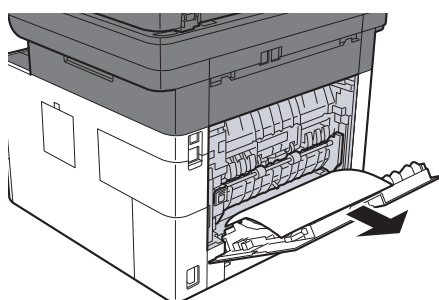
### 注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

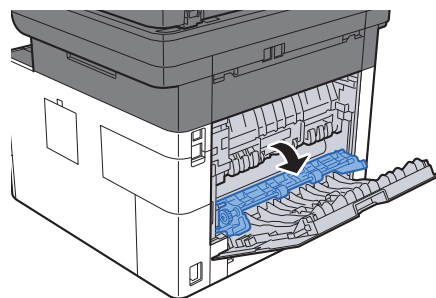
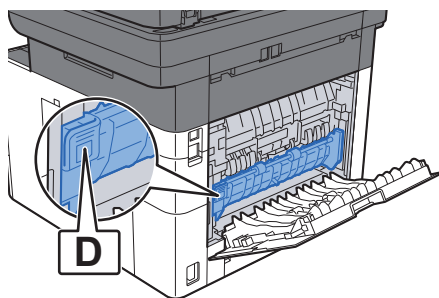
### 1 後ろカバーを開ける



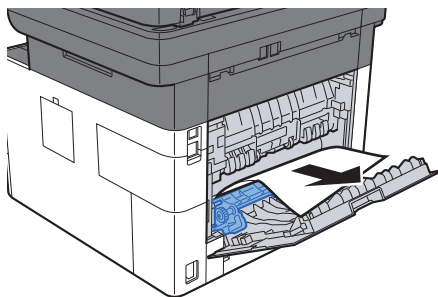
### 2 つまった用紙を取り出す



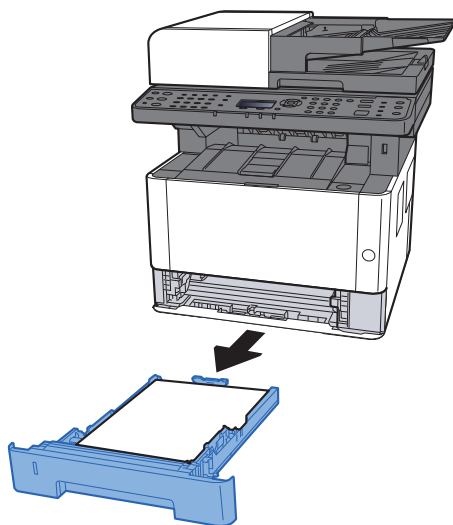
### 3 定着カバーDを開ける



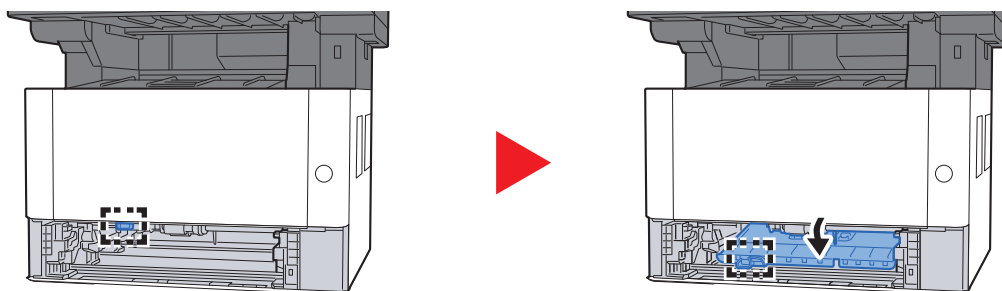
#### 4 つまった用紙を取り出す



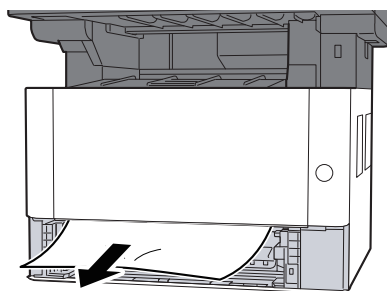
#### 5 カセット1を引き出す



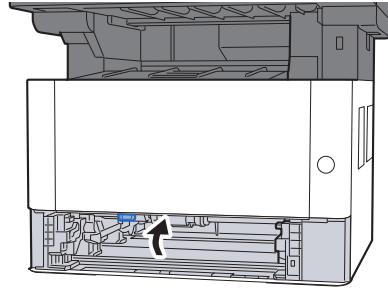
#### 6 搬送カバーを下げる



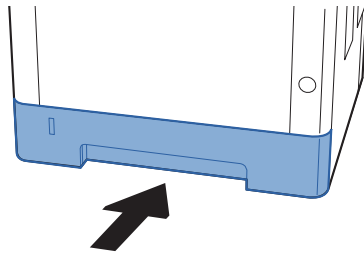
#### 7 つまった用紙を取り出す



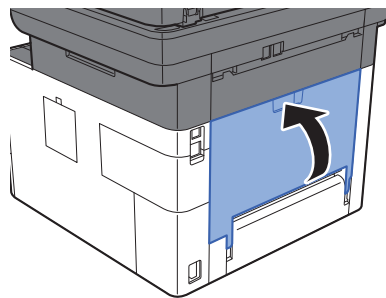
**8** 搬送カバーを元の位置に戻す



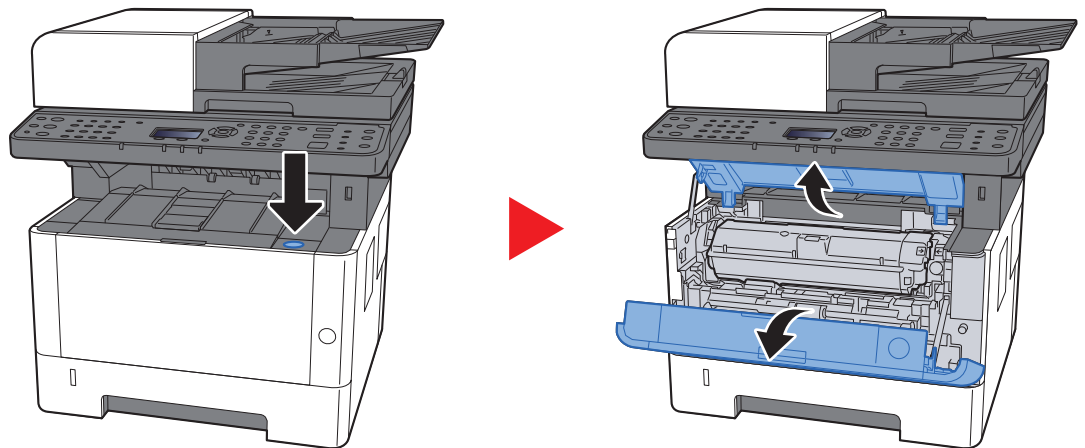
**9** カセット1を元の位置に戻す



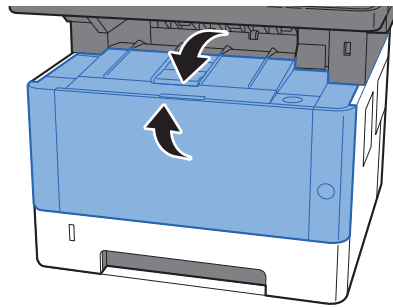
**10** 後ろカバーを元の位置に戻す



**11** 前カバーを開ける



## 12 前カバーを閉める



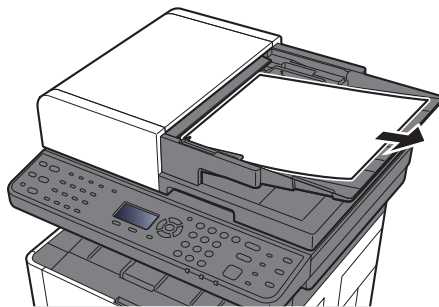
## 原稿送り装置の紙づまりを除去する



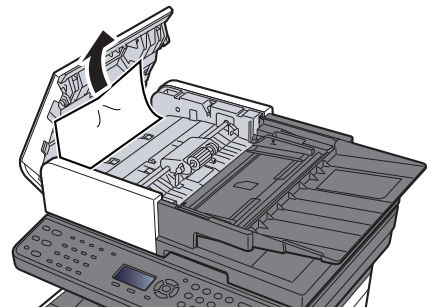
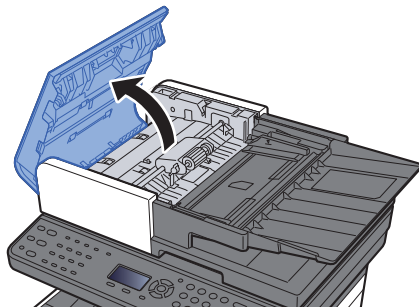
### 注意

原稿を取り出すときに、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

### 1 原稿トレイから原稿を取り出す

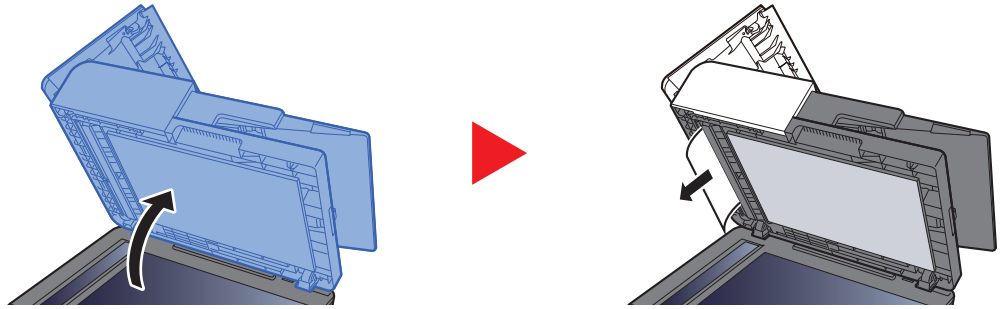


### 2 上カバーを開けて、つまった原稿を取り出す

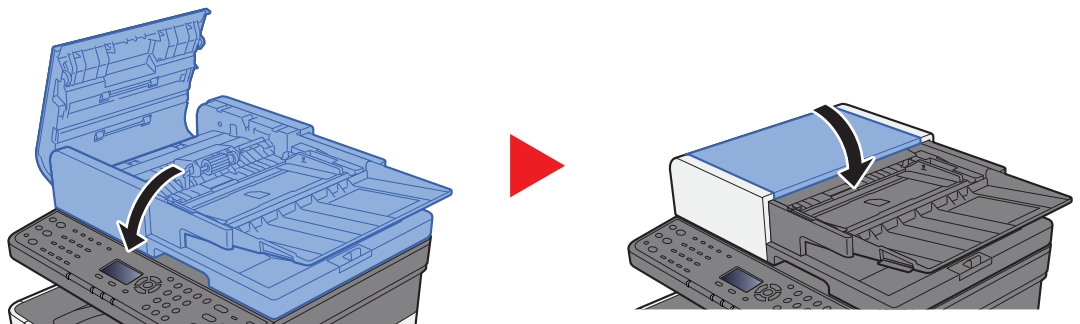




### 3 原稿送り装置内部の原稿を取り出す



### 4 カバーを元の位置に戻す



# 11 付録

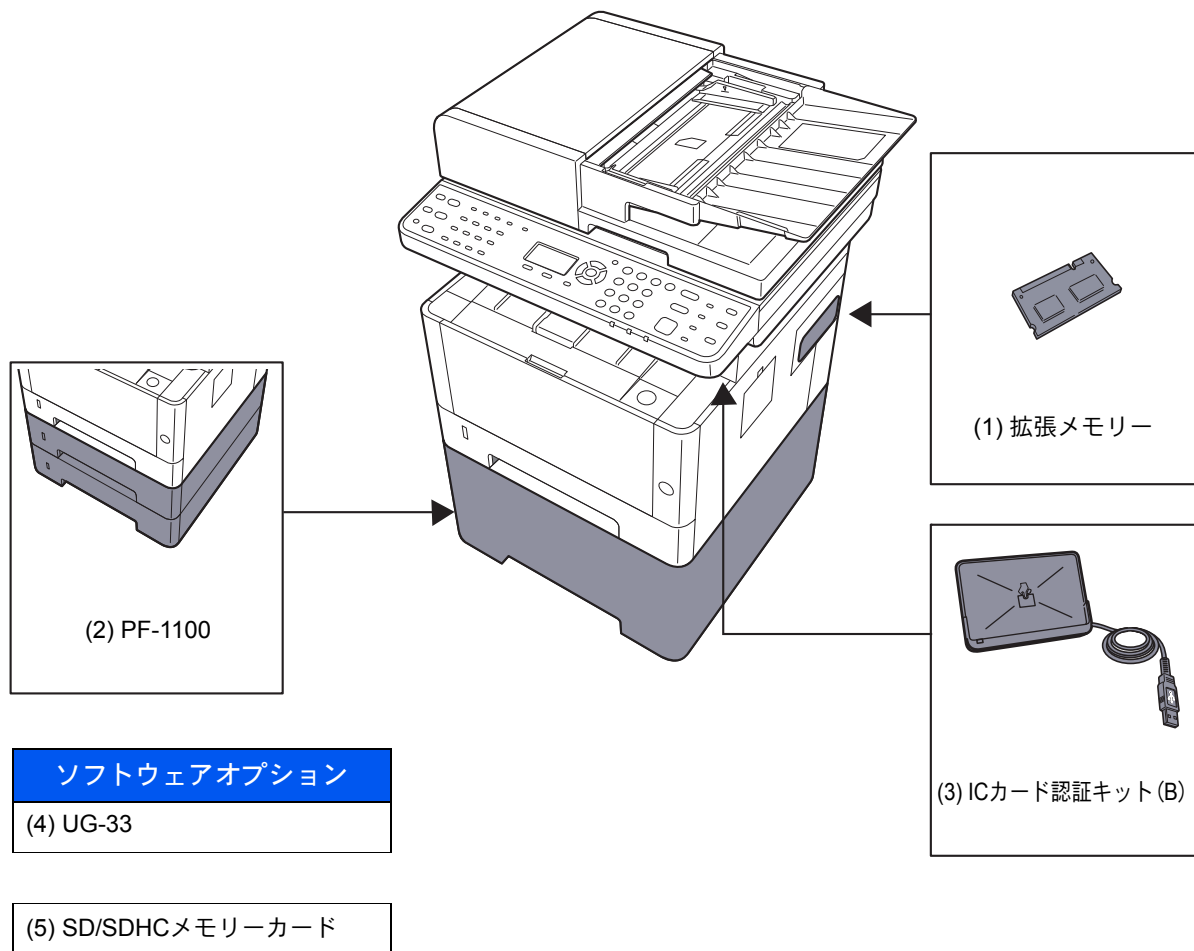
この章では、次の項目について説明します。

オプションについて .....	11-2
オプション構成 .....	11-2
オプションのアプリケーションについて .....	11-6
アプリケーションの使用を開始する .....	11-6
アプリケーションの詳細を確認する .....	11-7
文字の入力 .....	11-8
使用するキー .....	11-8
入力文字の選択 .....	11-9
文字の入力 .....	11-10
用紙について .....	11-14
用紙の基本仕様 .....	11-14
適正な用紙の選択 .....	11-15
特殊な用紙 .....	11-18
仕様 .....	11-22
本体 .....	11-22
コピー機能 .....	11-24
プリンター機能 .....	11-24
スキャナー機能 .....	11-25
原稿送り装置 .....	11-25
ペーパーフィーダー .....	11-25
製品の保守サービスについて .....	11-26
保守契約についてのお問い合わせ .....	11-26
補修用性能部品について .....	11-27
廃棄について .....	11-27
使用済み製品の廃棄 .....	11-27
トナーコンテナの廃棄 .....	11-27
用語集 .....	11-28

# オプションについて

## オプション構成

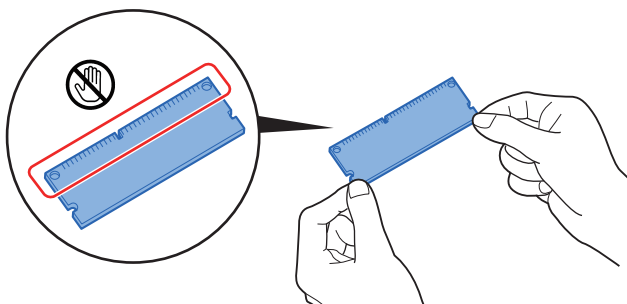
本機では、次のオプションが使用できます。



## (1) 拡張メモリー

メモリーを増設することで、より複数のジョブを同時に実行できるようになります。オプションの拡張メモリーを装着することで、最大1,536 MBのメモリーに拡張できます。

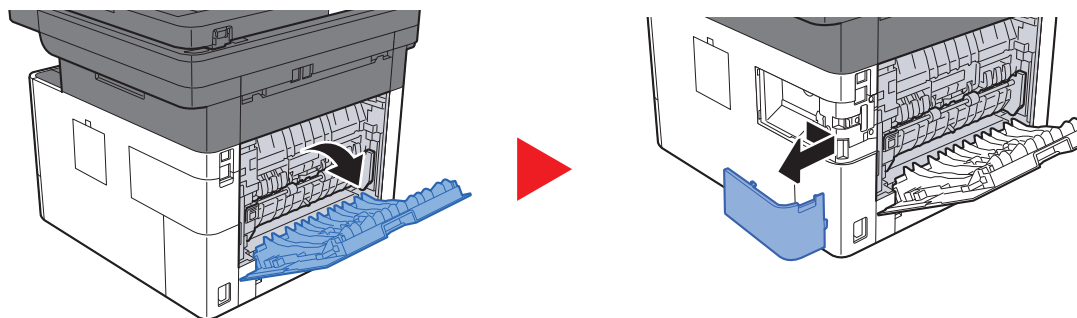
### メモリー取り扱い上の注意



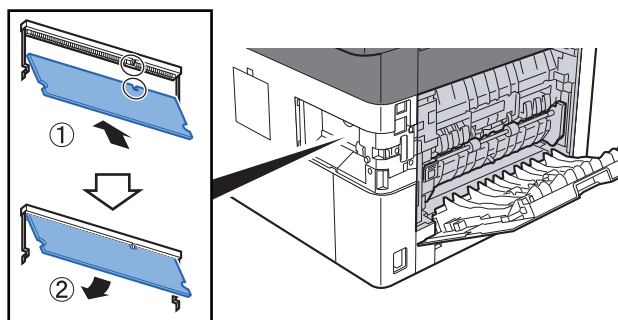
衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリーに悪影響を与えます。静電気による破壊からメモリーを保護するために、静電気対策用のリストバンドを手首に巻いて作業してください。リストバンドがない場合は、メモリー装着前に金属製のものに触って静電気を除去してください。

### メモリーの取り付け

- 1 電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。
- 2 カバーを開けます。



- 3 オプションの拡張メモリーをパッケージから取り出します。
- 4 メモリーの端子部をソケット側にし、切り欠き部分をソケットの突起部分に合わせて、斜めにまっすぐ差し込みます。



- 5 差し込んだメモリーを、慎重に本体側に押し倒します。
- 6 取り外したカバーを本体に取り付けます。

## (2) PF-1100 <ペーパーフィーダー>

ペーパーフィーダーを増設することができます。

➔ [カセットに用紙をセットする \(3-4ページ\)](#)

## (3) ICカード認証キット(B) <ICカード認証キット>

ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したローカルユーザーリストにICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、次を参照してください。

➔ ICカード認証キットの使用説明書

## (4) UG-33 <ThinPrint Option>

プリンタードライバーがなくても印刷データを直接印刷できるようになります。

## (5) SD/SDHCメモリーカード

SD/SDHCメモリーカードはオプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。

SDHCメモリーカード(最大32 GB)およびSDメモリーカード(最大2 GB)は、メモリーカードスロットに差し込みます。

### ☑ 重要

SD/SDHCメモリーカードには暗号化されていないデータが保存されます。  
機密性の高い文書を保存する場合はご注意ください。

### SD/SDHCメモリーカードの読み込み

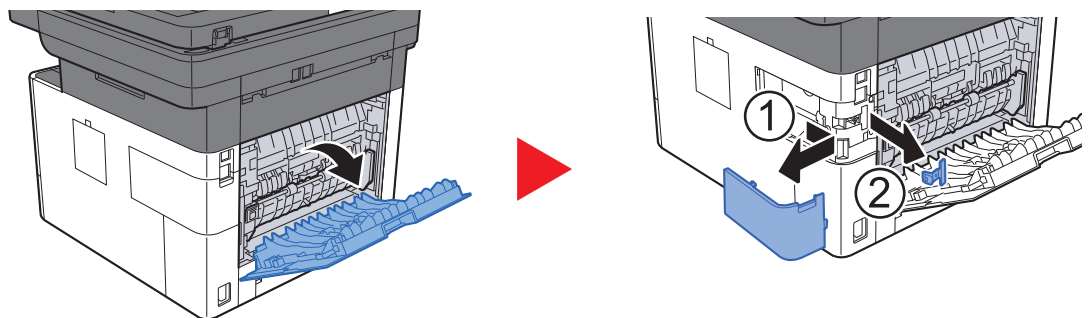
本機の電源を入れるとSD/SDHCメモリーカードの内容が、本機に読み込まれます。

### SD/SDHCメモリーカードのフォーマット

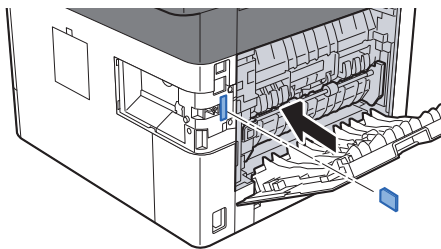
未使用のSD/SDHCメモリーカードを使用するためには、最初に本機でSD/SDHCメモリーカードをフォーマットする必要があります。

➔ [SDカードフォーマット \(8-28ページ\)](#)

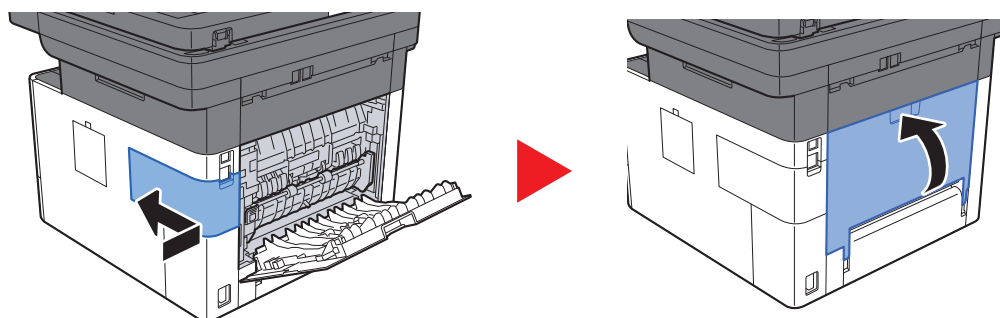
- 1 電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。
- 2 カバーを開けます。



- 3 SD/SDHC メモリーカードをメモリーカードスロットに差し込みます。



- 4 取り外したカバーを本体に取り付けます。



## オプションのアプリケーションについて

本機には、次のようなオプションのアプリケーションがあります。

アプリケーション
ICカード認証キット
ThinPrint Option <sup>*1</sup>

\*1 一定の期間お試しとして使用することができます。

### 参考

- お試しの期間や使用できる回数などの制限は、アプリケーションによって異なります。
- 日付設定を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。

## アプリケーションの使用を開始する

### 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [オプション機能] > [OK]キー

### 2 起動する

- 1 使用を開始するアプリケーションを選択して、[OK]キーを選択します。

### 参考

[メニュー] > [詳細] > [OK]キーの順に選択すると、選択したアプリケーションの詳細情報が参照できます。

- 2 [▲][▼]キー > [正規] > [OK]キー

お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[試用]を選択します。

- 3 ライセンスキーを入力 > [OK]キー

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。ライセンスキーの入力画面が表示されない場合は手順6に進んでください。

- 4 [はい]を選択します。

### 参考

ThinPrint Optionを起動して、ライセンスキーを入力した場合は、電源のOFF/ONが必要です。

# アプリケーションの詳細を確認する

## 1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [▲][▼]キー > [システム/ネットワーク] > [OK]キー

### 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [オプション機能] > [OK]キー

## 2 詳細を確認する

- 1 使用を開始するアプリケーションを選択して、[メニュー]を選択します。

- 2 [▲][▼]キー > [詳細] > [OK]キー

選択したアプリケーションの詳細な情報を参照することができます。[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。

参照できる項目は次のとおりです。

項目
機能名
使用開始
試用回数
試用期限
状況

### 試用期限を延長する

[◀][▶]キー > [試用期限] > [延長] > [はい]

試用期限が延長されます。



# 文字の入力

名前などを入力する文字入力画面について説明します。

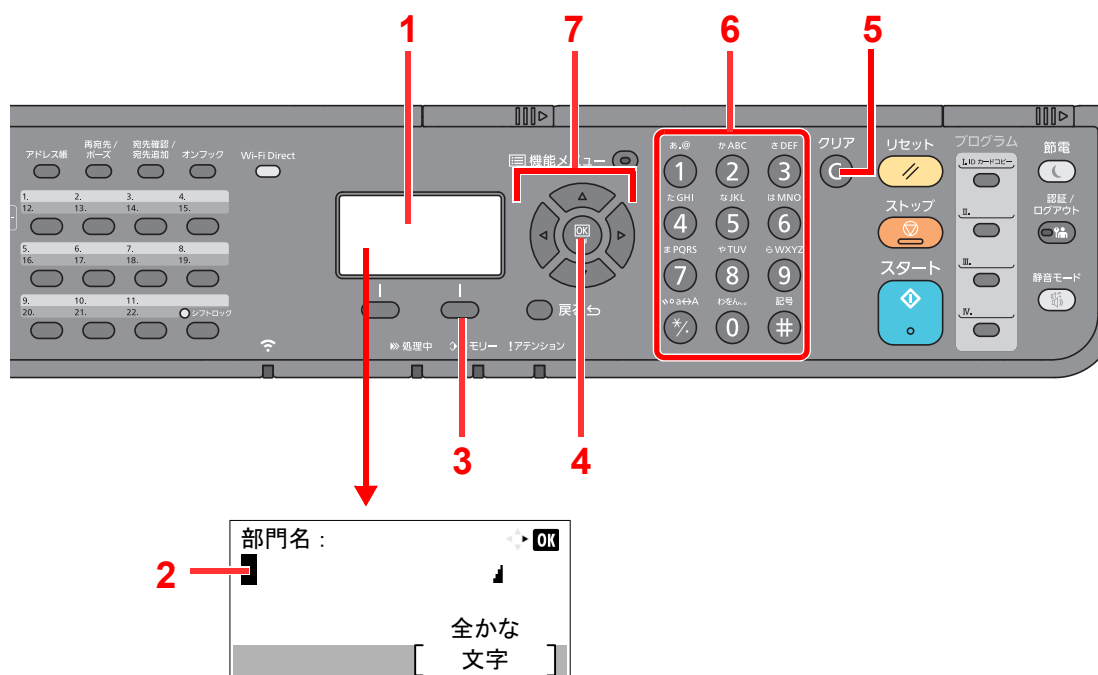
## 参考

操作パネルからは漢字を入力できません。パソコンからCommand Center RX またはKYOCERA Net Viewerを使用して漢字入力ができます。

- ▶ Command Center RX操作手順書
- ▶ KYOCERA Net Viewer操作手順書

## 使用するキー

以下のキーを使用して、文字を入力します。



番号	ディスプレイ/キー	説明
1	メッセージディスプレイ	入力した文字が表示されます。
2	カーソル	文字がカーソル位置に入力されます。
3	右選択キー	入力する文字のタイプを選択する場合に選択してください。メッセージディスプレイに、キーのタブが表示されたときのみ有効になります。
4	[OK]キー	入力した文字を確定します。
5	[クリア]キー	カーソル位置の文字を削除します。または、カーソルがラインの終わりにある場合は、左の文字を削除します。
6	テンキー	文字や数字、記号を入力する際に選択してください。
7	矢印キー	文字表示部のカーソルを移動させるときや、文字リストから文字を選択する際に選択してください。

## 入力文字の選択

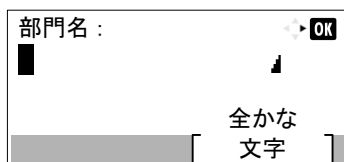
### 通常入力画面の場合

入力文字には、次の9種類を選択できます。

- 全かな(全角ひらがな) – 全角ひらがなを入力します。
- 全カナ(全角カタカナ) – 全角カタカナを入力します。
- 半カナ(半角カタカナ) – 半角カタカナを入力します。
- 全英数(全角英数) – 全角英数を入力します。
- 半英数(半角英数) – 半角英数を入力します。
- 全数(全角数字) – 全角数字を入力します。
- 半数(半角数字) – 半角数字を入力します。
- 全角記号 – 全角記号を入力します。
- 半角記号 – 半角記号を入力します。

#### 1 入力文字を切り替える

文字入力画面で[文字]を選択して、表示されるメニューの中から、[▲]または[▼]キーを使って入力したい文字の種類を選択して、[OK]キーを選択してください。



#### 参考

文字入力中にテンキーの<sup>記号</sup> [#] を選択すると、直接全角記号画面や半角記号画面を表示することができます。

### ふりがな入力画面の場合

入力文字には、次の4種類を選択できます。

- 半カナ(半角カタカナ) – 半角カタカナを入力します。
- 半英数(半角英数) – 半角英数を入力します。
- 半数(半角数字) – 半角数字を入力します。
- 半角記号 – 半角記号を入力します。

#### 1 入力文字を切り替える

文字入力画面で[文字]を選択して、表示されるメニューの中から、[▲]または[▼]キーを使って入力したい文字の種類を選択して、[OK]キーを選択してください。



#### 参考

文字入力中にテンキーの<sup>記号</sup> [#] を選択すると、直接半角記号画面を表示することができます。



## 文字の入力

入力文字を選択したら、以下の手順で文字を入力してください。

### ひらがな・カタカナを入力する場合

下記の表を参照して、入力したい文字に対応しているキーを、その文字が表示されるまで選択してください。

入力キー	文字入力モード	表示される文字
あ.@ ①	全角ひらがな	あいうえおあいうえお
	全角カタカナ 半角カタカナ	アイウエオアイウエオ
かABC ②	全角ひらがな	かきくけこ
	全角カタカナ 半角カタカナ	カキクケコ
さDEF ③	全角ひらがな	さしすせそ
	全角カタカナ 半角カタカナ	サシスセソ
たGHI ④	全角ひらがな	たちつてとっ
	全角カタカナ 半角カタカナ	タチツテトッ
なJKL ⑤	全角ひらがな	なにぬねの
	全角カタカナ 半角カタカナ	ナニヌネノ
はMNO ⑥	全角ひらがな	はひふへほ
	全角カタカナ 半角カタカナ	ハヒフヘホ
まPQRS ⑦	全角ひらがな	まみむめも
	全角カタカナ 半角カタカナ	マミムメモ
やTUV ⑧	全角ひらがな	やゆよやゆよ
	全角カタカナ 半角カタカナ	ヤユヨヤユヨ
らWXYZ ⑨	全角ひらがな	らりるれろ
	全角カタカナ 半角カタカナ	ラリルレロ
わをん。 ⑩	全角ひらがな	わをんわ、。ー・～！？ (スペース)
	全角カタカナ 半角カタカナ	ワヲンッ、。ー・～！？ (スペース)

入力キー	文字入力モード	表示される文字
woa↔A 	全角ひらがな	濁点・半濁点→大文字/小文字変換 例) つ→づ→っ→つ… は→ぱ→ぱ→は…
	全角カタカナ	濁点・半濁点→大文字/小文字変換 例) ツ→ヅ→ッ→ツ… ハ→バ→パ→ハ…
	半角カタカナ	カーソルが文字にあるときは大文字/小文字変換 例) ツ→ッ カーソルが文字にないときは濁点・半濁点入力 例) へ → ° → ` …
記号 	全角ひらがな 全角カタカナ 半角カタカナ	記号入力



異なるキーで入力する文字は、続けて入力できます。同じキーで入力する文字を続けて入力するときは、矢印キーで入力位置を次に移動してから入力を行ってください。

行末から矢印キーで入力位置を後ろにずらした位置に文字を入力すると、その間にはスペースが自動で入力されます。

## アルファベットと数字を入力する場合

下記の表を参照して、入力したい文字に対応しているキーを、その文字が表示されるまで選択してください。

入力キー	文字入力モード	表示される文字
あ.@ ①	全角英数 半角英数	. @ - _ / : ~ 1
	全角数字 半角数字	1
かABC ②	全角英数 半角英数	a b c A B C 2
	全角数字 半角数字	2
さDEF ③	全角英数 半角英数	d e f D E F 3
	全角数字 半角数字	3
たGHI ④	全角英数 半角英数	g h i G H I 4
	全角数字 半角数字	4
なJKL ⑤	全角英数 半角英数	j k l J K L 5
	全角数字 半角数字	5
はMNO ⑥	全角英数 半角英数	m n o M N O 6
	全角数字 半角数字	6
まPQRS ⑦	全角英数 半角英数	p q r s P Q R S 7
	全角数字 半角数字	7
やTUV ⑧	全角英数 半角英数	t u v T U V 8
	全角数字 半角数字	8
らWXYZ ⑨	全角英数 半角英数	w x y z W X Y Z 9
	全角数字 半角数字	9
わをん。 ⑩	全角英数 半角英数	. , - _ ' ! ? (スペース) 0
	全角数字 半角数字	0

入力キー	文字入力モード	表示される文字
	全角英数 半角英数	大文字/小文字の変換を行います
	全角数字 半角数字	* . <sup>1</sup>
	全角英数 半角英数	記号入力
記号 	全角数字 半角数字	#

\*1 入力文字の選択があるときは '.' が、数字入力のみで入力文字の選択が無いときは、 '\*' が入力されます。

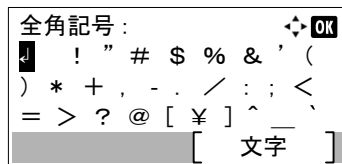
異なるキーで入力する文字は、続けて入力できます。同じキーで入力する文字を続けて入力するときは、矢印キーで入力位置を次に移動してから入力を行ってください。

行末から矢印キーで入力位置を後ろにずらした位置に文字を入力すると、その間にはスペースが自動で入力されます。


## 記号を入力する場合

### 1 入力文字を切り替える

[文字] を選択して、[全角記号] または [半角記号] を選択して、全角記号画面または半角記号画面を表示します。矢印キーを使って入力したい記号を選択して、[OK] キーを選択してください。



#### 参考

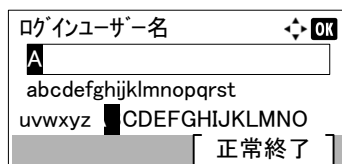
テンキーの  を選択して、画面を文字入力画面 > 全角記号画面 > 半角記号画面 > 文字入力画面...と切り替えることもできます。

## ログイン操作方法の設定で、[文字選択] を選択しているときの入力

ユーザー管理が有効のときに表示されるログイン画面では、設定により入力方法が異なる場合があります。

ログイン操作方法の設定については、次を参照してください。

➔ [ログイン操作方法 \(8-28ページ\)](#)



画面に文字パレットが表示される場合は、矢印キーを使って表示された文字の中から入力したい文字を選択して、[OK] キーを選択して入力してください。

#### 参考

数字は、テンキーの数字キーを選択することで、直接入力することができます。

## 用紙について

各カセットに使用できる用紙について説明します。

各給紙元にセットできる用紙のサイズ、種類、枚数については、次を参照してください。

➔ [仕様 \(11-22ページ\)](#)

### 用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙(普通紙)に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができていたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

#### 使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙(普通紙)を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

#### 本機で使用できる用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
重さ	カセット: 60~163 g/m <sup>2</sup>
	手差しトレイ: 60~220 g/m <sup>2</sup> 、209 g/m <sup>2</sup> (はがき)
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4~6%
パルプ含有率	80%以上

#### 参考

再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

仕様に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

## 適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

### 紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

### 用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80%以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20%以下ものを使用してください。

### 滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

### 基本重量

基本重量とは、用紙を1m<sup>2</sup>の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

### 保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにズレが起きることがあります。用紙の保水度は4~6%の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たした上で使用してください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。



## その他の仕様

### 多孔性

紙の繊維の密度を表します。

### 硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

### カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平らになります。

### 静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

### 用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

### 品質について

サイズの不ぞろい、角がきちんとはとれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合、特にご注意ください。

### 梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

### 特殊処理

次のような処理を施した用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

## 本機で使用できる用紙サイズ

本機に使用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに $\pm 0.7$  mmです。用紙四隅の角度は、 $90^\circ \pm 0.2^\circ$ のものを使用してください。

### 手差しトレイ

- B6 (182 × 128 mm)
- はがき (100 × 148 mm)
- 往復はがき (148 × 200 mm)
- Envelope Monarch (3-7/8 × 7-1/2")
- Envelope #10 (4-1/8 × 9-1/2")
- Envelope DL (110 × 220 mm)
- Envelope C5 (162 × 229 mm)
- Envelope #9 (3-7/8 × 8-7/8")
- Envelope #6 3/4 (3-5/8 × 6-1/2")
- 洋形4号 (105 × 235 mm)
- 洋形2号 (114 × 162 mm)
- サイズ入力 (70 × 148～216 × 356 mm)

### カセットまたは手差しトレイ

- Executive (7-1/4 × 10-1/2")
- Letter
- Legal
- A4 (297 × 210 mm)
- B5 (257 × 182 mm)
- A5-R (148 × 210 mm)
- A5 (210 × 148 mm)
- A6 (148 × 105 mm)
- B5 (ISO) (176 × 250 mm)
- Oficio II
- 216 × 340 mm
- 16K (197 × 273 mm)
- Statement
- Folio (210 × 330 mm)
- サイズ入力 (カセット: 105 × 148～216 × 356 mm、手差しトレイ: 70 × 148～216 × 356 mm)

## 特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

### 本機で使用できる特殊な用紙

- OHPフィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙
- ラベル紙
- 上質紙

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、OHPフィルム、封筒、はがき、ラベル紙は手差しトレイから給紙してください。

### 特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

### OHPフィルム

OHPフィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。使用できるOHPフィルムの仕様は次のとおりです。

耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°

トラブルを避けるため、OHPフィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦方向に（用紙の長手方向を本機に向けて）補給してください。

OHPフィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみてください。

## ラベル紙

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

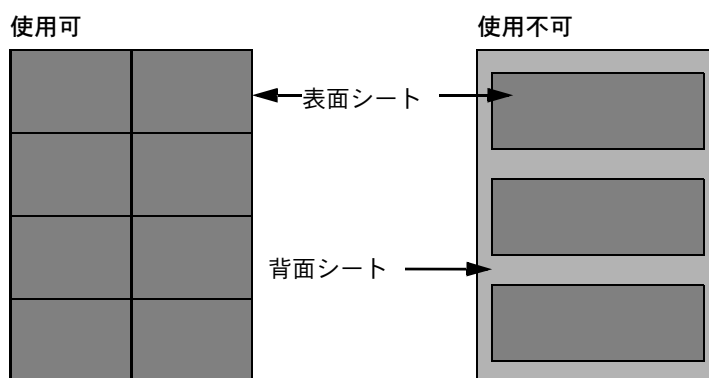
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

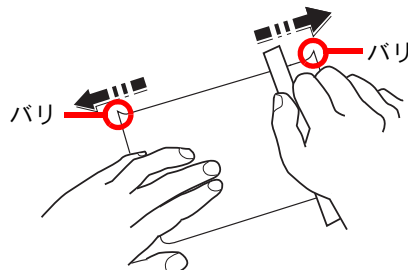
ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

表面シートの重さ	44～74 g/m <sup>2</sup>
基本重量(用紙全体の重さ)	104～151 g/m <sup>2</sup>
表面シートの厚さ	0.086～0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115～0.145 mm
保水度	4～6%(混合)

## はがき



はがきは、さばいて端をそろえてから、手差しトレイに補給してください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください(郵便局などで入手できます)。また、裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。

## 封筒

封筒は必ず手差しトレイに補給してください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打つてあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。

## 厚紙

厚紙は、さばいて端をそろえてから補給してください。裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

### 参考

バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそらせてから補給してください。

## カラー紙

カラー紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

▶ [本機で使用できる用紙の基本仕様 \(11-14ページ\)](#)

さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱(最高200℃)に耐えられる必要があります。

## プレプリント

プレプリント用紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

▶ [本機で使用できる用紙の基本仕様 \(11-14ページ\)](#)

着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

## 再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

▶ [本機で使用できる用紙の基本仕様 \(11-14ページ\)](#)



### 参考

再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

# 仕様

## 重要

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

## 参考

ファクス機能の仕様について詳しくは、次を参照してください。

▶ ファクス使用説明書

# 本体

項目		仕様
名称		ECOSYS M2540dw
型式		デスクトップ
印刷方式		乾式静電転写方式(レーザー方式)
用紙の重さ	カセット	60~163 g/m <sup>2</sup>
	手差しトレイ	60~220 g/m <sup>2</sup> 、209 g/m <sup>2</sup> (はがき)
用紙種類	カセット	普通紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、上質紙、カスタム(両面印刷時:片面印刷時と同じ)
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、上質紙、カスタム1~8
用紙サイズ	カセット	A4、A5-R、A5、A6、B5、Letter、Legal、Folio、216×340 mm、Statement、Executive、Oficio II、16K、B5(ISO)、カスタム(105 × 148~216 × 356 mm)
	手差しトレイ	A4、A5-R、A5、A6、B5、B6、Letter、Legal、Folio、216×340 mm、Statement、Executive、Oficio II、16K、B5(ISO)、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6 3/4、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム(70 × 148~216 × 356 mm)
印字画像欠け幅		全面4.2 mm
ウォームアップ時間 (23°C、60%)	電源ONから	17秒以下
	スリープから	10秒以下
用紙容量	カセット	300枚(64 g/m <sup>2</sup> )*1 250枚(80 g/m <sup>2</sup> )*1
	手差しトレイ	120枚(A4/Letter以下、64 g/m <sup>2</sup> ) 100枚(A4/Letter以下、80 g/m <sup>2</sup> )
排紙トレイ容量	内部トレイ	150枚(80 g/m <sup>2</sup> )
記録方式		半導体レーザー方式
メモリー		512 MB

\*1 カセット内上限高さラインまで

項目		仕様
インターフェイス		Hi-Speed USB:1 ネットワークインターフェイス:1 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) Hi-Speed USB:1(USBフラッシュメモリースロット) 無線LAN対応 ファクス:1
使用環境	温度	10~32.5℃
	湿度	10~80%
	標高	3,500 m以下
	照度	1,500 lux以下
本体寸法(幅×奥行き×高さ)		417 × 412 × 437 mm
質量		19 kg(トナーコンテナを除く)
機械占有寸法(幅×奥行き)		375 × 723 mm(手差しトレイ使用時)
電源		AC100 V、50/60 Hz、9.7 A
エネルギー消費効率		86 kWh/年 区分:複合機c
オプション		➡ <a href="#">オプションについて(11-2ページ)</a>



## コピー機能

項目	仕様
コピー速度	A4/A5 40枚/分 Letter 42枚/分 Legal 34枚/分 B5 27枚/分 A5-R 19枚/分 A6 19枚/分 16K 22枚/分
ファーストコピー時間 (原稿ガラス、本体カセットでA4)	6.4秒以下
複写倍率	任意倍率:25~400%(1%単位) 固定倍率:400%、200%、141%、115%、100%、86%、70%、50%、25%
連続複写	1~999部
解像度	600 × 600dpi
原稿の種類	シート、ブック、立体物(最大原稿サイズ:Folio/Legal)
原稿台方式	固定

## プリンター機能

項目	仕様
印刷速度	コピー速度と同じ
ファーストプリント時間(A4)	6.4秒以下
解像度	300 dpi x 300 dpi、600 dpi x 600dpi、1200dpi相当 x 1200dpi相当、 1800 dpi相当 x 600dpi
対応OS	Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows 7、 Windows 8、Windows 8.1、Windows 10、Windows Server 2008/R2、 Windows Server 2012/R2、Mac OS X v10.5以上
インターフェイス	Hi-Speed USB:1 ネットワークインターフェイス:1 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) 無線LAN対応
ページ記述言語	PRESCRIBE
エミュレーション	PCL6(PCL-XL、PCL5c)、KPDL3(PostScript3互換)、PDF、XPS、 OpenXPS

## スキャナー機能

項目	仕様
解像度	300 × 300 dpi, 200 × 200 dpi, 200 × 100 dpi, 600 × 600 dpi, 400 × 400 dpi, 200 × 400 dpi
ファイルフォーマット	TIFF(MMR/JPEG圧縮)、JPEG、PDF(MMR/JPEG圧縮)、PDF(高圧縮)、XPS、OpenXPS、暗号化PDF、PDF/A-1
連続原稿読み取り速度 <sup>*1</sup>	(A4 300 × 300 dpi、文字+写真モード) 片面白黒 40イメージ/分 カラー 23イメージ/分 両面白黒 32イメージ/分 カラー 16イメージ/分
インターフェイス	イーサネット(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)、USB、無線LAN対応
送信方式	SMBv3、SMTP、FTP、FTP over SSL、USB、TWAIN <sup>*2</sup> 、WIA <sup>*3</sup> 、WSD

\*1 原稿送り装置を使用(TWAIN/WIAスキャン時を除く)

\*2 対応OS: Windows XP/Windows Vista/Windows Server 2003/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2

\*3 対応OS: Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows 10

## 原稿送り装置

項目	仕様
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大: Folio/Legal (216 × 356 mm) 最小: A6/Statement (105 × 148 mm)
原稿の厚さ	50~160 g/m <sup>2</sup>
原稿セット枚数	50枚以下 (50~80 g/m <sup>2</sup> ) <sup>*1</sup> 厚紙 (120 g/m <sup>2</sup> ): 25枚

\*1 原稿送り装置内上限高さラインまで

## ペーパーフィーダー

項目	仕様
給紙方式	フリクションローラー給紙方式 (収納枚数300枚 (64 g/m <sup>2</sup> ) × 1段、250枚 (80 g/m <sup>2</sup> ) × 1段)
用紙サイズ	A4、A5-R、A5、B5、A6、Letter、Legal、Folio、216×340 mm、Statement、Executive、Oficio II、16K、B5 (ISO)、カスタム (105 × 148~216 × 356 mm)
使用用紙	紙厚: 60 ~ 163 g/m <sup>2</sup> 用紙種類: 普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法(W) × (D) × (H)	375 × 393 × 100 mm
質量	約2.9 kg

### 参考

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

## 製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。本製品は、年間保守契約サービスを提供しております。お客様が安心して導入、ご使用いただくために、保守契約期間内は、製品ごとにご契約いただいた保守料で修理対応いたします。

## 保守契約についてのお問い合わせ

販売パートナーにより保守契約内容は異なる場合がございますので、詳細はご購入元へお問い合わせ願います。



### 参考

アフターサービスについてご不明な点は、購入元または最寄りの弊社営業拠点にお問い合わせください。

## 補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最長保有期間は、販売終了後5年間です。

## 廃棄について

### 使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品(トナーコンテナ含む)は、素材ごとに分解し、再利用可能な部品は、再利用(リユース)し、不可能なものは、マテリアルリサイクル等、環境に配慮した適正処理を行っています。

### トナーコンテナの廃棄

京セラドキュメントソリューションズでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。弊社ホームページ トナーコンテナ無償回収サイトよりお申込みください。

[http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/support/receive\\_recycle/](http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/support/receive_recycle/)

# 用語集

## Active Directory

Active Directory(アクティブディレクトリー)とはマイクロソフトによって開発されたディレクトリー・サービス・システムであり、Windows 2000 Serverから導入された、ユーザーおよびパソコン管理を実行するコンポーネント群の総称です。

## AppleTalk

Macintoshとプリンターでデータを転送するプロトコルです。Macintoshを複数台接続したり、プリンターを共有する際に使われます。

## Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワークで、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用に予約されている169.254.0.0 ~169.254.255.255の範囲です。

## Bonjour

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したりDNS サーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows XP Service Pack 2 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

## bpp (bits per pixel)

色深度を表す単位です。1ピクセル当たりのビット数を表します。4 bppの場合は16階調になります。

## DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

## DHCP (IPv6)

DHCP (IPv6)は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCP(IPv6)を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

## dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1インチ (25.4 mm) 当たりのドット数を表します。

## Enhanced WSD

弊社が独自に提供するWebサービスです。

## FTP (File Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POPと並んで頻繁に利用されています。

## IPアドレス

ネットワークに接続されたパソコンや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

## IPP

IPP (Internet Printing Protocol, インターネット プリンティング プロトコル) は、インターネット網に代表されるTCP/IPネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコンの間で印刷データなどのやり取りを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われるHTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

## KPDL (Kyocera Page Description Language)

Adobe PostScript Level 3互換の京セラのページ記述言語です。

## KYOCERA Net Direct Print

Adobe Acrobat/Adobe Readerを起動せずに、PDFファイルを印刷できるユーティリティーです。付属のDVD-ROMに収録されています。

## KYOCERA Net Viewer

ネットワーク上のプリンターの状態を確認できるネットワークマネジメントツールです。付属のDVD-ROMに収録されています。

## NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワークではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社のWindowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

## PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueTypeフォントをプリンターで扱える機能などがあります。本機はPCL6エミュレーションモードを搭載しています。

## PDF/A

ISO 19005-1. Document management - Electronic document file format for long-term preservation - Part 1: Use of PDF (PDF/A) のことで、PDF1.4を元に策定されたファイル形式です。ISO19005-1として標準規格化されています。主に印刷目的として利用されていたPDFを、長期保存用に特化させたものです。現在、ISO19005-2 (PDF/A-2) という新しいパートも策定中です。

## POP3(Post Office Protocol 3)

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

## PostScript

Adobe Systems社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷ができます。現在Level 1と呼ばれている最初のバージョンは1985年に登場しました。1990年にはカラー印刷や日本語などの2バイト言語に対応したLevel 2が、1996年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF形式への対応などを追加したLevel 3が発表されています。

## PPM (prints per minute)

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

## RA (Stateless)

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6 で知らせます。この情報がRouter Advertisement (RA)です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

## RAMディスク

本機のメモリーの一部を利用した仮想ディスクで、本機の総メモリーの中から、任意のメモリーサイズをRAMディスクとして設定することによって、電子ソート(印刷時間の短縮)などの機能が使えるようになります。

## SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

## TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

パソコン同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

## TCP/IP (IPv6)

TCP/IP (IPv6)は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP (IPv4)をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

## TWAIN (Technology Without Any Interested Name)

スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器とパソコンを接続するための技術仕様のひとつです。機器がTWAINに対応していれば、TWAINに対応したあらゆるアプリケーションソフトで画像の入力ができます。TWAINは、Adobe PhotoshopをはじめとするグラフィックソフトやOCRソフトで多く採用されています。

## USB (Universal Serial Bus) 2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠したUSB インターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

## WIA (Windows Imaging Acquisition)

Windows Me/XP以降でサポートされた、画像をデジタルカメラ等の周辺機器から取り込む機能です。従来TWAINが行っていた機能を置き換えるもので、Windows自身の機能として提供することによって、アプリケーションソフトを使わずともマイ コンピューターから直接取り込みが行えるなど、操作性や利便性が向上しています。

## WPS (Wi-Fi Protected Setup)

WPSは、無線LAN機器同士の接続や暗号化設定を簡単に行えるようにするため、Wi-Fiアライアンスによって策定された規格です。WPSに対応した機器同士は、プッシュボタンを押したり、パスワードを入力したりするだけで無線LANアクセスポイントに接続できます。

## アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは0.25ポイント単位で最大999.75ポイントまで設定できます。

## エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

## エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6、KPD3 (PostScript3互換)のエミュレーションを備えています。

## オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

## 拡張メモリー

本機は1つの拡張スロットを装備しており増設できます。使用できるDIMMについては京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

## グレースケール

パソコン上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表し、1ビットなら白と黒のみで中間色がない状態、8ビットなら(白と黒を含めて)256階調、16ビットなら65536階調の灰色で表現されます。

## サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス (Prefix) とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IPアドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24”のように“/” (スラッシュ) の後にプレフィックス長(この場合は「24」)を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長(つまりネットワーク部)が24ビットの「133.201.2.0」というIPアドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部(本来のホスト・アドレス部の一部分)をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。



## 自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機します。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

## 自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

## ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

## ステータスページ

搭載メモリー容量、印刷や送信の総枚数、給紙元の選択など本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

## 手差しトレイ

本体前側にある給紙トレイです。はがき、OHPフィルム、ラベル用紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

## デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

## プリスクライブ(PRESCRIBE) コマンド

京セラドキュメントソリューションズプリンターに搭載されている独自のプリンター制御言語で、プリンターに必要な様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングを容易にします。

## プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属のDVDに収録されています。本機に接続したパソコンにインストールしてください。

## ヘルプ

本機のメッセージディスプレイには[ヘルプ]があります。操作方法が分からなかったり、機能の内容を知りたいときや、うまく動作しないで困ったときなど、[ヘルプ]を選択すると、メッセージディスプレイに詳しい内容が表示されます。

## メール送信

本機で読み込んだ画像を、E-Mailの添付ファイルとして送信する機能です。E-Mailアドレスは、あらかじめ登録されたものと、そのつど入力するものが使用できます。

## ユニバーサル(Universal Design)

ユニバーサルデザインとは、高齢者や障害者を含むできるだけ多くの人に使いやすいデザインのことです。

## ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンターで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

# 索引

## A

Active Directory 11-28  
Apacheライセンス (Version 2.0) 1-9  
AppleTalk 11-28  
Auto-IP 11-28  
    設定 8-9

## B

Bonjour 11-28  
    設定 8-11  
bpp (bits per pixel) 11-28

## C

Command Center RX 2-45  
Configuration Tool 4-20  
    起動 4-20  
    終了 4-21  
    設定 4-22

## D

DHCP 11-28  
    設定 8-9  
DHCP (IPv6) 11-28  
    設定 8-10  
dpi 11-28

## E

Enhanced WSD 11-29  
    プロトコル設定 8-14  
Enhanced WSD (SSL)  
    プロトコル設定 8-15  
eSCL  
    プロトコル設定 8-15  
eSCL over SSL  
    プロトコル設定 8-15

## F

FTP 11-29  
FTP暗号送信 6-28  
FTPクライアント (送信)  
    プロトコル設定 8-12  
FTPサーバー (受信)  
    プロトコル設定 8-12

## G

Google Cloud Print 4-9  
GPL/LGPL 1-6

## H

HTTP  
    プロトコル設定 8-13  
HTTPS  
    プロトコル設定 8-13

## I

I/Fブロック設定 8-16  
ICカード認証キット 11-4  
IPP 11-29  
    プロトコル詳細 8-12  
IPP over SSL  
    プロトコル設定 8-13  
IPSec  
    設定 8-11  
IPアドレス 11-29  
    設定 8-9

## J

JPEG/TIFF印刷  
    初期値 8-27  
JPEG/TIFF印刷方法 6-30

## K

Knopflerfish ライセンス 1-9  
KPD L 11-29  
KYOCERA Net Direct Print 11-29  
KYOCERA Net Viewer 11-29

## L

LDAP  
    プロトコル設定 8-13  
LINEコネクター 2-4  
LPD  
    プロトコル設定 8-12

## M

Monotype Imagingライセンス契約 1-8  
Mopria 4-9

## N

NetBEUI 11-29  
    プロトコル設定 8-11

## O

OpenSSLライセンス 1-7

## P

PCL 11-29  
PDF/A 6-23, 11-29  
Ping 8-15  
POP3 11-30  
POP3 (メール受信)  
    プロトコル設定 8-12  
PostScript 11-30  
PPM 11-30  
PRESCRIBE 11-32  
Product Library xvii

## R

RA (Stateless) 11-30  
    設定 8-10  
RAMディスク 11-30  
RAMディスクモード 8-28

## RAW Port

プロトコル設定 8-12

## S

SDカードフォーマット 8-28

### SMB

プロトコル設定 8-12

SMTP 11-30

プロトコル設定 8-12

### SNMP

プロトコル設定 8-12

### SNMPv3

プロトコル設定 8-11

SSL 8-15

## T

TCP/IP 11-30

設定 8-9

TCP/IP (IPv4)

設定 2-18, 8-9

TCP/IP (IPv6) 11-30

設定 8-10

TELコネクター 2-4

Thin Print over SSL

プロトコル設定 8-14

ThinPrint

プロトコル設定 8-14

TWAIN 11-30

TWAINドライバーの設定 2-40

## U

USB 11-30

USBインターフェイス 2-7

USBインターフェイスコネクター 2-4

USBケーブル

接続 2-9

USBメモリー

印刷 5-37

情報確認 5-40

取り外しかた 5-40

保存 5-39

USBメモリーからの印刷 5-37

USBメモリースロット 2-4

USBメモリーへの保存 5-39

## W

WIA 11-31

WIAドライバーの設定 2-42

Wi-Fi ダイレクト

印刷 4-9

設定 2-25, 8-7

WPS (Wi-Fi Protected Setup) 11-31

WSD-PRINT

プロトコル設定 8-14

WSDスキャン 5-22

プロトコル設定 8-14

## X

XPS印刷サイズ調整 6-30

初期値 8-27

## あ

アウトラインフォント 11-31

宛先

宛先確認 8-33

宛先確認画面 5-34

アドレス帳から選ぶ 5-30

確認/変更 5-33

検索 5-31, 5-32

種類の異なる相手への送信 (複合送信) 5-27

新規登録 3-18

表示順 8-35

ワンタッチキー 3-26

ワンタッチキーから選ぶ 5-32

宛先確認

新規宛先の確認 8-33

送信前の確認 8-33

宛先の登録 3-18

宛先編集 8-35

アドレス帳 3-18

アドレス帳初期設定 8-35

グループ 3-22

個人 3-18

ワンタッチキー 3-26

アドレス帳

グループ 3-22

個人 3-18

登録 3-18

変更/削除 3-24, 3-25

暗号化PDFパスワード 6-29

## い

一般的なトラブル 10-13

印刷

定形サイズ 4-4

不定形サイズ 4-6

印刷設定 4-2

印刷速度 11-24

印刷用紙 1-12

インストール

Macintosh 2-38

Windows 2-31

ソフトウェア 2-30

## う

後ろカバー 2-3

## え

エコプリント 6-18, 11-31

初期値 8-26

プリンター 8-31

絵表示 1-2

エミュレーション 11-31

エミュレーション設定

選択 8-31

エラー後自動継続 8-25

エラー後自動継続時間 8-25  
エラー処理設定 8-24

## お

オートスリープ 11-31  
オートパネルリセット 8-25  
音設定 8-18  
オプション  
    ICカード認証キット 11-4  
    オプション構成 11-2  
    オプションのアプリケーションについて 11-6  
オプション機能 8-17  
オプションのアプリケーションについて 11-6  
オプションメモリー使用量 8-28  
オリジナルSSLeayライセンス 1-7

## か

解像度 6-22, 8-32, 11-24  
カウンターの確認 2-43  
拡張メモリー 11-31  
各部の名称 2-2  
画質 6-23  
カセット  
    長さガイド 3-4  
    用紙サイズと用紙種類 8-22  
    用紙のセット 3-4  
カセット1 2-2  
カセット2 2-6  
カセット3 2-6  
紙づまりが発生したら  
    後ろカバー 10-43  
    カセット1 10-31  
    カセット2 10-33  
    カセット3 10-35  
    紙づまり位置表示 10-30  
    機械内部 10-38  
    原稿送り装置(自動両面) 10-46  
    手差しトレイ 10-37  
画面の明るさ 8-19  
カラー選択 6-20  
    初期値 8-26  
簡単セットアップ 2-30  
管理 9-1

## き

給紙指定動作 8-32  
給紙段の選択  
    用紙のセット 3-3  
境界線 6-14  
    初期値 8-27

共通設定 8-18  
RAMディスクモード 8-28  
SDカードフォーマット 8-28  
エラー処理設定 8-24  
音設定 8-18  
オプションメモリー使用量 8-28  
画面の明るさ 8-19  
機能初期値 8-26  
原稿/用紙設定 8-19  
言語選択 8-18  
状況/履歴の表示 8-29  
初期画面 8-18  
タイマー設定 8-25  
電源オフ時確認 8-29  
トナー残量少の通知 8-29  
日時設定 8-24  
入力長さ単位 8-23  
部数制限 8-23  
ログイン操作方法 8-28

## く

グループ認可設定 9-14  
    グループ認可 9-14  
グレースケール 11-31  
黒筋軽減処理 8-36

## け

ケーブル 2-7  
ゲスト認可設定 9-15  
    ゲスト認可 9-15  
    ゲストプロパティ 9-16  
原稿  
    カスタム 8-19  
    原稿サイズ初期値 8-19  
    サイズ xx  
    設定 8-19  
原稿/用紙設定 8-19  
原稿送り装置 2-2  
    原稿のセット 5-3  
    使用できる原稿 5-3  
原稿ガラス 2-2  
原稿サイズ 6-16  
原稿サイズ混載 6-17  
原稿サイズ指示板 2-2  
原稿ストッパー 2-2, 5-4  
原稿セット 5-2  
    原稿送り装置 5-3  
    原稿ガラス 5-2  
原稿セット向き 6-16  
    初期値 8-26  
原稿とじ方向 6-10  
原稿トレイ 2-2  
原稿の画質 6-17  
    初期値 8-26  
原稿排紙テーブル 2-2  
原稿幅ガイド 2-2  
言語選択 8-18  
件名/本文  
    初期値 8-26

## こ

- 高圧縮PDF 6-24
- 国際エネルギースタートプログラム 1-12
- コピー 5-12
- コピー禁止事項 1-5
- コピー設定 8-30
  - 原稿送り装置動作 8-30
  - 自動倍率優先 8-30
  - 自動用紙動作設定 8-30
  - 選択キー設定 8-30
  - 用紙選択 8-30
- コピー速度 11-24
- コントラスト 6-21
  - 初期値 8-36
- こんな表示が出たら 10-19

## さ

- 再起動 8-17
- 再生紙 11-21
- サブネットマスク 11-31
  - 設定 8-9

## し

- 仕上がりとし方向 6-10, 6-11
- 地色調整 6-21, 8-36
  - 初期値 8-26
- 時差 8-24
- システム/ネットワーク 8-7
  - I/Fブロック設定 8-16
  - オプション機能 8-17
  - 再起動 8-17
  - セキュリティレベル 8-16
  - ネットワーク設定 8-7
  - 優先ネットワーク 8-16
- システムメニュー 8-2
  - 宛先編集 8-35
  - 共通設定 8-18
  - コピー 8-30
  - システム/ネットワーク 8-7
  - 操作方法 8-2
  - 送信 8-33
  - 調整/メンテナンス 8-36
  - ファクス 8-34
  - 文書ボックス 8-34
  - ユーザー/部門管理 8-17
  - ユーザー情報 8-18, 9-9
  - レポート 8-5
- 自動改ページ待ち時間 11-32
- 自動カラー判別基準 8-36
- 自動用紙選択機能 11-32
- 自動両面機能について 1-12
- シャープネス 6-20
- 縮小/拡大 6-12
  - 初期値 8-26
- 手動設定 (IPv6) 8-10

## 仕様 11-22

- 原稿送り装置 11-25
- コピー機能 11-24
- スキャナー機能 11-25
- プリンター機能 11-24
- ペーパーフィーダー 11-25
- 本体 11-22
- 状況/履歴の表示 8-29
- 商標について 1-6
- 使用枚数の集計
  - カウンター 2-43
  - 全部門集計 9-34
  - 不明なジョブの処理 9-37
  - 部門管理レポート印刷 9-35
  - 部門別集計 9-34

## 消耗品

- 残量確認 7-15
- 初期画面 8-18
- 初期値 8-26
- ジョブ
  - 一時停止と再開 7-13
  - 確認画面の内容 7-4
  - 確認画面の表示 7-2
  - キャンセル 7-13
  - 状況確認 7-2
  - 状況の種類 7-2
  - 履歴確認 7-8
  - 履歴画面の表示 7-9
  - 履歴送信 7-12
- ジョブ/消耗品/デバイスを管理する 7-1
- ジョブ終了通知 6-19
- ジョブボックス 11-32
  - 一時保存文書の自動消去 8-34
  - クイックコピー 4-13
  - クイックコピージョブ保持数 8-34
  - ジョブ保留 4-12
  - 試し刷り後保留 4-15
  - パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する 4-10
  - プライベートプリント 4-11

## す

- スキャン禁止事項 1-5
- ステータスページ 11-32
- スリープ 2-27
  - スリープ時間 8-25
  - スリープモード 2-27
  - スリープレベル 8-25
- スリットガラス 2-2

## せ

- 清掃 10-2
  - 原稿ガラス 10-2
  - スリットガラス 10-3
  - 本体内部 10-4
- セキュア設定 8-15
- セキュリティレベル 8-16

## 接続

- USBケーブル 2-9
- 電源コード 2-9
- ネットワークケーブル 2-8

## 接続方法 2-7

- 設置環境について 1-3
- 節電復帰レベル 8-29
- 選択キー設定 8-30, 8-33, 8-34

## そ

- ソート 6-9
  - 初期値 8-26
- 操作パネル 2-2
- 送信結果レポート 8-6
- 送信サイズ 6-22
- 送信する
  - パソコンに文書を送信するための準備 3-8
- 送信設定 8-33
  - 宛先確認 8-33
  - 再宛先 8-33
  - 初期画面 8-33
  - 新規宛先の入力 8-33
  - 選択キー設定 8-33
  - 送信控え転送 8-33
- 送信控え転送 8-33

## た

- タイマー設定
  - Pingタイムアウト時間 8-25
  - エラー後継続時間 8-25
  - エラー後自動継続 8-25
  - オートパネルリセット 8-25
  - 使用禁止時刻設定 8-25
  - スリープ時間 8-25
  - スリープレベル 8-25
  - パネルリセット時間 8-25

## ち

- 注意表示 1-2
- 調整/メンテナンス 8-36
  - 印刷濃度 8-36

## て

- 定着カバー 2-4
- 手差しトレイ 2-4, 11-32
  - 用紙サイズと用紙種類 8-22
- デバイス 7-14
- デフォルトゲートウェイ 11-32
  - 設定 8-9
- 電源オフ時確認 8-29
- 電源コード
  - 接続 2-9
- 電源スイッチ 2-2
- 電源を入れる 2-10
- 電源を切る 2-10
- 電波の種類と干渉距離 1-13
- 電力管理 1-12

## と

- 盗難防止ロック用スロット 2-3
- トナーコンテナ 2-5
- トナーコンテナ解除ボタン 2-5
- トナーコンテナの交換 10-8
- トナー残量少の通知 8-29
- トナーの残量確認 7-15
- 取り扱い上のご注意 1-4

## な

- 内部トレイ 2-2

## に

- 日時設定
  - サマータイム 8-24
  - 時差 8-24
  - 日付/時刻 8-24
  - 日付形式 8-24
- 日常のお手入れ 10-2
  - トナーコンテナの交換 10-8
- 入力
  - 件名 6-27
  - 文書名 6-19
- 入力長さ単位 8-23

## ね

- ネットワーク
  - 準備 2-18
  - 設定 8-7
- ネットワークインターフェイス 2-7
- ネットワークインターフェイスコネクター 2-4
- ネットワークケーブル 2-7
  - 接続 2-8
- ネットワーク設定
  - Wi-Fiダイレクトの設定 2-25
  - 有線の設定 2-18
  - ワイヤレスネットワークの設定 2-20
- ネットワークの再起動 8-16

## の

- 濃度 6-18

## は

- 排紙ストッパー 2-2, 3-7
- 廃棄 11-27
- 白紙ページスキップ 6-21
- パソコンから印刷 4-4
- パネルリセット時間 8-25
- 搬送カバー 2-4

## ひ

- 日付/時刻 8-24
- 日付形式 8-24
- 日付と時刻の設定 2-17

## ふ

- ファーストコピータイム 11-24
- ファーストプリントタイム 11-24

- ファイル
  - PDF 6-25
  - 形式 6-23
  - 分割 6-28
- ファイル形式 6-23
  - 初期値 8-27
- ファイル分割 6-28
  - 初期値 8-27
- ファクス 8-34
- フォルダー (FTP) 送信 5-18, 5-25
- フォルダー (SMB) 送信 5-16
- 複合送信 5-27
- 部数制限 8-23
- 付属マニュアルの紹介 xvi
- 不明ユーザー設定
  - ユーザー情報 9-38
- 部門管理 9-21
  - TWAIN 9-30
  - WIA 9-31
  - 印刷 9-29
  - 削除 9-28
  - 使用制限 9-26
  - 使用枚数の集計 9-34
  - 初期設定 9-33
  - 新規登録 9-24
  - ファクス 9-32
  - 部門管理について 9-21
  - 部門管理方式 9-23
  - 部門管理レポート 9-35
  - 編集 9-27
  - 有効 9-22
  - ログアウト 9-36
  - ログイン 9-36
- プリスクライプコマンド 11-32
- プリンター
  - A4/Letter共通使用 8-31
  - KIR 8-32
  - 印刷設定 4-2
  - 印刷範囲補正 8-32
  - 印刷向き 8-31
  - エコプリント 8-31
  - エミュレーション設定 8-31
  - 改行 (LF) 動作 8-31
  - 解像度 8-32
  - 改ページ待ち時間 8-31
  - 給紙指定動作設定 8-32
  - 自動カセット切替 8-32
  - ジョブ名 8-32
  - 手差しトレイ優先 8-32
  - 部数 8-31
  - 復帰 (CR) 動作 8-31
  - ユーザー名 8-32
  - 両面 8-31
  - ワイドA4 8-31
- プリンタードライバー 11-32
  - ヘルプ 4-3

- プログラム
  - 呼び出し 5-9
  - 上書き 5-10
  - 削除 5-10
  - 登録する 5-8
- 文書ボックス
  - 外部メモリーボックス 5-36
  - ジョブボックス 4-10, 5-36
  - 文書ボックスとは 5-36
  - ユーザーボックス 5-36
- 文書ボックス設定 8-34
  - Fコードボックス 8-34
  - ジョブボックス 8-34
  - 選択キー設定 8-34
  - ポーリングボックス 8-34
- 文書名入力
  - 初期値 8-26

## へ

- ページ集約 6-14
- ヘルプ 11-32
- ヘルプ画面について 2-14

## ほ

- 法律上のご注意 1-6
- 補修用性能部品 11-27
- 保守サービス 11-26
- 補助トレイ 2-4
- ホスト名 8-7
- 保存サイズ 6-29
- 本書の読みかた xix
- 本製品の省エネ制御機能について 1-12
- 本製品の使用限定 1-14

## ま

- 前カバーオープンボタン 2-2

## む

- 無線LAN使用時のご注意 1-13
- 無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意 1-13

## め

- メール件名/本文 6-27
- メール設定 2-51
- メール送信 5-15

## も

- 文字の入力 11-8
  - 入力文字 11-9

## ゆ

- ユーザー/部門管理 8-17
  - ID不明ジョブ処理 9-37, 9-38
  - 部門管理設定 9-21
  - ユーザー管理設定 9-2



## ユーザー管理 9-2

ICカード設定 9-18, 9-19

TWAIN 9-11

WIA 9-12

印刷 9-10

グループ認可設定 9-14

ゲスト認可設定 9-15

新規登録 9-6

ネットワークユーザー情報の取得 9-17

ファクス 9-13

ユーザーアカウントロックアウト設定 9-5

ユーザー管理について 9-2

ユーザー情報の変更 9-8

有効 9-3

ログアウト 2-16

ログイン 2-15

ユーザー情報 8-18

優先印刷 6-19

優先ネットワーク 8-16

ユニバーサル 11-32

## よ

用語集 11-28

用紙

重さ 8-23

カスタムサイズ 8-20

カセット 8-22

カセットへのセット 3-4

サイズと種類 11-14

自動選択の用紙 8-20

仕様 11-14

注意 3-2

適正な用紙 11-15

手差しトレイ 8-22

特殊な用紙 11-18

特定用紙種類の動作設定 8-21

はがきのセット 5-7

封筒のセット 5-7

優先給紙元 8-21

用紙種類の設定 8-20

用紙の残量確認 7-15

用紙のセット 3-2

用紙ガイド 2-4

用紙種類の設定 8-23

用紙選択 6-8

用紙長さガイド 2-4

用紙の取り扱い上の注意 3-2

用紙幅ガイド 2-4

読み込み解像度 6-22

初期値 8-26

## ら

ラストライズ 11-32

ラベル紙 11-19

## り

両面 6-9

両面(両面原稿) 6-27

## れ

レポート 8-5

管理レポート設定 8-6

結果通知設定 8-6

ジョブ履歴 8-6

レポート印刷 8-5

レポート印刷

ステータスページ 8-5

フォントリスト 8-5

メニューマップ 8-5

連続読み込み 6-18

初期値 8-26

## ろ

ログアウト 2-16

ログイン 2-15

ログイン操作方法 8-28

## わ

ワンタッチキー

登録 3-26

変更/削除 3-27



**QUALITY  
CERTIFICATE**

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

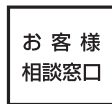
 **お客様相談窓口のご案内**

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

**京セラドキュメントソリューションズ株式会社**  
**京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社**

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号

<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>



**0570-046562**

受付時間

● 9:00～17:00

(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料でOK  
ナビダイヤル® 市内通話料金でご利用いただけます。